

取扱説明書

日立液晶テレビ

(地上・BS・110度CS デジタルチューナー内蔵)

HITACHI
Inspire the Next



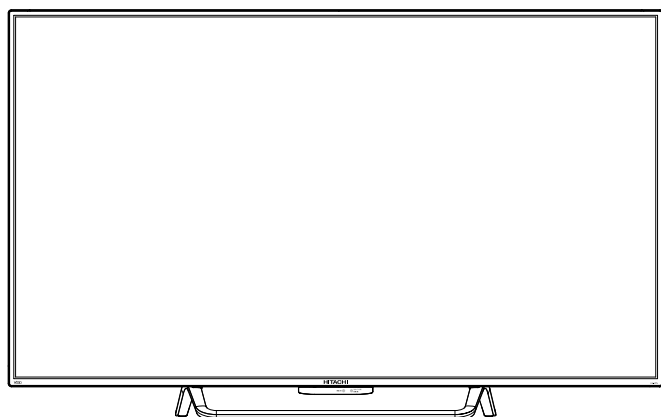
型式

エル 4 9 ゼットピー 5

L49-ZP5

エル 5 5 ゼットピー 5

L55-ZP5



このたびは日立液晶テレビをお求めいただき、ありがとうございました。
本書は、各モデルの共通の取扱説明書となっています。それぞれの機種特有の
取り扱いについては、L49-ZP5、L55-ZP5 と表記しています。

本機は内蔵ハードディスクにテレビ番組を録画することができます。ハードディスクは一時的な保管場所です。万一何らかの不具合により、録画や再生ができなかった場合、ハードディスクの内容（録画済みの番組データなど）の補償や損失、直接・間接の損害については、当社は一切の責任を負いかねます。

最初に

この取扱説明書に記載の「安全上のご注意」をお読みください。

本体の取扱いは、この取扱説明書をよくお読みになり、ご理解のうえ正しくご使用ください。

取扱説明書と保証書は大切に保管してください。『保証書』は梱包箱の上部内側に添付されています。

安全上のご注意	8
各部のはたらき	18
接続とかんたんセットアップ	22
視聴する	42
録画する	63
再生する	95
削除する／編集する	114
ダビングする	130
外部機器を使う	139
各種設定	148
さまざまな情報	192
仕様・アフターサービス	229

安全上のご注意

安全のために必ずお守りください	8
ご使用上のお願い	13
ご使用前に	16
● 本書について	16
● 本書で使用するマークの意味	16

各部のはたらき

各部のはたらき	18
● 本機前面／側面／背面	18
● リモコン	20

接続とかんたんセットアップ

準備の流れ	22
準備1 ▶ 付属品の確認	23
準備2 ▶ リモコンの準備	23
準備3 ▶ スタンドを取り付ける	24
準備4 ▶ miniB-CASカードを入れる	26
準備5 ▶ アンテナをつなぐ	28
準備6 ▶ 電源を入れる	34
準備7 ▶ かんたんセットアップをする	35

視聴する

デジタル放送を見る	42
● デジタル放送を見る(地上・BS・110度CSデジタル)	42
● データ放送を見る	44
● 他の機器の映像を見る(入力切替)	45
● 音声を切り換える	46
● 自動的に電源を切る(オフタイマー)	46
● 自動的に電源を入れる(オンタイマー)	47
● 画面表示を確認する	49
● 現在時刻を表示する	51
● 字幕を出す	51
● 画面モードを選ぶ	52
「ネットワーク」で動画を楽しむ	54
● 「ネットワーク」を利用するために必要な接続と設定	54
● 利用するサービスを選んで専用画面を表示する	54
テレビを使いこなす	56
● ホームメニュー機能の使いかた	56
● 映像切替(チャンネル内の映像を切り換える)	58
● ヘッドホン音量(ヘッドホンから出力される音量を調節する)	59
● 本機や放送局からのお知らせメールについて	60
● miniB-CASカード情報を確認する	62

録画する

録画の前に	63
● 録画するメディアについて	63
● 録画モードについて	63
放送中の番組を録画する	64
番組表(Gガイド)について	65
● 番組表を表示する	65
● 番組表の表示を切り換える	66
● 番組のジャンルを色分けして表示する	68
● 番組の詳細内容を確認する	68
● 指定した日の番組表を表示させる	69
● 予約一覧を確認する	69
● 番組表から録画モードを変更する	69
番組表から一発予約で予約する	70
番組を検索して予約する	71
注目番組一覧から予約する	73
番組表予約(番組表からお好みの設定で予約する)	74
手動で入力して予約する(日時指定予約)	77
自動で録画する(お好み録画)	79
● 新番組自動録画を設定する	79
● お好み録画を登録する	80
● 登録したお好み録画を変更する	83
● 番組表からお好み録画を登録する	83
予約を確認・変更・削除する	86
● 設定済みの予約を確認する	86
● 設定済みの予約の内容を変更する	86
● 予約スキップ(毎週/毎日録画を一時停止する)	89
● 不要な予約を取り消す	90
録画を停止する	91
録画についての補足説明	92

再生する

録画した番組を再生する	95
● レジュームポイントについて	96
● 録画一覧(録画した番組の一覧)について	97
お好み再生をする	100
● お好み再生について	100
● お好み再生で再生する	101
再生するときの操作	107
● 速度を変えて再生する	107
● スキップ・頭出し(見たい番組や場面までとばす)	109
● 追いかけて再生(録画中の番組を最初から見る)	110
再生するときの便利な機能	111
● 音声(言語)や字幕(言語)、映像を切り換える	111
再生についての補足説明	113

削除する／編集する

番組削除や番組編集の前に	114
● 本機のできる削除と編集について	114
番組を削除する	115
● 録画一覧から不要な番組を削除する	115
録画モード変換(HDDの空き容量を増やす)	117
チャプターを編集する	119
● チャプターを分割する	119
● チャプターを結合する	119
● チャプターを削除する	120
番組を分割・結合する	121
● 番組を分割する	121
● 番組を結合する	122
番組名を変更する・番組を保護する	123
● 番組名を変更する	123
● 番組を保護する	124
番組をフォルダーで管理する	125
● ジャンルフォルダーについて	125
● フォルダーを作る	125
● フォルダーの名前を変更する	126
● 番組を他のフォルダーに追加する	127
● フォルダーの順番を変更する	128
● フォルダーに入っている番組について	128
● フォルダーを削除する	129

ダビングする

複数の番組をまとめてダビングする	130
お引越(LAN)でダビングする (本機からネットワーク上の機器にダビングする)	133
ダビングについての補足説明	135
● ダビング制限について	135
● 録画モード(画質)とダビング速度について	136
● ダビング速度について	137
● コピーと移動について	137

外部機器を使う

USBメモリーの写真や動画を見る	139
● 写真や動画を表示する	139
● 写真を見る	141
● 写真をスライドショーで見る	142
● 動画を見る	142
HDMI-CEC対応機器を操作する	144
● HDMI-CEC対応アンプの音量を調節する	145
● 接続機器の電源を切る	145
● 接続機器に連動して本機の電源を入れる	145
カセットHDDを接続・設定する	146
● カセットHDDってどんな機器？	146
● カセットHDDをつなぐ前に	146
● カセットHDDをつなぐ	147

各種設定

画質設定をする	148
● 画質設定の表示のしかた	148
● 映像モードを切り換える	149
● バックライト調整を設定する	149
● コントラスト調整を設定する	150
● 輪郭調整を設定する	150
● 色彩調整を設定する	151
● 倍速駆動を設定する	151
● フィルムモードを設定する	152
● PCモードを設定する	152
音声設定をする	153
● 音声設定の表示のしかた	153
● 音声モードを切り換える	154
● 詳細調整を設定する	154
● デジタル音声出力を設定する	155
● スピーカー出力を設定する	155
● ヘッドホン／音声出力設定を設定する	156
節電設定をする	157
● 節電設定の表示のしかた	157
● 節電設定の各項目を設定する	158
制限設定をする	159
● 制限設定の表示のしかた	159
● 暗証番号を登録して視聴年齢制限を設定する	159
接続機器設定をする	163
● HDMI-CECの設定をする	163
ネットワークを接続・設定する	164
● LANケーブルを使って接続する	164
● 無線LANを使って接続する	165
ネットワークの設定をする	167
● ネットワーク設定の表示のしかた	167
● ネットワーク接続方法を設定する	167
● 無線LANでの接続設定をする	168
● IPアドレス／DNS設定をする	169
● ネットワーク接続テストを行う	172
● ネットワーク状態を表示する	172
● ネットサービスの利用規約を表示する	173
● ネットワーク連携設定をする	174

各種設定

放送受信設定をする	175
● かんたんセットアップで再設定する	175
● 地上デジタル放送のチャンネル設定をする	176
● 数字ボタンのチャンネルを追加・変更する	178
● チャンネルの飛び越し(スキップ)を設定する	179
● デジタル放送の受信状態を確認する	180
● 文字スーパーを設定する	182
● 居住地域と郵便番号を設定する	182
● 番組表(Gガイド)の設定をする	183
その他の設定をする	185
● その他の設定の表示のしかた	185
● HDMI入力信号を設定する	185
● 高速起動を設定する	186
● 時刻を設定する	186
● テレビの設置を設定する	187
● ビデオ画面自動切換の設定をする	187
● デジタル放送電波を使って更新する	188
設定を初期化する	189
● 一部の設定を初期化する	189
● すべての情報を初期化する	189
● ネットワークによるソフトウェアの更新を行う	191
● 本機の情報を確認する	191
文字入力のしかた	192

さまざまな情報

メディアを管理する	194
● カセットHDDの名前を変更する	194
● HDD／カセットHDDの記録内容を全部削除する	195
同時にできること	196
二カ国語・マルチ番組・字幕について	200
各メディアに関するその他のお知らせ	201
● HDDについて	201
● カセットHDDについて	201
● USB機器について	202
● 番組・チャプター・ファイル・フォルダーについて	202
記録時間一覧表	203
miniB-CASカードについて	205
デジタル放送について	206
困ったときは	207
● よくあるご質問	207
● おかしいな?と思ったときの調べかた	209
テレビ画面に表示されるメッセージ	217
お手入れのしかた	220
アイコン一覧	221
● 画面に表示されるアイコンについて	221
用語の説明	222
無線LANを使う際のお願い	225
著作権などについて	227

仕様・アフターサービス	保証とアフターサービス(必ずご覧ください)	229
	お客様相談窓口	230
	お問い合わせ診断シート	231
	仕様	232
	外形寸法について	234
	壁掛け／天吊りユニット取り付け時について	236
	壁掛け／天吊りユニット取り付け図	237
	索引	239

安全のために必ずお守りください

この製品を正しく安全にお使いいただくために、次の事項に注意してください。

■ 絵表示について

- この取扱説明書では、製品を安全に正しくお使いいただき、お使いになる方や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。
- 誤った取り扱いをしたときに生じる危険とその程度を、次の表示で区分して説明しています。



警告

誤った取り扱いをしたときに、死亡や重傷などの重大な結果に結び付く可能性があるもの



注意

誤った取り扱いをしたときに、傷害または家屋・家財などの損害に結び付く可能性があるもの

• 絵表示の例



- 記号は必ず行っていただきたい行為を示しています。図の中に具体的な指示内容(左図の場合は電源プラグをコンセントから抜くこと)が描かれています。



- ⊘ 記号は禁止の行為であることを示しています。図の中や近傍に具体的な禁止内容(左図の場合は分解禁止)が描かれています。



- △ 記号は注意(危険、警告を含む)を促す内容があることを示しています。図の中に具体的な注意内容(左図の場合は感電注意)が描かれています。

• 絵表示の意味



必ず指示に従い、行ってください。



絶対に濡れた手で触れないでください。



絶対に分解/修理はしないでください。



破裂に注意してください。



絶対に濡らさないでください。



絶対に行わないでください。



高温に注意してください。



絶対に水場では使用しないでください。



必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。



注意してください。



絶対に触れないでください。

※ この取扱説明書のイラストや画面はイメージであり、実際とは異なる場合があります。

家庭用品品質表示法に基づく表示

使用上のご注意

- 内部の温度が上昇しますので、設置の際は通気のために製品の周囲に間隔をおいてください。
- 温度の高い場所や湿気の多い場所で使用しないでください。
- 感電の危険があるため、裏ふたを開けないでください。
- ちり、ほこりをとるため内部を掃除するときは、お買い上げの販売店、電気店などにご相談ください。

表示者 東京都港区西新橋2-15-12 日立コンシューマ・マーケティング株式会社 リビングサプライ社

■ 眼精疲労について

- 長時間液晶テレビの映像を見続けると、目に疲労が蓄積されます。

■ 本液晶テレビの廃棄






- 事業者が廃棄する場合
本液晶テレビを廃棄するときには廃棄物管理票(マニフェスト)の発行が義務づけられています。くわしくは各都道府県産業廃棄物協会にお問い合わせください。廃棄物管理票は、(社)全国産業廃棄物連合会に用意されています。
- 個人が廃棄する場合
本機を廃棄されるときは「すべての初期化」を行うことをおすすめします。くわしくは **P.189** をご覧ください。


■ ご注意

- 本機の近くで携帯電話およびPHSなどを使用すると、テレビ画面や音声にノイズが入ることがあります。この現象は本機の故障ではありません。携帯電話およびPHSなどを使用するときは、本機から離れた場所でご使用ください。
- ビデオの近くに本機を置いた場合は、映像や音声に悪い影響を与えることがあります。万一このような状況が生じた場合は、ビデオと本機を離してください。



⚠ 警告

■ ご使用になるとき

 禁止	<p>本機をぐらついた台の上や傾いたところなど、不安定な場所に置かない</p> <ul style="list-style-type: none"> 落ちたり、倒れたりして、けがの原因となるため注意してください。
 水漏れ禁止	<p>本機の上に水などの入った容器や金属物、ろうそくを置かない (花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品など)</p> <ul style="list-style-type: none"> こぼれて本機の内部に入った場合は、火災・感電の原因となります。
 水濡れ禁止	<p>本機を水でぬらさない 水滴のかかる場所に置かない</p>
 水場での使用禁止	<ul style="list-style-type: none"> 海岸・水場や雨天・降雪時の窓辺での使用や設置に注意してください。 風呂場では使用しないでください。 内部に水が入ると、火災・感電・故障の原因となります。
 改造・分解禁止	<p>本機を改造または分解しない</p> <ul style="list-style-type: none"> キャビネットを分解したり、カバーや裏ぶたをはずしたりしないでください。感電の原因となります。 内部の点検・調整・修理は、お買い上げの販売店にご相談ください。

 注意	<p>アンテナは送配電線から離れた場所に設置する</p> <ul style="list-style-type: none"> 倒れた場合は、感電事故の原因となります。
 禁止	<p>本機にダストスプレー (エアダスター)を使用しない</p> <ul style="list-style-type: none"> 製品内部にガスが溜まった場合は、引火し爆発する恐れがあります。
 放置禁止	<p>miniB-CASカードは乳幼児の手の届くところに放置しない</p> <ul style="list-style-type: none"> miniB-CASカードを台紙から取り出したら、ただちにminiB-CASカード挿入口に挿し込んでください。 万一、お子様が飲み込んだ場合は、ただちに医師にご相談ください。

■ 電池の取り扱い

 禁止	<p>乾電池を使用する場合は、被覆がやぶれたり、はがれたりしていないものを使用する</p> <ul style="list-style-type: none"> 乾電池そのものがショートし、やけどする危険があります。
 注意	<p>電池は乳幼児の手の届くところに置かない</p> <ul style="list-style-type: none"> 万一、お子様が飲み込んだ場合は、ただちに医師にご相談ください。

安全のために必ずお守りください(つづき)

■ 電源コード・プラグの取り扱い

電源プラグはすぐに抜けるように容易に手が届く位置のコンセントを使用してください。通電を遮断するには、電源プラグを抜いてください。



本機を指定(表示)された電源電圧(交流100V)以外で使用しない

交流100V

- 指定(表示)以外で使用すると、火災・感電・故障の原因となります。
- 接続する前に指定の電源電圧に適合しているかもう一度確かめてください。



電源プラグのほこりなどはとる

ほこりをとる

- 絶縁不良となり、火災・感電の原因となります。
- ほこりをとる際は、かわいた布でふいてください。



雷が鳴りだしたらアンテナ線や電源プラグに触れない

接触禁止

- 落雷すると感電することがあります。



濡れた手で電源プラグを抜き挿ししたり、水や液体をかけたりしない

禁止

- 水は電気を通すため、感電の恐れがあります。
- 必ずかわいた手で持ってください。



電源コードを正しく使用する

禁止

- 束ねない
- 延長・タコ足配線しない
- 固定しない

- 束ねての使用やステップルなどで固定すると内部の電線が切れ発熱し焼損・発火の原因となります。
- タコ足配線すると発熱し、火災・故障の原因となります。



電源コードを傷つけない

禁止

- 破損させない
- 加熱しない
- 引っぱらない
- 加工しない
- 切断しない
- ねじらない
- 曲げない
- 重いものをのせない

- そのまま使用すると火災・感電の原因となります。



電源は、必要に応じてブレーカやヒューズを設置した専用回路からとる

禁止

- 発火の原因になります。



禁止

電源プラグは確実に挿し込み、抜き挿しが弱くなったものは使用しない

- 不完全な挿し込みは接触不良となり発熱・火災・感電の原因となります。
- 時々点検をしてください。



禁止

本機の開口部(通風孔など)から内部に金属類や燃えやすいものなどを挿し込まない

- 火災・感電の原因となります。特にお客様のいるご家庭ではご注意ください。



禁止

電源プラグやコードは温度や湿度の高いところ(こたつの中やサウナなど)で使用しない

- 感電・火災の原因となります。



注意

電源プラグやコードは乳幼児が触れたり、手が届いたりするところに放置しない

- 感電の原因となります。



注意

電源コードを動かすと電源が入ったり、切れたりするときや、コードが部分的に熱いときは使用しない

- コード内部の電線が切れているため、使用すると感電・火災の原因となります。



使用禁止



プラグを抜く

- そのまま使うと火災・感電の原因となります。お買い上げの販売店にご相談ください。
- 特にお客様のいるご家庭ではご注意ください。

■ 異常が発生したとき(電源プラグを抜く)



使用禁止



プラグを抜く

本機や電源コードが異常なとき(煙が出ている、異常に熱い、変なおいがする)は使うのをやめ電源プラグをコンセントから抜く

- そのまま使うと火災・感電の原因となります。お客様による修理は危険ですからお買い上げの販売店にご相談ください。



使用禁止

本機を落としたり、キャビネットを破損したりした場合は、電源プラグをコンセントから抜く



プラグを抜く

- そのまま使うと火災・感電の原因となります。お買い上げの販売店にご相談ください。



注意

画面が映らない、音が出ないなどの故障状態のときは電源プラグをコンセントから抜く



プラグを抜く

- そのまま使うと火災・感電の原因となります。お買い上げの販売店にご相談ください。



注意

電源プラグやコードが傷んでいる場合(刃の曲がり、プラグカバーの傷み、心線の露出、断線など)は電源プラグをコンセントから抜く



プラグを抜く

- そのまま使うと火災・感電の原因となります。お買い上げの販売店にご相談ください。

⚠️ 注意



塩害注意

海水や塩害に注意

- 海辺にお住まいの方は窓からの海水や塩害に注意してください。



使用禁止

本機を車の中で使用しない
自動車内に放置しない

- 本機は車載用ではありません。
- 車載で使用した場合は、車特有のノイズをひろい、音声や画像が乱れます。
- 窓を閉めきった自動車内では、夏場は高温になり、キャビネットが変形し、発火・発煙事故の恐れがあります。また冬場や雨期には結露が発生し、本機の故障の原因となります。
- お車に付いているACコンセントや市販品の車載用インバータなどを使って本機を使用しないでください。



設置禁止

本機を次のような場所に置かない

- 湿気やほこりの多い場所
- 油煙や湯気が当たる場所
- 熱器具の近く
- 直射日光の当たる場所
- 押し入れや本棚など風通しの悪い場所
- 閉めきった自動車内など高温になるところ

- 発熱による変形や火災・感電・故障の原因となります。



禁止

本機の上に乗ったり、ぶらさがったりしない

- バランスがくずれて倒れたり、落下したりしてけがの原因となることがあります。
- 特にお客様のいるご家庭ではご注意ください。



禁止

本機を持ち運ぶとき振動や衝撃をあたえない

- 故障の原因となることがあります。



禁止

本機の通風孔をふさがない

- 風通しの悪い狭い場所に置かない
- じゅうたんや布団の上に置かない
- テーブルクロスなどをかけない
- 本機の設置は、上面30 cm以上、背面20 cm以上、左右10 cm以上の間隔をおく

- 内部に熱がこもり火災の原因になります。



禁止

本機をキャスター付きテレビ台に設置する場合には、キャスター止めをする

- 動いたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。



注意

アンテナ工事は専門業者に
お願いする

- アンテナ工事には技術と経験が必要ですので、お買い上げの販売店にご相談ください。










安定した場所に設置する

正しく設置する



- 本機は安定した場所に設置してください。転倒し、けがの原因となることがあります。

安全のために必ずお守りください(つづき)





■ 電源コード・プラグの取り扱い

 プラグを抜く	お手入れの際、電源プラグをコンセントから抜く <ul style="list-style-type: none"> 安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
 プラグを抜く	次のような場合は、電源プラグをコンセントから抜いておく - 長期間使わないとき - 旅行をするとき <ul style="list-style-type: none"> 安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
 プラグを抜く	本機を移動させる場合は、電源プラグをコンセントから抜き、アンテナ線や外部の接続線もはずす <ul style="list-style-type: none"> そのまま移動するとコードに傷が付き火災・感電の原因となります。
 禁止	電源コードを引っ張らない <ul style="list-style-type: none"> 電源プラグを抜くとき、電源コードを引っ張るとコードが傷つき火災・感電の原因となります。 必ず電源プラグを持って抜いてください。
 禁止	電源コードを引き回さない <ul style="list-style-type: none"> 戸を介して別の部屋へ引き回さないでください。コード内部の電線が切れて焼損や火災の原因となります。
 禁止	電源プラグに洗剤や殺虫剤をかけない <ul style="list-style-type: none"> 発煙・発火の原因となります。
 高温注意	電源コードを熱器具に近付けない <ul style="list-style-type: none"> コードの被覆が溶けて火災・感電の原因となります。

■ ご使用になるときのご注意

 掃除	年に1度を目安に本機内部の掃除を依頼する <ul style="list-style-type: none"> 内部にほこりがたまったまま使用すると火災や故障の原因となることがあります。 内部の掃除やその費用については、お買い上げの販売店にご相談ください。
 禁止	液晶パネルの破損 <ul style="list-style-type: none"> 液晶パネルはガラスでできています。液晶パネルが破損したとき、ガラスの破片には直接触れないでください。けがをする恐れがあります。

■ 電池の取り扱いについてのご注意

 正しく入れる	乾電池は正しく挿入する <ul style="list-style-type: none"> プラス(+)とマイナス(-)の向きを正しく入れる 誤って挿入すると破裂・液漏れによりけがや周囲を汚損する原因となることがあります。
 使用禁止	指定されていない電池を使用しない <ul style="list-style-type: none"> 破裂、液漏れにより、火災・けがの原因となることがあります。
 使用禁止	新しい電池と古い電池を混ぜて使用しない <ul style="list-style-type: none"> 破裂、液漏れにより、火災・けがの原因となることがあります。
 破裂注意	乾電池の取り扱いに注意 - ショートさせない - 分解・加熱をしない - 火の中に投入しない - 日光や火などの過度の熱にさらさない <ul style="list-style-type: none"> 破裂する危険があります。

ご使用上のお願い

置き場所や取り扱い

- ソフトウェアのダウンロード中に本機の電源コードを抜いたり、停電が発生したりした場合は、本機が使用できなくなります。
- 本機をレコーダーなどの近くに置くと、映像や音声乱れるなど、故障の原因となることがあります。
- ほかの機器と近付けすぎると、機器がお互いに悪影響を与えることがあります。また、本機の近くで携帯電話やPHSを使用すると、映像や音声にノイズが入ることがありますので、本機からできるだけ離してご使用ください。
- 本機を移動する場合は、あらかじめ外部接続機器(カセットHDDなど)を取りはずした状態で行ってください。
- 磁石や強い磁気を帯びたものを近づけると、映像や音声に悪影響を与えたり、記録が損なわれたりすることがあります。
- 本機の受信周波数帯域に相当する周波数を用いた機器とは離してご使用ください。本機の受信周波数帯域(VHF:90~222MHz、UHF:470~770MHz、BS:1032MHz~1336MHz、CS:1595MHz~2071MHz)に相当する周波数を用いた携帯電話などの機器を、本機やアンテナケーブルの途中に接続している機器に近づけると、その影響で映像・音声などに不具合が生じる場合があります。それらの機器とは離してご使用ください。
- タテ置きでのご使用は故障の原因となることがありますので、お止めください。
- キャビネットに殺虫剤など、揮発性のものをかけないでください。また、ゴムやビニール製品などを長時間接触させたままにすると、変質したり塗装がはがれたりするなどの原因となります。
- ワックスのかかった床などに直接置くと、本機底面のすべり止め用ゴムと床材の密着性が上がり、床材のはがれや着色の原因となることがあります。
- 長期間ご使用にならないときは液漏れを防ぐため、リモコンの乾電池を取り出しておいてください。また、外部接続機器が繋がっている場合は本機から取りはずし、電源を切っておいてください。
※長期間ご使用にならない場合も、ときどき電源を入れて作動させてください。ソフトウェアの更新がある場合に更新されなかったり、機能に支障をきたしたりして、本機が正しく作動しない場合があります。
- 本機は日本国内専用です。海外では使用できません。また、海外での修理対応もできません。(This unit is designed for use in Japan only. No servicing is available outside of Japan.)
- 車載での使用はしないでください。
- 本機の内部にほこりが溜まらないように、設置場所の定期清掃を行ってください。ほこりが溜まると故障の原因となる場合があります。

アンテナについて

- 妨害電波をさけるために、電線や道路などからなるべく離してください。
- 風雨にさらされているので、定期的に点検・交換することをおすすめします。
- アンテナ工事には、技術と経験が必要ですので、販売店にご相談ください。

お手入れについて

- キャビネットや液晶パネルの汚れは、柔らかい布で軽くふき取ってください。
- 汚れのひどいときは、水でうすめた中性洗剤にひたした布をよく絞ってからふき取り、最後にかわいた布でからぶきしてください。中性洗剤をご使用の際は、その注意書をよくお読みください。
- シンナー、ベンジンなどは使用しないでください。傷んだり、塗料がはがれたりすることがあります。
- 化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書に従ってください。

修理について

- 本機が動作しなくなった場合は、ご自分で分解や修理をしないでください。
電源プラグを抜き、お買い上げの販売店またはお客様ご相談窓口へご相談ください。

ご使用上のお願い(つづき)

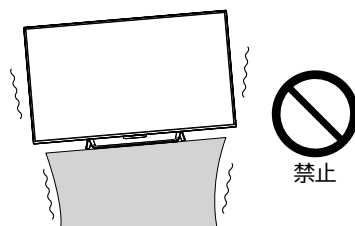
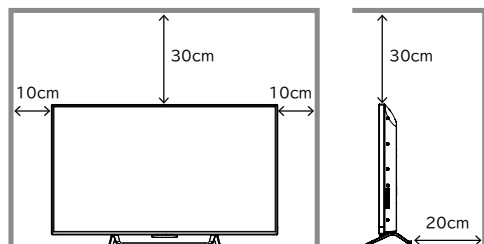
天候不良によっては、 画質、音質が悪くなる場合があります

衛星デジタル放送の場合は、雨の影響により衛星からの電波が弱くなっているときは、引き続き放送を受信できる降雨対応放送に切り換えます。(降雨対応放送が行われている場合)降雨対応放送に切り換わったときは、画面にメッセージが表示されます。

降雨対応放送では、画質や音質が少し悪くなります。また、番組情報も表示できない場合があります。

本機の設置についてのお願い

- 最低限、下図のスペースを設けてください。
- 不安定な場所に置かないでください。
台の上に設置するときは、平坦ですべりにくい、本機の外形より大きい、変形しない台の上に置いてください。



ご注意

- 傾斜面や、水平でない面、カーペットなどの軟らかい面への設置をさけてください。
- 本機の下へ物をはさまないでください。
- 本機を高いところに置かないでください。
- 万一転倒した場合に備えて、就寝場所や避難障害となる場所に本機を置かないでください。

転倒防止についてのお願い

ご注意

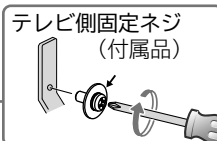
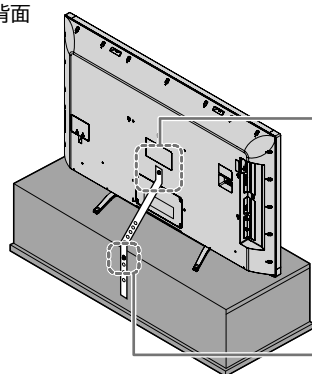
衝撃などで本機が転倒すると、けがの原因になることがあります。ご家庭での安全確保のために、置く場所が決まったら以下の処置をお願いします。以下の処置内容は、振動や衝撃での製品の転倒、落下によるけがなどの危害を軽減するためのものです。すべての地震等に対してその効果を保証するものではありませんが、併用すると更に効果的です。

テレビ台や家具などへの固定

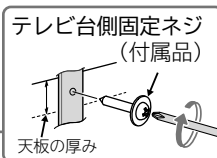
お使いのテレビ台や家具が木製の場合は、下図の通り、付属の転倒防止バンドをテレビ側固定ネジで本機に取り付けた後、テレビ台側固定ネジでお使いのテレビ台や家具に固定してください。

また、スチール製やガラス製など、テレビ台や家具に転倒防止バンドで固定できないときや、強度が十分でないときは、お買い上げの販売店や工事店までご相談ください。

本機背面



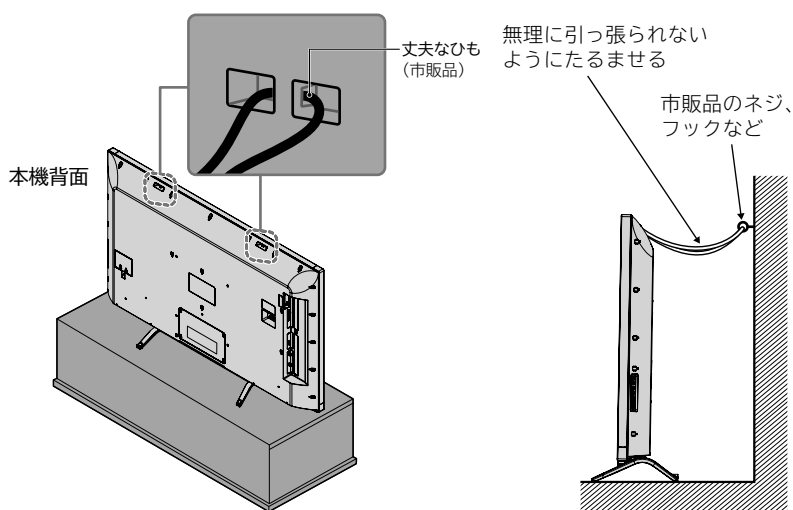
テレビ側固定ネジで固定してください。



テレビ台天板の厚みの中央にテレビ台側固定ネジで締めてください。

壁や柱などの安定した場所への固定

図のように、本機を壁や柱などの安定した場所に本機の重さに耐えられる丈夫なひも (市販品) で確実に取り付けてください。



ご注意









再び移動させるときはネジやひもをはずしてから行ってください。ネジ、ひもなどの取り付けは確実に行ってください。

ご使用の前に




本書について

- 本書の操作説明は、リモコンでの操作を中心に説明しています。
- 「本機」とは「お使いのテレビ」のことを、「他機」とは「本機以外の機器」のことを表します。
- 本機や本機の操作画面などiVDR規格のカセット式ハードディスクを「カセットHDD」と表現していることがあります。
- 画面表示の細部や説明文、表現、ガイド、メッセージの表示位置などは、本書と製品で異なることがあります。
- 本書で例として記載している各画面の内容やフリーワードなどは説明用です。
- 本書の説明には専門的な用語を使用している場合があります。
用語については、「用語の説明」P.222をご覧ください。
- 本機の動作状態によっては、実行できない操作をしたときに画面にメッセージや⓪が表示される場合があります。
本書では、画面にメッセージが表示される操作制限についての説明は省略している場合があります。
- 製造番号は品質管理上重要なものです。お買い上げの際には、本機背面の製造番号と保証書の製造番号が一致しているかご確認ください。
- 本書で使用している本機のイラストは、一部をのぞきL55-ZP5です。

本書で使用するマークの意味

マーク	説明
	取扱上のご注意を記載しています。
	機能などの補足説明、参考にしていただきたいこと、制限事項などを記載しています。
	関連する内容が記載されている本書のページ番号を記載しています。
	 を押しても基本の手順と同じ操作や設定などが行えます。
	 や  などで選択すること、または次の動作に移行する場合に記載しています。

メディアや方式を表すマーク

	内蔵ハードディスク
	iVDR規格のカセット式ハードディスク
	JPEGファイルが記録された以下のメディア USBメモリー※

※ USBメモリーについて、くわしくはP.139をご覧ください。

リモコンについて

- 乾電池はマンガン乾電池の単4形乾電池(1.5V 2本)をお使いください。
- 乾電池ご使用の際は、新しい乾電池と古い乾電池や異なる種類の乾電池(アルカリ乾電池とマンガン乾電池など)を混ぜずに、同一メーカー・同一型番のものを同時にご使用ください。違う乾電池を混ぜると、それぞれの乾電池の性能が異なるため、発熱、破裂、発火の原因となりますのでご注意ください。
- 乾電池が完全に入らない状態で使うと乾電池が発熱し、やけどや故障の原因となることがあります。
- オキシライド乾電池(ZR6)、エボルタ乾電池(LR6)などは、リモコン誤動作の原因となりますので、使用しないでください。
- アルカリ乾電池は、外枠がプラス極になっているために、リモコンのマイナス極バネが乾電池のマイナス極と外枠(被覆がはがれている場合)に同時に接触すると、乾電池そのものがショート(短絡)状態になり、ショートした部分が発熱し、やけどする危険があります。
- 長期間使用しないときは、リモコンから乾電池を取り出してください。
- 以下の場合には乾電池が消耗しています。すべての乾電池を新しいものに交換してください。(付属の乾電池は動作確認用です。早めに新しい乾電池と交換することをおすすめします。)
 - リモコンの使用距離が短くなってきたときや、一部のボタンを押しても動作しなくなってきたとき。
- 不要となった乾電池は、お住まいの地域の条例に従って処理してください。

▷ リモコンが効かない場合について

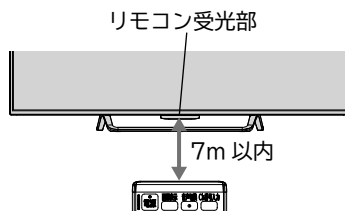
- 乾電池が消耗している可能性があります。乾電池を交換してください。P.23

▷ リモコンの使用範囲について

リモコンは、本機のリモコン受光部に向けて使用してください。

距離…本機正面から 7m以内

- リモコン受光部に強い光が当たっていると、リモコンが動作しないことがあります。

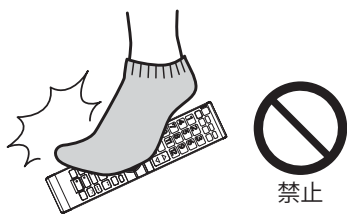


🗨️ お願い! リモコンの取扱い

落としたり、物を当てたり、衝撃を与えない。



リモコンの上に重いものを乗せたり、踏みつけたりしない。



水をかけたり、ぬれたものの上に置かない。



ベンジン、シンナーなど揮発性の液体でふかない。

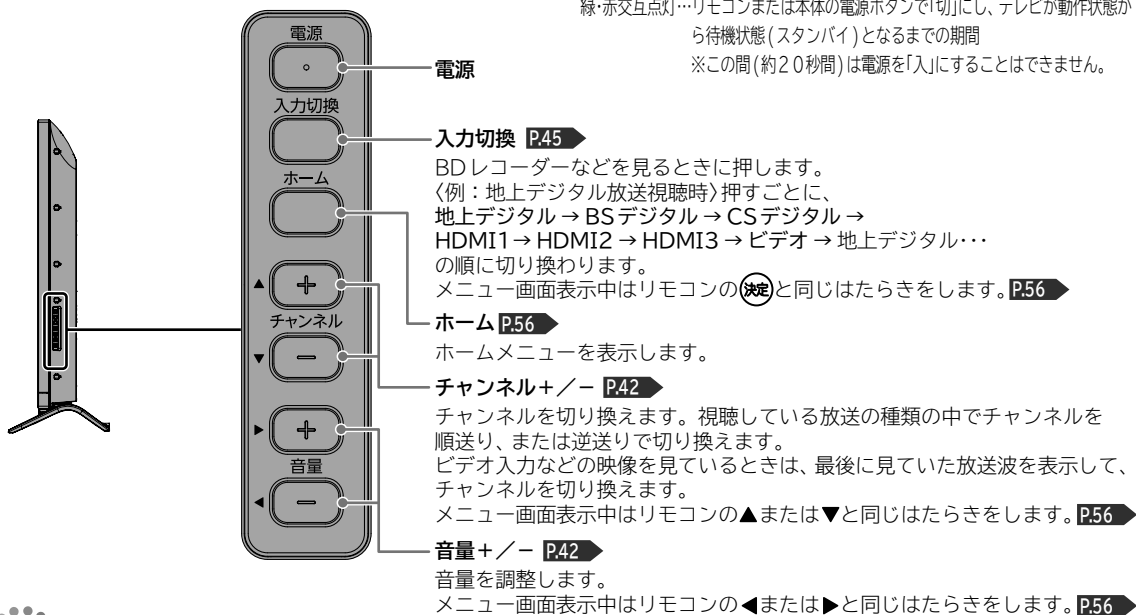
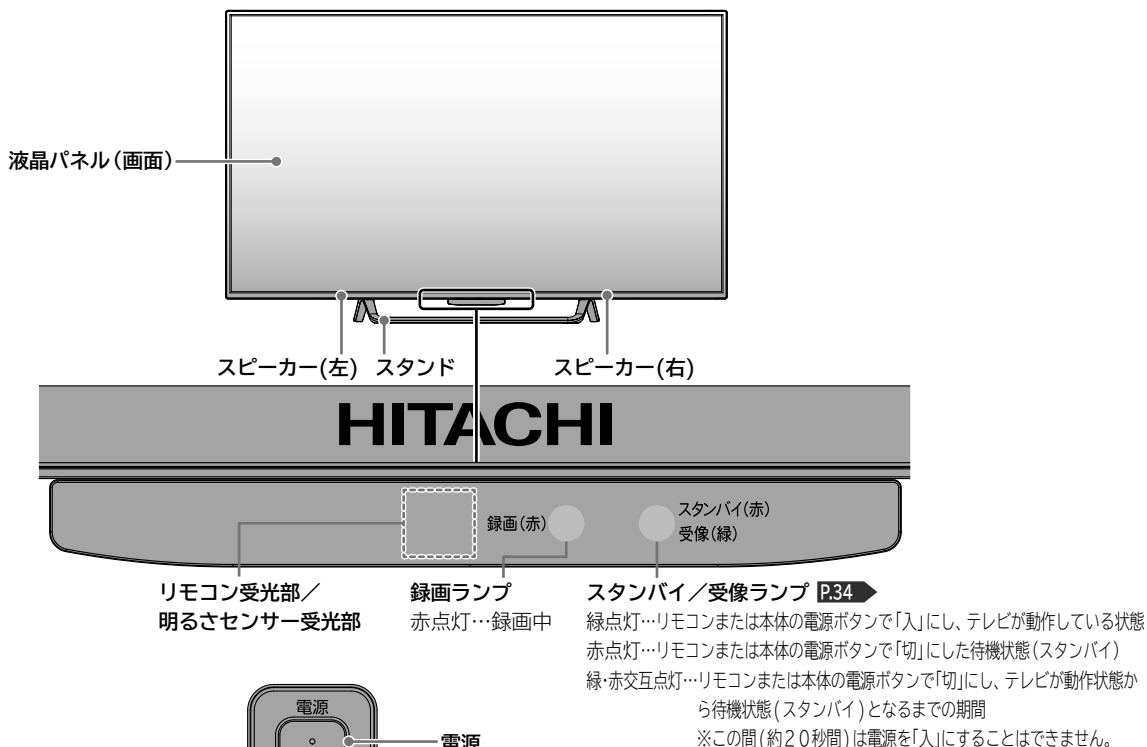


外傷に至らない場合でも、内部の基板が割れるなどの故障の原因となりますので、取り扱いには十分ご注意ください。

- ボタンを押すときは、力を入れすぎないようにしてください。
- 丁寧に扱ってください。
- 油脂成分を含んだハンドクリームや化粧水などのついた手でボタンを押さないでください。
- 電子レンジなどの加熱調理機器に、リモコン送信機・乾電池を入れて加熱しないでください。発熱により火災・故障の原因になります。
- 電池ぶた無しで使用すると、金属物などで乾電池がショートし発熱、液もれ、破裂などの恐れがありますので、必ず電池ぶたをつけてご使用ください。

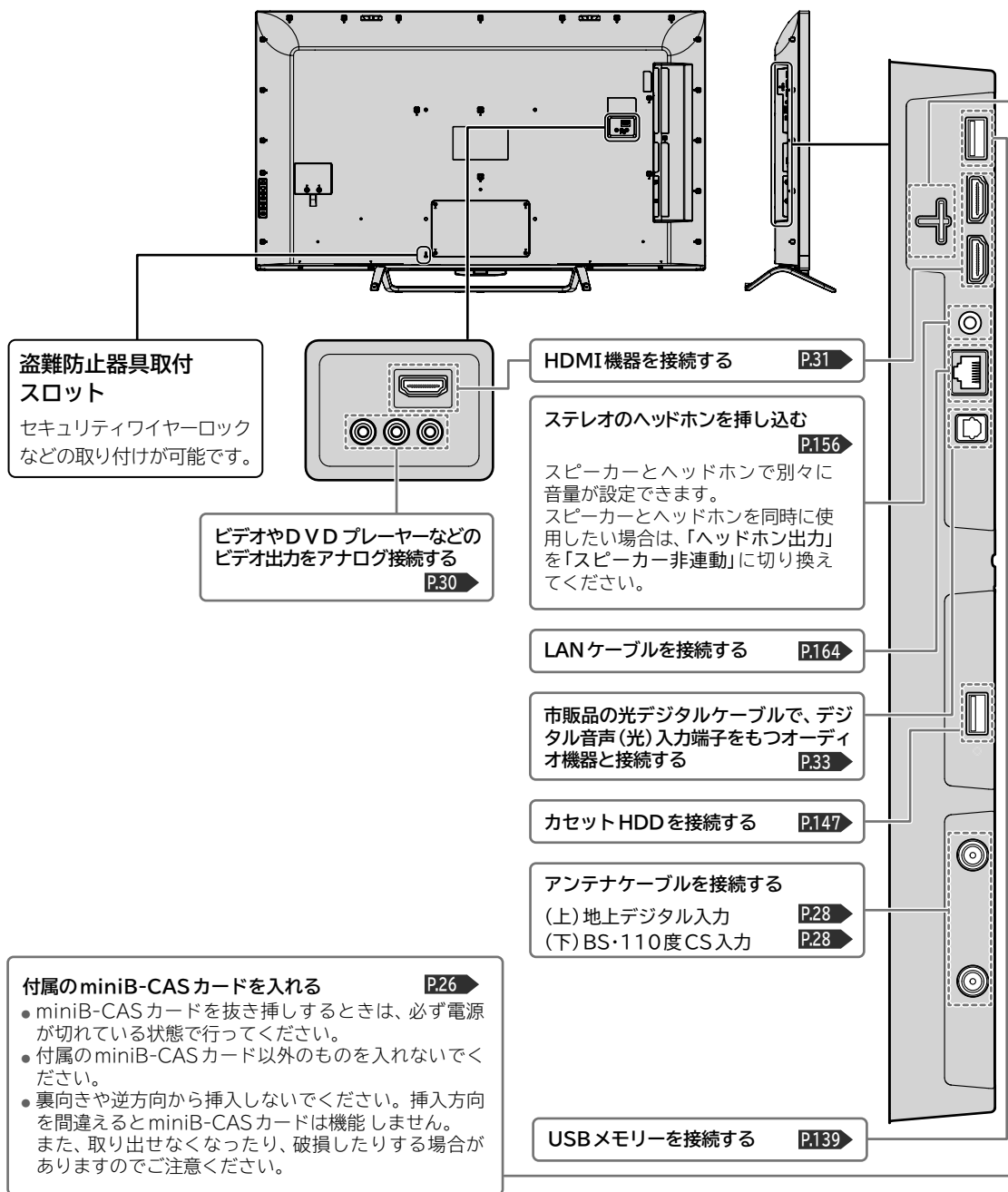
各部のはたらき

本機前面／側面／背面



お知らせ

- 電源ボタンで「切」にする待機状態になり、最小限のシステム機能およびデジタルチューナーなどの回路は通電しています。
- 本機は待機状態のときに、自動的にデジタル放送のメンテナンス情報を受信して、ソフトウェアの更新が行われる場合がありますので、長期間留守にされる場合や本機に異常が発生したとき以外は電源プラグをコンセントから抜かないことをおすすめします。
- 無操作電源オフ機能や無信号電源オフ機能、オフタイマー機能により動作状態から待機状態(スタンバイ)となる場合、スタンバイ/受像ランプは緑・赤交互点灯し、この間(約20秒間)は電源を「入」にすることはできません。「高速起動」を「入」**P.186**にすると、いつでも電源を「入」にすることができます。
- スタンバイ/受像ランプが緑・赤交互点灯中は、電源プラグを抜かないでください。
- 待機状態(スタンバイ)で予約録画やデジタル放送の番組データやメンテナンス情報の受信を終了した直後、スタンバイ/受像ランプは赤点灯のままですが、約20秒間は電源を「入」にすることはできません。「高速起動」を「入」にすると、いつでも電源を「入」にすることができます。
- テレビ画面に向けて光線銃などを使い、画面を標的にするゲーム機では、正しく動作しないことがあります。かわしくはゲーム機に付属の取扱説明書をご覧ください。
- ビデオの特殊再生機能(早送り、一時停止など)を使うと映像が乱れることがあります。

**ご注意**

- 接続は電源プラグを抜いた状態で行ってください。
- 映像・音声接続用のプラグと端子で色分けがしてあるものは、それぞれ色が合うようにつないでください。
映像…黄、音声-左…白、音声-右…赤
- プラグはしっかり押し込んでください。不完全な接続は雑音、映像ノイズなどの原因になります。
- ケーブルを抜くときは、コードを引っ張らずに、プラグを持って抜き取ってください。
- 接続する機器が近すぎると、機器をつないで映像が乱れたり、雑音が出たりすることがあるので、十分に離してください。
- 機器によっては接続が異なる場合がありますので、接続する機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。
- 録画・録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権上、権利者に無断で使用できません。
- 受信状態により、デジタル放送などで操作できなくなった場合は、電源プラグをコンセントから抜き、しばらくしてから再度電源プラグを挿してみてください。

各部のはたらき(つづき)

リモコン

ふだんよく使うボタン

電源を「入」/「切」する P.34

放送波を切り換える P.42

[地デジ]…地上デジタル放送
 [BS]…BS デジタル放送
 [CS]…110度 CS デジタル放送

音量を調節する P.42

押すごとに、入力が切り換わる
 (例:地上デジタル放送視聴時)
 地上デジタル→BSデジタル→CSデジタル
 →HDMI1→HDMI2→HDMI3→
 ビデオ→地上デジタル…
 の順に切り換わります。 P.45

番組表を表示する P.65

ホームメニューを表示する P.56

データ放送に切り換える P.44

番組を録画する P.64

チャンネル番号を入力する P.42

数字ボタン P.42

チャンネルを直接選んだり、数字を入力したりします

音を一時的に消す

もう一度押すと元の音量に戻ります。

視聴している放送の種類の中でチャンネルを順送り、または逆送りで切り換える P.42

ビデオ入力などの映像を見ているときは、最後に見ていた放送波を表示して、チャンネルを切り換えます。視聴しないチャンネルをスキップすることができます。 P.179

メニューなどの画面を表示中に、選択や決定などをする P.56

メニューなどの画面を表示中に1つ前の画面に戻る

番組表、録画一覧の表示中やデータ放送などで、画面に色ボタンの表示があるときに使用する P.44

画面によって機能が変わるので、画面下部の説明に従って操作してください。



お知らせ

●本機のリモコンはリモコンコードを切り換えることができます。本機では「リモコンコード1」設定で使用してください。製品出荷時は「リモコンコード1」に設定されています。

●[リモコンコードの切り換え方法]

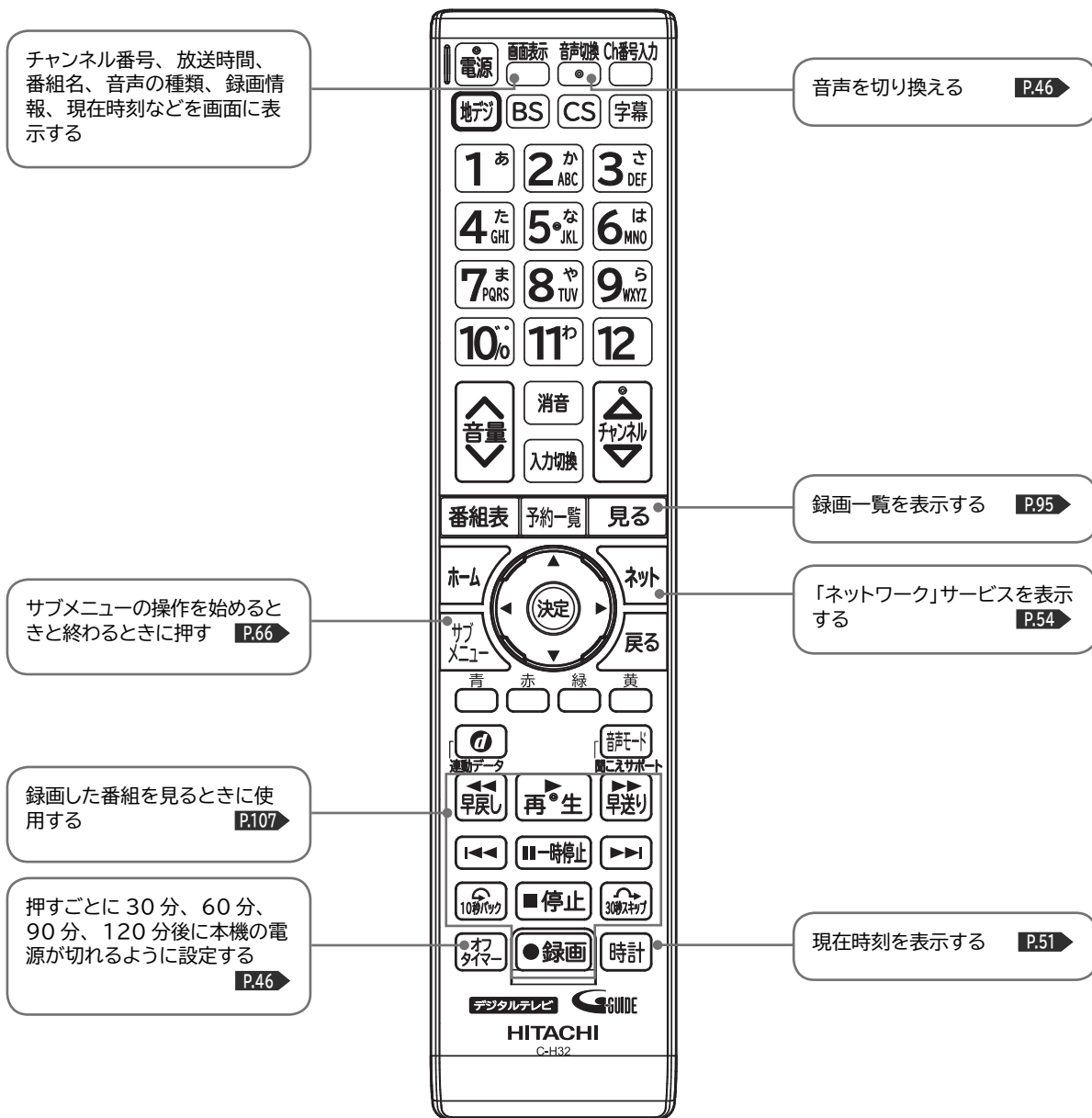
① ボタンを押しながら、次の数字ボタンを3秒以上押す。

リモコンコード1・・・**[1]**

リモコンコード2・・・**[2]**

●同時押しは、しっかり3秒以上の長押しを行ってください。時計を見ずに感覚で秒数を数える場合は実際の時間より短くなる場合がありますので、十分余裕を持って押し続けてください。

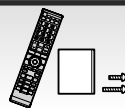
さらに便利に使いこなすボタン



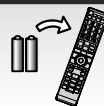
ご注意

- リモコンが正しく操作ができないときは、「困ったときは」P.207をご覧ください。
- 乾電池の入れかたについてくわしくは P.23 をご覧ください。
- ボタンを押すときは、真上から力を入れすぎないように押してください。
- リモコンは精密機器です。丁寧に扱ってください。

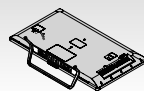
準備の流れ

準備1 付属品の確認

P.23

準備2 リモコンの準備

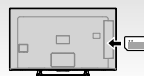
P.23

準備3 スタンドを取り付ける

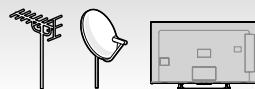
P.24

準備4 miniB-CASカードを入れる

デジタル放送を視聴するために必要です。



P.26

準備5 アンテナをつなぐ

P.28

必要により

必ず行う**レコーダーやAVアンプなどの外部機器をつなぐ**

お持ちの録画・再生機器を利用できます。



P.30

ネットワークに接続する

ネットワークに接続することで、さまざまな機能を楽しむことができます。



P.164

カセットHDDをつなぐ

カセットHDD（市販品）をつなぐと、録画時間をより増やすことができます。



P.146

準備6 電源を入れる

P.34

準備7 「かんたんセットアップ」をする

テレビを見るための基本的な設定がかんたんにできます。



P.35

準備1 ▶ 付属品の確認

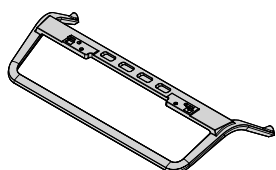
□の中に、チェックマーク(✓)を付けてすべての部品が正しく付属されているかをご確認ください。
欠品があるときは、お買い上げの販売店にご連絡ください。



※最初に本機と付属品のスタンドをスタンド取付用ネジで確実に取り付けてください。

本機とスタンドを取り付けないと製品が転倒し、けがの原因になります。また、テレビ台や床などが傷つくことがあります。取付方法は、「スタンドを取り付ける」[P.24]または付属品の『セットアップガイド』をご覧ください。

※スタンド……………1個



※スタンド取付用ネジ (M5 × 20 mm)……………4本



リモコン/1個
(C-H32)



miniB-CASカード/1枚
(台紙に貼り付けてあります。)

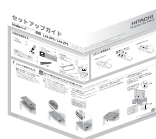


地上デジタル/BS・110度CS共用

取扱説明書/1冊



セットアップガイド/1枚



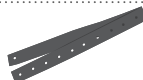
保証書/1冊

B-CASカードのご利用方法/1部

単4形乾電池/2本



転倒防止バンド/1本



テレビ側固定ネジ
(4×10mm, ワッシャー径φ14)/1本



テレビ台側固定ネジ
(3.5×20mm)/1本



結束バンド/1本

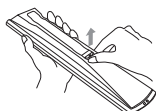


準備2 ▶ リモコンの準備

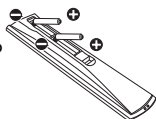
▷ 乾電池を入れる

単4形乾電池 R03 (UM-4) を2個使用

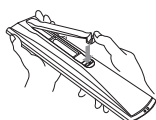
① 電池ふたをはずす



② ⊕ ⊖ を良く確かめて
⊖ 側から正しく入れる



③ 電池ふたをつける



⚠ 警告

電池および電池の入ったリモコンは、直射日光の当たるところや熱器具、直火のそばなど温度が上がる場所に置かない。

⚠ 注意

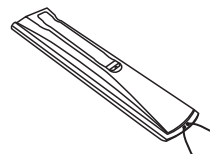
乾電池は⊖側から入れる

- 乾電池の寿命は約半年です。(ご使用の状態によって寿命が変わります。)
- リモコンが動作しなくなったり、操作できる距離が短くなったときは、2個とも新しい乾電池と交換してください。

▷ 吊りひもをつける

太さ2mm程度の丈夫なひもを用意してください。

図のように
丈夫なひもを通す



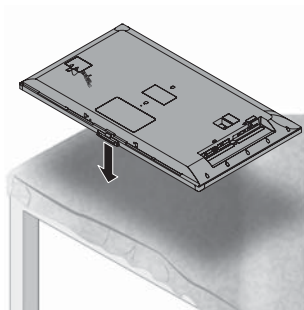
⚠ 注意

吊りひもを持って振り回さない
人に当たると、けがの原因になります。

準備3 ▶ スタンドを取り付ける

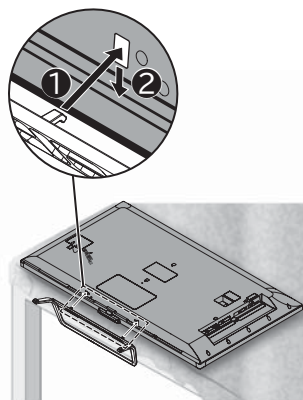
1

- 液晶パネル面を下にして、柔らかい布を敷いた平らなテーブルの上に置く
- 画面を傷つけないよう十分ご注意ください。
- テーブルは必ず安定した場所に置いてください。
- テーブルは必ず本機の重さに耐えることができ、本機より大きいものを使用してください。



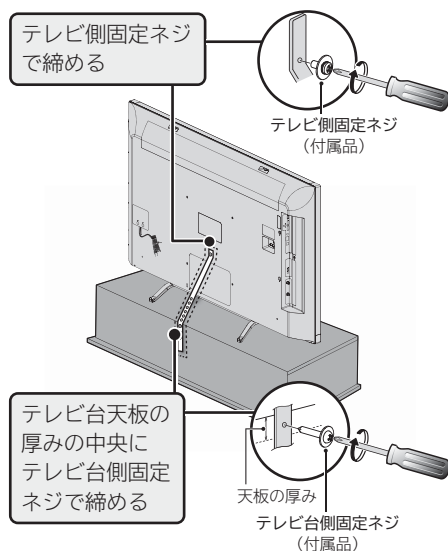
2

- **スタンドのフックを本機にはめ込む**
 - ① スタンドのフックを本体のフック用の穴に挿し込む。
 - ② スタンドを下方方向にずらしてフックを引っ掛ける。
- スタンドを手で持ち上げながらネジ止めすると、スタンドがずれて取り付けたり、スタンド取付用ネジがしっかりと締まらない恐れがあります。スタンドを持ち上げずに取り付けください。



5

- 本機を(大人2人以上で)持ち上げ、テレビ台などに設置する
- プラスドライバーと固定ネジを使って、転倒防止バンドで本機をテレビ台や家具などに取り付ける



お買い上げ時、スタンドは取りはずされている状態です。本機にスタンドを取り付ける際には、スタンドの前後が正しい方向となっているかどうか注意して取り付けてください。

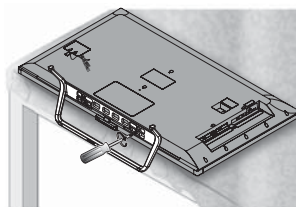
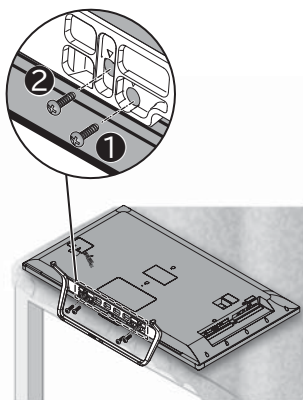
ご注意

- スタンドの取り付けは、必ず大人2人以上で作業を行ってください。
- スタンド取付ネジは、取扱説明書などと同じ袋に入っています。
- スタンド取付ネジをドライバーで締める際は、ネジに合ったドライバーをご使用ください。
- すべてのスタンド取付ネジがしっかりと締まっているか確認してください。スタンドが適切に取り付けられていなければ、本機の転倒や落下する原因となり、本機を傷つけるだけでなく、けがをする恐れがありますのでご注意ください。

- 3**
- スタンド取付用ネジでスタンドと上下のネジ穴を仮止めする
 - ① 最初にテレビ前面側のネジ(内側2か所)をまっすぐに締める。
 - ② 次にテレビ背面側のネジ(外側2か所)をまっすぐに締める。
- 4**
- プラスドライバーを使って、上下のスタンド取付用ネジをしっかりと締め付ける
 - スタンドにがたつきがないかを確認する

電動ドライバーを使う場合

締め付けトルクは
約 $1.0\text{N}\cdot\text{m}$ ($10\text{Kg}\cdot\text{cm}$)に
設定してください。



準備の流れ(つづき)

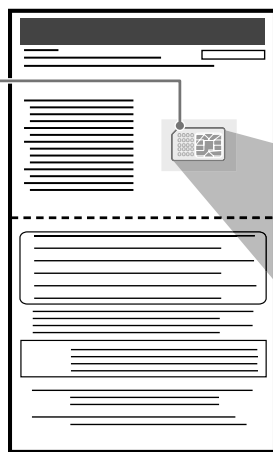
準備4 ▶ miniB-CASカードを入れる

miniB-CASカードについて

本機でデジタル放送を視聴いただくには、付属のminiB-CASカードが必要です。番組の著作権保護のため、miniB-CASカードを本機に挿入しないとデジタル放送を見ることができません。デジタル放送をご覧にならない場合でも、紛失防止のためにminiB-CASカードを本機に挿し込んでおくことをおすすめします。

▷ miniB-CASカードについて

miniB-CASカード
デジタル放送を見るために必要なカードです。



IC(集積回路)
金属端子部には手を触れないようにしてください。

miniB-CASカード番号

ご注意

- 折り曲げたり、変形させたりしないでください。
- 分解や加工をしないでください。
- 重いものをのせたり、踏みつけたりしないでください。
- IC(集積回路)部には、手を触れないでください。
- 本機を使用中はminiB-CASカードを抜き挿ししないでください。デジタル放送の視聴や録画ができなくなります。
- miniB-CASカードにはIC(集積回路)が組込まれているため、画面にminiB-CASカードに関するメッセージが表示されたとき以外は、抜き挿しをしないでください。
- 裏向きや逆方向から挿入しないでください。挿入方向を間違えるとminiB-CASカードは機能しません。また、取り出せなくなったり、破損したりする場合がありますのでご注意ください。
- miniB-CASカードの抜き挿しは、必ず本機の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。
- miniB-CASカード挿入口に、miniB-CASカード以外のものを入れないでください。
- お客様の責任でminiB-CASカードを破損したり紛失したりした場合は、再発行費用が請求されます。

お知らせ

- 付属のminiB-CASカードの台紙に記載されている文面をよくお読みください。
- miniB-CASカードに個人情報を書き込まれることはありません。
- miniB-CASカードはデジタル放送を視聴していただくために、お客様に貸与された大切なカードです。破損したり紛失したりした場合は、ただちに下記のカスタマーセンターにご連絡ください。
- miniB-CASカードについてのお問い合わせ先(2017年8月現在)
(株)ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズ カスタマーセンター
TEL 0570-000-250(IP電話からの場合は045-680-2868)
受付時間 10:00~20:00(年中無休)
<http://www.b-cas.co.jp/>

miniB-CASカードの入れかた

miniB-CASカードを入れただけでは、有料放送の契約料・受信料などを課せられることはありません。

1 電源プラグをコンセントに挿していないことを確認する

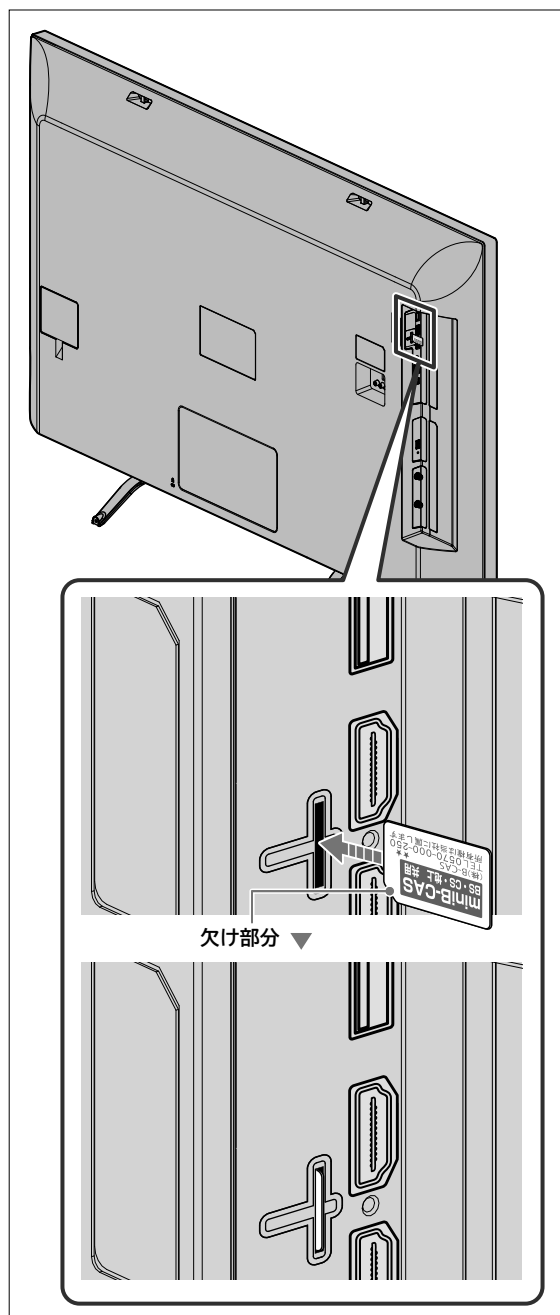
- miniB-CASカードを挿すときは、必ず電源が切れている状態で行ってください。

2 miniB-CASカードの欠けている部分を下にして、まっすぐ挿入する

- カチッとハマるまで押し込んでください。
- カードは一部分が見えた状態となります。

■ miniB-CASカードを抜くとき

- 万一、miniB-CASカードを抜く必要があるときは、本機の電源コードをコンセントから抜いたあと、miniB-CASカードを一度奥に押し、カチッと音がしてロックが解除されたら、ゆっくりminiB-CASカードを抜いてください。



警告

miniB-CASカードは幼児の手の届くところに放置しないでください。
万一、お子様が飲み込んだ場合は、ただちに医師にご相談ください。

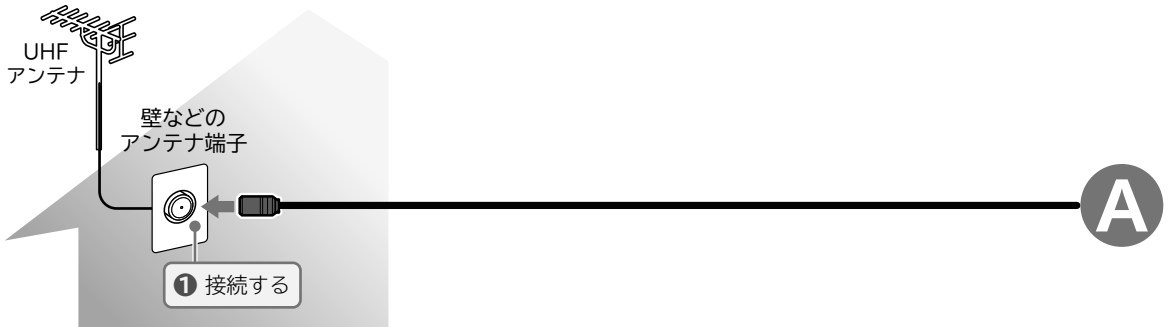
準備の流れ(つづき)

準備5 ▶ アンテナをつなぐ

■本機はデジタル回路を多く内蔵していますので、きれいな映像でご覧いただくためにはアンテナの接続が重要です。ご自宅のアンテナやチューナーに合わせて接続してください。

地上デジタル放送用アンテナ端子をつなぐ

UHFアンテナは、地上デジタル放送対応のアンテナをおすすめします。また、ご使用中のUHFアンテナでも一部の地上デジタル放送を受信できる場合があります。くわしくはお買い上げの販売店にご相談ください。

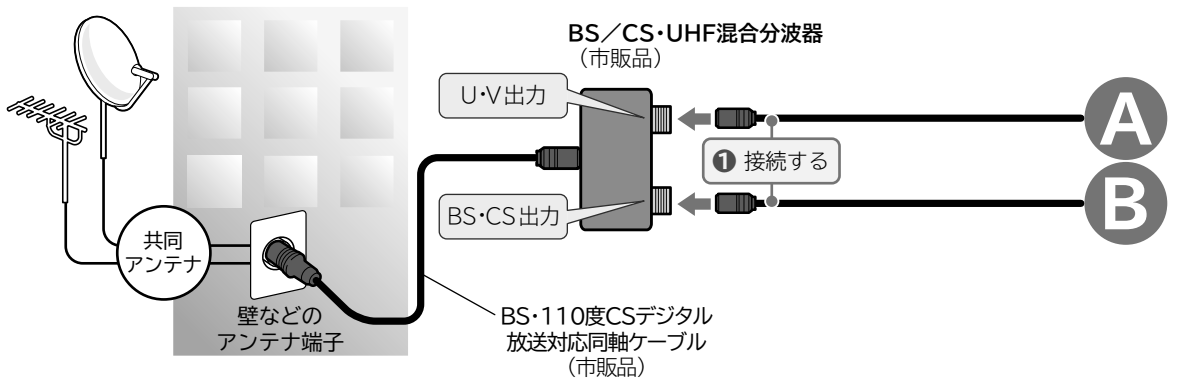


BS・110度CSデジタル放送用アンテナ端子をつなぐ

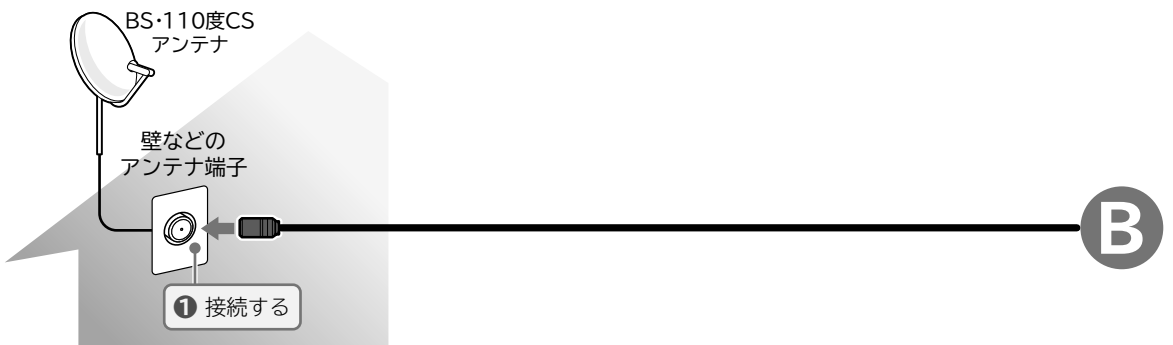
地上デジタル放送とBS・110度CSデジタル放送のアンテナ端子が1つのときと、アンテナ端子が別々のときで接続方法が異なります。ご自宅のアンテナ端子に合わせて接続してください。

▷ アンテナ端子が1つのときは

マンションなどの共同アンテナで、地上デジタル放送とBS・110度CSデジタル放送の信号が混合で出力される壁からのアンテナ端子が1つの場合は、分波器を使って地上デジタル放送の信号とBS・110度CSデジタル放送の信号を分けてください。



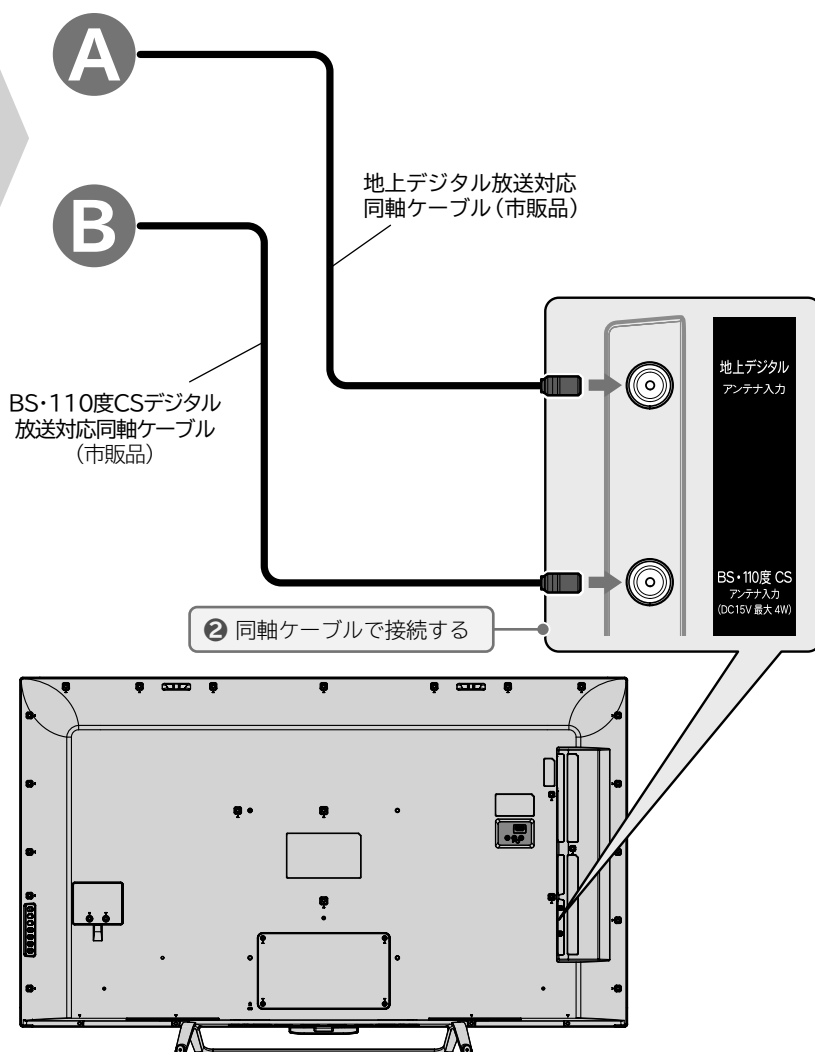
▷ アンテナ端子が別々のときは



ご注意

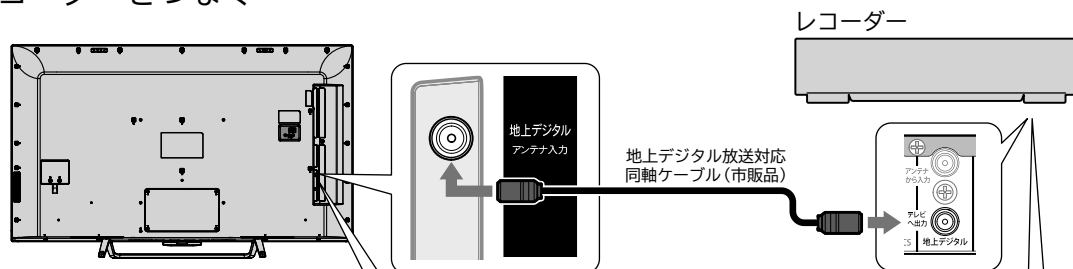
- BSアンテナに電源を供給する場合はアンテナ電源設定を行ってください。
電源設定を正しく行わないと、受信ができないことがあります。P.181

アンテナ
ケーブルを
同じ記号に
つないでく
ださい

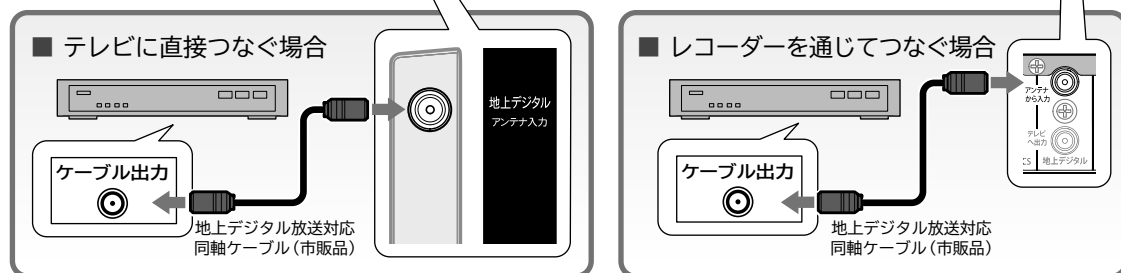


レコーダーまたはCATV(ケーブルテレビ)チューナーをアンテナでつなぐ

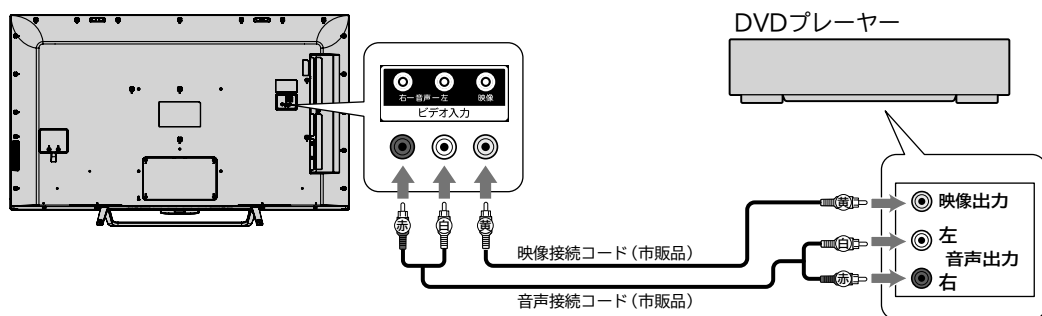
レコーダーをつなぐ



CATVチューナーをつなぐ



DVDプレーヤーとつなぐ



お知らせ

- 映像端子との接続では、最適な画面モードが自動選択されない場合があります。この場合は「ワイド切換」P.52でお好みの画面モードを選んでください。
- つないだ機器で見るときは、入力切換で「ビデオ」を選んでください。

ご注意

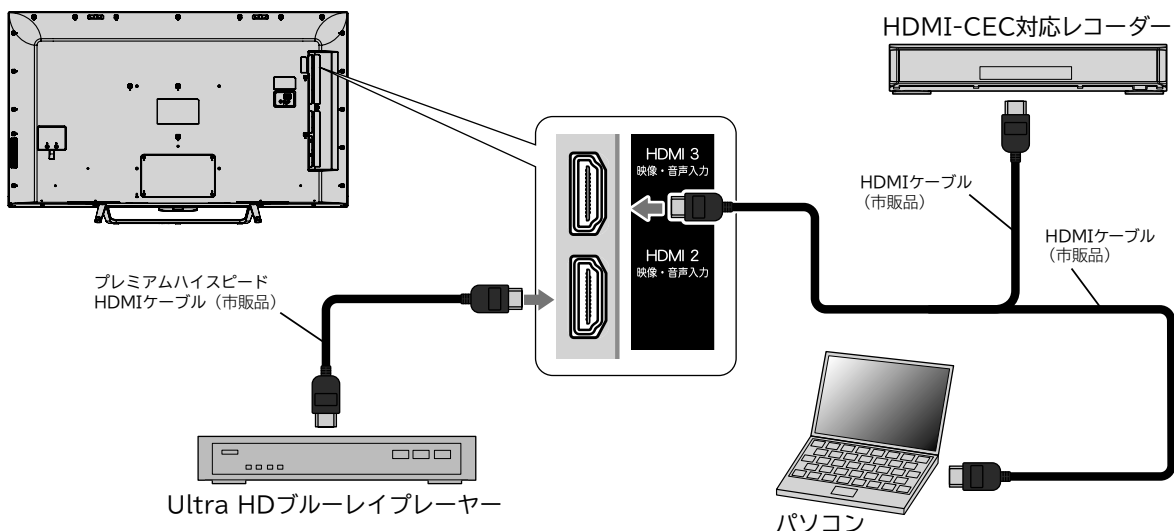
- 映像信号ケーブルと音声信号ケーブルは、束ねてご使用ください。
- DVDプレーヤーの接続や操作について、くわしくは機器に付属の取扱説明書をご覧ください。
- DVDプレーヤー側のテレビ画面モードの設定を16:9にしてください。
- 4:3(レターボックス、パンスキャン)に設定されていると適正な画面モードで見ることができません。

HDMI機器と接続する

映像・音声信号を1本のケーブルでつなぐことができます。

また、HDMI-CEC (Consumer Electronics Control) 規格に準拠した機器に HDMI ケーブルで接続することにより、相互連動動作を可能にします。くわしくは「HDMI-CEC 対応機器を操作する」P.144 をご覧ください。

例：HDMI-CEC 対応レコーダーやパソコンを HDMI 入力端子に接続する



お知らせ

- 対応している映像信号
480i、480p、720p、1080i、1080p 24Hz/30Hz/59.94Hz/60Hz、2160p 24Hz/30Hz/59.94Hz/60Hz
- 対応している音声信号
種類：リニアPCM、ドルビーデジタル、ドルビーデジタルプラス サンプル周波数：48kHz/44.1kHz/32kHz
- HDMI対応機器の映像や音声を楽しむときは、入力切替で「HDMI 1～3」を選んでください。
- 非対応の信号を入力すると、映像が出なかったり映像が乱れたりすることがあります。
- HDMI端子付きパソコンを接続するときは、HDMI規格に適合した信号が出力されるようパソコンを設定のうえご使用ください。
- HDMI入力が正しく映らない場合は、「ホーム」→「設定／お知らせ」→「機能設定」→「その他の設定」→「HDMI入力信号設定」で接続しているHDMIを選んで、映像に合った設定にしてください。P.185

ご注意

- HDMIケーブルはHDMI規格認証されたハイスピードHDMIケーブルをご使用ください。
- Ultra HDブルーレイプレーヤーなどで4K映像や4K/HDR映像を視聴する場合は、プレミアムハイスピードHDMIケーブルをご使用ください。
- HDMI対応機器の接続や操作については、その機器の取扱説明書をご覧ください。また、HDMI-CEC対応機器は製品毎に接続方法や動作が異なりますので機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。
- 本機のHDMI入力端子は、すべてのパソコンへの接続を保証するものではありません。
- パソコンの対応解像度など、くわしくはパソコンの取扱説明書を御覧ください。

ARC対応のAVアンプとつなぐ

▷ ARC(オーディオリターンチャンネル)について

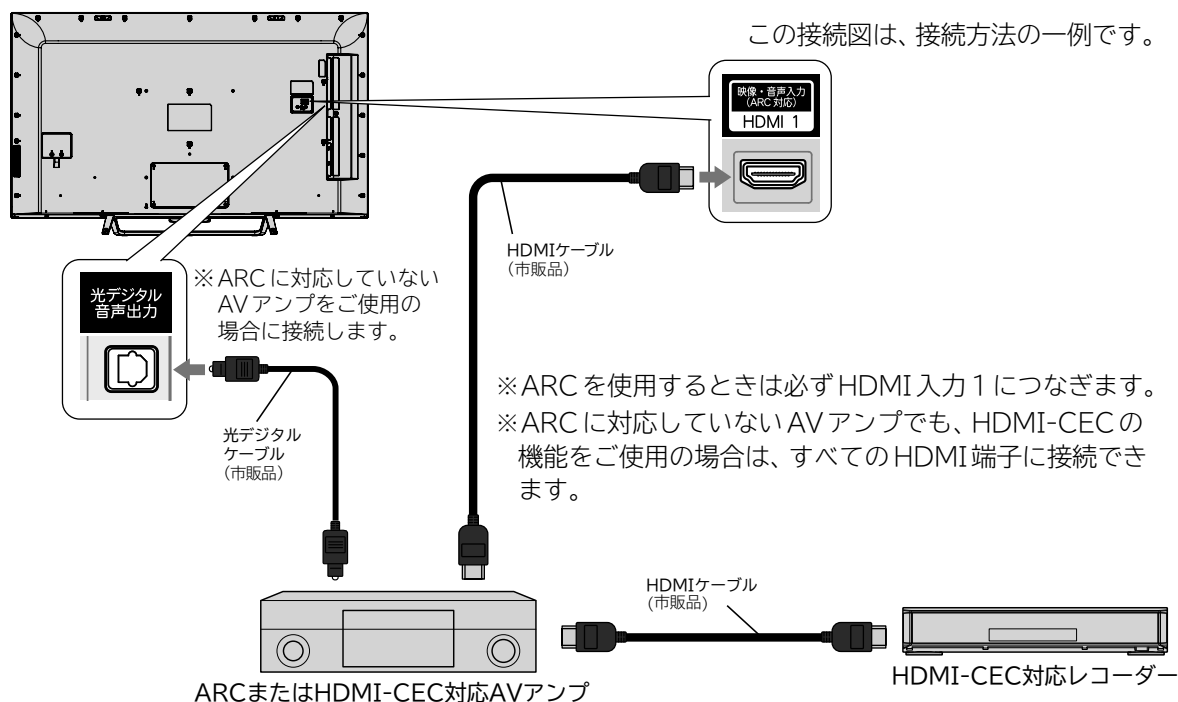
テレビとAVアンプをHDMIケーブル1本で接続して、映像と音声のテレビへの入力とデジタル音声のテレビからの出力が可能で、従来必要だった光デジタルケーブルが不要になります。テレビもAVアンプもARCに対応している必要があります。

例：ARCまたはHDMI-CEC対応AVアンプをHDMI1入力に接続する

本機のリモコンで、HDMI-CECに対応したAVアンプの音量調節ができます。P.145 接続後は、下記の設定をする必要があります。

- 「リンク制御」P.163 を「入」に設定する。
- デジタル音声(光)出力接続時は、接続先に合わせて「デジタル音声出力」P.155 を設定する。
- 「スピーカー出力」を「外部音声機器」に設定する。P.155

また、本機はHDMI入力1のみARC(オーディオリターンチャンネル)に対応しています。

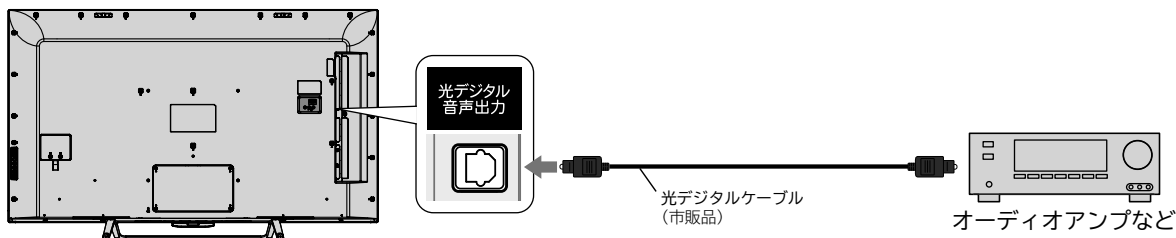


ご注意

- HDMI-CEC対応AVアンプをつないだときは、レコーダーなど周辺機器はAVアンプと接続してください。周辺機器からのサラウンドやデジタル音声出力でお聞きになれます。
- AVアンプにHDMI-CEC対応機器をつなぐときは、AVアンプの電源が「切」になっているとHDMI-CEC機能が使えない場合があります。「入」や「スタンバイ」にしてください。
- HDMI-CEC対応AVアンプをつないだときは、デジタル音声(光)出力もAVアンプと接続してください。(ARC対応のAVアンプでARCを使用するときは接続不要です。)AVアンプに電源が入っているとき、本機の音声が消音される場合がありますのでAVアンプで本機の音声を聞けるようにします。この場合でもリモコンの消音ボタンで消音になります。
- ARCを使用するためには、ARC対応のAVアンプが必要です。また、AVアンプ側の設定が必要な場合があります。
- ARCを使用するときは必ず、HDMI入力1につないでください。本機とつなぐHDMIケーブルのAVアンプ側はHDMI出力に接続してください。
- テレビに映像を映すために、AVアンプ側の設定が必要な場合があります。
- 製品毎に接続方法や動作が異なりますので、接続する外部機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。

デジタル音声(光)入力対応のオーディオ機器との接続

デジタル音声(光)入力端子を持つオーディオ機器を接続すると、デジタル音声で聞いたり録音したりすることができます。マルチチャンネル対応のオーディオ機器では、デジタル放送のサラウンドを迫力ある音声で楽しむことができます。接続後は、接続先に合わせて「デジタル音声出力」P.155の設定が必要です。



お知らせ

- 接続できるオーディオ機器は、ビットストリームまたはPCMに対応したアンプやMDなどで、デジタル音声(光)入力端子を持つ機器です。
- PCMとは、Pulse Code Modulation の略称でCDなどで使われている2chのデジタル信号です。
- 外部オーディオアンプを使って音声を聞くとときは、テレビの音量を「0」にするか、「スピーカー出力」P.155を「外部音声機器」にしてください。

ご注意

- 接続前にテレビとオーディオ機器の電源を必ず切ってください。
- 接続するオーディオ機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。

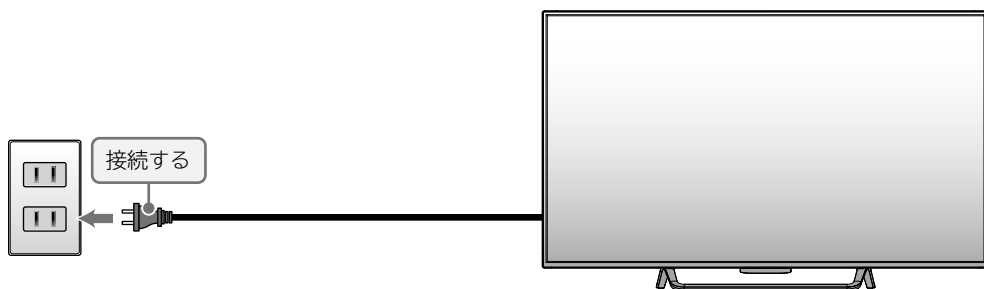
準備の流れ(つづき)

準備6 ▶ 電源を入れる

電源プラグを挿し込む

- 電源プラグを交流(AC) 100Vのコンセントに挿し込むと、本機が通電状態になります。

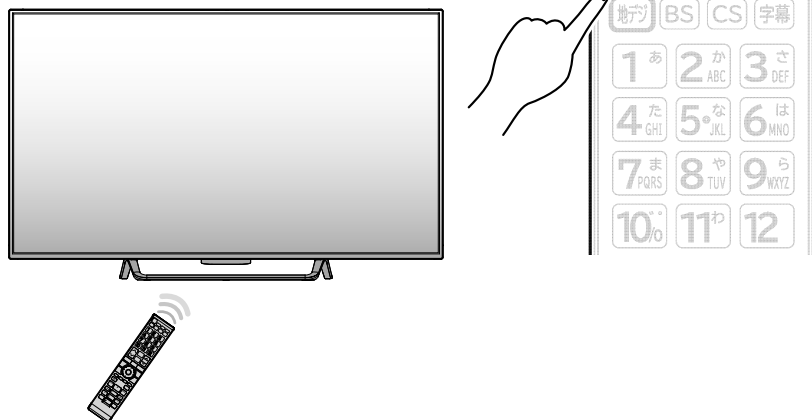
電源プラグは容易に手が届く場所のコンセントに挿し込んでください。



本機の電源を入れる

- 「かんたんセットアップ」の開始画面が表示されるので、続けて「かんたんセットアップをする」P.35～P.41をご覧のうえ、本機の設定を完了させてください。

電源ボタンを押す



お知らせ

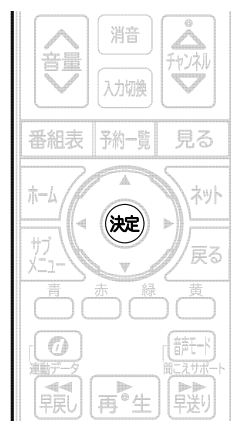
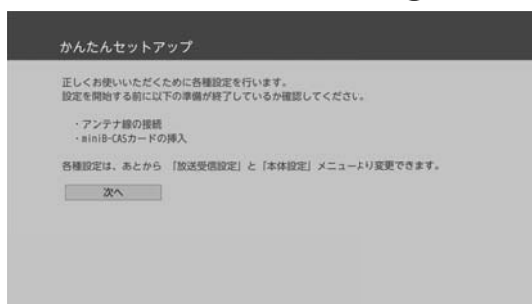
- 電源を入れた際、起動に時間がかかる場合がありますが、これは内部システムによる仕様のため、故障ではありません。
- 「高速起動」が「切」の場合、電源を切ったあと約20秒間(スタンバイ/受像ランプが緑・赤交互点灯中)は電源が入りません。くわしくは P.18、P.209 をご覧ください。「高速起動」を「入」P.186 にすると、いつでも電源を入れることができます。
- 本機のリモコン受光部の位置については P.17 をご覧ください。
- リモコンの準備のしかたについては P.23 をご覧ください。

準備7 ▶ かんたんセットアップをする

接続が終わって初めて本機の電源を入れたときは、テレビ画面に「かんたんセットアップ」の開始画面が表示されます。画面の案内やガイドに従って最後まで設定してください。

- 「かんたんセットアップ」は、必ずアンテナが接続された状態で放送のある時間帯に行ってください。チャンネルが飛ばされるように設定され、視聴可能なチャンネルが選べなくなります。
- 「かんたんセットアップ」実行中は、電源コードを抜いたり電源を切ったりしないでください。
- 転居でお住まいの地域が変わったときなど、「かんたんセットアップ」をやり直したいときは **P.175** ▶ をご覧ください。

1 画面に表示されている準備が完了していることを確認し、「次へ」が選ばれているので **決定** を押す



- 確認画面が表示され、「かんたんセットアップを開始する」が選ばれているので、そのまま **決定** を押してください。
- 「かんたんセットアップ」の開始画面が表示されない場合は、「かんたんセットアップで再設定する」 **P.175** ▶ の手順を行ってください。

2 アンテナが本機と接続されていること、miniB-CASカードが挿入されていることを確認してから、「次へ」が選ばれているので **決定** を押す

- 本機側面の地上デジタル入力端子と壁などのアンテナ端子を、市販品の地上デジタル放送対応同軸ケーブルであらかじめ接続しておいてください。くわしくは **P.28** ▶ をご覧ください。
- miniB-CASカードの欠けている部分を下にして、miniB-CASカード挿入口にまっすぐ押し込み、「カチッ」と音がするまで奥へしっかりと押し込んでください。くわしくは **P.27** ▶ をご覧ください。
- **決定** を押してもエラーメッセージが表示される場合は、「閉じる」が選ばれているので **決定** を押して、もう一度miniB-CASカードが正しく挿入されているか確認のうえ、手順2をやり直してください。

▷ アンテナ線の接続のしかたについては

P.28 ▶ をご覧ください。

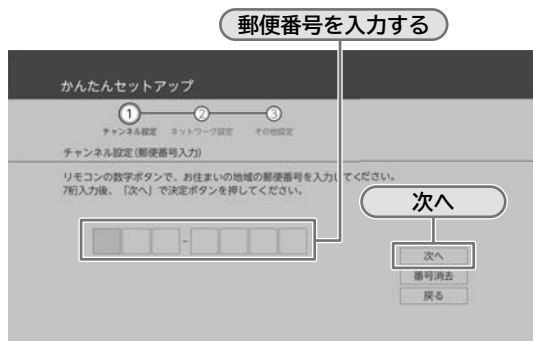
▷ miniB-CASカードの入れかたについては

P.27 ▶ をご覧ください。

準備の流れ(つづき)

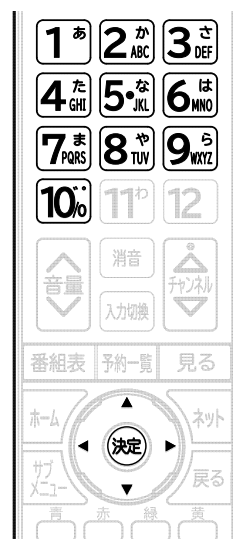
■地域設定

3 1* ~ 10% で、お住まいの地域の郵便番号を入力し、「次へ」が選ばれている状態で(決定)を押す



▷ 入力を間違えたときは

- ▲・▼で「番号消去」選んで(決定)を押して、一括消去するか、
- ▲・▼・◀・▶で戻って入力し直してください。



4 お住まいの県域を▲・▼で選んで(決定)を押す



- 伊豆、小笠原諸島地域は、「東京都(島部)」を選びます。
- 南西諸島鹿児島県地域は、「鹿児島県(島部)」を選びます。

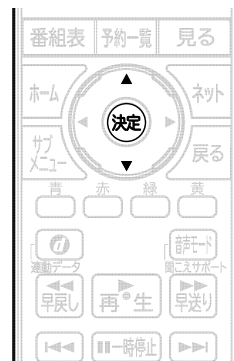
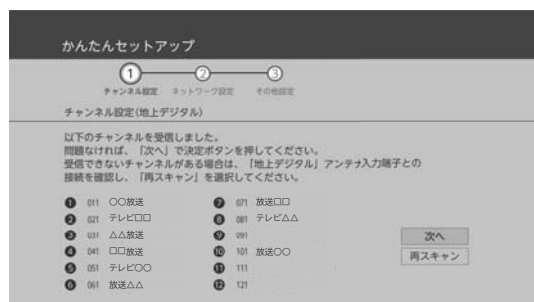
■地上デジタル設定

5 地上デジタル放送チャンネルスキンの種類を▲・▼で選んで(決定)を押す



- 「はい」を選んで(決定)を押すと地上デジタル放送チャンネルのスキニングが始まります。
- 「いいえ」を選んで(決定)を押すと地上デジタル放送チャンネルのスキニングを行いません。手順7に進んでください。
- スキニングが終わると、受信されたチャンネルは自動的にリモコンの数字ボタンに割り当てられ、確認画面に結果が表示されます。

6 「次へ」が選ばれている状態で**決定**を押す



「登録できるチャンネルが見つかりませんでした。再度アンテナ線の接続をご確認ください。」が表示されたときは

アンテナ⇄本機の接続をご確認後、「了解」を押して、▲・▼で「再スキャン」を選んで**決定**を押してください。再度、地上デジタル設定が始まります。

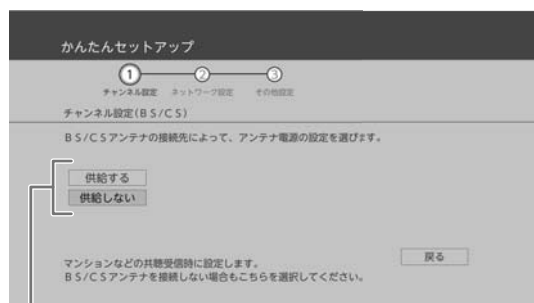
ご注意

- 地上デジタル放送が受信できない、または受信できないチャンネルがある場合は、「地上デジタル放送が映らない。」P.211をご覧ください。

■BS/CSデジタル設定

BS・110度CSデジタル放送用アンテナで放送を受信するには、アンテナへの電源供給が必要です。アンテナの接続環境に合わせて設定してください。

7 アンテナに電源を供給するかしらないかを▲・▼で選んで**決定**を押す



▲・▼で選ぶ

供給する	本機とアンテナを直接つなぎ、他の機器などから電源を供給していない場合は、こちらを選択してください。おもに、一戸建て住宅などで受信するときに設定します。
供給しない	他の機器から電源を供給している場合や、CATVなどで受信しているとき、また、BS・110度CSデジタル放送用アンテナを接続しない場合もこちらを選択してください。おもに、マンションなどの共聴受信時に設定します。

ご注意

- 「BS/CSデジタル設定」の「アンテナ電源」の設定を「供給する」にしたときは、本機の電源プラグを常にコンセントに挿し込んで(通電状態にして)おいてください。
- BS・110度CSデジタル放送用アンテナのアンテナ線がショートすると、「アンテナ電源」の設定が自動的に「供給しない」に切り換わることがあります。
- アンテナの設置や工事、アンテナやアンテナ線などの修理については、お買い上げの販売店にご相談ください。

お知らせ

- アンテナレベルを確認する場合は、かんたんセットアップを終えたあと、「デジタル放送の受信状態を確認する」を行ってください。P.180
- 1台のBS・110度CSデジタル放送用アンテナを複数の機器で共用しているときは、アンテナ(ケーブル)を最初に接続している機器からアンテナ電源を供給してください。

8 ▲・▼でBS・CSデジタル放送を受信・取得するか しないかを選んで(決定)を押す

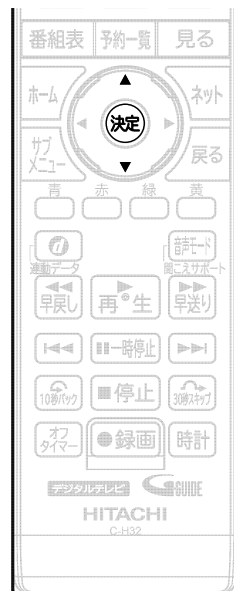


受信・取得： BS・CSデジタル放送の情報取得を行います。
取得しない： BS・CSデジタル放送の情報取得を行いません。

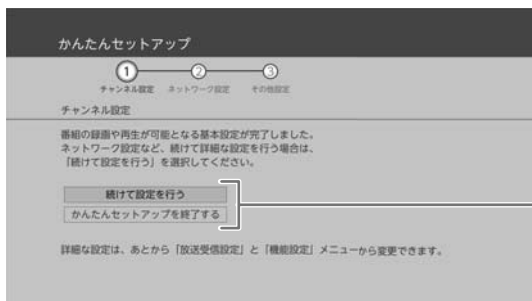
- 「受信・取得」を選ぶと、情報取得が始まります。
(情報取得が完了するまで数十秒程かかることがあります。)
- 「取得しない」を選ぶと、情報取得がスキップされます。

▷「情報を取得できませんでした。」が表示されたときは

「閉じる」が選ばれているので(決定)を押して、アンテナ⇄本機の接続をご確認後、▲・▼で「受信・取得」を選んで(決定)を押してください。再度、情報取得が始まります。



9 ▲・▼で続けて設定を行うか、かんたんセットアップを 終了するかを選んで(決定)を押す



続けて設定を行う：

ネットワーク設定やその他設定の、さらに詳細な設定を続ける場合はこちらを選択してください。

かんたんセットアップを終了する：

かんたんセットアップを終了する場合はこちらを選択してください。

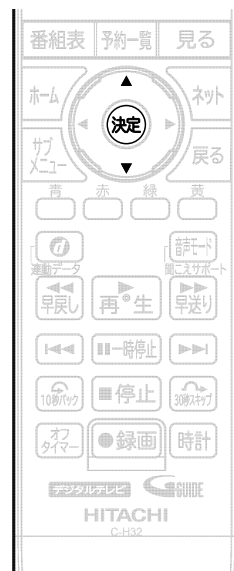
- 「続けて設定を行う」を選ぶと詳細設定の画面が表示されますので、手順10に進んでください。
- 「かんたんセットアップを終了する」を選ぶとメッセージが表示されます。「完了」が選ばれているので(決定)を押すと、「かんたんセットアップ」が完了します。

■ネットワーク設定

ネットサービスを利用するには、ネットワーク設定が必要です。
ネットワーク環境に合わせて設定してください。

10 ▲・▼でネットワークを設定するかしないかを選んで**決定**を押す

- 「ネットワーク設定を行う」を選んだ場合は、手順 11 に進んでください。
- 「ネットワーク設定をせず、次へ」を選んだ場合は手順 12 「テレビの設置設定」**P.41**に進んでください。
- 「インターネット接続に成功しました。」以外の結果画面が表示された場合は、画面のメッセージに従って再設定を行ってください。



11 ▲・▼で「有線LAN」または「無線LAN」を選んで**決定**を押す

- ネットワークの接続方法についてくわしくは**P.164**をご覧ください。
- 「有線LAN」を選んだ場合は、「有線LANを設定する」をご覧ください。
- 「無線LAN」を選んだ場合は、「無線LANを設定する」をご覧ください。
- 「有線LAN」と「無線LAN」は同時に利用できません。
- 「設定せず、次へ」を選んだ場合は、手順 12 「テレビの設置設定」**P.41**に進んでください。

有線LANを設定する

- 「ネットワーク設定」の各項目を自動で設定し、自動的にネットワークの接続テストを開始します。接続テストが終わると確認画面が表示されます。▲・▼で「次へ」を選んで**決定**を押して、手順 12 「テレビの設置設定」**P.41**に進んでください。
- 「インターネット接続に成功しました。」以外の結果画面が表示された場合は、画面のメッセージに従ってもう一度設定を行ってください。

無線LANを設定する

- 無線LANをお使いになるときは、セキュリティなどで暗号化してお使いください。暗号化していないと、第三者に不正アクセスされ、情報漏えいの恐れがあります。

▲・▼で設定する環境を選んで**決定**を押す

▷ 「かんたん接続(プッシュボタン)」を選んだときは

プッシュボタン方式で、かんたんに無線LANを設定できます。

① 画面の指示に従って、無線LANアクセスポイントのWPSボタンを押す

② ▲・▼で「接続」を選んで**決定**を押す

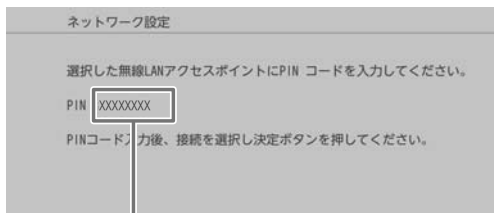
- 自動的に各項目が設定され、無線LANの設定が完了します。設定が完了すると、確認画面が表示されます。
▲・▼で「次へ」を選んで**決定**を押して、手順 12 「テレビの設置設定」**P.41**に進んでください。
- 「インターネット接続に成功しました。」以外の結果画面が表示された場合は、画面のメッセージに従ってもう一度設定を行ってください。

準備の流れ(つづき)

▷「かんたん接続(PINコード)」を選んだときは

PINコード方式でかんたんに無線LANを設定できます。

- ① 検出された無線LANアクセスポイントから、本機の接続先を▲・▼で選んで(決定)を押す
- ② 表示されたPINコードを無線LANアクセスポイントやパソコンに入力する



この数字をアクセスポイントに入力する

③ ▲・▼で「接続」を選んで(決定)を押す

- PINコードの入力のしかたは、お使いの機器に付属の取扱説明書をお読みください。
- 自動的に各項目が設定され、無線LANの設定が完了します。設定が完了すると、確認画面が表示されます。▲・▼で「次へ」を選んで(決定)を押し、手順12「テレビの設置設定」P.41に進んでください。

▷「無線LAN自動検出」を選んだときは

本機が利用可能な無線LANアクセスポイントを検出して、設定します。

- ① 検出された無線LANアクセスポイントから、本機の接続先を▲・▼で選んで(決定)を押す
- ② 暗号化キーを入力する



① 青で「半英小(小文字)」※1「半英大(大文字)」※2半数※3を選ぶ

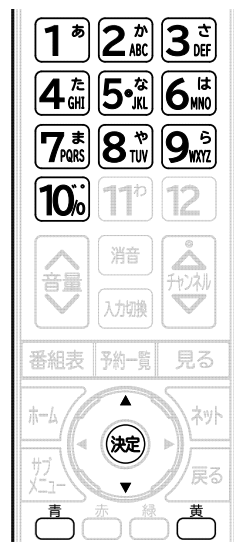
② 1* ~ 10% で文字(数字/記号)を入力する

- ①~②を繰り返して入力します。
- 間違えたときは黄を押して、入力し直してください。

※1 半角英字の小文字、※2 半角英字の大文字、※3 半角数字

③ 入力が終わったら、(決定)を押す

- 自動的にネットワークの接続テストを開始します。接続テストが終わると確認画面が表示されます。▲・▼で「次へ」を選んで(決定)を押し、手順12「テレビの設置設定」P.41に進んでください。
- 「インターネット接続に成功しました。」以外の結果画面が表示された場合は、画面のメッセージに従って再設定を行ってください。



お知らせ

- 2.4GHz帯の機器(電子レンジなど)をお使いの場合は、無線LANの通信が途切れることがあります。
- 5GHz帯に対応した無線LANルーター(アクセスポイント)をお使いの場合は、5GHz帯でのご使用をおすすめします。
- 無線LANの通信状態が良くない場合は、無線LANルーター(アクセスポイント)の位置などを変更すると、通信状態が改善されることがあります。
- すべての無線LANルーター(アクセスポイント)での接続を保証するものではありません。

■テレビの設置設定

本機の設置方法によって設定を変更してください。

12 テレビの設置設定を▲・▼で選んで(決定)を押す



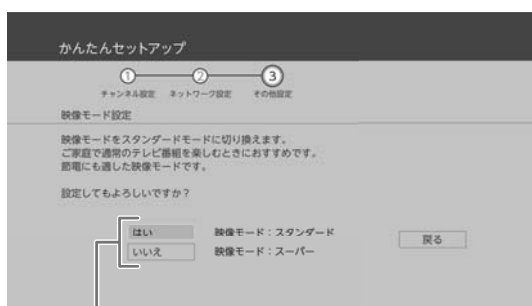
▲・▼で選ぶ

テレビスタンド	本機をテレビスタンドで設置した場合は、こちらを選択してください。
壁掛け	本機を壁掛けユニットで設置した場合は、こちらを選択してください。

■映像モード設定

映像モード設定を切り換えると、ご家庭での視聴に適した消費電力の少ない画質になります。

13 映像モード設定をするかしないかを▲・▼で選んで(決定)を押す



▲・▼で選ぶ

お知らせ

- この手順で映像モード設定を切り換えずに、かんたんセットアップ完了後、「ホーム」→「設定／お知らせ」→「機能設定」→「画質設定」→「映像モード」で切り換えることもできます。P.149▶

▷画面の明るさを調整するには

「ホーム」→「設定／お知らせ」→「機能設定」→「画質設定」→「バックライト調整」→「バックライト」でお好みの画質(明るさ)に調整することができます。画面を暗くすると、消費電力の節約になります。P.149▶

■完了

14 「完了」が選ばれているので、そのまま(決定)を押す

- 「かんたんセットアップ」が完了します。
かんたんセットアップを完了すると、地上デジタル放送に切り換わります。
地上デジタル放送を受信していない場合は、映像が映りませんが、故障ではありません。
このようなときは、「困ったときは」P.207▶をお読みになり、症状をご確認ください。

▷テレビの見かたについて

「デジタル放送を見る(地上・BS・110度CSデジタル)」P.42▶をご覧ください。

▷お好みの数字ボタンにお好みの放送を割り当てるには

「数字ボタンのチャンネルを追加・変更する」P.178▶をご覧ください。



デジタル放送を見る

デジタル放送を見る(地上・BS・110度CSデジタル)

1 電源を押して電源を入れる

- 本機のスタンバイ / 受像ランプが緑色に点灯します。
(通電状態のときに使えます。)

2 音量調節ボタンで音量を調節する

- 本機側面の音量+/-ボタンでも調節できます。
- スピーカーとヘッドホンの音量は、それぞれ0から60まで別々に調節することができます。P.59
- 大きすぎたり小さすぎたりする音量を「自動音量補正」P.154で自動調節すると、いつも安定した音量で視聴できます。

3 地上、BS、CSのいずれかを押して、視聴したいデジタル放送の種類を選ぶ

4 チャンネルを選ぶ

- 数字ボタンに設定する放送チャンネルを追加したり変更したりする場合は、「数字ボタンのチャンネルを追加・変更する」P.178をご覧ください。

リモコンのボタンに設定されているチャンネルを選ぶ

数字ボタンを押す

3桁のチャンネル番号を入力して選ぶ

電源ボタンを押したあと、数字ボタンで3桁入力する

例：103チャンネルを選ぶとき

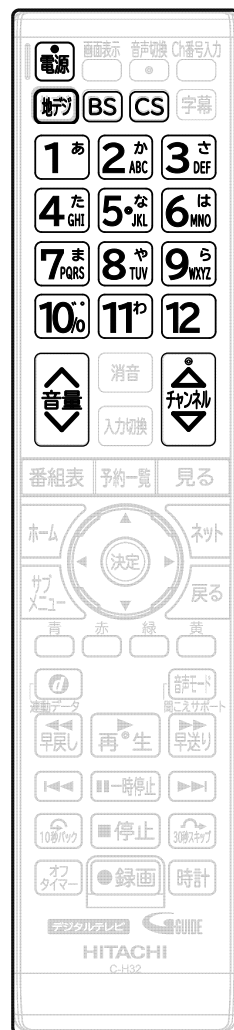
1 → 0 → 3

「0」を入力するときは 0 を押します。

チャンネルを順送り／逆送りで選ぶ

チャンネル順送り／逆送りボタンを押す

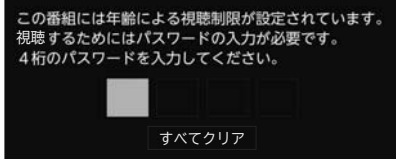
- 本機側面のチャンネル+/-ボタンでも選べます。
- 視聴しないチャンネルを飛び越し(スキップ)できます。P.179
- 複数チャンネルが同じ番組を放送している場合は、自動的にスキップします。



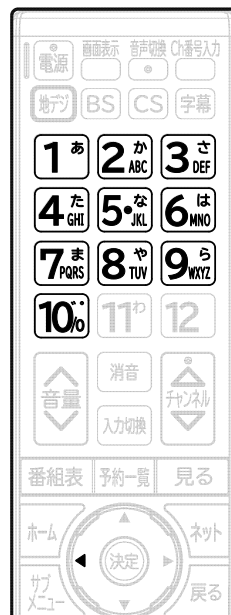
視聴年齢制限を一時的に解除するとき

「視聴年齢制限」P.159▶で設定した年齢以上の制限がかかった番組を見たいときは、暗証番号の入力が必要です。

1* ~ 10% で4桁の暗証番号を入力する



- 入力した数字は「*」で表示されます。
- 「0」を入力するときは「10%」を押します。
- 間違えたときは◀を押して、1文字消すことができます。
視聴制限が解除され、番組を見ることができます。



お知らせ

- 電源を入れた際、起動に時間がかかる場合がありますが、これは内部システムによる仕様のため、故障ではありません。
- 電源ボタンで「切」にすると待機状態になります。一部の回路が通電しています。
- 暗証番号を登録して視聴年齢制限 P.159▶を設定している場合は、視聴年齢制限の対象番組を選んだときに、暗証番号入力画面が表示されます。
- 地上アナログ放送で受信できた放送局が地上デジタル放送では受信可能エリアが異なり受信できないことがあります。受信状況(受信レベル)の確認ができます。P.180▶

ご注意

- 携帯電話や無線機などをご使用になるときは本機や接続機器に近づけないでください。音声に異音が入ったり、本機にノイズが出たりする場合があります。異音が出たり、本機にノイズが出たりした場合には、携帯電話などを離してご使用ください。
- 地上デジタル放送が受信できない、または受信できないチャンネルがある場合は、「困ったときは」P.211▶をご覧ください。

デジタル放送を見る(つづき)

データ放送を見る

デジタル放送には、テレビ放送、BSラジオ放送、データ放送の分類があります。データ放送では、画面を見ながらボタンで操作して、お好みの情報を見ることができます。データ放送には、連動データ放送と独立データ放送があります。



テレビ放送に連動したデータ放送を見る

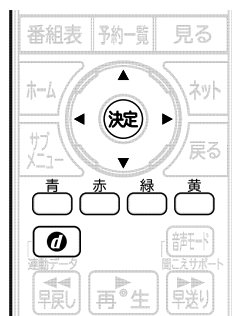
番組によっては、テレビ放送やBSラジオ放送の内容に合わせた情報をデータ放送で提供されることがあります。またデータ放送を利用して、視聴者がリモコンを操作して番組に参加できるテレビ放送などもあります。P.206▶

1 デジタル放送を見ているときに  を押す


- 番組に連動しているデータ放送が表示されます。

2 画面の指示に従って、リモコンで操作する

- 4種類の色ボタン(青、赤、緑、黄)や▲・▼・◀・▶、 を使って操作してください。それ以外のボタン操作が必要な場合があります。
- 連動データ放送を見ているときに  をもう一度押すと、テレビ放送またはBSラジオ放送に戻ります。




お知らせ

- 番組によってはテレビ放送やBSラジオ放送に連動した情報が、自動的にデータ放送に切り換わって表示されることがあります。
- 電話回線のみで通信が行われるデータ放送には、対応していません。くわしくは放送事業者へお問い合わせください。
- データ取得中などでデータ放送画面がすぐに表示できないとき、画面左下に「データ取得中」が表示されます。表示が消えたら、再度  を押してください。

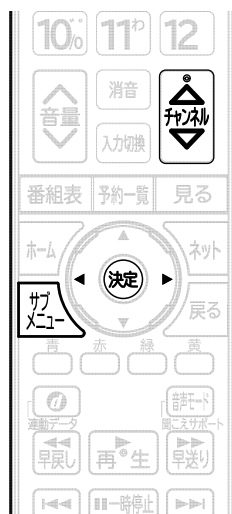
サービスを切り換える(独立データ放送を見る)

1 デジタル放送を見ているときに  を押す2 ▲・▼で「サービス切換」を選んで  を押す

- サービスが切り換わります。切り換わるサービスの種類は、デジタル放送の種類によって異なります。

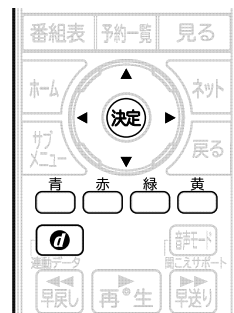
3  を押して、チャンネルを選ぶ

- 番組表 P.65▶ から選局したり、3桁のチャンネル番号を入力したりして選局することもできます。



4 画面の指示に従って、リモコンで操作する

4種類の色ボタン（青、赤、緑、黄）や▲・▼・◀・▶、(決定)を使って操作してください。それ以外のボタン操作が必要な場合があります。



お知らせ

- サービスを切り換えたあとに番組表を表示すると、切り換えたサービスのみの番組表が表示されます。
- データ取得中などでデータ放送画面がすぐに表示できないとき、画面左下に「データ取得中」が表示されます。表示が消えたら、再度 (決定) を押してください。

他の機器の映像を見る(入力切換)

他の機器との接続方法については、P.30 ~ P.33 をご覧ください。

例：HDMI 3端子に接続したDVDプレーヤーの映像を見る場合



1 本機とDVDプレーヤーの電源を入れる

2 リモコンの (入力切換) を押して、「HDMI3」に切り換える

- (入力切換) を押すごとに次のように切り換わります。



▲・▼で項目を選んで (決定) を押しても切り換わります。

- 本機側面の入力切換ボタンでも切り換わります。

3 DVDの再生をする



視聴する


ご注意

- ビデオやDVDプレーヤーなどの接続や操作については、その機器の取扱説明書をご覧ください。


デジタル放送を見る(つづき)

音声を切り換える

テレビの音声には二重音声(二カ国語)・ステレオ・サラウンドなどがあり、自動的に切り換わります。二重音声(二カ国語)放送や音声信号が複数ある場合などは、お好みに合わせて切り換えることができます。


複数の音声がある番組を見ているときに  を押す

主音声

-  を押すごとに次のように切り換わります。

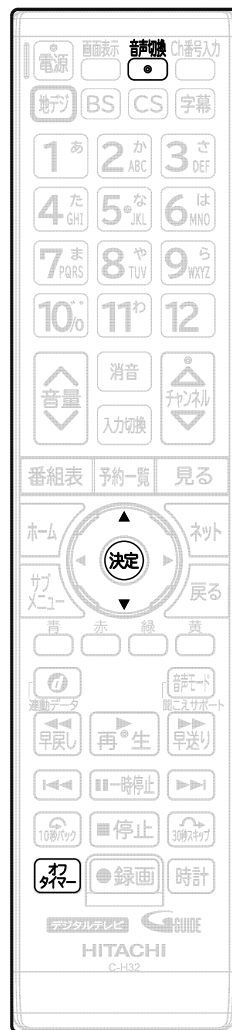
※二重音声の場合の表示例




- ▲・▼で項目を選んで  を押しても切り換わります。切り換わる音声の種類は、番組によって異なります。

お知らせ

- 内蔵HDD/カセットHDDで録画した番組の再生時にも有効です。
- ビデオなどの再生時は、ビデオ機器側で音声切替をしてください。
- 外部入力の場合は、音声切替ボタンで音声を切り換えられません。



自動的に電源を切る(オフタイマー)

 を押す


オフタイマー 120分 

- ボタンを離れたところの時間が設定されます。押すごとに次のように切り換わります。




表示が消えて、オフタイマーがスタートします。

▷ オフタイマーを取り消したいときは

オフタイマー「切」が選択されるまで  を押す

▷ 設定後に電源が切れるまでの時間を確認したいときは

 を1回押す

2回以上押すとオフタイマーが設定し直されます。



▷ 電源が切れる1分前になると

「オフタイマー 1分前」の表示が出ます。

自動的に電源を入れる(オンタイマー)

自動的に本機の電源を入れることができます。

また、オンタイマーを使う曜日と時刻や、電源が入ったときに選ばれるチャンネルと音量を設定できます。

1  を押し、▲・▼で「オンタイマー」を選んで  を押す

2 ▲・▼で「入」を選ぶ

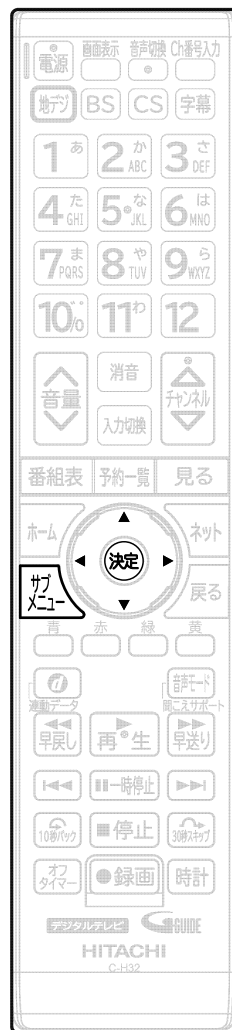


3 予約日と開始時刻を選ぶ

- ① ◀▶で「予約日」へ移動して、▲・▼で予約日を選ぶ
 - 「毎日」、「毎週(日)」～「毎週(土)」を選択することができます。
 - お買い上げ時は「毎日」に設定されています。
- ② ◀▶で「開始時刻」へ移動して、▲・▼で時刻を選ぶ
 - お買い上げ時は「AM 7時00分」に設定されています。
 - 午前は「AM」に、午後は「PM」に合わせます。
 - 昼の12時は「PM 0:00」に、夜の12時は「AM 0:00」に合わせます。

4 音量を選ぶ

- ① ◀▶で「音量」へ移動して、▲・▼で音量を選ぶ
 - お買い上げ時は「20」に設定されています。



5 自動で電源「切」にするまでの時間を選ぶ

- オンタイマーで電源「入」になったあとは、安全のため、自動でオフタイマーを設定できます。
電源「入」になってから何分後に自動で電源「切」にするかを設定してください。

① ◀▶で「電源オフ」へ移動して、▲▼で自動で電源「切」にするまでの時間を選ぶ

- お買い上げ時は「30分後」に設定されています。
- 「電源オフ」を「切」に設定した場合は、自動で電源が切れません。

▷ オンタイマーで電源「入」になったあとの「電源オフ」の解除のしかた

- オフタイマーを使います

① 電源ボタンを押す

② 電源ボタンをくり返し押して「切」を選ぶ または、◀▶で「切」を選んで決定ボタンを押す

6 放送の種類とチャンネルを選ぶ

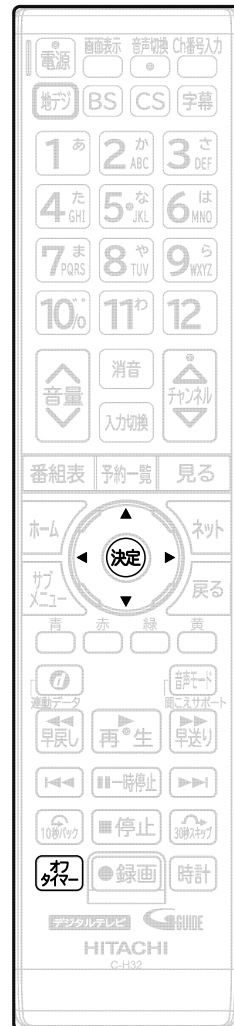
① ◀▶で「放送の種類」へ移動して、▲▼で放送の種類を選ぶ

② ◀▶で「チャンネル」へ移動して、▲▼でチャンネルを選ぶ

7 時計表示を選ぶ

① ◀▶で「時計表示」へ移動して、▲▼で「表示する」または「表示しない」を選んで決定ボタンを押す

- お買い上げ時は「表示しない」に設定されています。



お知らせ

- オンタイマーを設定後は、電源プラグを抜かないでください。
電源を切るときは電源ボタンを押してください。
- オンタイマーで電源が入ったあとは、手順5で設定された時間を経過すると、自動的に電源が切れます。
- 時刻取得ができていない場合は「オンタイマー」は選択できません。

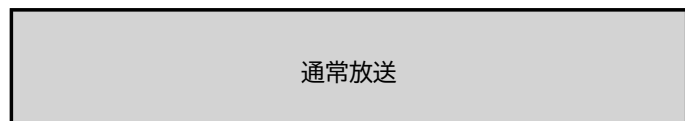
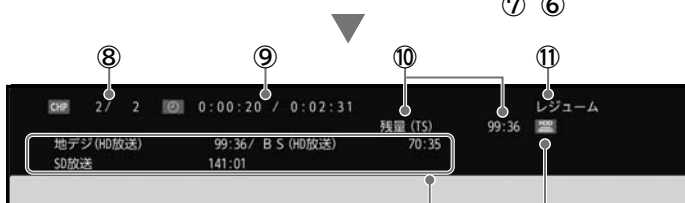
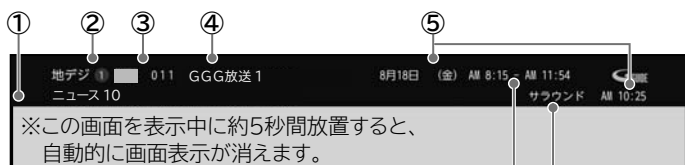
画面表示を確認する

現在視聴している番組名、チャンネル番号、放送や音声の種類、現在時刻などを確認できます。

電源を押す

- 押すごとに次のように切り換わります。

▷ デジタル放送のとき



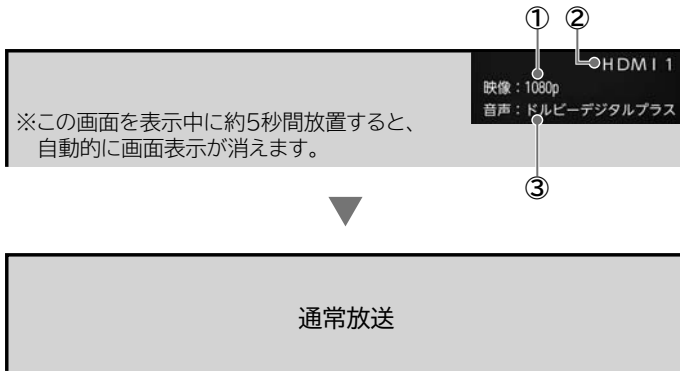
お知らせ

- 本機の動作状態(放送の視聴中や再生中、録画中など)によって、表示される情報が変わります。
- 本機で選ばれている録画モードの残量時間が表示されます。残量時間はおよその時間です。目安としてお使いください。
- チャンネルや音声・字幕などを切り換えたときは、該当する項目の画面表示が数秒間表示されます。該当しない項目は表示されません。

- | | |
|-------------------------|--|
| ① 現在視聴中の番組名 | ⑧ 録画番組のチャプター番号／総チャプター数 |
| ② 放送の種類／リモコンのボタン番号 | ⑨ 録画番組の再生時間／総再生時間 |
| ③ 放送局のロゴ／放送局の3桁のチャンネル番号 | ⑩ 設定中の録画モードの録画可能時間(残量) |
| ④ 放送局名 | ⑪ 動作状態(レジューム中またはレジューム解除中) |
| ⑤ 現在の日時 | ⑫ 録画番組が保存されているメディアの種類 |
| ⑥ 音声の種類* | ⑬ 放送の種類別録画可能時間(録画モード「TS」以外の場合は表示されません) |
| ⑦ 現在視聴中の番組の放送時間 | |
- ※ デジタル放送の音声表示の種類には、主音声、副音声、主/副、サラウンド、ステレオ、モノラル、言語名(視聴中の番組により「日本語」「英語」など、表示が異なります)があります。

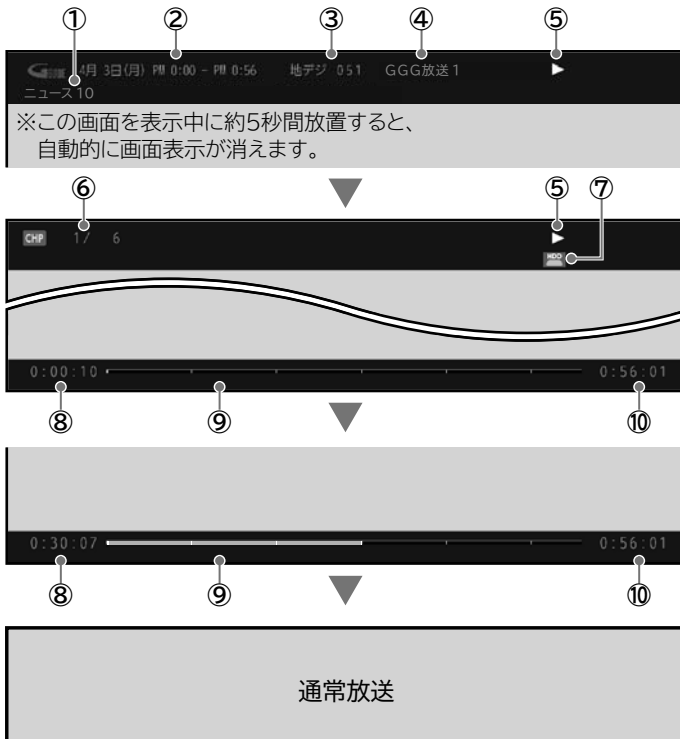
デジタル放送を見る(つづき)

▷外部入力するとき



- ① 解像度
- ② 外部入力の種類
- ③ 音声の種類

録画番組を再生しているとき



- ① 録画番組名
- ② 録画番組の録画日時
- ③ 放送の種類/放送局の3桁のチャンネル番号
- ④ 放送局名
- ⑤ 動作状態

- ⑥ 現在のチャプター番号/総チャプター数
- ⑦ 録画番組が保存されているメディアの種類
- ⑧ 再生時間
- ⑨ タイムバー (再生位置の目安)
- ⑩ 総再生時間

お知らせ

- 本機の動作状態(放送の視聴中や再生中、録画中など)によって、表示される情報が変わります。
- チャンネルや音声・字幕などを切り換えたときは、該当する項目の画面表示が数秒間表示されます。該当しない項目は表示されません。

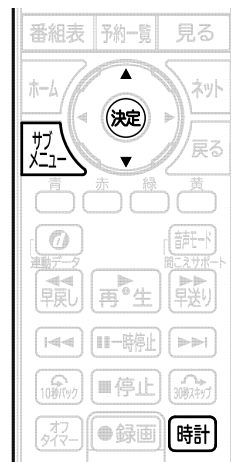
現在時刻を表示する

時計を押す

- 現在時刻の表示／非表示を切り換えることができます。



PM 10:22

- 他の画面表示が表示されているときは、一時的に時刻表示オフになります。
- デジタル放送を受信していないときは、現在時刻は表示されません。



字幕を出す

デジタル放送の番組によっては、字幕が表示できるようになっています。本機では、字幕の表示／非表示や言語を設定できます。

字幕があるデジタル放送の番組を見ているときに  を押し、
▲・▼で「字幕切替」を選んで  を押す

字幕 切 

- ▲・▼で字幕言語を切り換えます。
字幕言語を切り換えてから表示されるまで時間がかかることがあります。
- 字幕が用意されていない番組もあります。

お知らせ

- 録画した番組の再生時にも有効です。

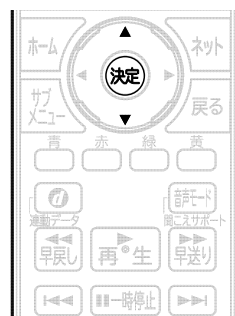
デジタル放送を見る(つづき)

画面モードを選ぶ

映像に合わせた画面モードを選べます。選べる画面モードは、見ている番組や映像の種類によって異なります。

Ⓜ を押し、**▲・▼** で「ワイド切換」を選んで **決定** を押す

- **▲・▼** で画面モードを切り換えます。切り換え終わったら **決定** を押してください。
- 切り換わる画面モードの種類は、標準映像とハイビジョン映像とで異なります。

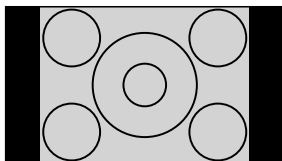


■ 画面モードについて

ノーマル

4:3の画面モードで見る

横と縦の比が4:3の映像に切り換わります。

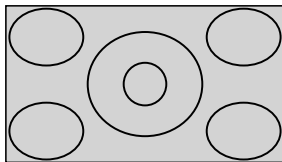


ズーム

4:3の映像をワイド画面で見える

スポーツ番組を見るときなど、臨場感が増して迫力ある映像を楽しめます。

画面左右を拡大して、画面いっぱいに表示します。



4:3映像で左右の黒帯が気になるときにも使います。

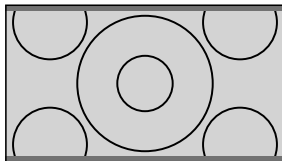
- 画面左右の映像が少し横に広がります。
- 画面上下の映像が少し外にはみ出します。

映画

劇場サイズの映画・ビデオを見る

劇場サイズの映像を、画面いっぱいに拡大して見ることができます。

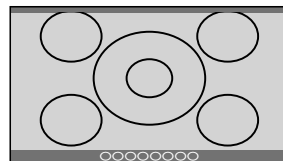
- 映像の上下の黒い帯が残るものもあります。



映画字幕

字幕付劇場サイズの映画・ビデオを見る

字幕の部分縦方向(上)にずらして画面の中に入れ、画面いっぱいに拡大して見ることができます。

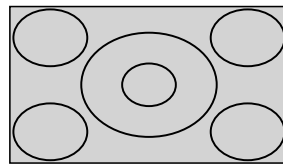


スタンダード

4K解像度やハイビジョン番組、DVDなどのスクリーンサイズ16:9映像を見る

画面いっぱいに拡大して見ることができます。

- 4:3の映像では、映像全体が横に広がります。

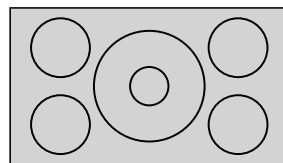


フル/リアル

4K解像度やハイビジョン番組、パソコンなどの映像を画素変換せずに見る

画面からはみ出した部分がなく、映像信号をすべて画面内に表示します。画素変換を行わないので入力信号そのままの映像となります。

- 入力信号によっては画面周辺に黒い線などがでることがあります。



ご注意

- 本機は、各種の画面モード切替機能を備えています。番組やDVDなどの映像比率と異なるモードを選択すると、オリジナルの映像とは見えかたに差が出ます。この点にご留意の上、画面モードをお選びください。
- テレビを営利目的、または公衆に視聴させることを目的として、喫茶店、ホテルなどにおいて、画面モード切替機能を利用して、画面の圧縮や引伸ばしなどを行うと、著作権法上で保護されている著作者の権利を侵害する恐れがありますので、ご注意ください。

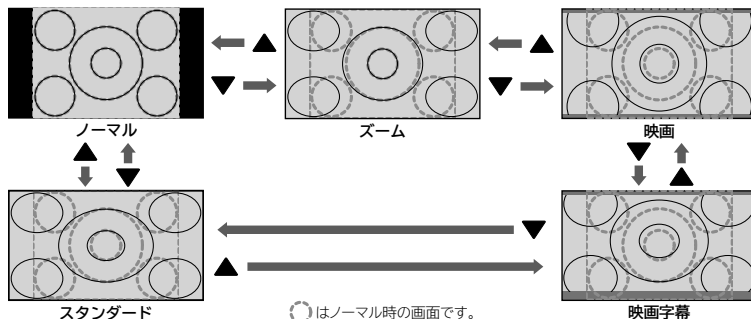
お知らせ

- アナログ入力では、DVDなどの画面モード識別信号(ID-1)により、自動で画面モードを切り換えることができます。(あらかじめメニュー機能で設定が必要です。設定のしかたについては、P.187をご覧ください。)
- デジタル放送の視聴中に予約が始まると、見ているモードにより画面モードが切り換わることがあります。
- 映像により、画面の端に欠けや映像以外の輝点などが見えることがあります。
- 動画配信サービスを視聴時、画面モードは変更できません。

標準映像(SD)の番組、ビデオ、DVDなどの場合



標準映像 (480i、480P)

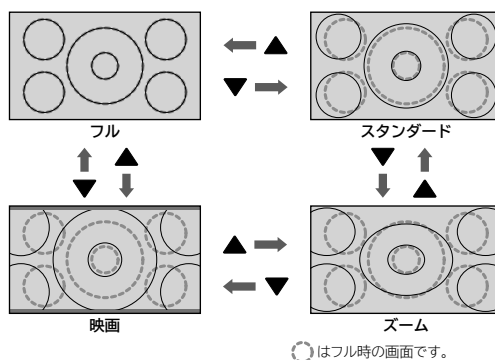


各画面モードの特徴は前ページをご覧ください。

ハイビジョン(HD)の番組、ブルーレイディスクなどの場合



ハイビジョン映像
(720P、1080i、1080P)

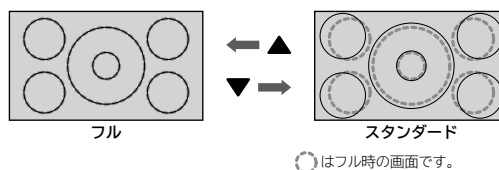


各画面モードの特徴は前ページをご覧ください。

4K解像度(Ultra HDブルーレイ)の場合

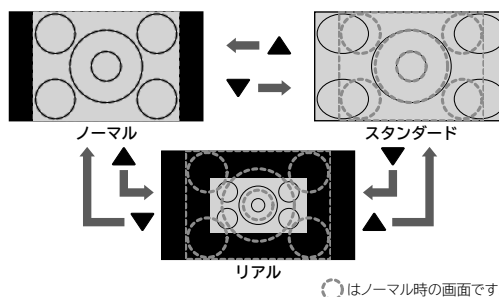


(2160P)



各画面モードの特徴は前ページをご覧ください。

パソコン映像の場合



(パソコンからの入力解像度が640×480の場合)
※他の解像度の場合は、各画面モードの表示が異なります。
各画面モードの特徴は前ページをご覧ください。

「ネットワーク」で動画を楽しむ

本機をブロードバンド環境に接続して、動画配信サービスなどをお楽しみいただけます。ご利用には別途契約(有料)が必要なサービスもあります。また、回線利用料やプロバイダとの契約・使用料金は別途必要です。

お知らせ

- 各サービス利用中に文字入力が必要となった場合は、画面表示に沿って操作してください。
- 各サービス内容は、予告なく変更されることがあります。
- 動画配信サービスのご利用には、ソフトウェアの更新が必要な場合があります。

「ネットワーク」を利用するために必要な接続と設定

本機で「ネットワーク」を利用するためには、ブロードバンド環境(ADSL、FTTH、CATV(ケーブルテレビ)など)が必要です。

「ネットワーク」を利用する前に、「ネットワークを接続・設定する」**P.164**で通信設定を行ってください。動画配信サービスを利用する場合は、高速通信が可能なADSLや光ファイバー(FTTH)のブロードバンド環境と接続することをおすすめします。

くわしくは各動画配信サービス または、お客様が契約されたプロバイダーのホームページをご覧ください。

利用するサービスを選んで専用画面を表示する



1 放送や外部入力を視聴中に **ネット** を押す

2 ▲・▼・◀・▶ で見たいサービスを選んで **決定** を押す
●「ネットサービス利用制限」を「する」に設定している場合は **1*** ~ **10%** で暗証番号の入力が必要です。**P.159**

3 選択したサービスの画面が表示されます。画面に沿って操作してください。主に使用するのは ▲・▼・◀・▶ と **決定** です。

- 利用するサービス毎に操作方法は異なります。
- サービスを利用中に **ネット**、**BS**、**CS** のいずれかを押すと放送画面に切り換わります。



お知らせ

全般

- 回線事業者やプロバイダが採用している接続方法・契約内容によっては、各サービスを利用できない場合があります。
- 災害やシステム障害などにより、各サービスを表示できない場合があります。
- 各サービスを利用してホームページに登録した情報は、そのホームページのサーバーに登録されます。本機を譲渡または廃棄される場合には、登録時の規約などに従って必ず登録情報の削除を行ってください。
- 本機に記録されたネットワーク履歴情報は、本機を譲渡または廃棄される場合は、「すべての初期化」を行って削除してください。**P.189**

接続

- お客さまの利用環境や通信環境、接続回線の混雑状況により、各サービスをご利用の場合は映像が乱れる／途切れる、表示が遅くなる、などの症状が出る場合があります。
- 無線LANで各サービスをご利用の場合は、設置環境や設定内容により、映像が途切れる、表示が遅くなる、などの症状が出る場合があります。LANケーブルでの接続をおすすめします。

各サービスについて

- サービス内容は、予告なく変更されることがあります。
- サービスの最新情報は、各サービスの公式情報サイトやトップページをご覧ください。
- 利用条件については、各サービスの公式情報サイトでご確認のうえ、ご利用ください。

「アクトビラ (acTVila)」について

- 本機は、「4Kアクトビラ」にのみ対応しています。

「ネットワーク」の閲覧制限について


- 本機には、「ネットワーク」を利用するときにお子さまなどに見せたくないコンテンツなどの閲覧を制限するための機能が付いています。お子さまなどが本機を使って「ネットワーク」を利用になるご家庭では、「ネットワーク」を利用する際に、暗証番号を入力するように設定することをおすすめします。(設定のしかたは、**P.159**をご覧ください。)


テレビを使いこなす

ホームメニュー機能の使いかた

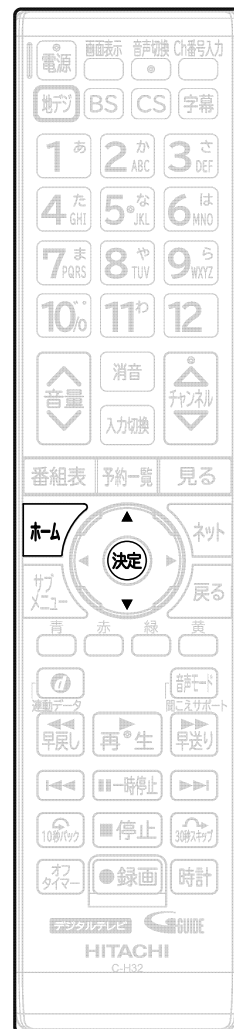
いろいろな機能呼び出せます。

基本的な使いかた

- 1  を押してホームメニューを表示する
 - ホームメニュー表示中に押すと、ホームメニューを終了します。

- 2 ▲・▼で項目を選んで  を押す

ホームメニュー画面



各項目で操作できる内容

以下、すべての機能をご利用いただくためには、ソフトウェアの更新が必要な場合があります。


Woonet	
動画配信サービスを一覧表示します。	
Woonet	P.54
録画一覧	
録画した番組を一覧表示します。	
お好み再生	P.100
録画一覧	P.97
メディア再生	
動画や写真を視聴します。	
USBメモリー	P.139
番組表	
デジタル放送の番組表を表示します。	
番組表	P.65
予約	
登録済みの予約やお好み録画の確認ができます。	
お好み録画	P.79
予約一覧	P.86
ダビング	
録画した番組のコピー／移動などができます。	
ダビング	P.130
入力切換	
デジタル放送や外部入力機器に切り換えます。	
入力切換	P.45
テレビ操作	
字幕やヘッドホン音量など番組視聴に関する各種設定をします。	
〈地上・BS・110度CSデジタル視聴時〉	
映像モード	P.149
音声モード	P.154
ワイド切換	P.52
映像切換	P.58
音声切換	P.46
字幕切換	P.51
サービス切換	P.44
番組説明	P.68
ヘッドホン音量	P.59
録画モード	P.63
HDD／カセットHDD切換	P.147
オンタイマー	P.47
〈外部入力視聴時〉	
映像モード	P.149
音声モード	P.154
ワイド切換	P.52
ヘッドホン音量	P.59
HDD／カセットHDD切換	P.147
オンタイマー	P.47


テレビ操作	
〈録画番組の再生時〉	
映像モード	P.149
音声モード	P.154
ワイド切換	P.52
映像切換	P.58
音声切換	P.46
字幕切換	P.51
ヘッドホン音量	P.59
設定／お知らせ	
本機の設定やお知らせの表示をします。	
〈機能設定〉	
画質設定	P.148
音声設定	P.153
節電設定	P.157
制限設定	P.159
接続機器設定	P.163
ネットワーク設定	P.167
その他の設定	P.185
初期化	P.189
〈放送受信設定〉	
かんたんセットアップ	P.175
地上デジタル設定	P.176
BS／CSデジタル設定	P.181
共通設定	P.182
〈本機の情報と更新〉	
ソフトウェア更新	P.191
本機情報表示	P.191
ライセンス情報	P.191
デジタル著作権管理	P.191
〈お知らせメール〉	
放送メール	P.60
CS1ボード	P.61
CS2ボード	P.61


テレビを使いこなす(つづき)

映像切換(チャンネル内の映像を切り換える)

ひとつの番組で複数の映像を放送している番組(マルチビュー放送)を楽しんだり、同じチャンネルで放送している別の番組に切り換えたりできます。

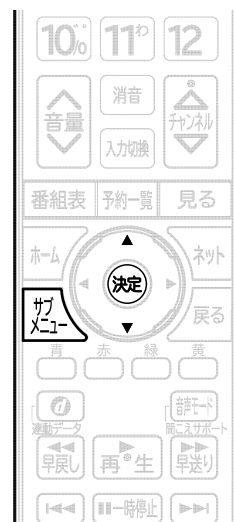
1 デジタル放送を見ているときに  を押す

2 ▲・▼で「映像切換」を選んで  を押す

3 ▲・▼で映像の種類を選んで  を押す

切り換わる映像の種類は、番組によって異なります。

たとえば、映像1と映像2、映像3が放送されているマルチビュー放送の場合では、次のように切り換わります。




お知らせ

- マルチビュー放送とは
ひとつの番組で別の映像や違う角度からなど、最大3つの映像を同時に楽しめる放送です。
- マルチビュー放送や他の映像信号がない場合は、「映像1」のみ表示され、他の映像の種類は選択できません。

ヘッドホン音量(ヘッドホンから出力される音量を調節する)


ヘッドホンから出力される音量が調節できます。音量を調節する際には、ヘッドホンが本機に挿入されていることを確認してください。「ヘッドホン出力設定」が「非連動」のときは、「テレビ操作」の「ヘッドホン音量」で調節してください。


ヘッドホン音量を調節する場合は、ヘッドホンを挿入した状態でを押す

音量 20

「ヘッドホン出力」が「スピーカー非連動」のとき

「音声設定」の「ヘッドホン出力設定」[P.156](#)を「スピーカー非連動」に設定しているときは、音量 \blacktriangle ・ \blacktriangledown ボタンを押しても、ヘッドホンの音量は変わりません。スピーカーの音量のみ変わります。ヘッドホンの音量を変えるには、メニュー上からヘッドホンの音量を調節する必要があります。

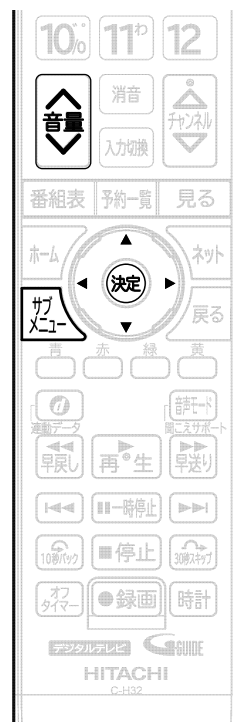
1 を押して、「テレビ操作」を表示させる

2 \blacktriangle ・ \blacktriangledown で「ヘッドホン音量」を選んでを押す

3 で音量を調節する

\blacktriangleleft ・ \blacktriangleright でも調節できます。

スピーカーとヘッドホンの音量は、それぞれ0から60まで別々に調節することができます。



テレビを使いこなす(つづき)

本機や放送局からのお知らせメールについて

本機や放送局から送られてくるメールや、110度CS デジタル放送に関する情報や案内が記載されたボード(掲示板)を確認できます。

未読のお知らせがある状態で本機の電源を入れたり、番組視聴中に新規メールを受信したりすると、テレビ画面上に「ホームメニューの「設定／お知らせ」からメールを確認してください」というメッセージが約20秒間表示されます。

■本機ではパソコンや携帯電話などの電子メールは扱えません。

放送メール

本機や放送局からメールが送られてきます。

▷本機から送られてくるメール

本機から以下の情報や連絡が送られてきます。

- 「送信状況変更のお知らせ」
地上デジタル放送のチャンネルの再スキャンなどが必要なとき
- 「自動チャンネル再設定のお知らせ」
本機が自動チャンネル再設定を行ったとき
- 「ダウンロードのお知らせ」
ダウンロード可能なソフトウェアがあるとき
- 「FW更新のお知らせ」
ソフトウェアの更新を行ったとき

最大39通まで保管できます。39通保管された状態で新たなメールを受信した場合は、一番古いものが消去されます。

▷放送局から送られてくるメール

放送局からのお知らせが送られてきます。

1 放送局につき、最大13通まで保管できます。13通保管された状態で新たなメールを受信した場合は、一番古いものが消去されます。


保存期限は14日間です。

CS1ボード／CS2ボード



▷ ボード(掲示板)


110度CSデジタル放送からの情報や案内が表示されます。
最大24件まで表示できます。


1  を押して、▲・▼で「設定／お知らせ」→
「お知らせメール」を選んで  を押す

2 ▲・▼で「放送メール」、「CS1ボード」、「CS2ボード」
を選んで  を押す



- メールやボード(掲示板)の一覧が表示されます。
- 未読のメール 、既読のメールは  で表示されます。

3 ▲・▼で確認したいメールまたはボード(掲示板)を
を選んで  を押す

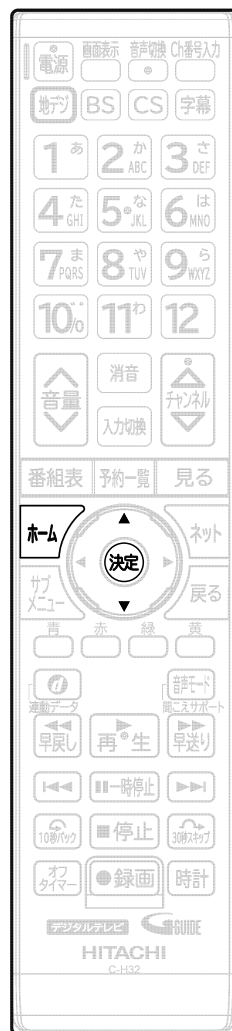
- 確認が終わったら、 を押してください。

▷ 「放送メール」

本機や放送局から送られてきたメールを確認できます。

▷ 「CS1ボード」または「CS2ボード」





110度CSデジタル放送局の情報や案内をボード(掲示板)で確認できます。

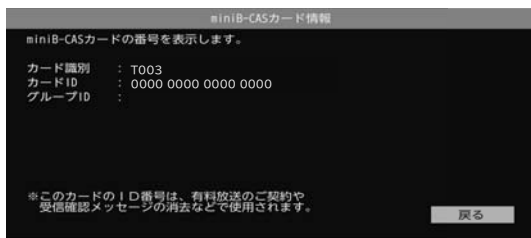



テレビを使いこなす(つづき)

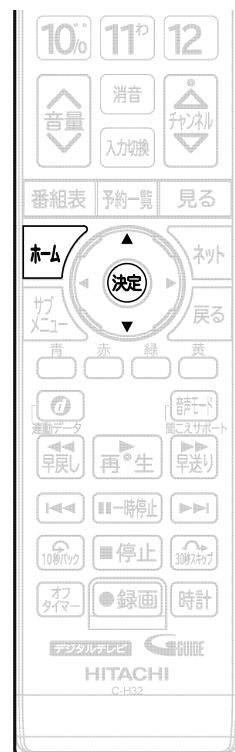
miniB-CASカード情報を確認する

miniB-CASカードのカード識別、カードID、グループIDを確認できます。

- 1 を押して、▲・▼で「設定／お知らせ」→
「放送受信設定」を選んで を押す
- 2 ▲・▼で「共通設定」を選んで を押す
- 3 ▲・▼で「miniB-CASカード情報」を選んで を押す
- 4 情報を確認する



- 確認したら を押してください。



録画の前に

本機では、ハイビジョン画質によるデジタル放送の同時録画数は、最大で2番組まで対応しています。

録画するメディアについて

番組によっては、著作権保護のため録画が禁止・制限されています。

番組の録画制限	HDD	カセットHDD
制限なしに録画可能	○	
1回だけ録画可能	○	
ダビング10	○	
録画禁止		×

○: できる ×: できない

ご注意

デジタル放送のデータ放送、ラジオ放送は録画できません。

- 録画中に「録画禁止」番組や視聴年齢の制限がかかっている番組になったときは、録画を一時停止します。録画が可能な状態になると、再び録画が始まります。
- 二カ国語・マルチ番組・字幕を含む番組の録画制限についてくわしくは **P.200** をご覧ください。

録画モードについて

録画モードとは番組の画質のことです。録画する番組の画質を優先するか、録画時間を優先するかによって使い分けることができます。

■一度録画した番組の録画モードを変換することもできます。 **P.117**

放送画質	TS		放送そのままの画質になります。 • デジタル放送をそのままの画質で録画したいときにおすすめです。
HD画質	AF (2倍) AN (3倍) AS (4倍) AL (5.5倍) AE (12倍)	高画質	放送のデータを圧縮変換したハイビジョン画質になります。 • デジタル放送をきれいなまま、容量を節約して録画したいときにおすすめです。 • 画質レートを選ぶことができます。
		長時間	

▷録画モード「AF」(2倍)~「AE」(12倍)で録画すると・・・

- 録画時の画質レートが低い場合は、映像によってはブロック状のノイズが目立ったり、色が変化するなど映像が乱れたりすることがあります。そのようなときは、画質レートを上げて録画することをおすすめします。

お知らせ

録画モード別の記録時間についてくわしくは **P.203** をご覧ください。

放送中の番組を録画する

HDD

カセットHDD

▶ 準備

カセットHDDに録画するときには、USB1録画再生(カセットHDD用)端子にカセットHDDをつないでおく **P.147**
 また、事前に「ホーム」→「テレビ操作」→「HDD/カセットHDD切換」で「カセットHDD」を▲・▼で選んで **決定** を押す

1 **地方**、**BS** または **CS** を押して、録画したい放送を選ぶ

2 **放送** または **1** ^あ ~ **12** で録画したいチャンネルを選ぶ

3 **録画** を押す

- 番組が終了すると自動的に録画を停止します。

▷録画モードを変更するときは

録画を始める前に、あらかじめ録画モード(画質)を設定してください。
 変更した録画モードは、録画や録画予約のときの録画モードにも、反映されます。録画中は、録画している番組の録画モードは変更できません。

- ① 番組を視聴中に **設定** を押す
- ② ▲・▼で「録画モード」を選んで **決定** を押す
- ③ ▲・▼でお好みの設定を選んで **決定** を押す



▷指定した時間で録画を終了するには(ワンタッチタイマー録画)

録画 を2回以上押すと、15分単位で録画が終了するまでの時間を設定できます。(2回押すと15分後、3回押すと30分後に録画を終了します。)

- 最大4時間までの設定ができます。
- 番組終了までの録画に戻りたいときは、録画時間の表示が消えるまで何回か **録画** を押してください。
- ワンタッチタイマー録画中に録画が終了するまでの時間を確認したいときは、**録画** を2回押してください。

▷録画を停止するときは

停止 を押す

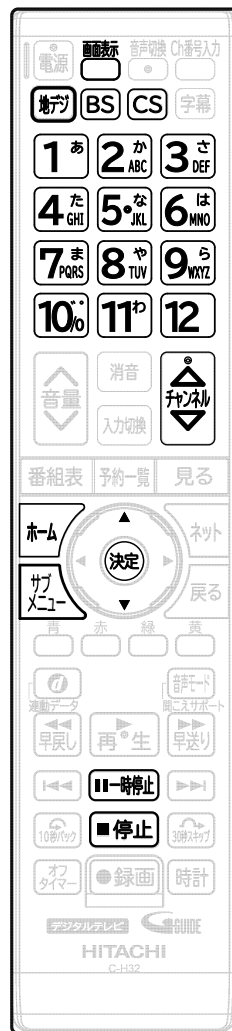
- 停止した位置までが1つの番組となります。(停止後に次の操作ができるまで、しばらく時間がかかることがあります。)
- 確認画面が表示されるので、「はい」を選んで **決定** を押してください。

ご注意

- 同時録画時の録画モードについてくわしくは **P.198** をご覧ください。
- ダビング中は **録画** を押しても録画できない場合があります。

お知らせ

- 現在録画中の番組のメディア、放送、チャンネルを確認したいときは、**録画** を2回押して画面表示を表示すると確認できます。



番組表 (Gガイド) について

番組表を表示する

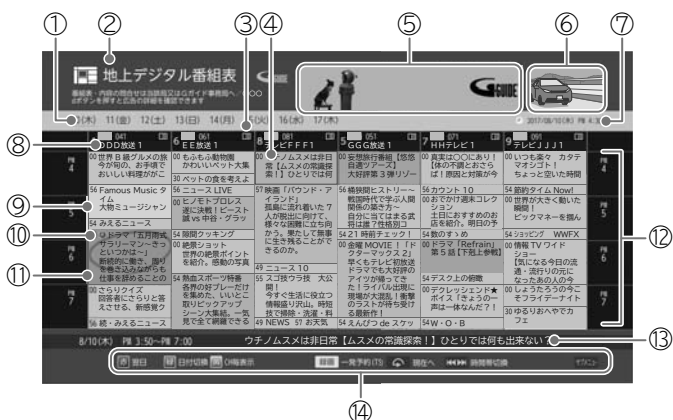
地上デジタル放送、BSデジタル放送、110度CSデジタル放送の番組表を表示することができます。



1 番組表を押して、**地上**、**BS** または **CS** で お好みの放送の種類を選ぶ



番組表の見かた



- ① 現在の日付から8日分の日付表示
- ② 放送の種類
- ③ マルチ表示
- ④ 選択中の番組
- ⑤ 広告
- ⑥ 現在視聴中の放送局の映像
- ⑦ 現在の日時
- ⑧ 放送局のロゴ／放送局の3桁のチャンネル番号／放送局名
- ⑨ これ以上録画予約できない時間帯 (黄色帯)
- ⑩ : 録画予約済みアイコン
- ⑪ 重複のため既に録画できない番組が存在する時間帯 (赤色帯)
- ⑫ 時間
- ⑬ 選択中の番組の放送日時、かんたんな情報
- ⑭ 操作ガイド

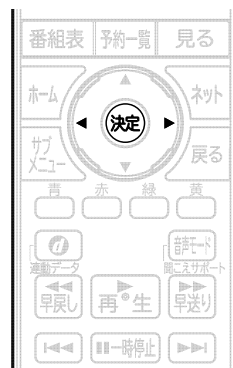
■ 録画番組の重複により、これ以上録画予約できない時間帯 (⑨) を黄色で表示し、重複のため既に録画できない番組 (⑪) が存在する時間帯を赤色で表示します。

■ 色分け設定したジャンルに該当する番組は、設定した色に変わります。

▷ 番組データの受信について

番組データは、本機の電源が「切」(通電状態) のときに受信されます。

- 電源プラグは抜かずに通電状態にしておいてください。
- 新しい番組データを受信すると、自動的に番組表の一覧の内容が更新されます。(更新できなかったところは、空欄になるか前回の内容が残ります。) なお、電源が「入」であっても、視聴中のチャンネルの番組データは取得されます。
- 特定のチャンネルの番組データが未取得の場合は、「決定ボタンで選局し、放送番組がある場合、番組データを取得します。」と表示されます。◀▶でチャンネルを選んで**決定**を押すと、選んだチャンネルを選局し番組データの取得が開始されます。ただし、本機の状態によっては選んだチャンネルを選局できないことがあります。
- 受信には、通常数十分かかります。
- ダウンロード更新と番組データの受信が重なったときは、ダウンロード更新が優先されます。



番組表 (Gガイド) について (つづき)

▷ デジタル放送の番組表について

地上デジタル放送、BSデジタル放送、110度CSデジタル放送を受信できる環境であれば、それぞれの放送の番組表を表示できます。

▷ CATV(ケーブルテレビ)の番組表について

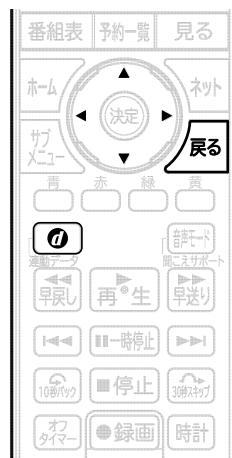
CATVは、放送や伝送方式により本機で番組表を受信できないことがあります。その場合は、ご利用のケーブルテレビ会社にご相談ください。

ご注意

- 録画中や停電したとき、電源プラグを抜いたときは、番組データを受信できず番組表が最新ではない場合があります。
- 受信状態が良くないときは番組データを受信できない場合があります。
- 次の場合は、番組データを新たに受信するまでは番組表が利用できなくなります。
 - チャンネル設定をやり直したとき
 - 約1週間以上本機の電源プラグを抜いて使用していなかったとき
- 地上デジタル放送で番組情報が表示されない放送局がある場合は、そのチャンネルを選局して数分間視聴したあと、再度番組表を表示してください。
- 放送局の都合により番組が変更になることがあります。この場合は、実際の放送と番組表の内容が異なることがあります。

お知らせ

- 番組表は最大8日分まで表示できます。
- 地上デジタル放送/BSデジタル放送/110度CSデジタル放送の番組表を表示できます。
- 番組表から録画予約した番組には が表示されます。(番組表に を表示するスペースがない場合は、代わりに赤い線 が表示されます。毎週/毎日録画の番組の場合は、該当する番組すべてに が表示されます。)
- を押すと広告の詳細が表示されます。広告詳細表示画面では、 で広告の切り換え(広告が複数ある場合のみ)、 で広告内容のスクロール(広告内容が1ページに収まっていない場合のみ)を行います。 を押すと広告詳細表示を終了します。



番組表の表示を切り換える

サブメニューを使うと、以下の表示を切り換えることができます。

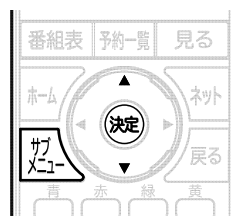
- | | |
|-----------------------------|--|
| ■ 表示する日付 (日付選択) | ■ 番組名などの文字の大きさ (文字サイズ切換) |
| ■ 表示するチャンネルの数 (表示チャンネル数切換) | ■ 番組の詳細表示 (番組詳細表示切換) |
| ■ 表示する時間数 (表示時間数切換) | ■ テレビ放送のサービス (表示対象切換) |
| ■ 番組のジャンルを色分けして表示 (ジャンル色分け) | ■ マルチチャンネル放送の表示 (マルチチャンネル表示/代表チャンネル表示) |

1 番組表を表示中に を押す



2 ▲・▼で切り換えたい項目を選んで を押す

3 ▲・▼でお好みの表示を選んで を押す





- | | |
|--|---|
| <ul style="list-style-type: none"> 表示チャンネル数切換
表示チャンネル数は「3チャンネル」、「6チャンネル」、「9チャンネル」、「12チャンネル」から選択できます。 表示時間数切換
表示時間は「2時間」、「4時間」、「6時間」から選択できます。 | <ul style="list-style-type: none"> 文字サイズ切換
文字サイズは「大きい」、「小さい」を選択できます。 表示対象切換
表示対象は「テレビ」、「ラジオ」、「データ」から選択できます。ただし、存在していないサービスは選択できません。なお、視聴中のサービスの切り換えについて、くわしくは「独立データ放送やラジオ放送を楽しむ」P.44 をご覧ください。 |
|--|---|




日付を切り換える

- を押すと翌日の番組表に切り換えます。
- を押すと前日の番組表に切り換えます。

▷ 日付を指定して切り換えるときは




- ① を押す
- ② ▲・▼で「日付選択」を選んで を押す
 - ・ を押しても日付選択が表示できます。
- ③ ▲・▼でお好みの日付を選んで を押す

現在の番組を表示する

を押すと、現在放送されている時間帯の番組表に切り換えます。



マルチチャンネルを表示する

デジタル放送の中には、1つの放送局で複数の番組を放送できるマルチチャンネル放送があります。





- ① ▲・▼・◀・▶でマルチチャンネルを表示したい番組を選んで を押す
- ② ▲・▼で「マルチチャンネル表示」を選んで を押す
 - ・ 同様に1チャンネル表示にしたい場合は、手順②で「代表チャンネル表示」を選んで を押します。
 - ・ マルチチャンネル放送を行っていない放送局や「チャンネルスキップ設定」で「スキップ」に設定されている放送局は、「マルチチャンネル表示」／「代表マルチ表示」で切り換えることはできません。

CH毎表示に切り換える

選んだチャンネルの8日分の番組表を表示させることができます。




- ① ▲・▼・◀・▶でチャンネルを選んで を押す
 - ・ 「CH毎表示」では、曜日表記の「土」と「日」の背景色が他の曜日表記と異なる色で表示されます。
 - ・ 「全CH表示」に戻すには、もう一度 を押します。

ページを切り換える

- ・を押すと、「表示時間数切換」で設定された時間に応じて上下にページが切り換わります。
- ・を押すと、「表示チャンネル数切換」で設定されたチャンネル数に応じて左右にページが切り換わります。
- 「スキップ」したチャンネル数やお住まいの地域(県域)で受信できるチャンネル数によっては、前後のページが表示されない場合があります。

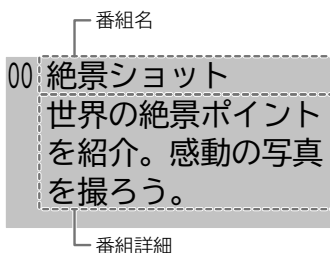
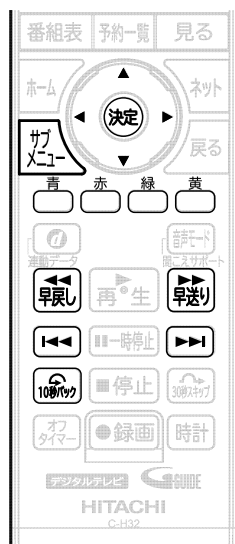
番組詳細の表示を切り換える

番組表で番組詳細を表示するかしないかを切り換えることができます。

- ① を押す
- ② ▲・▼で「番組詳細表示切換」を選んで を押す
- ③ ▲・▼で「表示する」または「表示しない」を選んで を押す

表示する：番組名と番組詳細を表示する

表示しない：番組名のみを表示する



番組表(Gガイド)について(つづき)

番組のジャンルを色分けして表示する

- 番組をジャンル別に色分けすれば、見たい番組を探すときに便利です。
- お買い上げ時に設定されている色分けを以下の操作で変更できます。

① 番組表を表示中に を押す

② ▲・▼で「ジャンル色分け」を選んで を押す

- ・ 色分け設定一覧が表示されます。

③ ▲・▼で表示する色を選んで を押す

④ ▲・▼で「ジャンル項目」を選んで を押す

- ・ 番組表に戻るには を2回押してください。
番組表に戻ると、設定したジャンルと一致する番組の番組欄が色分けして表示されます。

▷ 他の色を続けて設定するときは

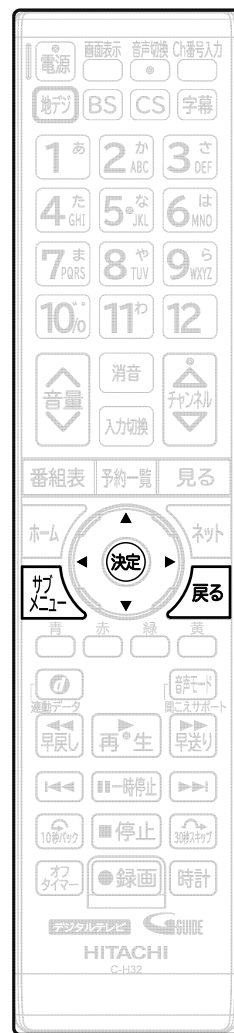
手順③～④を繰り返す

▷ 色分けを解除したいときは

手順④で「指定しない」を選ぶ

お知らせ

- 番組情報に複数のジャンルが存在する場合は、色分け設定一覧の上側から優先して表示されます。



番組の詳細内容を確認する

① 番組表を表示中に ▲・▼・◀・▶ で確認したい番組を選んで を押す

- ・ 表示を消すには、 を押してください。


▷ 番組についてのアイコン一覧

- : 番組の映像信号情報(上：画面の縦横比／下：信号方式)
- / : 有料放送未契約／有料放送契約済み
- / : デジタルコピー禁止／デジタル出力禁止
- : ダビング10番組またはコピーワンス(1回だけ録画可能)番組
- / : アナログコピー禁止／アナログ出力禁止
- ~ : 4歳から視聴可能～20歳から視聴可能
- : マルチ番組(映像や音声などが複数ある番組)
- / : モノラル音声／ステレオ音声
- / : 主+副 音声／マルチチャンネル音声
- : 字幕有り

指定した日の番組表を表示させる

日付を選んで番組表を表示させることができます。

① を押す

- を押して、「日付選択」を選んで操作することもできます。

② で指定したい日を選んで を押す


サブメニュー	10(木)
日付選択	11(金)
番組検索	12(土)
注目番組	13(日)
表示チャンネル数切換	14(月)
表示時間数切換	15(火)
文字サイズ切換	16(水)
番組詳細表示切換	17(木)
表示対象切換	
ジャンル色分け	
録画モード	
マルチチャンネル表示	

- 選択した日付の番組表が表示されます。

予約一覧を確認する

予約一覧の確認ができます。

① 「予約一覧」を押す

- 予約一覧画面が表示されます。くわしくは **P.86** をご覧ください。
- 番組表を表示中に を押して、「予約一覧」を選んで操作することもできます。

番組表から録画モードを変更する

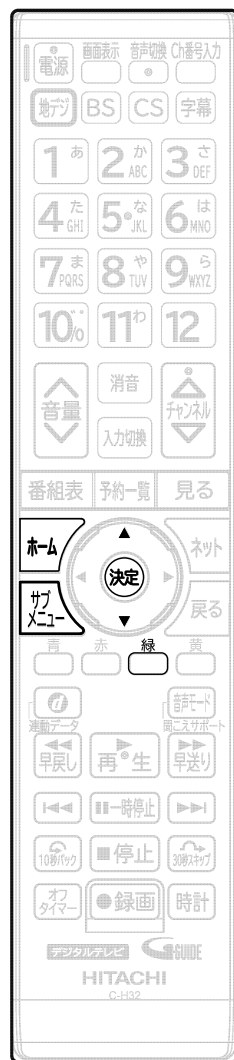
番組表を表示中に録画モードを変更できます。

① 番組表を表示中に を押す

② で「録画モード」を選んで を押す

③ で好みの設定を選んで を押す

- 変更した録画モードは、録画や録画予約のときの録画モードにも反映されます。



ご注意

- 録画中の予約の内容は変更できません。

番組表から一発予約で予約する

HDD

カセットHDD



1

番組表 を押す

2

地デジ、**BS** または **CS** を押して、録画予約したい放送の種類を選ぶ

3

▲・**▼**・**◀**・**▶** で予約したい番組を選んで **録画** を押す

- HDDへの録画予約が確定し、選んだ番組に **録画** が表示されます。
- 番組表に **録画** を表示するスペースがない場合は、代わりに赤い線 **|** が表示されます。

赤い表示に変わります

地上デジタル		番組表		
10(木)		11(金)	12(土)	
4	041	6	061	
00	DDD放送1	00	E放送1	
01	世界日報グルメの旅 今が旬のお味噌で おいしい料理がごこ	01	かわいいペット大集 わんちゃん	
02	56 Famous Music タ イム 大物ミュージシャン	02	30	ワットの食を考えよ
03	54 みえるニュース	03	50	映画「パウンド・ア イランド」 孤島に漂着した7 人が救出に向けて、 様々な困難に立ち向 かう。果たして無事 に生き残ることがで きるのか。
04	0 ドラマ「五月雨式 ザラシマ〜さつ といつかは〜」 断絶的に働き、語り	04	54	57 映画「パウンド・ア イランド」 孤島に漂着した7 人が救出に向けて、 様々な困難に立ち向 かう。果たして無事 に生き残ることがで きるのか。
05	00 総集編「五月雨式 ザラシマ〜さつ といつかは〜」 断絶的に働き、語り	05	00	56 連続ドラマ「五月 雨式ザラシマ〜さつ といつかは〜」 断絶的に働き、語り

- 放送中の番組を選んだ場合は、ただちに録画が始まり予約も登録されます。
- 他の番組も予約したいときは、この手順を繰り返します。
- 予約の設定が終わったら、**決定** を押してください。
- 本機を使用しないときは、電源を切ることをおすすめします。
(電源を切った状態でも予約録画は実行されます。)

▷ 予約の内容を変更したいときは

- ① 一発予約した番組を選んで **決定** を押す
- ② **◀**・**▶** で「予約修正」を選んで **決定** を押す
- ③ 予約の内容を変更する

- くわしくは「番組表予約(番組表からお好みの設定で予約する)」**P.74** の手順5以降をご覧ください。

▷ 予約の確認・削除や録画停止をするときは

- 予約の確認 **P.86**、予約の削除 **P.90**、録画の停止 **P.91** をご覧ください。

お知らせ

- 予約が重なったときは、**P.93** をご覧ください。



番組を検索して予約する

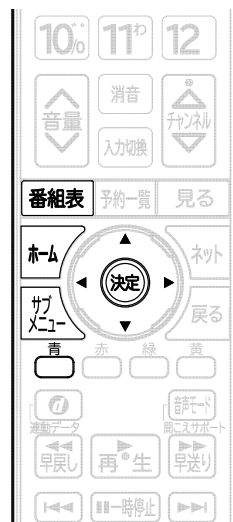
HDD カセットHDD

録画したい番組を検索して予約できます。

番組表のデータをカテゴリー、ジャンル、出演者およびフリーワードから検索して、お好みの番組を探ることができます。



- 1 **番組表** を押す
- 2 番組表を表示中に **怒** を押す
- 3 ▲・▼で「番組検索」を選んで **決定** を押す
- 4 ▲・▼でお好みの検索方法を選んで **決定** を押す



▷ カテゴリーから検索する場合は

- ① ▲・▼で「検索方法」を選んで **決定** を押す
- ② ▲・▼で「カテゴリー」を選んで **決定** を押す
- ③ ▼で「カテゴリー」へ移動して **決定** を押す
- ④ ▲・▼・◀・▶で「カテゴリー」と「サブカテゴリー」を選んで **決定** を押す

• 手順5に進んでください。

▷ ジャンルから検索する場合は

- ① ▲・▼で「検索方法」を選んで **決定** を押す
- ② ▲・▼で「ジャンル」を選んで **決定** を押す
- ③ ▼で「ジャンル」へ移動して **決定** を押す
- ④ ▲・▼・◀・▶で「ジャンル項目」と「詳細ジャンル項目」を選んで **決定** を押す

• 手順5に進んでください。

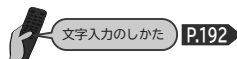
▷ 出演者から検索する場合は

- ① ▲・▼で「検索方法」を選んで **決定** を押す
- ② ▲・▼で「出演者」を選んで **決定** を押す
- ③ ▼で「出演者」へ移動して **決定** を押す
- ④ ▲・▼・◀・▶で「頭文字」と「出演者名」を選んで **決定** を押す

• 手順5に進んでください。

▷ フリーワードから検索する場合は

- ① ▲・▼で「検索方法」を選んで **決定** を押す
- ② ▲・▼で「フリーワード」を選んで **決定** を押す
- ③ ▼で「フリーワード」へ移動して **決定** を押す
- ④ フリーワードを入力する



• 手順5に進んでください。

• 「フリーワード」の入力欄を選んだ状態で **怒** を押すと、フリーワードの新規登録や、登録済みのフリーワードの選択や編集ができます。

• フリーワードは最大 14 個まで登録できます。

番組を検索して予約する(つづき)

5 ▼で「日付」を選んで**決定**を押す

6 ▲・▼で検索する日付を選んで**決定**を押す

7 ▼で「放送種別」を選んで**決定**を押す

8 ▲・▼で検索する放送種別を選んで**決定**を押す

9 ▼で「検索開始」を選んで**決定**を押す

- 検索が始まり、検索結果一覧が表示されます。
- 検索にはしばらく時間がかかります。

▷ 番組の詳細内容を確認するには
内容を確認したい番組を選んで**決定**を押す P.68

▷ 今すぐ番組を見たいときは
現在放送中の番組を選んで**決定** → 「番組説明」 → 「見る」を
選んで**決定**を押す

10 ▲・▼で予約したい番組を選ぶ

▷ 一発予約で予約するには

録画を押す

- 選んだ番組に「**録画**」が表示されます。
- 設定が終わったら、**戻る**を押してください。

▷ お好みの設定で予約するには

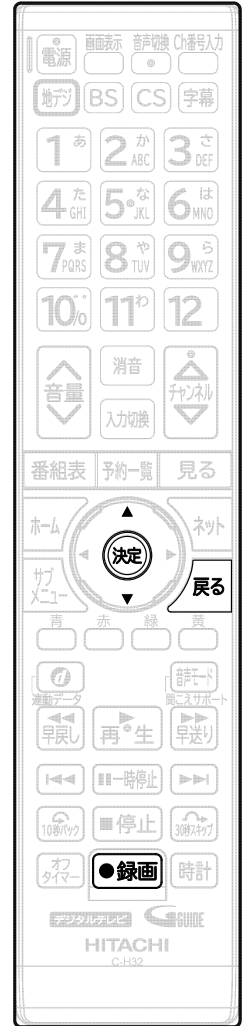
決定を押して「番組説明」を表示してから「番組表予約(番組表からお好みの設定で予約する)」P.74の手順4以降を行う

ご注意

- フリーワードの入力は全角/半角にかかわらず、最大で30文字までになります。
- 検索結果は各放送の番組データの受信状況によって異なりますので、カテゴリーやジャンルなどが一致しても検索できない場合があります。
- 「カテゴリー」、「ジャンル」、「出演者」で検索した場合と「フリーワード」で検索した場合は、検索結果が異なることがあります。
- 検索結果は最大300件まで表示できます。目的の番組が表示されない場合は、条件を絞り込んで再検索してください。

お知らせ

- フリーワードには、スペースをはさんで複数のワードを設定することもできます。この場合は、入力した全ワードを含む番組を検索します。(例: ヨーロッパ 鉄道旅行)
- 検索した設定は再度番組検索を表示しても記憶されていますが、「日付」の設定は「すべて」に戻ります。



注目番組一覧から予約する

HDD カセットHDD

放送局おすすめの番組一覧から番組を選んで予約できます。



1 **番組表** を押して、番組表を表示する

2 **忍** を押して、サブメニューを表示する

3 ▲・▼で「注目番組」を選んで**決定**を押す

4 ▲・▼でお好みのカテゴリーを選んで**決定**を押す



カテゴリー一覧

注目番組一覧

選択されているカテゴリーによっては、表示方法が異なることがあります。

5 ▲・▼・◀・▶で予約したい番組を選ぶ

▷ お好みの設定で予約するには

① **決定**を押して、注目番組詳細を表示してから、

◀・▶で「録画予約」を選んで**決定**を押す

• 予約するかどうかの確認メッセージが表示されたときは、「はい」を選んで**決定**を押します。

② 「番組表予約 (番組表からお好みの設定で予約する)」 P.74 の手順5に進んでください。

• 選んだ番組に「**録画**」が表示されます。

▷ 「一発予約」をするには

① **録画**を押す

• 予約するかどうかの確認メッセージが表示されたときは、「はい」を選んで**決定**を押します。
選んだ番組に「**録画**」が表示されます



番組表予約 (番組表からお好みの設定で予約する)

HDD

カセットHDD

番組表から録画予約したい番組を選んで、お好みの設定で録画予約できます。

▶ 準備

- カセットHDDに録画するときは、USB 1録画再生(カセットHDD用)端子にカセットHDDをつないでおく **P.147**
また、事前に「ホーム」→「テレビ操作」→「HDD / カセットHDD 切換」で「カセットHDD」を▲・▼で選んで(決定)を押す



1 **番組表** を押す

2 **地上**、**BS** または **CS** を押して、録画予約したい放送の種類を選ぶ

3 ▲・▼・◀・▶ で録画予約したい番組を選んで(決定)を押す

4 ◀・▶ で「録画予約」を選んで(決定)を押す

- 現在の設定内容が表示されます。設定内容に問題なければ▲・▼で「予約する」を選んで、(決定)を押してください。設定を変更したい場合は、手順5に進んでください。
- 放送が確定していない番組の場合は確認画面が表示されるので▲・▼で「はい」を選んで、(決定)を押してください。

5 ▲・▼・◀・▶ で設定内容を変更したい項目を選んで(決定)を押す

- お好みに合わせて以下の項目を変更してください。



番組表予約で設定できる項目一覧

録画日	当日の日付(2017/8/1など)
	毎週○(○は曜日を表示)
	月～金
	月～土
	火～土
	毎日

▷ 毎週/毎日録画をするときは

- 「毎週○」や「月～金」、「月～土」、「火～土」、「毎日」を選ぶ
- 日曜日以外に放送される番組を毎日録画する場合は「月～土」を、月曜から金曜の深夜番組(日付が変更してから放送される番組)を毎日録画する場合は「火～土」をおすすめします。

番組予約	
現在の設定内容	
録画日 : 8月10日(木)	
録画先 : HDD	
フォルダー : すべて(指定しない)	
録画モード : TS(71時間49分)	
予約する	8月10日
録画日(当日/毎週/月～金など)	毎週木
録画先(HDD/カセットHDD)	月～金
フォルダー(指定)	月～土
録画モード	火～土
録画/予約設定	毎日

録画先	HDD
	カセットHDD

フォルダー指定	すべて(指定しない)
	新規フォルダー
	新規フォルダー(番組名)
	作成したフォルダー

▷「すべて(指定しない)」を選ぶと

- 「すべて」および「ジャンル」に保存されます。

▷「新規フォルダー」を選ぶと

- お好みの名前のフォルダーを作成できます。



文字入力のかた P.192

▷「新規フォルダー(番組名)」を選ぶと

- 録画予約する番組と同じ名前でフォルダーを作成して、録画できます。
(フォルダー名はお好みの名前にも変更できます。)

録画モード	TS
	AF(2倍)
	AN(3倍)
	AS(4倍)
	AL(5.5倍)
	AE(12倍)













- 変更した録画モードは、録画や録画予約のときの録画モードにも反映されます。
- 録画モードを「TS」以外に設定したときは、記録する音声・字幕を設定してください。字幕放送を行っていない番組は、「音声/字幕設定」で切り換えることはできません。

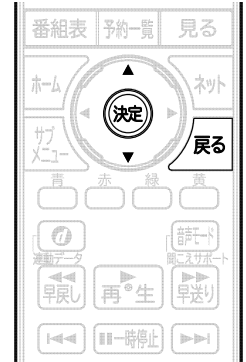
音声/字幕設定	音声
	字幕

- 録画モードを「TS」に設定したときは選べません。

番組表予約（番組表からお好みの設定で予約する）（つづき）

6 すべて設定が終わったら、▲・▼で「予約する」を選んで**決定**を押す

- 番組表に戻り、選んだ番組に  が表示されます。（番組表に  を表示するスペースがない場合は、代わりに赤い線  が表示されます。毎週／毎日録画をした場合は、該当する番組すべてに  が表示されます。）
 - 設定が終わったら、 を押してください。
 - 本機を使用しないときは電源を切ることをおすすめします。（電源を切った状態でも予約録画は実行されます。）
- ▷ **予約が重なったときは**
「予約が重なったときは」 をご覧ください。
- ▷ **他の番組を続けて予約するときは**
このあと、 ～  の手順 2 ～ 6 を繰り返す
- ▷ **予約の確認・変更・削除や録画停止をするときは**
 ～  をご覧ください。
- 予約は 200 件まで登録できます。HDD とカセット HDD への 1 番組あたりの録画可能時間は 15 時間です。



手動で入力して予約する(日時指定予約)

HDD カセットHDD

番組表が利用できない番組を録画予約したいときに、手動で番組を録画予約できます。

▶ 準備

- カセットHDDに録画するときには、USB 1録画再生(カセットHDD用)端子にカセットHDDをつないでおく **P.147**
また、事前に「ホーム」→「テレビ操作」→「HDD / カセットHDD 切換」で「カセットHDD」を▲・▼で選んで(決定)を押す



1 「予約一覧」を押す

- 予約一覧画面が表示されます。
- **[F1]**を押して、▲・▼で「予約」を選んで操作することもできます。
- 番組表を表示中に、**[F2]**を押して、「予約一覧」を選んで操作することもできます。

2 **[F3]**を押す

- 「録画予約設定」が表示されます。
- 「予約一覧」→ **[F3]** → 「新規予約」を選んで操作することもできます。

3 ◀▶で各項目を選んで▲・▼で設定する



▲・▼で時刻やチャンネルなどを設定します。

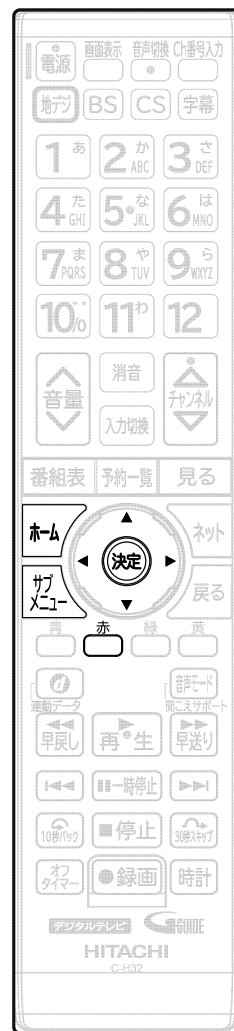
- 昼の12時は「PM0:00」、夜の12時は「AM0:00」に合わせてください。

▷ 毎週/毎日録画をするときは

「録画日」のところ ▼ 押ししていくと、「毎日」、「火~土」、「月~土」、「月~金」、「毎週○」(○は録画予約する番組の曜日が表示されます)などを選べます。

4 ▲・▼・◀・▶で設定内容を変更したい項目を選んで(決定)を押す

- お好みに合わせて以下の項目を変更してください。



録画予約設定で設定できる項目一覧

録画先	HDD
	カセットHDD

手動で入力して予約する(日時指定予約)(つづき)

録画モード	TS
	AF(2倍)
	AN(3倍)
	AS(4倍)
	AL(5.5倍)
	AE(12倍)

- 変更した録画モードは、録画や録画予約のときの録画モードにも反映されます。

フォルダー指定	すべて(指定しない)
	新規フォルダー
	新規フォルダー(番組名)
	作成したフォルダー

▷「すべて(指定しない)」を選ぶと

- 「すべて」および「ジャンル」に保存されます。

▷「新規フォルダー」を選ぶと

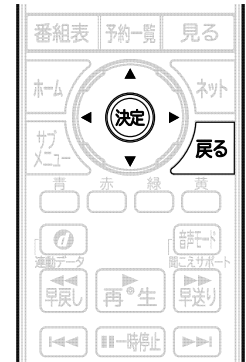
- お好みの名前のフォルダーを作成できます。



文字入力のしかた P.192

5 すべて設定が終わったら、▲・▼・◀・▶で「決定」を選んで(決定)を押す

- 予約が確定し、「予約一覧」に戻ります。
 - 設定が終わったら、を押してください。
 - 本機を使用しないときは電源を切ることをおすすめします。(電源を切った状態でも予約録画は実行されます。)
- ▷ **予約が重なったときは**
「予約が重なったときは」[P.93](#)をご覧ください。
- ▷ **他の番組を続けて予約するときは**
このあと、[P.77](#) ~ [P.78](#) の手順2 ~ 6を繰り返す



お知らせ

- 予約は200件まで登録できます。HDDとカセットHDDへの1番組あたりの録画可能時間は15時間です。

自動で録画する (お好み録画)

フリーワードやジャンルを設定して、条件にあてはまる番組を自動で録画できます。

お好み録画設定画面の見かた



- ① 録画先メディア
- ② 検索条件
- ③ 検索条件詳細
- ④ 検索設定:入/切
- ⑤ 操作ガイド

ご注意

お好み録画は、録画を保証するものではありません。確実に予約したい番組は、番組表などから予約してください。お好み録画できる番組は、1日に最大12時間までです。

新番組自動録画を設定する

HDD **カセットHDD**

1 ホームを押して、▲・▼で「予約」を選んで**決定**を押す

2 ▲・▼で「お好み録画」を選んで**決定**を押す

3 ▲・▼で「新番組」を選んで**決定**を押す



詳細を設定する場合は、「お好み録画を登録する」P.80の手順4以降を行ってください。

自動で録画する（お好み録画）（つづき）

4 「設定完了」を選んで **決定** を押す

5 「閉じる」を選んで **決定** を押す

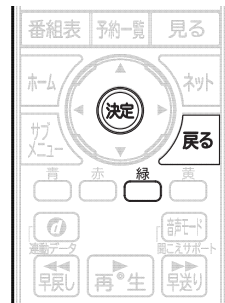
6 **録** を押して「検索設定」を「入」にする

録 を押すたびに「検索設定」の「入」と「切」が切り換わります。

新番組自動録画を「入」にすると、地上デジタル放送の新番組やドラマの初回を検索して録画します。（放送種別 **P.82** は地デジになります。）

新番組自動録画を「切」にしても、すでに検索された録画予約は削除されません。

設定が終わったら、**戻る** を押してください。



お好み録画を登録する

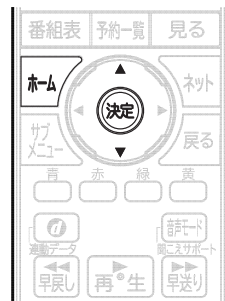
HDD

カセットHDD

1 **ホーム** を押して、**▲・▼** で「予約」を選んで **決定** を押す

2 **▲・▼** で「お好み録画」を選んで **決定** を押す

3 **▲・▼** で「(未設定)」を選んで **決定** を押す



検索条件を選ぶ

4 **▲・▼** で検索条件を選んで **決定** を押す

「カテゴリー」:

カテゴリーの一覧が表示されます。左側の一覧からカテゴリーを選んだあと、右側の一覧からサブカテゴリーを選んでください。

「ジャンル」:

ジャンルの一覧が表示されます。左側の一覧からジャンル項目を選んだあと、右側の一覧から詳細ジャンル項目を選んでください。

「出演者」:

出演者の一覧が表示されます。左側の一覧から頭文字を選んだあと、右側の一覧から出演者名を選んでください。

「フリーワード」:

文字入力画面が表示されます。お好みのフリーワードを入力してください。スペースをはさんで、複数のフリーワードを設定することもできます。

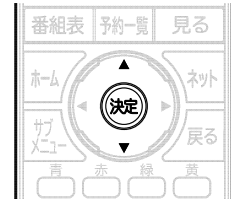
(例： ヨーロッパ 鉄道旅行)

文字の入力方法については、

文字入力のしかた **P.192** をご覧ください。

5 ▲・▼で設定内容を変更したい項目を選んで 決定を押す

お好みに合わせて以下の項目を変更してください。



お好み録画で設定できる項目一覧

録画先	HDD
	カセットHDD

録画モード	TS
	AF(2倍)
	AN(3倍)
	AS(4倍)
	AL(5.5倍)
	AE(12倍)

フォルダー指定	すべて(指定しない)
	新規フォルダー
	作成したフォルダー

▷「すべて(指定しない)」を選ぶと

「すべて」および「ジャンル」に保存されます。

▷「新規フォルダー」を選ぶと

お好みの名前のフォルダーを作成できます。



自動削除を設定する

内蔵HDDの残り容量が少なくなったときに、自動的に削除する番組をあらかじめ指定できる機能です。自動削除を実行する残り容量については、「自動削除する条件を設定する」P.85をご覧ください。

6 ▲・▼で「自動削除」を選んで決定を押し、▲・▼で自動削除を「入」または「切」を選んで決定を押す

「入」：録画した番組の番組説明画面に「D 自動削除予定」が表示されます。

「切」：自動的に削除されません。

自動で録画する（お好み録画）（つづき）

▷ かわいい検索条件を設定するときは

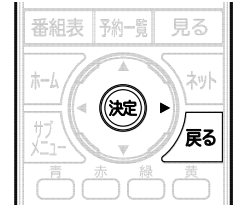
① 手順6の設定が終わった後に「詳細設定」を選んで **決定** を押す

- 手順4で「カテゴリー」を選択した場合は、「詳細設定」が表示されません。

② 各項目を設定する

- 1 放送種別
番組を検索する放送の種類を指定します。
- 2 チャンネル
番組を検索するチャンネルを指定します。
- 3 出演者/ジャンル
出演者またはジャンルを指定します。
手順4で設定している検索条件により、表示される項目が変わります。
- 4 フリーワード
フリーワードを入力します。
- 5 除外ワード
設定した除外ワードに関連する番組を、他の条件で検索されたお好み録画の対象から除外します。
- 6 時間帯
番組を検索する時間帯を設定します。

③ ▶で「決定」を選んで **決定** を押す



7 ▶で「設定完了」を選んで **決定** を押す

- 現在時刻の30分後に開始する番組から2日先までの番組を検索し、お好み録画予約します。
- 次回からは、本機の電源が「切」のときに行う番組表更新時に検索が実行されます。

8 メッセージが表示されるので確認して、**決定** を押す

- 設定が終わったら、 を押してください。

ご注意



- 手順6で、自動削除を「入」に設定して録画された番組を編集した場合は、自動削除が解除されます。
- 検索条件に関連する番組であっても、同時に設定した除外ワードに関連する番組は、お好み録画の対象から除外されますのでご注意ください。


お知らせ


- お好み録画は、新番組自動録画1個を含めて最大16個まで登録できます。
- 番組表での表示が左のチャンネルから順に予約されます。

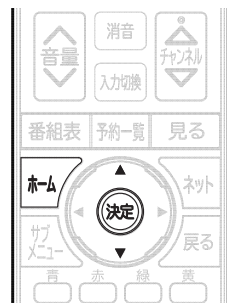
登録したお好み録画を変更する

HDD カセットHDD

1  を押して、▲・▼で「予約」を選んで  を押す

2 ▲・▼で「お好み録画」を選んで  を押す

3 ▲・▼で変更したいお好み録画を選んで  を押す



4 「お好み録画を登録する」 P.80 の手順 4 以降を行う


ご注意

変更した内容は次の検索時から反映されます。変更前に検索された録画予約には反映されません。


番組表からお好み録画を登録する


HDD カセットHDD

  からでも操作OK!!

1  を押す

2 ▲・▼・◀・▶でお好み録画したい番組を選んで  を押す

3 ◀・▶で「お好み録画」を選んで  を押す

4 ▲・▼で検索条件を選んで  を押す

「カテゴリー」:


一覧からカテゴリーを選んでください。

「ジャンル」:

一覧からジャンルを選んでください。


「出演者」:

一覧から出演者を選んでください。

- 一覧が表示された場合は ▲・▼ でお好みの条件を選んで  を押してください。
- 「該当データなし」が表示された場合は、他の条件を選択してください。

「番組名」:

文字入力画面に選んだ番組と同じ番組名が表示されるので、番組名を編集してください。

 文字入力のしかた P.192

選んだ番組によっては、話数も番組名として含まれる場合もあります。

5 「お好み録画を登録する」 P.80 の手順 5 以降を行う



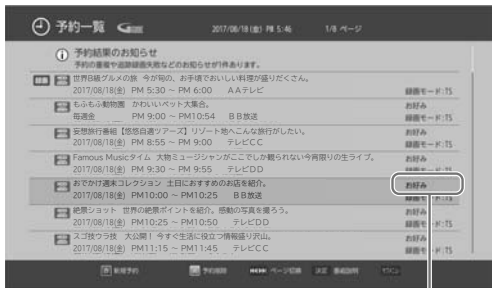
自動で録画する(お好み録画)(つづき)

お好み録画で登録された予約を確認する

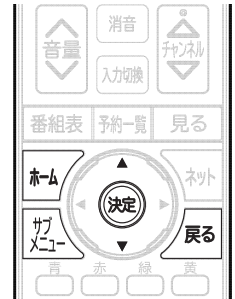
HDD カセットHDD

1 「予約一覧」を押す

- 予約一覧画面が表示されます。
- を押して、▲・▼で「予約」を選んで操作することもできます。
- 番組表を表示中に を押して、「予約一覧」を選んで操作することもできます。
- 確認が終わったら、を押してください。



「お好み」が付きます。



お好み録画の検索設定を無効にする

HDD カセットHDD

お好み録画を一時的に実行しないようにします。

1 を押して、▲・▼で「予約」を選んで を押す

2 ▲・▼で「お好み録画」を選んで を押す

3 ▲・▼で無効にしたいお好み録画を選んで を押す



操作ガイド

検索設定：入/切



- を押すたびに「検索設定」の「入」と「切」が切り換わります。
- 設定が終わったら、を押してください。



ご注意


- お好み録画の検索設定を「切」にしても、すでに検索された録画予約は削除されません。削除したいときは、「予約一覧から予約を取り消す」[P.90](#)をご覧ください。


お好み録画の登録を削除する

HDD カセットHDD

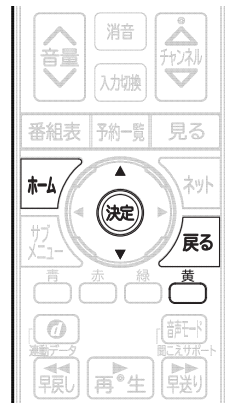
お好み録画の登録を削除します。

1  を押して、▲・▼で「予約」を選んで  を押す

2 ▲・▼で「お好み録画」を選んで  を押す

3 ▲・▼で削除したいお好み録画を選んで  を押す

- 確認画面が表示されるので、▲・▼で「はい」を選んで  を押してください。
- 設定が終わったら、 を押してください。





ご注意


- 「新番組」は削除できません。新番組自動録画をしない場合は、「お好み録画の検索設定を無効にする」P.84 をご覧ください。
- お好み録画の登録を削除しても、すでに確定された録画予約は削除されません。削除したいときは、「予約一覧から予約を取り消す」P.90 をご覧ください。

自動削除する条件を設定する


HDD


自動削除を実行する内蔵HDDの残り容量を設定できます。

1  を押して、▲・▼で「予約」を選んで  を押す

2 ▲・▼で「お好み録画」を選んで  を押す

3  を押す

4 ▲・▼でお好みの残り容量を選んで  を押す

- 設定が終わったら、 を押してください。



予約を確認・変更・削除する

設定済みの予約を確認する

HDD

カセットHDD

予約一覧で予約を確認することができます。

1 「予約一覧」を押す

- 予約一覧画面が表示されます。
- **[+]**を押して、**▲・▼**で「予約」を選んで操作することもできます。
- 番組表を表示中に **[F1]**を押して、「予約一覧」を選んで操作することもできます。
- 確認が終わったら、**[RS]**を押してください。



予約一覧の見かた



- ① 予約結果のお知らせ
- ② 現在の日時
- ③ 番組名
- ④ 予約日時、放送局名
- ⑤ お好み録画
- ⑥ 録画モード
- ⑦ 録画先メディア
- ⑧ スキップ設定をしている予約
- ⑨ 操作ガイド

- 録画中の予約には、**[録画]**が表示されます。
- **[重複]**が表示されたときは、**[P.93]**をご覧ください。
- 「予約結果のお知らせ」フォルダについてくわしくは**[P.94]**をご覧ください。

設定済みの予約の内容を変更する

予約一覧または番組表から予約内容の変更をすることができます。

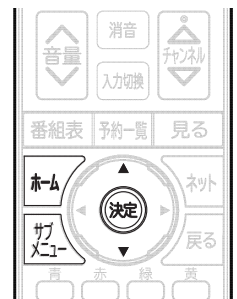
予約一覧から予約の内容を変更する


HDD


カセットHDD

1 「予約一覧」を押す

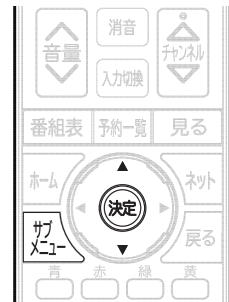
- 予約一覧画面が表示されます。
- **[+]**を押して、**▲・▼**で「予約」を選んで操作することもできます。
- 番組表を表示中に **[F1]**を押して、「予約一覧」を選んで操作することもできます。



2 ▲・▼で変更したい予約を選んで  を押す

3 ▲・▼で「予約修正」を選んで  を押す

4 ◀・▶で変更したい項目へ移動して、▲・▼で内容を変更する




◀・▶で各項目を選んで



▲・▼で内容を変更する

●番組表からの予約の場合は、チャンネルの変更はできません。

5 ▲・▼・◀・▶で設定内容を変更したい項目を選んで  を押す

●お好みに合わせて以下の項目を変更してください。

録画予約設定で設定できる項目一覧

録画先	HDD
	カセットHDD

録画モード	TS
	AF(2倍)
	AN(3倍)
	AS(4倍)
	AL(5.5倍)
	AE(12倍)

フォルダー指定	すべて(指定しない)
	新規フォルダー
	新規フォルダー(番組名)
	作成したフォルダー

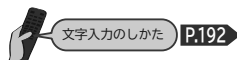
▷「すべて(指定しない)」を選ぶと

●「すべて」および「ジャンル」に保存されます。

- 変更した録画モードは、録画や録画予約のときの録画モードにも反映されます。
- 録画モードを「TS」以外に設定したときは、記録する音声・字幕を設定してください。

▷「新規フォルダー」を選ぶと

●お好みの名前でのフォルダーを作成できます。



▷「新規フォルダー(番組名)」を選ぶと

- 録画予約する番組と同じ名前でのフォルダーを作成して、録画できます。(フォルダー名はお好みの名前にも変更できます。)
- 「手動で入力して予約する(日時指定予約)」で予約した番組では選べません。

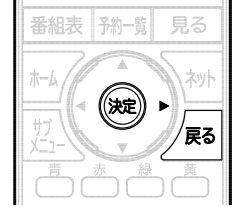
予約を確認・変更・削除する(つづき)

音声/字幕設定	音声
	字幕

- 録画モードを「TS」に設定したときは選べません。
- 「手動で入力して予約する(日時指定予約)」で予約した番組では選べません。

6 すべての設定が終わったら、▲・▼・◀・▶で「決定」へ移動して、**決定**を押す

- 予約が確定し、「予約一覧」に戻ります。
 - 設定が終わったら、**戻る**を押してください。
- ▷予約が重なったときは
「予約が重なったときは」**P.93**をご覧ください。



番組表から予約の内容を変更する

HDD **カセットHDD**



1 **番組表**を押す

2 ▲・▼・◀・▶で予約を変更したい番組を選んで **決定**を押す

3 ◀・▶で「予約修正」を選んで **決定**を押す

4 予約の内容を変更する

- 「番組表予約(番組表からお好みの設定で予約する)」
P.74 ~ **P.76**の手順5~6をご覧ください。
- 設定が終わったら、**戻る**を押してください。



ご注意

- 番組表から録画予約した番組の場合は、「開始時刻」または「終了時刻」を変更すると、番組の自動延長や自動追跡ができなくなります。番組表から予約した録画予約の特徴は、**P.94**をご覧ください。
- 日時指定予約の場合は、予約録画が実行中でも終了時刻のみ変更できます。

予約スキップ(毎週/毎日録画を一時停止する)

HDD カセットHDD

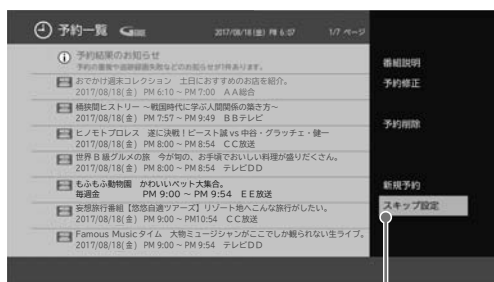
祝日などでその週/日の番組の放送がない場合は、予約をそのまま残して次回の録画だけ実行されないように設定できます。

1 「予約一覧」を押す

- 予約一覧画面が表示されます。
- **[H]**を押して、**▲**・**▼**で「予約」を選んで操作することもできます。
- 番組表を表示中に **[H]**を押して、「予約一覧」を選んで操作することもできます。

2 ▲・▼で一時的に毎週/毎日録画を解除したい予約を選んで **[H]**を押す

3 ▲・▼で「スキップ設定」を選んで **[決定]**を押す



スキップ設定



- スキップを設定した予約に「スキップ」と表示され、次回の予約がスキップされます。
- 「スキップ設定」を解除するには、もう一度手順3～4を行ってください。
- 設定が終わったら、**[H]**を押してください。

ご注意

- 予約のスキップ設定は、1回スキップすると自動的に解除されます。

予約を確認・変更・削除する(つづき)

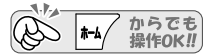
不要な予約を取り消す

番組表または「予約一覧」から不要な予約を取り消すことができます。

番組表から予約を取り消す

HDD カセットHDD

予約の取り消しは1予約ずつとなります。



1 番組表 を押す

2 ▲・▼・◀・▶で予約を取り消したい番組を選んで ●録画 を押す

- 確認画面が表示されるので、「はい」を選んで(決定)を押してください。
- 録画予約が取り消され、選んだ番組から(録画)が消えます。
- (録画)の代わりに(決定)を押して番組内容を表示させ、◀・▶で「予約削除」を選んで(決定)を押して予約を取り消すこともできます。
- 設定が終わったら、(戻る)を押してください。

「予約一覧」から予約を取り消す

HDD カセットHDD

1 「予約一覧」を押す

- 予約一覧画面が表示されます。
- (戻る)を押して、▲・▼で「予約」を選んで操作することもできます。
- 番組表を表示中に(戻る)を押して、「予約一覧」を選んで操作することもできます。

2 (黄) を押す

- (戻る)を押して、「複数予約削除」を選んで操作することもできます。

3 ▲・▼で予約を取り消したい番組を選んで (決定) を押す

- 選んだ番組に(決定)が付きます。
- (決定)を押すとすべての番組を選ぶことができます。
- (黄)を押すとすべての番組の選択を解除できます。
- この手順を繰り返し、予約を取り消したい番組を選んでください。

4 番組を選び終わったら、▶で「決定」へ移動して、(決定)を押す

- 確認画面が表示されるので、「はい」を選んで(決定)を押してください。
- 設定が終わったら、(戻る)を押してください。



録画を停止する

停止する

HDD カセットHDD

録画中に、録画を停止できます。

1 ■停止 を押す

- 確認画面が表示されるので、「はい」を選んで **決定** を押してください。録画が停止します。
- 停止した位置までが1つの番組となります。
(停止後に次の操作ができるまで、しばらく時間がかかることがあります。)

▷ 同時録画中に録画を停止するときは

■停止 を押して、**▲・▼** で停止したい録画を選ぶ

- 確認画面が表示されるので、「はい」を選んで **決定** を押してください。
- 同時録画している番組を追いかけ再生している場合は、**■一時停止** を押してあらかじめ再生を停止してください。

ご注意

- 録画中に一度停止を選択して録画を再開した場合は、番組が分割されます。



録画についての補足説明

録画全般

- 録画中に残量がなくなったときは、録画が自動的に停止します。

録画予約全般

予約録画があるときの本機の動き

▷ 予約開始時刻の直前になると

- 本機の電源が「入」のとき、そのまま録画は実行されます。本機の電源を「切」にしても録画は中断されません。
- 本機の電源が「切」のときは、電源が「切」のまま録画が実行されます。

▷ 予約終了時刻になると

- 自動的に録画が終わります。

番組表を使った予約（番組検索、注目番組）

- 番組検索や注目番組一覧表示は、番組データの番組情報(日によって変わることがあります)をもとに行うため、同じ番組でも日によっては表示されないことがあります。


代理録画

- 予約録画が実行できない状態でも、HDDが録画可能な状態であればHDDに代理で録画します。(代理録画する場合は、メッセージでお知らせします。)
- 以下は、予約録画が代理録画になる場合の一例です。(他にも代理録画される場合があります。)

▷ カセットHDDに予約録画するとき…

- カセットHDDの残量時間が足りない
- 録画可能なカセットHDDが接続されていない

録画／ワンタッチタイマー録画／等速ダビングと予約録画が重なったときは

以下の場合、を押した録画やワンタッチタイマー録画が予約開始2分前に取り消されます。

▷ 2番組同時の場合は

(2番組同時録画できる場合は、1番組のみ取り消されます。)

- すでに2番組同時録画中の場合
- 2番組同時録画できない条件の場合(くわしくは「同時録画時の録画モードについて」P.198をご覧ください。)

▷ 等速ダビングの場合は

- 予約開始2分前に取り消されます。

予約が重なったときは

予約を決定するときに確認画面が表示されます。

重なっている予約を確認するときは

- メッセージを確認し(番組表予約の場合は確認画面で「はい」を選んで) を押し、「予約一覧」が表示されます。
- 重なりのため、一部またはすべての録画ができなくなっている予約には **重複** が付いて表示されています。

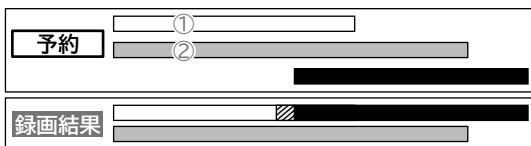
3つ以上の予約が重なった場合は

- 全部または一部が重なった場合は、録画開始時刻が遅い方の予約が優先的に録画されます。



※斜線の部分(約20秒)は録画されません。

- 開始時刻が同じ場合は、予約一覧で順番が下の方の予約が優先的に録画されます。



※斜線の部分(約20秒)は録画されません。

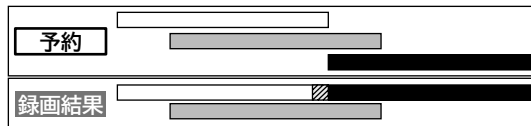
- ①予約一覧で上に表示されている番組
- ②予約一覧で下に表示されている番組

同時録画できない場合は

- 録画開始時刻が遅い方の予約が優先的に録画されます。
- 開始時刻が同じ場合は、予約一覧で順番が下の方の予約が優先的に録画されます。
- 前の予約の場合は、後の予約と重なる部分の手前約20秒以降は録画されません。
(前の予約の終了時刻と後の予約の開始時刻が同じ場合を含む)

1番目の予約の終了時刻と3番目の予約の開始時刻が同じときは

連続する予約(前の予約の終了時刻と後の予約の開始時刻が同じ)の場合は、前の予約の終了時刻の手前約20秒は録画されません。



※斜線の部分(約20秒)は録画されません。

停電があったときは

全般

- 停電から復帰すると、自動的に電源が入って復帰処理を行います。
- 停電によって予約録画が中断したときは、予約一覧でお知らせします。 **P.86**

録画の種類別では

▷録画中に停電したとき

- 録画は停電したところで終了します。
- 復帰処理終了後は電源が切れます。

▷予約録画の開始前に停電したとき

- 停電復帰後に時計が自動修正されると、予約内容が復活します。

録画についての補足説明(つづき)

▷予約録画の実行中に停電したとき

- 録画は停電したところで中断します。
- 録画終了時刻前に停電から復帰したときは、復帰処理終了後に録画終了時刻まで録画されます。
- 録画終了時刻後に停電から復帰したときは、録画は停電したところで終了し、復帰処理終了後に電源が切れます。

録画先では

▷HDD/カセットHDD

- 停電前後の番組は分割されて録画一覧に登録されます。
- 停電直前の数十秒程度が録画されないことがあります。
- 停電発生のタイミングによっては、停電前に録画された内容が削除されることがあります。
- 停電発生の状況によっては、「すべての初期化」**P.189**が必要となることがあります。
- カセットHDDへの予約録画中に停電があった場合は、接続機器によって停電復帰後の予約録画の続きがHDDに代理録画されることがあります。

予約録画が正常に行われなかったときは

- 重なりや停電などの要因で録画が正常に行われなかった予約は、「予約結果のお知らせ」フォルダーにまとめられます。予約一覧で、「予約結果のお知らせ」フォルダー内の番組を選んで Ⓜ を押すとお知らせ内容が表示されます。「戻る」を選ぶと、そのまま確認画面に戻り、「お知らせ削除」を選ぶと予約のお知らせが一覧から削除されます。
- 複数の予約のお知らせを削除するには、「予約結果のお知らせ」フォルダーで Ⓜ を押してから削除したい番組を選んで Ⓜ を押します。選んだ番組に「 Ⓜ 」がつくので、削除したい予約のお知らせがすべて選ばれているか確認し、▶で「決定」を選んで Ⓜ を押します。確認画面が表示されるので「はい」を選んで Ⓜ を押してください。(予約一覧の表示方法については、「設定済みの予約を確認する」**P.86**をご覧ください。)

- 「予約結果のお知らせ」フォルダーにまとめられる番組は、最大30件です。30件を超えた場合は、古い番組から順に削除されます。

お知らせ

- 最大記録可能数/登録数については、**P.204**をご覧ください。

番組表から録画予約した場合の自動追跡について

- デジタル放送の番組を番組表から予約した場合は、次のようなときに自動的に録画開始/終了時刻が変更されて録画されます。
(例)
毎週録画をしているドラマの最終回だけ、放送時間が延長されているとき。
特別番組のため、今回放送分だけ、放送時間が遅くなるとき。
予約していたスポーツ番組が延長されたとき。
予約番組の前に放送されているスポーツ番組が延長されて、予約番組の放送時間が遅くなるとき。
- 自動的に録画開始/終了時刻が変更される時間は、1回だけの録画の場合は3時間後まで、毎週/毎日録画の場合は前後各3時間までとなります。
- 野球中継などで延長部分が他のチャンネルに引き継がれて放送される場合に、番組データの延長情報に従って自動的にチャンネルと録画終了時刻が変更されて録画されます。
(例)
昼の時間帯に「NHK 総合」で放送されている高校野球を番組表から予約して録画中、夕方から放送されるチャンネルが「NHK Eテレ」に引き継がれた場合でも、録画チャンネルが切り換わってそのまま高校野球の録画が継続されます。
自動追跡やイベントリレーによって予約が重なったときは、「予約が重なったときは」**P.93**の例に従って録画されます。
自動追跡は、デジタル放送の番組を番組表から予約した場合のみ有効となります。

録画した番組を再生する

HDD カセットHDD

本機ではHDD／カセットHDDに録画した番組を再生することができます。

- HDDやカセットHDDのフォルダーにある番組を削除する場合は「番組をフォルダーで管理する」[P.125](#)をご覧ください。また、再生した番組を編集する場合は[P.114](#)をご覧ください。

▶ 準備

- カセットHDDを再生するときは、USB 1 録画再生 (カセットHDD用) 端子にカセットHDDをつないでおく [P.147](#)



1 **見る** を押して、▲・▼で「録画一覧」を選んで
決定を押す

2 ▲・▼で「HDD」または「カセットHDD」を選んで
決定を押す

- フォルダー一覧が表示されたときは、▲・▼で見たい番組が入ったフォルダーを選んで決定を押してください。

3 ▲・▼で見たい番組を選ぶ

4 **再生** または決定を押す

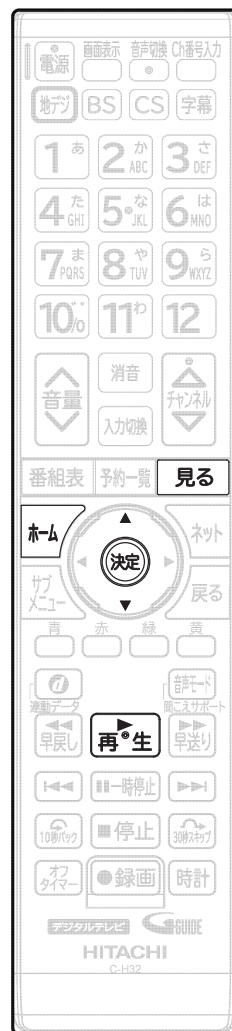
- レジュームポイントが記憶されている場合は、レジュームポイントから再生が始まります。レジュームポイントについて、くわしくは「レジュームポイントについて」[P.96](#)をご覧ください。

▷ 副音声を楽しむには
くわしくは[P.111](#)をご覧ください。

▷ 字幕を表示させるには
くわしくは[P.112](#)をご覧ください。

ご注意


- 複数の音声を用意されていない番組もあります。
- 字幕が用意されていない番組もあります。



録画した番組を再生する(つづき)

再生中に番組説明を見る


HDD カセットHDD



を押して、▲・▼で「番組説明」を選んで**決定**を押す

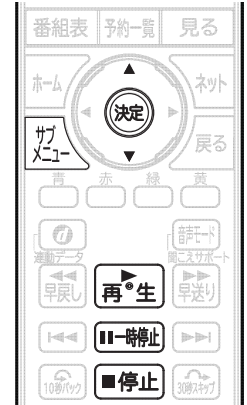
- 番組説明が表示されます。

再生を一時停止する

HDD カセットHDD


を押す


- 再生が一時停止します。
-  または  を押すと再生に戻ります。






再生を停止する

HDD カセットHDD

を押す


- 再生が停止し、録画一覧が表示されます。(レジュームポイントが記憶されます。)
- レジュームポイントを解除するには、録画一覧が表示されていない状態で停止中にもう一度  を押してください。ただし、HDDとカセットHDDの番組ごとのレジュームポイントは解除しません。

レジュームポイントについて

- 再生中に  を1回押して再生を停止すると、レジュームポイント(再生停止位置)が記憶されます。(レジュームポイントを解除するには、録画一覧が表示されていない状態で停止中にもう一度  を押してください。ただし、HDDとカセットHDDの番組ごとのレジュームポイントは解除しません。)
- 録画一覧を表示せずに  を押すと、最後に視聴していた番組のレジュームポイントから再生が始まります。(つづき再生)


HDD/カセットHDDの場合

HDD カセットHDD

録画一覧の番組表示中に  または **決定** を押す

- 番組ごとのレジュームポイントから再生します。

お知らせ

- 記憶したレジュームポイントは、以下の場合などに解除されます。
 - 録画一覧が表示されていない状態で停止中に  を押したとき (HDDやカセットHDDの場合は、そのとき選ばれている番組のレジュームポイントが解除されます。)
 - 番組を編集したとき
 - 視聴年齢制限のある番組を一時的に制限解除して再生したあとに、電源を「切」にしたとき
 - 初期化をしたとき
 - 番組の終わりまで再生したとき
 - 録画一覧を開き、レジュームポイントのある番組以外にハイライトを移動してから録画一覧を閉じたとき

録画一覧(録画した番組の一覧)について

録画した番組を見るときは、録画一覧を表示させて見たい番組を選んでください。録画一覧では、録画された番組が並ぶ「番組一覧」を表示します。また、ジャンルやお好みの名前で作成したフォルダーに番組がまとめられた「フォルダー一覧」に切り換えることもできます。

録画一覧を表示する

HDD

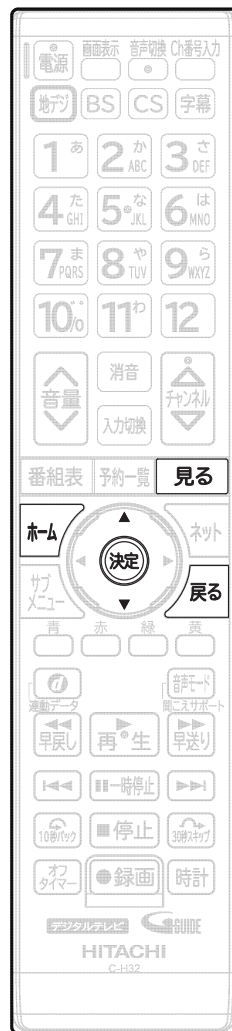
カセットHDD



1 **見る** を押して、▲・▼で「録画一覧」を選んで
決定 を押す

2 ▲・▼で「HDD」または「カセットHDD」を選んで
決定 を押す

- 録画一覧(番組一覧またはフォルダー一覧)が表示されます。
- フォルダー一覧が表示されたときは、▲・▼で見たい番組が入ったフォルダーを選んで決定を押してください。
- **戻る** → 「録画一覧」を選ぶこともできます。
- 放送画面に戻るには **戻る** を2回押してください。



録画した番組を再生する(つづき)

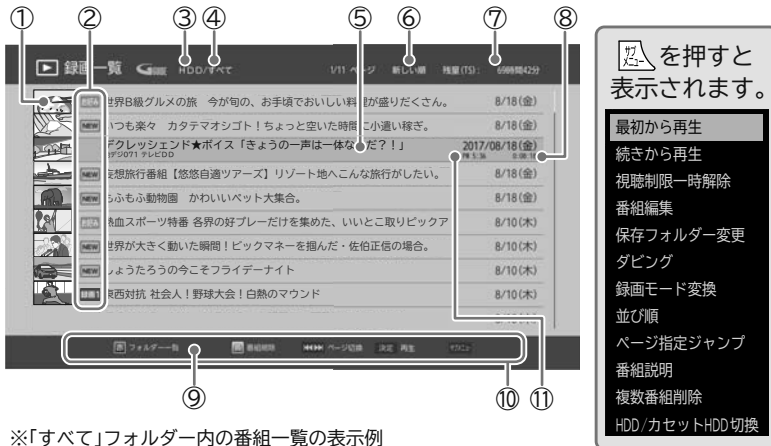
録画一覧の見かた

HDD

カセットHDD

ご注意

- メディアによって録画一覧の表示は異なります。



※「すべて」フォルダー内の番組一覧の表示例

を押すと表示されます。

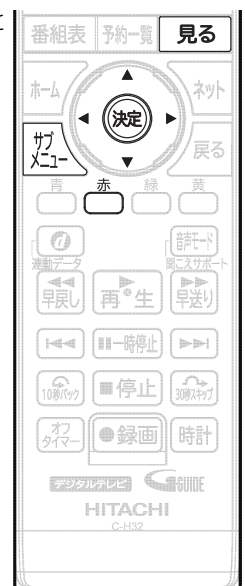
最初から再生
 続きから再生
 視聴制限一時解除
 番組編集
 保存フォルダー変更
 ダビング
 録画モード変換
 並び順
 ページ指定ジャンプ
 番組説明
 複数番組削除
 HDD/カセットHDD切換

- サムネイル(番組の冒頭画面)
- 番組の種類
 お好み: お好み録画された番組
 NEW: 未再生の番組
 保護された番組
 録画中: 録画中の番組
 録画が終わると「録画」が「NEW」になります。
 再生をすると「お好み」と「NEW」は消えます。
- 操作中のメディア
- フォルダーの名前
- 選択中の番組
- 番組並び順の種類
- 残量
 (残量が20GB以下になると赤字に変わります。)
- 番組総時間
- ガイド表示
 を押すと、並び順を「番組一覧」か「フォルダー一覧」に切り換えられます。
- 操作ガイド
- 開始時間

- 操作するメディアがHDD/カセットHDDの場合は、赤またはを押し、番組一覧とフォルダー一覧の表示を切り換えます。(フォルダーについて、くわしくはP.125をご覧ください。)フォルダー一覧表示中にを押すと、選んでいるフォルダーの中身(番組の一覧表示)に切り換わります。

▷録画モードの変換が終了しているか確認するには

- 確認したい番組を選んで、で「番組説明」を選びます。「〇〇→〇〇変換予定」がお好みの録画モードに変更されていれば、録画モード変換は終了しています。



視聴制限を一時的に解除する

HDD カセットHDD

視聴年齢制限のある番組を録画一覧で一時的に表示できます。



1 **見る** を押して、▲・▼で「録画一覧」を選んで
決定を押す

2 ▲・▼で「HDD」または「カセットHDD」を選んで決定を押す

- フォルダー一覧が表示されているときは、▲・▼で編集したい番組が入ったフォルダーを選んで決定を押してください。

3 ▲・▼で番組を選んで **決定** を押す

4 ▲・▼で「視聴制限一時解除」を選んで決定を押す

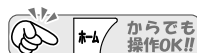
- 暗証番号を入力すると視聴制限が解除されます。

お知らせ

• 電源を「切」にするまで、視聴制限を解除した状態になります。

並び順を変更する

HDD カセットHDD



1 **見る** を押して、▲・▼で「録画一覧」を選んで
決定を押す

2 ▲・▼で「HDD」または「カセットHDD」を選んで決定を押す

- フォルダー一覧が表示されているときは、▲・▼で編集したい番組が入ったフォルダーを選んで決定を押してください。

3 **決定** を押して、▲・▼で「並び順」を選んで決定を押す

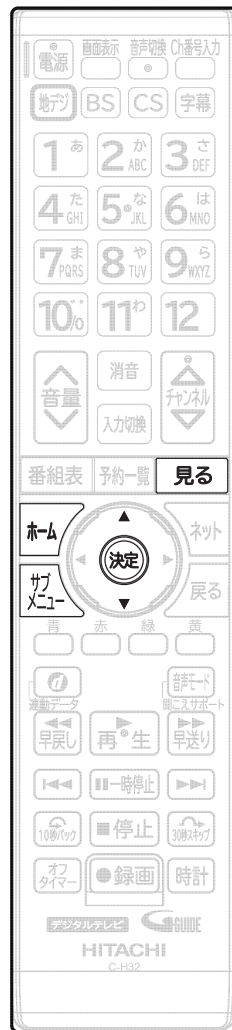
- 並び順の種類が表示されるので、お好みの並び順を選んで決定を押してください。
- 現在録画中の番組は並び順の最後に表示されます。

記録順： 記録した順に並び替わります。

番組名順： 番組名順に並び替わります。

新しい順： 録画日が新しい順に並び替わります。(録画日が記録されていない場合は、並び順の最後に配置されます。)

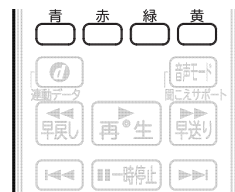
古い順： 録画日が古い順に並び替わります。(録画日が記録されていない場合は、並び順の最初に配置されます。)



お好み再生をする

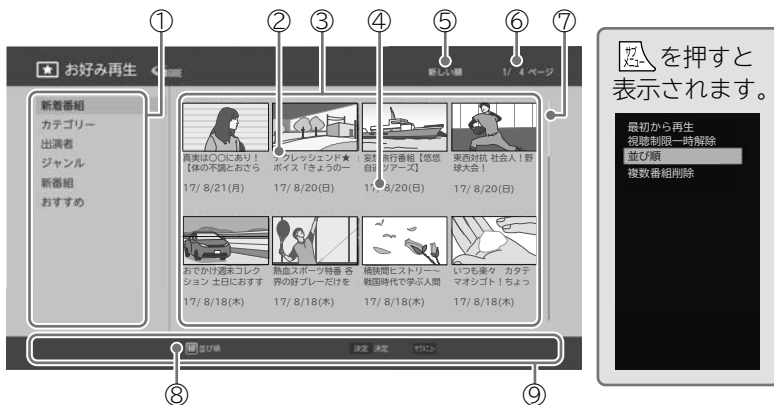
お好み再生とは、お好みの番組をHDDに録画した番組の中からかんたんに探し出し、まとめて再生させる機能のことです。

録画一覧での再生とは異なり、番組終了まで再生した場合は、自動的に次の番組を再生してくれるので、録りためておいた番組（連続ドラマなどのシリーズ番組）を一気に見るときなどに便利です。



お好み再生について

お好み再生の見かた



- ① お好み再生の選択項目
- ② 番組名
- ③ 選択分類項目の番組とサムネイルの一覧
- ④ 録画日時
- ⑤ 現在の並び順
- ⑥ 分類項目一覧のページ数
- ⑦ スクロールバー
- ⑧ ガイド表示
 を押すと、並び順を「新しい順」、「古い順」または「番組名順」に切り換えます。
- ⑨ 操作ガイド

お好み再生で再生する

HDD

1 を押して、▲・▼で「録画一覧」→「お好み再生」を選んで を押す

2 ▲・▼でお好み再生の選択項目を選んで を押す

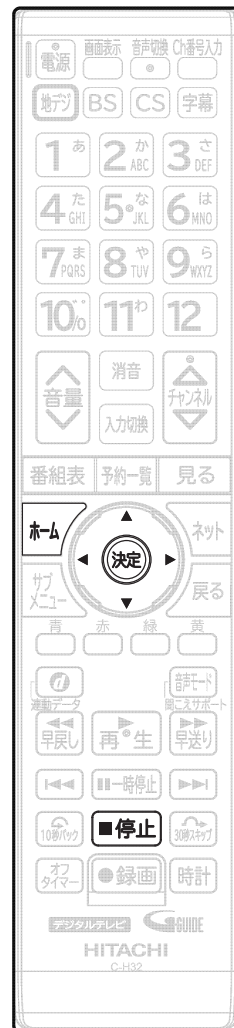
- お好み再生の選択項目に合致したタイトルが表示されます。各選択項目の操作については、
「新着番組で絞り込む」
「カテゴリーで絞り込む」
「出演者で絞り込む」
「ジャンルで絞り込む」
「新番組で絞り込む」
「おすすめを表示する」
をご覧ください。

3 を押す

- お好み再生番組のサムネイルにハイライトが移動します。左端に表示されているタイトルを選択中に を押すとお好み再生の選択項目に戻ります。

4 ▲・▼・◀・▶でお好きな番組を選んで を押す

- お好み再生の再生が始まります。
- お好み再生の再生を停止するときは を押します。
• 再生が停止し、お好み再生が表示されます。



お好み再生をする(つづき)

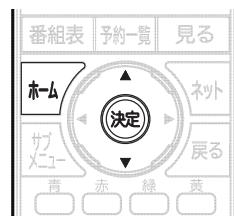
新着番組で絞り込む

HDD

1  を押して、▲・▼で「録画一覧」→「お好み再生」を選んで  を押す



2 ▲・▼で「新着番組」を選んで  を押す


- 内蔵HDDに記録されている番組のうち、記録日時が新しい番組から30件が表示されます。




カテゴリーで絞り込む


HDD

1  を押して、▲・▼で「録画一覧」→「お好み再生」を選んで  を押す

2 ▲・▼で「カテゴリー」を選んで  を押す



3 ▲・▼でお好みのカテゴリーを選んで  を押す



4 ▲・▼でお好みのサブカテゴリーを選んで  を押す


- 選んだサブカテゴリーの番組が表示されます。サブカテゴリーの多くは番組名になっていますので、お好みの番組だけを表示できます。




出演者で絞り込む


HDD

1  を押して、▲・▼で「録画一覧」→「お好み再生」を選んで  を押す

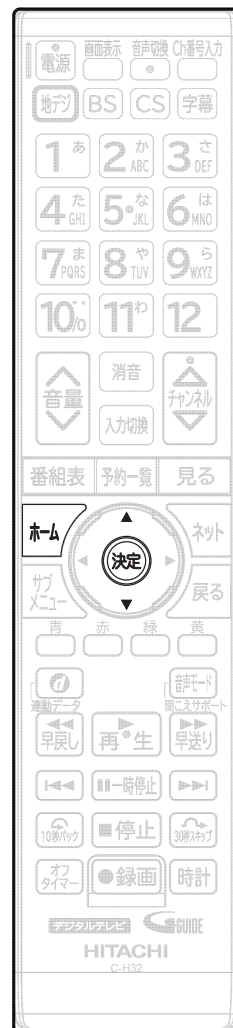
2 ▲・▼で「出演者」を選んで  を押す



3 ▲・▼で出演者の名前の頭文字の範囲を選んで  を押す

4 ▲・▼で出演者の名前を選んで  を押す

- 選んだ出演者に分類される番組が表示されます。



ジャンルで絞り込む

HDD

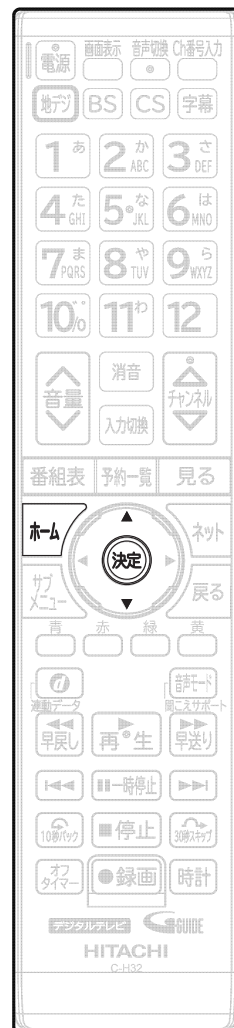
1 を押して、▲・▼で「録画一覧」→「お好み再生」を選んで を押す

2 分類条件が表示されるので、▲・▼で「ジャンル」を選んで を押す





3 ▲・▼でおおすすめのジャンルを選んで を押す


選んだジャンルが番組情報に含まれる番組が表示されます。選べるジャンルには、「映画」や「ドラマ」、「スポーツ」といった一般的なジャンルに加え、「お好み録画」があります。




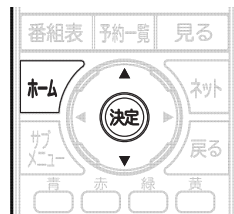
新番組で絞り込む

HDD

1  を押して、▲・▼で「録画一覧」⇒「お好み再生」を選んで  を押す



2 ▲・▼で「新番組」を選んで  を押す


- HDDに記録されている番組のうち、新番組が表示されます。
(例：番組名に  を含む番組など)



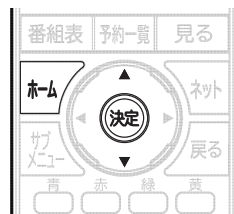
おすすめを表示する

HDD

1  を押して、▲・▼で「録画一覧」⇒「お好み再生」を選んで  を押す

2 ▲・▼で「おすすめ」を選んで  を押す

- おすすめの番組が表示されます。



お好み再生画面から不要な番組を削除する

HDD

1 を押して、▲・▼で「録画一覧」→「お好み再生」を選んで を押す

2 お好み再生画面を表示中に、▲・▼で選択項目を選んで ▶ を押す

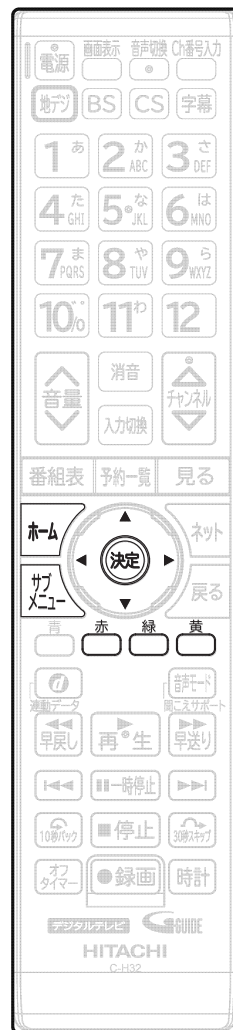
3 ▲・▼・◀・▶ で削除したい番組を選んで を押す

4 を押すと、確認メッセージが表示されるので、▲・▼で「はい」を選んで を押す

• 番組が削除されます。

▷ 番組を複数削除するには

- ① お好み再生画面を表示中に、▲・▼で選択項目を選んで ▶ を押す
- ② を押す
- ③ ▲・▼で「複数番組削除」を選んで を押す
- ④ 削除したい番組を選んで を押す
 - ▲・▼・◀・▶ で削除したい番組をすべて選んでください。
 - 選んだ番組に「」が付きます。
 - を押すと、すべての番組に「」が付きます。
 - を押すと、「」がすべて解除されます。
- ⑤ 番組を選び終わったら、 を押す
 - 選択した番組が一括削除されます。
- ⑥ 確認メッセージが表示されるので、▲・▼で「はい」を選んで を押す



ご注意

- お好み再生の選択項目に合致した番組がない場合は、「該当する番組はありません」と表示されます。
- お買い上げ直後などの録画番組が少ないときは、番組が表示されません。

再生するときの操作

▶ 準備

- カセットHDDを再生するときは、USB 1 録画再生 (カセットHDD用) 端子にカセットHDDをつないでおく **P.147**

速度を変えて再生する

1段階目の早送りのみ、音声付きで再生することができます。ゆっくりと番組を視聴する時間がないときに便利です。

早戻し／早送り(早く見る／聞く)

HDD カセットHDD

再生中に **早戻し**・**早送り** を押す

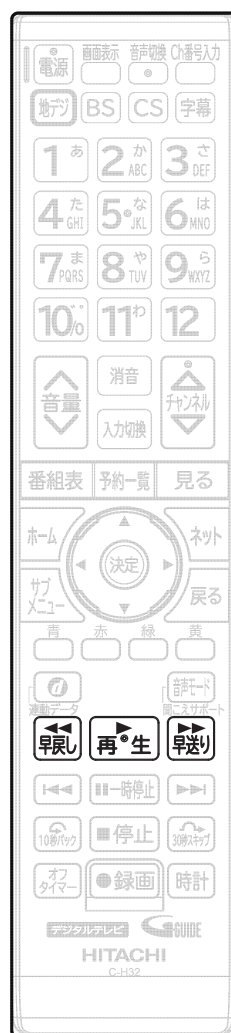
- 押すたびに再生速度を4段階で切り換えます。1段階目の早送りのみ、音声付きで再生することができます。
- 再生** を押すと通常の再生速度に戻ります。

早見早聞／ゆっくり(音声付きで早く／ゆっくり見る)

HDD カセットHDD

再生中に **再生** を押す

- 押すたびに約1.3倍速→約0.8倍速→通常再生と切り換わります。



再生するときの操作(つづき)

再生を一時停止する

HDD カセットHDD

再生中に **一時停止** を押す

- 再生が一時停止します。
- **再生** または **一時停止** を押すと再生に戻ります。

逆スロー／スロー再生(ゆっくり見る)

HDD カセットHDD

再生一時停止中に **逆スロー**・**スロー** を押す

- 押すたびに再生速度を3段階で切り換えます。
- **再生** を押すと通常再生に、**一時停止** を押すと再生一時停止に戻ります。
- 長押しすると早戻し／早送り動作となります。

ご注意

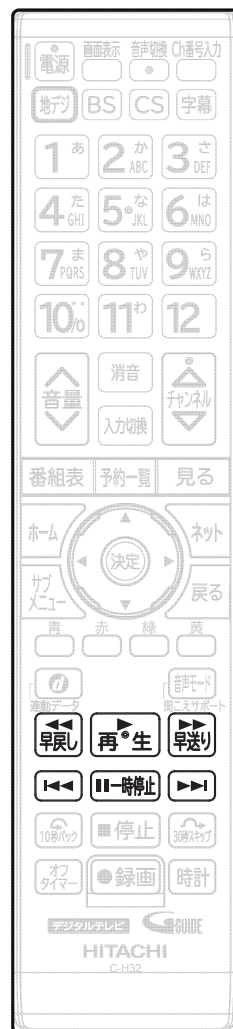
- 以下の場合には逆スロー再生は2段階切り換えになります。
- 録画モードが「AF」～「AE」で録画された番組

コマ戻し／送り(コマを戻す／進める)

HDD カセットHDD

再生一時停止中に **コマ戻し**・**コマ送り** を押す

- 押すたびにコマが戻り／進みます。




スキップ・頭出し(見たい番組や場面までとぼす)

スキップ(見たい／聞きたいところまでスキップ・頭出しする)

HDD カセットHDD

再生中に ・ を押す

- 押すたびに、前または次のチャプターやトラックにスキップ・頭出しします。( を1回だけ押すと、現在再生中のチャプターやトラックにスキップ・頭出しします。)

1/10リプレイ／スキップ

HDD カセットHDD

再生中に  を押す

- 番組の長さの1/10のポイントを、再生中に1つずつたどっていく機能です。
- 戻る方向と進む方向、どちらの場合も一番近いポイントへスキップします。

ご注意

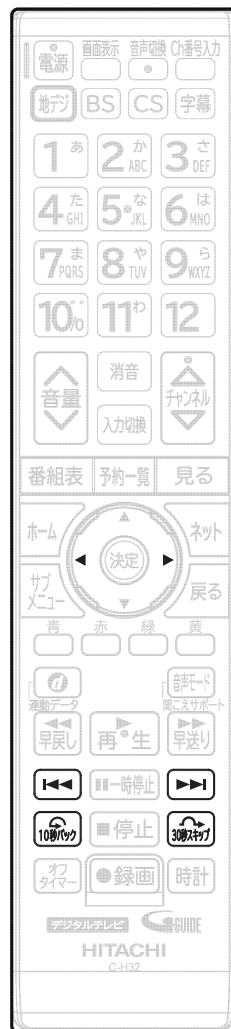
- 番組の長さが1分以下の場合にはスキップできません。

10秒バック／30秒スキップ

HDD カセットHDD

再生中に ・ を押す

- 押すたびに、再生がスキップします。



再生するときの操作(つづき)

追いかけて再生(録画中の番組を最初から見る)

HDD

カセットHDD

予約した番組の録画中に帰宅したときなど、録画を続けながら(停止させずに)番組の最初から見るができます。



1 **見る** を押して、▲・▼で「録画一覧」を選んで **決定** を押す

2 ▲・▼で「HDD」または「カセットHDD」を選んで **決定** を押す

- 録画一覧表示中に、サブメニューのHDD/カセットHDD切替で録画中のメディアに切り換えてください。

3 ▲・▼で録画中の番組(**録画**)を選んで **再生** または **決定** を押す

▷ 追いかけて再生を一時停止するときは

一時停止 を押す

- 再生が一時停止します。(録画は続きます。)

▷ 追いかけて再生をやめるときは

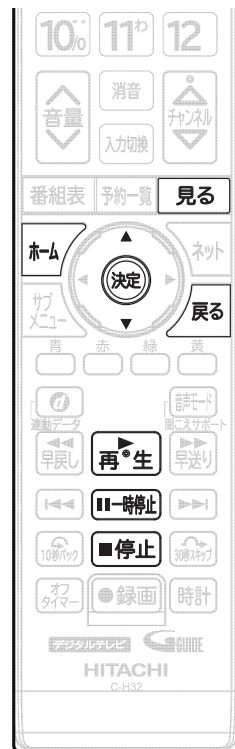
停止 を押す

- 再生が停止します。(録画は続きます。)

▷ 録画も停止させるときは

追いかけて再生を停止して、録画一覧が表示されたら **戻る** を押して、放送中の画面に戻ってから **一時停止** を押す

- 確認画面が表示されますので、「はい」を選んで **決定** を押してください。



ご注意

- 再生が録画に追いつくと、早送りや頭出しができなくなります。(録画は続きます。)

再生するときに便利な機能

▶準備

- カセットHDDを再生するときは、USB 1録画再生(カセットHDD用)端子にカセットHDDをつないでおく **P.147**


音声(言語)や字幕(言語)、映像を切り換える

音声(言語)を切り換える

HDD カセットHDD

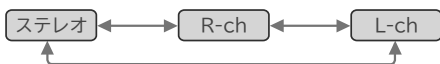
複数の音声(主音声/副音声など)や音声言語・音声方式が収録されている番組の再生中に、再生したい音声を選ぶことができます。

1 再生中に を押す

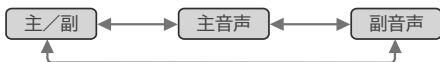
-  → 「音声切換」を選んで操作することもできます。

2 ▲・▼・◀・▶で好みの音声を選ぶ

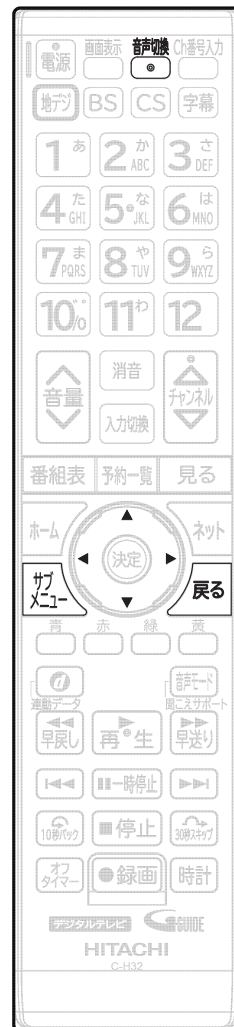
- 選択している音声(ステレオ)がステレオで、右側に選択項目が表示される場合は、▲・▼で切り換えてください。



- 選択している音声(主/副)が二カ国語で、右側に選択項目が表示される場合は、▲・▼で切り換えてください。



- 設定が終わったら、 を押してください。



字幕(言語)を切り換える

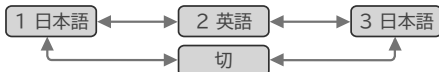
HDD カセットHDD


複数の字幕言語が収録されている番組の再生中に、字幕の言語や字幕表示の入/切を選ぶことができます。

1 再生中に  を押して ▲・▼ で「字幕切換」を選んで  を押す

2 ▲・▼ で好みの字幕を選ぶ

- 字幕の言語を設定中に ◀▶ で字幕/切の設定ができます。



- 字幕言語を切り換えてから表示されるまで時間がかかることがあります。
- 設定が終わったら、 を押してください。



ご注意


- 以下の場合には音声や字幕を切り換えることはできません。
 - 早戻し/早送り
 - 早見早聞/ゆっくり再生
 - 逆スロー/スロー再生
 - 一時停止

映像を切り換える

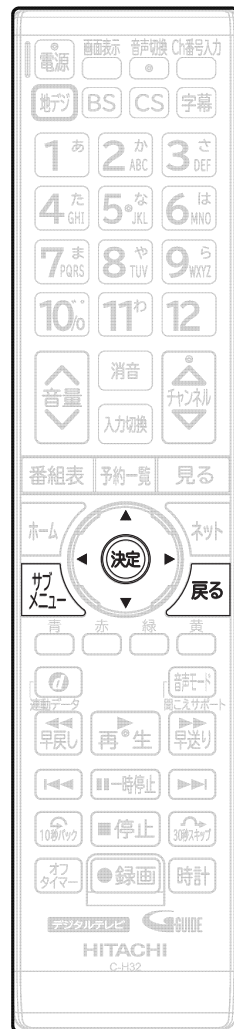
HDD カセットHDD

複数台のカメラで撮影された映像の再生中に、好みのカメラアングル(映像)を選んで再生することができます。

1 再生中に  を押して、▲・▼ で「映像切換」を選んで  を押す

2 ▲・▼ で好みのカメラアングル(映像)を選んで  を押す

- 押すたびにカメラアングル(映像)が切り換わります。



再生についての補足説明

再生全般

- 再生開始時に映像や音声が出るまで時間がかかることがあります。
- 番組の変わり目で画面が一瞬静止画になったりブロックノイズ(四角いノイズ)が見えたりすることがあります。
- コマ戻し中は、番組のつなぎ目部分でコマとびして再生されないことがあります。

つづき再生

つづき再生が始まる位置は、レジュームポイントによって多少ずれることがあります。

音声／字幕／映像の切り換え

▷ 音声／字幕

- 音声言語を切り換えると、一瞬映像が止まったり黒画面になったりすることがあります。
- 字幕設定を変更したときは切り換わるまで多少時間がかかることがあります。

▷ 映像

- 変更したときは切り換わるまでに多少時間がかかることがあります。

番組削除や番組編集の前に 本機でできる削除と編集について

できること(メニュー項目)	HDD	カセットHDD
フォルダー作成・フォルダー名変更・フォルダー削除・フォルダー表示順変更	○	○
保存フォルダー変更	○	○
番組の削除	○	○
番組編集		
番組名変更	○	○
チャプター分割・チャプター結合・全チャプター結合	○	○
チャプター削除	○	○
番組分割／番組結合	○※ ¹	○※ ¹
番組保護／保護解除	○※ ²	○※ ²
録画モード変換	○	×
メディア管理		
番組全削除	○	○
番組全削除(保護番組以外)	○	○
カセットHDD 名称変更	×	○

○:できる ×:できない

※1 本機で録画した番組のみ分割・結合できます。

※2 録画モード変換予定の番組は、番組保護はできません。

ご注意

- 以下の場合、上記の編集はできません。
 - ダビング中
- 録画中は上表にある「メディア管理」の項目すべてと「番組編集」の「番組分割／番組結合」はできません。録画中以外の番組の「番組名変更」、「チャプター編集」、「番組保護／保護解除」は編集可能です。
- お好み録画された番組を編集した場合は、お好み録画番組の対象から除外となり「自動削除」も解除されます。

番組を削除する

- 削除された番組は、元に戻せません。録画内容をよく確認してから削除してください。
- HDDやカセットHDDの場合は、フォルダーの中に番組が入っています。

再生後やダビング予定のない不要な番組を削除し、HDD／カセットHDDの空き容量を増やすことができます。

▶ 準備

- カセットHDDから削除するときは、USB 1 録画再生 (カセットHDD用) 端子にカセットHDDをつないでおく **P.147**

録画一覧から不要な番組を削除する

HDD カセットHDD

- 1** **見る** を押して、▲・▼で「録画一覧」を選んで **決定** を押す
- 2** ▲・▼で「HDD」または「カセットHDD」を選んで **決定** を押す

 - フォルダー一覧が表示されたときは、▲・▼で削除したい番組が入ったフォルダーを選んで **決定** を押してください。
- 3** **黄** を押す

 - **戻る** → 「複数番組削除」を選んで操作することもできます。
- 4** ▲・▼で番組を選んで **決定** を押す

 - 選んだ番組に **決定** が付きます。
 - 複数の番組を1度に削除したいときは、この手順を繰り返します。
 - **緑** を押すとすべての番組が選ばれます。
 - **黄** を押すとすべての番組が解除されます。

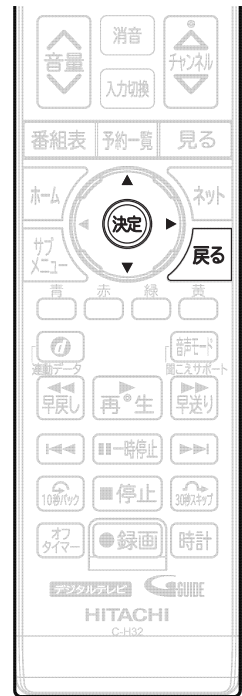


5 ▶を押すと「決定」が選ばれているので(決定)を押す

- 確認画面が表示されるので、▲・▼で「はい」→ (決定) を押してください。

▷ フォルダー一覧で作成したフォルダーを選んでいるときは
確認画面で削除方法を選んで(決定)を押してください。

- 「このフォルダーから番組を削除」を選ぶと、選んだフォルダー内の番組のみ削除し、「すべて」および「ジャンル」フォルダーの番組は残ります。
- 「すべてのフォルダーから番組を削除」を選ぶと、本機から選んだ番組を完全に削除します。
- 削除が終わったら、を押してください。



ご注意

- ダビング中は番組を削除できません。

お知らせ

- 「すべて」または「ジャンル」フォルダーの番組を削除すると別のフォルダー内に入っている番組もまとめて削除します。
- 「すべて」または「ジャンル」フォルダーの番組を削除すると、残量時間が増えます。

[すべて]フォルダーの番組を削除すると



他のフォルダーの番組も削除されます。

録画モード変換 (HDDの空き容量を増やす)

HDD

録画モード「TS」で録画した番組の画質をHD画質に変換できます。HD画質で録画した番組は、より少ない容量の録画モードに変換できます。録画モードを変換すると画質は下がりますが、HDDなどの空き容量を増やすことができます。

■録画モードについてくわしくは **P.63** をご覧ください。



1 **見る** を押して、▲・▼で「録画一覧」を選んで
決定を押す

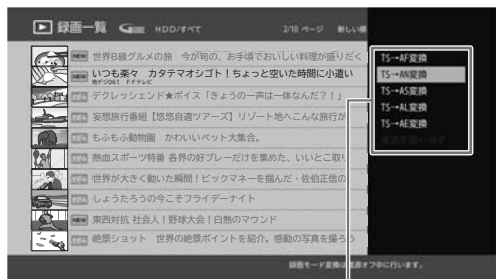
2 ▲・▼で「HDD」を選んで決定を押す

- フォルダー一覧が表示されているときは、▲・▼で変換したい番組が入ったフォルダーを選んで決定を押してください。

3 ▲・▼で変換したい番組を選んで戻るを押す

4 ▲・▼で「録画モード変換」を選んで決定を押す

5 お好みの録画モードを選んで決定を押す

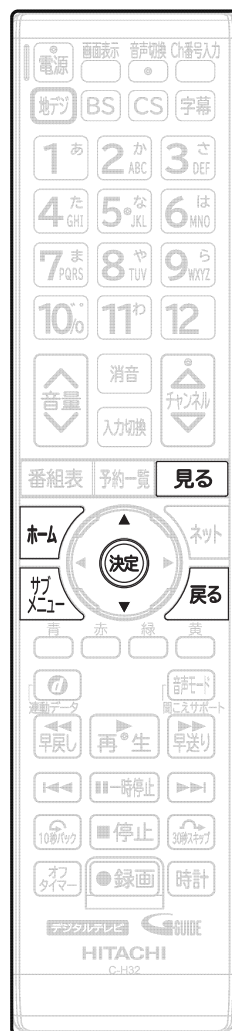


変換する録画モードが表示されます

- 設定が終わったら、戻るを押してください。
- 電源「切」時に、設定した録画モードに変換されます。
- 録画モードの変換には、番組の再生時間と同じ時間がかかります。

▶録画モードの変換が終了しているか確認するには

- 録画一覧で番組を選んで戻る → ▲・▼で「番組説明」を選びます。
「〇〇→〇〇変換予定」がお好みの録画モードに変更されていれば、録画モード変換は終了しています。



録画モード変換(つづき)

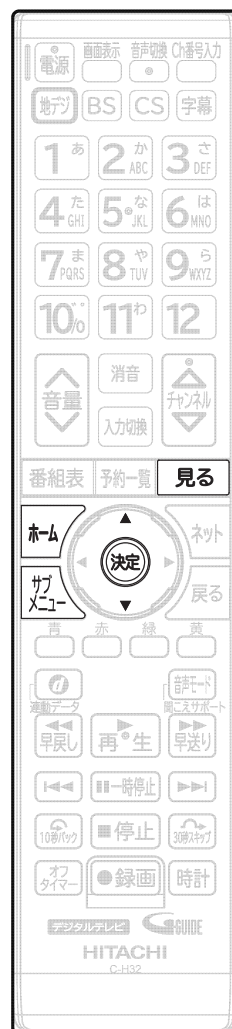
モード変換を解除するには

- ① **見る** を押して、▲・▼で「録画一覧」を選んで**決定**を押す
- ② ▲・▼で「HDD」を選んで**決定**を押す
 - フォルダー一覧が表示されたときは、▲・▼で編集したい番組が入ったフォルダーを選んで**決定**を押してください。
- ③ ▲・▼で解除したい番組を選んで**戻る**を押す
- ④ ▲・▼で「録画モード変換」を選んで**決定**を押す
- ⑤ ▲・▼で「変換を取り消す」を選んで**決定**を押す



ご注意

- HDDの空き容量が少ないと、録画モードを変換できないことがあります。HDDの空き容量が少ないときは、不要な番組を削除するなどして容量を増やしてください。**P.115**
- 以下の番組は録画モードを変換できません。
 - 保護された番組
 - 録画中の番組
 - 録画モードが不明の番組
- 録画モード変換中に電源を「入」に設定すると、変換が中止されます。もう一度電源を「切」に設定すると、変換が始まります。
- 以下の場合は、本機の電源を「切」にしても録画モードは変換されません。
 - 予約録画の開始時刻4分前から録画終了まで
 - ダビング中
 - デジタル放送電波からソフトウェアのダウンロードを開始する5分前



チャプターを編集する

▶ 準備

- カセットHDDを編集するときは、USB 1 録画再生(カセットHDD用)端子にカセットHDDをつないでおく **P.147**

チャプターを分割する

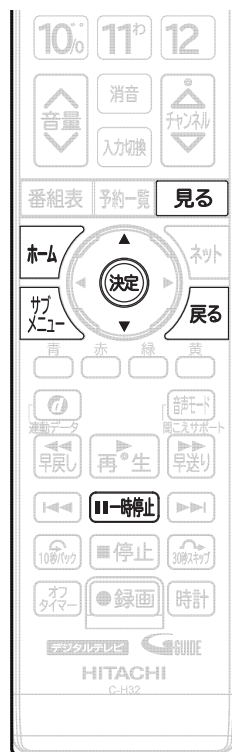
HDD

カセットHDD

番組をチャプターで分割することができます。



- 1 **見る** を押して、▲・▼で「録画一覧」を選んで **決定** を押す
- 2 ▲・▼で「HDD」または「カセットHDD」を選んで **決定** を押す
 - フォルダー一覧が表示されているときは、▲・▼で編集したい番組が入ったフォルダーを選んで **決定** を押してください。
- 3 ▲・▼で番組を選んで **決定** を押す
- 4 ▲・▼で「番組編集」を選んで **決定** を押す
 - 編集画面が表示されます。
- 5 ▲・▼で「チャプター編集」を選んで **決定** を押す
- 6 チャプターを分割したいところまで再生し、**一時停止** を押す
- 7 ▲・▼で「チャプター分割」を選んで **決定** を押す
 - チャプターが分割されます。
 - 続けてチャプターを分割するときは、手順6～7を繰り返してください。
 - 分割できるチャプター数についてくわしくは **P.204** をご覧ください。
 - 編集が終わったら、**戻る** を押してください。



チャプターを結合する

HDD

分割されたチャプターを結合することができます。

▶ すべてのチャプターを結合する

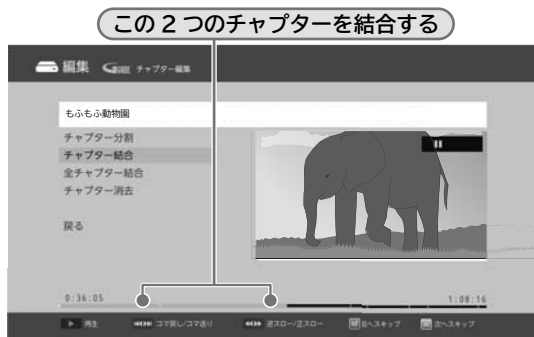
① 「チャプターを分割する」の手順7で「全チャプター結合」を選ぶ

- 確認画面が表示されるので、「はい」を選んで **決定** を押してください。
- すべてのチャプターが結合され、チャプター境界がなくなります。

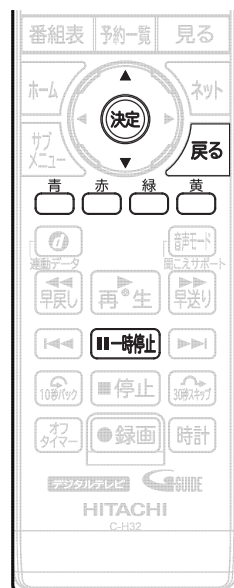
チャプターを編集する(つづき)

前後のチャプターを結合する

- ① 「チャプターを分割する」の手順6で **一時停止** →
緑・**黄** でチャプターの境界に位置を合わせる



- ② **▲**・**▼**で「チャプター結合」→ **決定**を押す
- チャプターが結合されます。
 - 編集が終わったら、**戻る**を押してください。



お知らせ

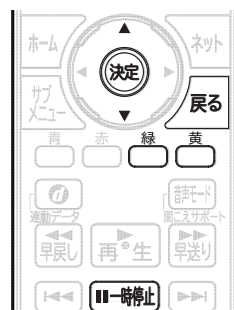
- 番組の再生中に一時停止すると、チャプター分割・結合ができます。
- **緑**を押すとチャプターを分割します。
- **赤**を押すとチャプターを結合します。

チャプターを削除する

HDD **カセットHDD**

HDDとカセットHDDのチャプターを削除できます。

- ① 削除したいチャプターまで再生し **一時停止**を押す
- ② 「チャプターを分割する」の手順7で、**▲**・**▼**で「チャプター削除」を選んで **決定**を押す
- 確認画面が表示されるので「はい」を選んで **決定**を押してください。
 - チャプターが削除されます。
 - 編集が終わったら、**戻る**を押してください。



ご注意

- 分割できるチャプター数が最大数を超える場合は、チャプター分割できません。分割できるチャプター数についてくわしくは **P.204**をご覧ください。
- チャプター間が短すぎる場合は、チャプター削除できないことがあります。
- 番組の先頭または終端のチャプターは、長さに関係なくチャプター削除できます。
- チャプターが1つだけの番組は、チャプターを結合したり削除したりすることはできません。

お知らせ

- チャプター編集画面で、再生中に **緑**を押すと前のチャプターへ、**黄**を押すと次のチャプターへスキップできます。(番組の終わりへスキップすると一時停止になります。)
- HDDやカセットHDDの場合は、チャプターを編集すると編集した番組が含まれる別のフォルダーの番組も同じようにチャプターが編集されます。

番組を分割・結合する

1つの番組を2つに分けたり、2つの番組を1つにまとめたりすることができます。

▶ 準備

- カセットHDDを編集するときは、USB 1録画再生(カセットHDD用)端子にカセットHDDをつないでおく **P.147**

番組を分割する

HDD **カセットHDD**

1つの番組を2つに分けることができます。



- 1 **見る** を押して、▲・▼で「録画一覧」を選んで **決定** を押す
- 2 ▲・▼で「HDD」または「カセットHDD」を選んで **決定** を押す
 - フォルダ一覧が表示されたときは、▲・▼で編集したい番組が入ったフォルダを選んで **決定** を押してください。
- 3 ▲・▼で番組を選んで **分割** を押す
- 4 ▲・▼で「番組編集」を選んで **決定** を押す
- 5 ▲・▼で「番組分割」を選んで **決定** を押す
- 6 番組を分割したいところまで再生し **決定** を押す
 - 確認画面が表示されるので「はい」➡ **決定** を押してください。
 - 編集が終わったら、**戻る** を押してください。



ご注意

- 以下の番組は分割できません。
 - 録画モード変換待ちの番組
 - 番組保護された番組
- 以下の場合は番組を分割できません。
 - 録画中
 - 分割する箇所が番組開始位置や終了位置に近い(1秒以内)場合
 - 最大番組数を超える場合
 - メディアの空き容量が少ない場合
- 結合した番組の場合は結合箇所では分割できません。

お知らせ

- 番組に「自動削除」が設定されている場合は、「自動削除」は解除されます。
- 「番組分割」すると、分割した番組が含まれる別のフォルダの番組も分割されます。

番組を分割・結合する(つづき)

番組を結合する

HDD

2つの番組を1つにまとめることができます。



1 **見る** を押して、▲・▼で「録画一覧」を選んで
決定を押す

2 ▲・▼で「HDD」を選んで決定を押す
 ・フォルダー一覧が表示されたときは、▲・▼で編集したい番組が入ったフォルダーを選んで決定を押してください。

3 ▲・▼で元となる番組を選んで返を押す

4 ▲・▼で「番組編集」を選んで決定を押す

5 ▲・▼で「番組結合」を選んで決定を押す

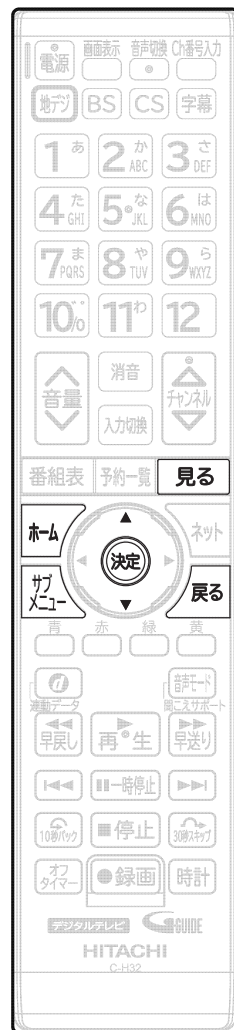
6 ▲・▼で結合したい番組を選んで決定を押す
 ・確認画面が表示されるので「はい」を選んで決定を押してください。
 ・編集が終わったら、返を押してください。

ご注意

- コピー制限の異なる番組を結合すると、コピー回数が少ない番組情報が優先されます。(例えば、コピーが残り4回可能なダビング10番組とコピーワンス(1回だけ録画可能)番組を結合すると、コピーワンス番組になります。)
- 以下の番組は結合できません。
 - 録画モード変換待ちの番組
 - 番組保護された番組
 - 画質(TS/HD画質)が異なる番組
- 以下の場合は番組を結合できません。
 - 録画中
 - 番組が1つしかない場合
 - 番組保護された番組
 - 番組結合後の総再生時間が15時間を超える場合
 - 番組結合後の総チャプター数が999を超える場合
- 他の機器からダビングした番組は結合できない場合があります。

お知らせ

- 結合したあとの番組情報は手順3で選んだ番組情報が基準になります。
- 番組に「自動削除」が設定されている場合は、「自動削除」は解除されます。
- 「番組結合」すると結合される番組(あとから選んだ番組)はすべてのフォルダーから削除されます。



番組名を変更する・番組を保護する

▶ 準備

- カセットHDDを編集するときは、USB 1 録画再生(カセットHDD用)端子にカセットHDDをつないでおく **P.147**

番組名を変更する

HDD **カセットHDD**


録画した番組の番組名を変更することができます。



- 1** **見る** を押して、▲・▼で「録画一覧」を選んで **決定** を押す
- 2** ▲・▼で「HDD」または「カセットHDD」を選んで **決定** を押す

 - フォルダー一覧が表示されたときは、▲・▼で編集したい番組が入ったフォルダーを選んで **決定** を押してください。
- 3** ▲・▼で番組を選んで **決定** を押す
- 4** ▲・▼で「番組編集」を選んで **決定** を押す
- 5** ▲・▼で「番組名変更」を選んで **決定** を押す

 - 編集画面が表示されます。
- 6** 番組名を入力して **決定** を押す

 文字入力のしかた **P.192**

 - 確認画面が表示されるので、「はい」を選んで **決定** を押してください。番組名が変更されます。
 - 番組名を変更すると、変更した番組が含まれる別のフォルダーの番組名も変更されます。
 - 変更が終わったら、**戻る** を押してください。



番組名を変更する・番組を保護する(つづき)

番組を保護する

HDD カセットHDD

録画した番組を保護することができます。



1 **見る** を押して、▲・▼で「録画一覧」を選んで
決定 を押す

2 ▲・▼で「HDD」または「カセットHDD」を選んで 決定 を押す

- フォルダー一覧が表示されたときは、▲・▼で編集したい番組が入ったフォルダーを選んで 決定 を押してください。

3 ▲・▼で番組を選んで 戻る を押す

4 ▲・▼で「番組編集」を選んで 決定 を押す

5 ▲・▼で「番組保護」を選んで 決定 を押す

- 確認画面が表示されるので「はい」を選んで 決定 を押してください。番組が保護されます。
- 保護された番組には、録画一覧で が付きます。
- 変更が終わったら、戻る を押してください。

▷ 番組保護を解除するときは

- 手順5で「番組保護解除」を選ぶ

ご注意

- 「番組保護」すると、すべてのフォルダーに入っている同じ番組も保護されます。
- 保護された番組は、以下の操作ができません。
 - フォルダー移動
 - 番組の削除
 - 番組名の変更
 - チャプターの分割
 - チャプターの結合
 - チャプターの削除
 - 番組の分割/結合
 - 録画モードの変換
 - ダビング10番組のダビング(移動)
 - コピーワンス(1回だけ録画可能)番組のダビング
- 録画モード変換予定の番組は保護できません。



番組をフォルダーで管理する

番組をフォルダーに入れて管理できます。

▶ 準備

- カセットHDDを編集するときには、USB 1録画再生(カセットHDD用)端子にカセットHDDをつないでおく **P.147**

ジャンルフォルダーについて

録画時やダビング時、番組の情報に従って自動的に番組が各ジャンルフォルダーに分類されます。

分類されるフォルダーは以下になります。

未視聴：	未視聴の番組	ニュース：	情報／ワイドショー、ニュース／報道、ドキュメンタリー／教養のジャンルの番組
映画：	映画、劇場／公演のジャンルの番組	アニメ：	アニメ／特撮のジャンルの番組
ドラマ：	ドラマのジャンルの番組	お好み録画：	お好み録画された番組
スポーツ：	スポーツのジャンルの番組		
音楽：	音楽のジャンルの番組		
バラエティ：	バラエティのジャンルの番組		

フォルダーを作る

HDD **カセットHDD**

番組を管理するためのフォルダーを作ることができます。



1 **見る** を押して、▲・▼で「録画一覧」を選んで **決定** を押す

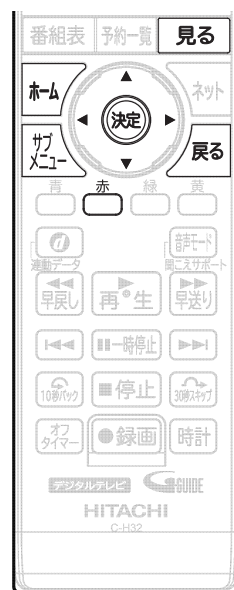
2 ▲・▼で「HDD」または「カセットHDD」を選んで **決定** を押す

- 録画一覧が表示されたときは を押してください。
- ◀▶でも階層移動できます。

3 を押す

4 ▲・▼で「フォルダー作成」を選んで **決定** を押す

- フォルダーが作成されます。
- 作成が終わったら、 を押してください。



ご注意

- 最大99個まで作成できます。

番組をフォルダーで管理する(つづき)

フォルダーの名前を変更する

HDD

カセットHDD

作成したフォルダーの名前を変更できます。



1 **見る** を押して、▲・▼で「録画一覧」を選んで
決定 を押す

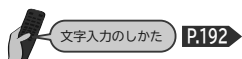
2 ▲・▼で「HDD」または「カセットHDD」を選んで 決定 を押す

- 録画一覧が表示されたときは、赤 を押してください。
- ◀▶でも階層移動できます。

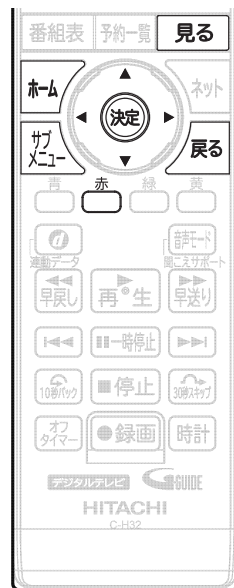
3 ▲・▼で変更するフォルダーを選んで 決定 を押す

4 ▲・▼で「フォルダー名変更」を選んで 決定 を押す

5 フォルダー名を入力して 決定 を押す



- 変更が終わったら、[OK] を押してください。



ご注意

- 「すべて」または「ジャンル」フォルダーの名前は変更できません。
- 録画予約やお好み録画の録画先に指定しているフォルダーは、予約録画の2分前になるとフォルダー名を変更できません。

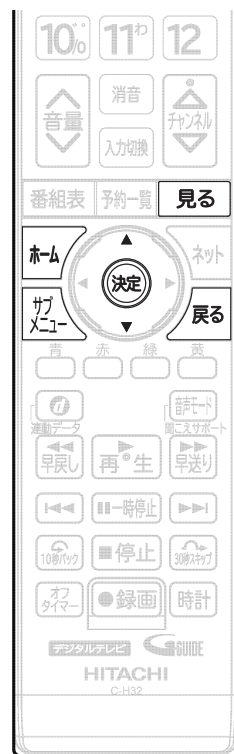
番組を他のフォルダーに追加する

HDD

カセットHDD



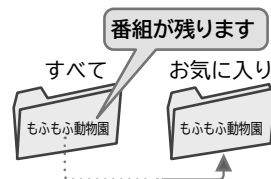
- 1 **見る** を押して、▲・▼で「録画一覧」を選んで **決定** を押す
- 2 ▲・▼で「HDD」または「カセットHDD」を選んで **決定** を押す
 - フォルダー一覧が表示されたときは、▲・▼で追加したい番組が入ったフォルダーを選んで **決定** を押してください。
- 3 **設定** を押して、▲・▼で「保存フォルダー変更」を選んで **決定** を押す
 - 変更先のフォルダー一覧が表示されます。
- 4 ▲・▼で変更先のフォルダーを選んで **決定** を押す
- 5 ▲・▼でフォルダーを変更したい番組を選んで **決定** を押す
- 6 ◀▶で「決定」を選んで **決定** を押す
 - 追加が終わったら、**戻る** を押してください。



削除する／編集する

お知らせ

- 「ジャンル」フォルダーの番組は他のフォルダーに追加できません。
- 「すべて」フォルダーから作成したフォルダーに番組を追加しても、「すべて」フォルダーの番組は削除されません。



番組をフォルダーで管理する(つづき)

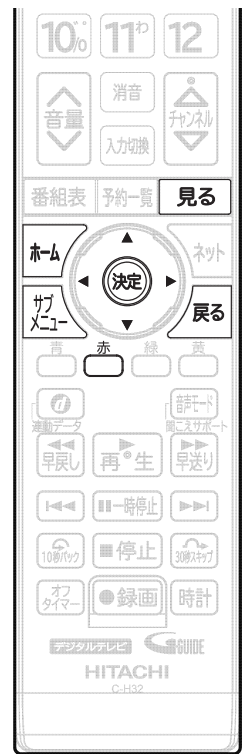
フォルダーの順番を変更する

HDD

カセットHDD



- 1 **見る** を押して、▲・▼で「録画一覧」を選んで **決定** を押す
- 2 ▲・▼で「HDD」または「カセットHDD」を選んで **決定** を押す
 - 録画一覧が表示されたときは を押してください。
- 3 を押して、▲・▼で「フォルダー表示順変更」を選んで **決定** を押す
- 4 ▲・▼で順番を変更するフォルダーを選んで **決定** を押す
- 5 ▲・▼で変更先を選んで **決定** を押す
フォルダーの順番が変更されます。
 - 変更が終わったら、 を押してください。



お知らせ

●「すべて」または「ジャンル」フォルダーの順番は変更できません。

フォルダーに入っている番組について

- 番組を編集すると、編集した番組を含むフォルダーすべてに同じ編集が反映されます。反映される編集は以下になります。
 - 「チャプター編集」
 - 「番組分割」
 - 「番組結合」
 - 「番組名変更」
 - 「番組保護」
 - 「録画モード変換」

お知らせ

- 「番組結合」すると、結合される番組(あとから選んだ番組)はすべてのフォルダーから削除されます。
- 「番組分割」すると、分割した番組が含まれる別のフォルダーの番組も分割されます。

▷HDDやカセットHDDの番組を全削除すると

- ⇒ 「設定/お知らせ」⇒「機能設定」⇒「接続機器設定」⇒「メディア管理」⇒「HDDメニュー」または
- ⇒ 「設定/お知らせ」⇒「機能設定」⇒「接続機器設定」⇒「メディア管理」⇒「カセットHDDメニュー」で「番組全削除」すると、すべての番組と「すべて」または「ジャンル」フォルダー以外のフォルダーが削除されます。「番組全削除(保護番組以外)」すると、保護されている番組とその番組を含むフォルダーおよび「すべて」または「ジャンル」フォルダー以外の番組とフォルダーが削除されます。P.195▶

フォルダーを削除する

HDD **カセットHDD**

作成したフォルダーを削除できます。



- 1 **見る** を押して、▲・▼で「録画一覧」を選んで **決定** を押す
- 2 ▲・▼で「HDD」または「カセットHDD」を選んで **決定** を押す
 - 録画一覧が表示されたときは **赤** を押してください。
- 3 ▲・▼でフォルダーを選んで **黄** を押す
 - **戻る** を押して「フォルダー削除」を選んで操作することもできます。
- 4 ▲・▼で削除方法を選んで **決定** を押す
 - 「フォルダーのみ削除」を選ぶと、フォルダー内の番組は削除されずに「すべて」フォルダーに残ります。
 - 「フォルダーとフォルダー内の番組を削除」を選ぶと、フォルダーとフォルダー内の番組を完全に削除します。
 - 確認画面が表示されるので「はい」を選んで **決定** を押してください。
 - 削除が終わったら、**戻る** を押してください。

お知らせ

- 「すべて」または「ジャンル」フォルダーは削除できません。
- 削除したフォルダーとフォルダー内の番組はすべて削除されます。（「すべて」または「ジャンル」フォルダー内の番組は削除されません。）



複数の番組をまとめてダビングする

HDD

カセットHDD

ダビングしたい番組を選んで、一括でダビングできます。

HDD



カセットHDD

▶ 準備

- カセットHDDを使う場合は、USB 1 録画再生 (カセットHDD用) 端子にカセットHDDを接続しておく **P.147**

1 ホームを押して▲・▼で「ダビング」を選んで決定を押す

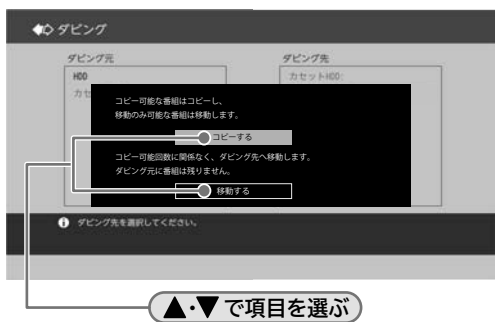
- 「見る」を押して、▲・▼で「録画一覧」→「HDD」または「カセットHDD」を選んで決定を押し、録画一覧表示中に「見る」を押してから「ダビング」を選んで操作することもできます。その場合は手順3に進んでください。

2 ▲・▼でダビング元を選んで決定を押す

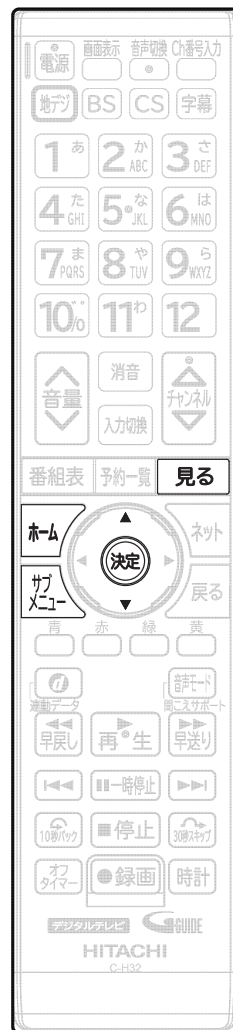
- ▶ HDDからカセットHDDへダビングするときは
ダビング元：「HDD」を選ぶ

3 ▲・▼でダビング先を選んで決定を押す

- ▶ HDDとカセットHDDの間でダビングするときは
続けてダビング方法を選ぶ




ダビング先：「カセットHDD」を選ぶ



4 ▲・▼でダビングする番組を選んで**決定**を押す

- 確認画面が表示された場合は▲・▼で「はい」を選んで**決定**を押してください。
- フォルダ一覧が表示されているときは、▲・▼でダビングしたい番組が入ったフォルダを選んで**決定**を押して録画一覧を表示してください。
- **決定**を押すと、ダビング順を表す数字が番組名の前に表示されます。

▷ フォルダを選ぶときは

を押してフォルダ表示に切り換える

▷ 他の番組を続けて選ぶときは

この手順を繰り返す

- 最大36個まで選ぶことができます。
- 録画モードが「TS」と「HD画質」の番組は同時に選ぶことができます。

▷ 番組の選択を解除したいときは

解除したい番組を選んで**決定**を押す

5 ダビングしたい番組を選び終わったら、▶を押す

6 ▲・▼で「画質選択」を選んで**決定**を押す

- ダビングの組み合わせによっては、「画質選択」を選ばない場合があります。その場合は、**決定**を押して手順9に進んでください。

7 ▲・▼でお好みの画質(録画モード)を選んで**決定**を押す

そのまま(高速)： ダビング元と同じ画質でダビングします。

そのまま(高速)以外： ダビング元から画質を変換してダビングします。

- 録画モードは、ダビング先のメディアや録画方式、ダビング元の画質などによって異なります。くわしくはP.136をご覧ください。
- 画質によってダビング速度が変わります。P.136▶

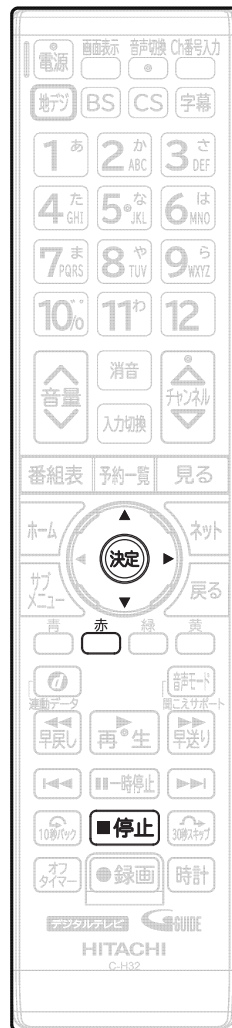
8 画質を選び終わったら、▶で「決定」を選んで**決定**を押す

- ダビングリストが表示されます。ダビングリストの見かたは、P.132▶をご覧ください。

9 ▲・▼で「決定」を選んで**決定**を押す

10 ▲・▼で「ダビング開始」を選んで**決定**を押す

- ダビングが始まると放送画面に戻ります。



実行中のダビングを中止する

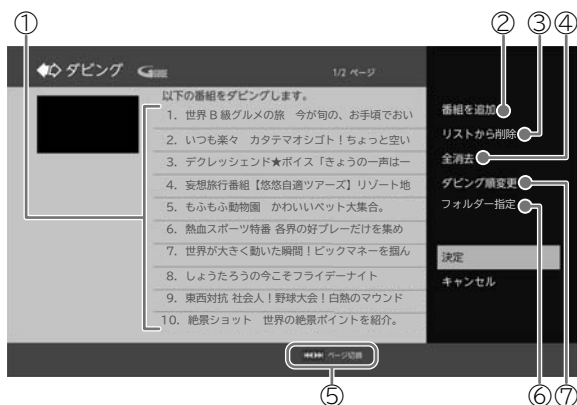
① ダビング中に**停止**を押す

- 確認画面が表示されるので、「はい」を選んで**決定**を押してください。

くわしくは「実行中のダビングを中止したり、ダビング中に停電したりしたときは」P.138▶をご覧ください。

複数の番組をまとめてダビングする(つづき)

ダビングリストの見かた



- ① ダビングする番組が表示されます。
(ダビングリストの上から順にダビングされます。)
- ② 番組選択画面に戻り、番組を追加します。
- ③ ダビングリストから番組を選んで削除します。
- ④ ダビングリストから番組をすべて削除します。
- ⑤ 操作ガイド
(ダビングリストのページ数が複数あるときだけ表示されます。)
- ⑥ ダビング先のフォルダーを指定します。
- ⑦ ダビングリストの順番を変更します。

ダビングリストに番組を追加する

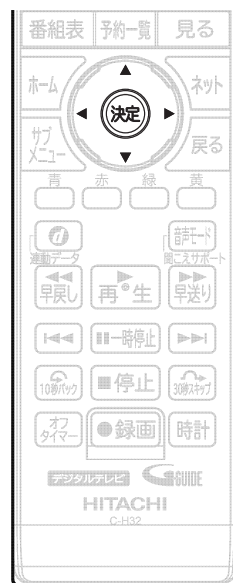
- ① ▲・▼で「番組を追加」を選んで**決定**を押す
- ② ▲・▼で追加したい番組を選んで**決定**を押す
- ③ ◀・▶で「決定」を選んで**決定**を押す

ダビングリストから番組を削除する

- ① ▲・▼で「リストから削除」を選んで**決定**を押す
- ② ▲・▼で削除したい番組を選んで**決定**を押す
 - 確認画面が表示されるので、「はい」を選んで**決定**を押してください。

ダビングリストの番組をすべて削除する

- ① ▲・▼で「全削除」を選んで**決定**を押す
 - 確認画面が表示されるので、「はい」を選んで**決定**を押してください。



ダビングの順番を変更する

- ① ▲・▼で「ダビング順変更」を選んで**決定**を押す
- ② ▲・▼で変更したい番組を選んで**決定**を押す
- ③ ▲・▼で変更したい位置へ移動して**決定**を押す

フォルダーを指定する

HDD **カセットHDD**

- ① ▲・▼で「フォルダー指定」を選んで**決定**を押す
- ② ▲・▼でダビング先に指定するフォルダーを選んで**決定**を押す

お知らせ

- 以下の場合は、ダビングできません。
 - ダビング先のメディアの番組数、チャプター数がいっぱいになっている
 - ダビング先のメディアの残量が足りない
 - ダビング先のメディアが保護されている
 - 録画中の番組

- 録画中は高速ダビングになります。等速ダビングはできません。
- 予約録画と重なる可能性があるときは、ダビングできない場合があります。

お引越し(LAN)でダビングする (本機からネットワーク上の機器にダビングする)

お引越し(LAN)で、HDDに録画した番組をネットワーク上の機器にダビングできます。

- ダビング先の機器はLAN録画対応機器をお使いください。
- 本機と接続する機器は同じルーターに接続(またはLANケーブルで直接接続)し、同一のネットワーク環境に接続してください。

▶ 準備

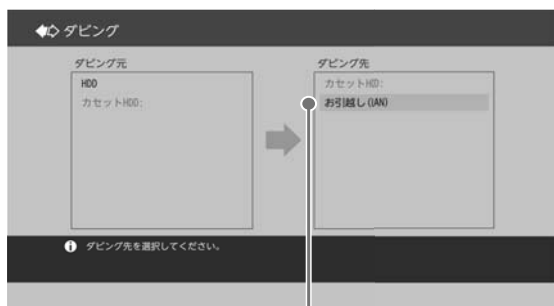
- 接続する機器をネットワークでつなぐ(くわしくは接続する機器に付属の取扱説明書をご覧ください。)
- 本機と接続する機器をネットワークでつなぐ **P.164**
- 本機の以下を設定しておく
「ネットワーク接続設定」 **P.167**
「ネットワーク連携設定」 **P.174**

1 **ホーム** を押して、**▲・▼**で「ダビング」を選んで**決定**を押す

- **見る** を押して、**▲・▼**で「録画一覧」⇒「HDD」を選んで**決定**を押し、録画一覧表示中に **戻る** を押してから「ダビング」を選んで操作することもできます。その場合は手順3に進んでください。

2 **▲・▼**でダビング元に「HDD」を選んで**決定**を押す

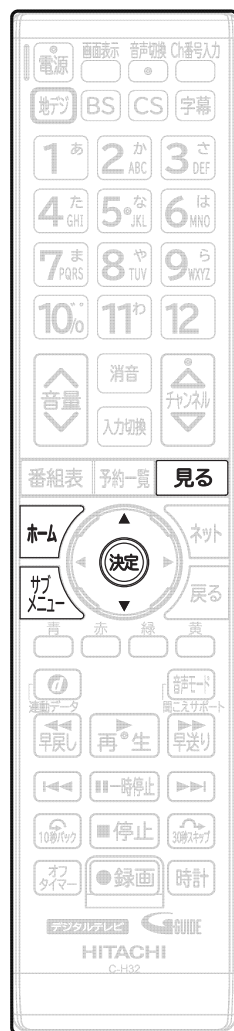
3 **▲・▼**でダビング先に「お引越し(LAN)」を選んで**決定**を押す



お引越し(LAN)を選ぶ

- ネットワーク上の機器が一覧で表示されます。

4 **▲・▼**でダビング先の機器を選んで**決定**を押す



お引越し(LAN)でダビングする(つづき)

5 ▲・▼でダビングする番組を選んで**決定**を押す

- フォルダー一覧が表示されているときは、▲・▼でダビングしたい番組が入ったフォルダーを選んで、**決定**を押して録画一覧を表示してください。
- **決定**を押すと、ダビング順を表す数字が番組名の前に表示されます。

▷フォルダーを選ぶときは

を押して、フォルダー表示に切り換える

▷他の番組を続けて選ぶときは

この手順を繰り返す

▷番組の選択を解除したいときは

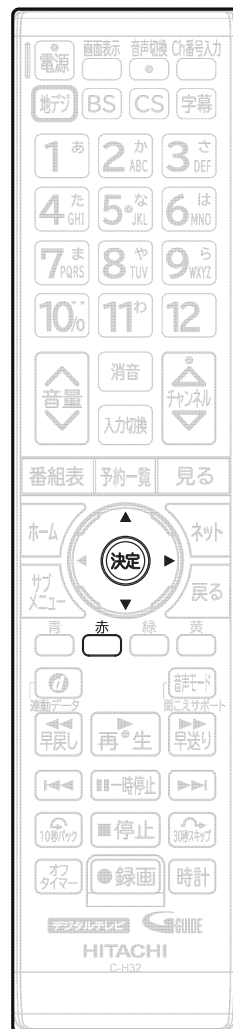
解除したい番組を選んで**決定**を押す

6 ダビングする番組を選び終わったら、▶で「決定」を選んで**決定**を押す

- ダビングリストが表示されます。
- ダビングする番組を追加したり削除したりする場合は、**P.132**をご覧ください。

7 ▲・▼で「決定」を選んで**決定**を押す8 「ダビング開始」を選んで**決定**を押す

- ダビングが始まると放送画面に戻ります。



ご注意

- 以下のような番組は、お引越し(LAN)でダビングできない場合があります。
 - 試験放送のような映像の動きが少ない放送を、録画モード「HD画質」で録画した番組
 - 録画モードを「AF」～「AE」に変換した番組

お知らせ

- お引越し(LAN)でダビング中に予約録画が開始されると、ダビングが中断される場合があります。その場合は、予約録画終了後にお引越し(LAN)ができなかった番組をやり直してください。
- お引越し(LAN)機能をお使いの場合はネットワークのデータアクセス量が増え、本機のチューナー受信映像や外部入力映像にノイズが入ることがあります。お引越し(LAN)機能は、録画をしていないときにご使用になることをおすすめします。
- ダビングした番組は番組の先頭や番組の境界部分、編集した部分などが数秒間欠けることがあります。
- ダビング10番組は、ダビング先ではコピーワンス(1回だけ録画可能)番組になります。
- 以下の番組は、ダビングできない場合があります。
 - 編集で一部を削除した番組
 - 分割・結合した番組
 - 他の機器からダビングした番組

ダビングについての補足説明

ダビング制限について

ダビング制限	HDD	HDD
	↕	↓
	カセットHDD	LAN
制限なしに録画可能	◎/○ (選択可能)	◎
1回だけ録画可能	○	○
ダビング10(9回目まで)	◎/○ (選択可能)	◎
ダビング10(10回目)	○	○

◎:「コピー」になる ○:「移動」になる

▷制限なしに録画可能な番組について

- ダビングする場合は「コピー」となり、ダビング元の番組はそのまま残ります。
- デジタル放送の場合は、一部の番組をのぞき、ほとんどの番組がコピーワンス(1回だけ録画可能)番組またはダビング10(コピー9回+移動1回)番組となります。

▷デジタル放送のコピーワンス番組について

- ダビングする場合は「移動」となり、ダビング元の番組が録画一覧から削除されます。

▷デジタル放送のダビング10番組について

- ダビングする場合は、9回目までは「コピー」となり、ダビング元の番組はそのまま残ります。
- 10回目は「移動」となり、ダビング元の番組が録画一覧から削除されます。

ダビングについての補足説明(つづき)

録画モード(画質)とダビング速度について

ダビングするときの録画モード(画質)によってダビング速度が変わります。

ダビング元		ダビング先		
メディア	録画モード	メディア/ お引越し(LAN)	録画モード	ダビング速度
HDD	TS	カセットHDD	そのまま(高速)	高速
			AF～AE	等速
		お引越し(LAN) [※]	そのまま(高速)	高速
	AF～AE	カセットHDD	そのまま(高速)	高速
			AF～AE	等速
		お引越し(LAN) [※]	そのまま(高速)	高速

※ ネットワークの環境により通信速度が遅い場合や、本機の通信状態、本機とダビング先の通信状態によっては、ダビングに番組の記録時間と同じ時間(またはそれ以上の時間)がかかる場合があります。

ダビング元		ダビング先		
メディア	録画モード	メディア	録画モード	ダビング速度
カセットHDD	TS	HDD	そのまま(高速)	高速
			AF～AE	等速
	AF～AE	HDD	そのまま(高速)	高速
			AF～AE	等速

ダビング速度について

▷「そのまま(高速)」(高速ダビング)

ダビング時に画質(録画モード)を「そのまま(高速)」に設定すると、高速でダビングできます。

- ダビング元と同じ画質(録画モード)でダビングします。
- 本機の動作音が通常よりも大きくなります。

▷「そのまま(高速)」以外(等速ダビング)

ダビング時に画質(録画モード)を「そのまま(高速)」以外に設定すると、等速ダビングになります。

- ダビング元番組の記録時間と同じ時間(またはそれ以上の時間)をかけてダビングします。
- 画質(録画モード)を変えてダビングできます。(ダビング元より高い画質を選んでも、画質は良くなりません。)

コピーと移動について

コピーワンス(1回だけ録画可能)番組やダビング10(コピー9回+移動1回)番組をダビングすると、ダビング元の番組の状態が変わります。

コピーの場合：ダビング元の番組は残り、コピー回数が減ります。

移動の場合：ダビング元の番組は残りません。

▷ダビングすると「移動」になる部分を含んでいる番組について

- コピーワンス部分を一部でも含んでいる番組をダビングする場合は、「移動」になります。
- コピーワンス部分を含む番組を編集してコピーワンス部分を削除してからダビングしても、「コピー」にはなりません。「移動」になります。

ご注意

- HDDやカセットHDDは録画(録音)内容の恒久的な保管場所とせず、一時的な保管場所としてお使いください。
- ビデオカメラやパソコンなどで作成された静止画を含んでいる番組は、ダビングできません。

ダビングについての補足説明(つづき)

デジタル放送のコピー制限について

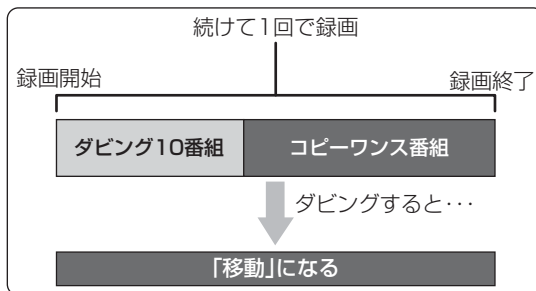
▷コピーワンス(1回だけ録画可能)番組

コピーワンス番組をダビングすると、ダビング元の録画内容が「移動」されてダビング元の録画内容は削除されます。

▷ダビング10

ダビング10番組をダビングすると、9回目までは「コピー」、10回目は「移動」となります。

- ダビング10または制限なしに録画可能な番組と、コピーワンス番組を続けて1回で録画した場合は、録画の開始から終了までがコピーワンス番組になります。また、その番組をダビングすると、「移動」になります。



ダビング全般

▷ダビングするときのチャプター

- ダビングするときはチャプター情報も引き継ぎます。
- ダビング先のチャプター分割位置は、多少ずれる場合があります。

▷ダビング中に電源を「切」に設定すると...

- 電源「切」の状態でもダビングを続けます。

▷ダビングするときに予約録画が近いと...

- 予約録画の開始時刻が近いとダビングを途中で停止することがあります。

実行中のダビングを中止したり、ダビング中に停電したりしたときは

▷ダビング元

ダビング元の番組はそのまま残ります。

▷ダビング先

ダビングされません。

USBメモリーの写真や動画を見る

USBメモリーに保存された写真や動画を再生します。

お知らせ

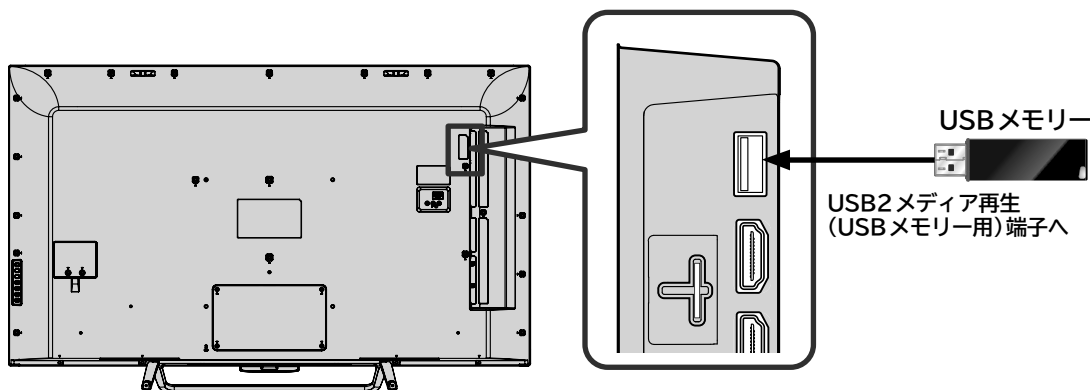
- 本機で使えるUSBメモリーとデータ形式について
 - USBメモリー機器:USBメモリー(32GB以下)、USBカードリーダー(マストレージクラス)
 - ファイルシステム:FAT16形式、FAT32形式
 - 写真ファイル形式:JPG、JPEG、jpg、jpeg
 - 動画ファイル形式:mpg、mpeg、mp4
- 写真は、プログレッシブ形式のJPEGファイル、Motion JPEGには対応していません。また、画像データのサイズにより表示に時間がかかる場合があります。
- バーチャルプレイリストには対応していません。
1080/60p、50pと3Dの方式には対応していません。
- 最大で1000枚の写真と1000個の動画を表示できます。
- SDカード、miniSDカードやmicroSDカードを使用される場合は、市販品のSDメモリーカードリーダーが必要です。すべてのSDカードとSDメモリーカードリーダーの組合せには対応していません。
- SDカード、miniSDカードやmicroSDカードの入っていないSDメモリーカードリーダーを挿入した状態で電源を「入」にすると、画面が出てテレビが操作できるようになるまでに時間がかかるようになります。(「高速起動」が「入」設定時の電源「入」やそれに類する状態からの電源「入」では時間は変わりません。)カードリーダーを使うときはカードが入っていることを確かめてください。
- パソコンで書き込み、編集された画像や動画は見るることができない場合があります。
- 記録状態などによっては、正常に見ることができない場合があります。また、リストに表示されても見るることができない場合があります。
- 本機は、SD規格に準拠したFAT32形式及びFAT16形式でフォーマットされたSDカードに対応しています。
- 4GB以上のSDカードは、SDHCカードのみ使用できます。
- SDXCカードには対応していません。
- 動画ファイルに複数の映像がある場合は、最初の1つを再生しますが、切り換えることはできません。
- USB2のメディア再生(USBメモリー用)端子には、写真や動画再生用USB機器以外のものを接続しないでください。

写真や動画を表示する

USBメモリーの写真や動画を表示する


1 本機の電源が「入」のときに、USB2メディア再生(USBメモリー用)端子に写真や動画が保存されたUSBメモリーを接続する

- 向きを確認し、ゆっくり挿し込んでください。



USBメモリーの写真や動画を見る(つづき)

2 を押して、▲・▼で「メディア再生」→「USBメモリー」を選んで を押す

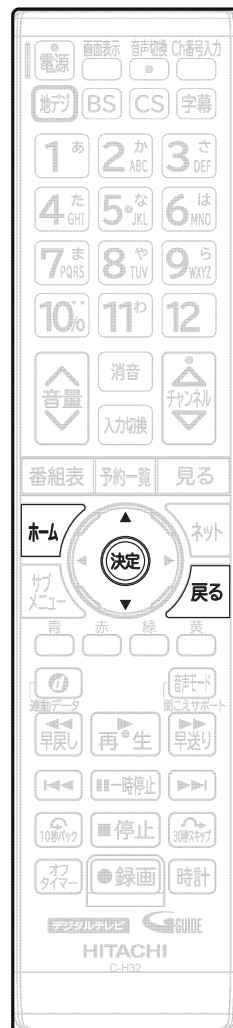
- 複数のUSBメモリーを接続している場合は、再生するUSBメモリーの選択画面が表示されるので、▲・▼で再生したいUSBメモリーを選んで  を押してください。

3 ▲・▼で「写真」または「動画」を選んで を押す

- 写真一覧または動画一覧が表示されます。
ファイルが無い場合は、「ファイルがありません。」と表示されます。

表示を消す

写真一覧または動画一覧を表示中に  を押す



写真を見る

写真一覧の見かた

▲・▼・◀・▶でカーソルを移動させる

- 再生できないデータはアイコン表示されます。

写真一覧の続きを見る

1 ページ単位で表示を切り換えることができます。

▷ ◀◀ を押す

- 前のページを表示します。

▷ ▶▶ を押す

- 次のページを表示します。

画像を選ぶ

拡大表示や回転させたい画像を選択します。

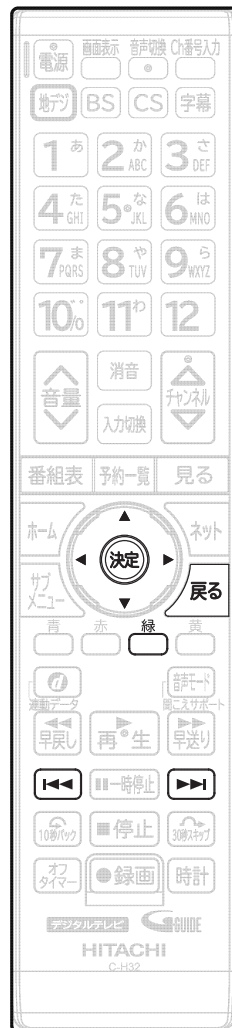
▲・▼・◀・▶でカーソルを移動させる。

- 選択された画像は黄色に表示されます。

拡大する

画像を選んで **決定** を押す



- 全画面表示になります。
 - ▷「写真一覧」に戻りたいときは
 - **戻る** を押す
 - ▷前後の画像に切り換えたいときは
 - ◀◀ ・ ▶▶ を押す
 - ▷回転させたいときは
 - **緑** を押す



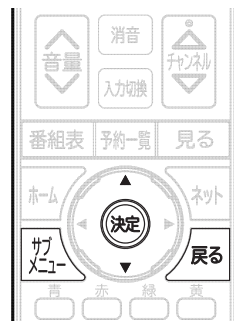
USBメモリーの写真や動画を見る(つづき)

写真をスライドショーで見る


スライドショーを開始する

写真一覧を表示中に  を押し、▲・▼で「スライドショーの実行」を選んで、 を押す

- カーソルで選択された画像から全画面表示を開始します。



スライドショーを終了する

 を押す

- 写真一覧に戻ります。
- もう一度押すと写真一覧を終了します。

スライド時間を変更する

スライドショーで1枚の写真が表示され、次の写真に切り換わるまでの時間を変更できます。

写真一覧を表示中に  を押し、▲・▼で「表示間隔」を選んで、 を押す

- 5秒、10秒、15秒から選べます。

スライドショーを繰り返し再生する

同階層内のすべての写真を繰り返し再生することができます。

写真一覧を表示中に  を押し、▲・▼で「繰り返し再生」を選んで、 を押す

- 「入」を選ぶと繰り返し再生されるようになります。


動画を見る

動画一覧の続きを見る

1ページ単位で表示を切り換えることができます。

▷  を押す

- 前のページを表示します。

▷  を押す

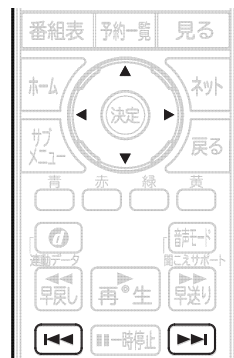
- 次のページを表示します。

動画ファイルを選ぶ

再生したい動画ファイルを選択します。


▲・▼・◀・▶でカーソルを移動させる。

- 選択された動画ファイルは黄色に表示されます。フォルダー毎の名前順で表示されます。






全画面で再生する

動画ファイルを選んで**決定**を押す
全画面で再生を開始します。

- 繰り返し再生したいときは
▷  を押す

再生速度を変えて見る



早送り／早戻し

- ▷ 再生中に   を押す
 - 押すごとに3段階で速度が変わります。
 -  を押すと通常速度に戻ります。


再生を一時止める

- ▷ 再生中に  を押す
 -  または  を押すと解除されます。

全画面表示中に前の動画または次の動画を見る

- ▷ 再生中に   を押す
 - 再生中の動画から前または次の動画に切り換わります。






動画一覧に戻る

- ▷  を押す

設定を変更する

1 再生中に を押す

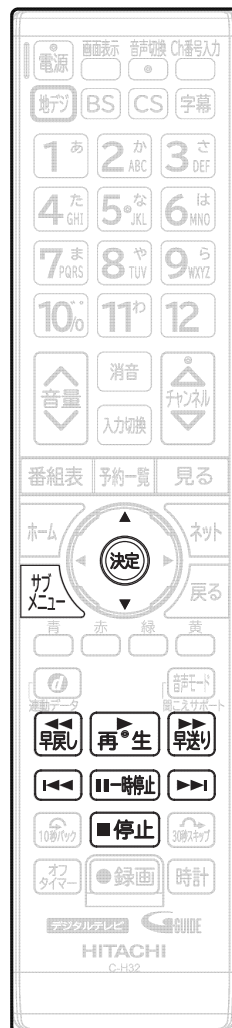
2 ▲・▼で変更したい設定を選んで **決定** を押す

- 「映像モード」  P.149
- 「音声モード」  P.154
- 「音声切換」  P.111
- 「ヘッドホン音量」  P.59
- 「オンタイマー」  P.47

の各設定を調整できます。

お知らせ

- 動画ファイルの再生が終わると自動的に停止し、動画一覧に戻ります。
- 動画ファイルを再生中に停止させると、動画一覧に戻ります。
- 再生できない動画ファイルを選択した場合は、まれに前に再生した動画ファイルが再生されることがあります。



HDMI-CEC 対応機器を操作する

リンク制御機能とは、HDMI で規格化されている AV アンプやレコーダーなどを制御するための機能で、HDMI-CEC (Consumer Electronics Control) 規格に準拠した機器間を HDMI ケーブルで接続することにより、相互連動動作を可能にした業界標準規格です。本機では、Wooリンクと称しています。










HDMI-CEC に対応した AV アンプやレコーダーを本機の HDMI 入力に接続すると、本機のリモコンで接続機器の主な操作 (再生など) ができます。HDMI-CEC 対応機器の取扱説明書も合わせてご覧ください。(仕様は予告なく変更することがあります。)

▷本機でHDMI-CEC機能を使うには

本機 …「ホーム」⇒「設定／お知らせ」⇒「機能設定」⇒「接続機器設定」⇒「リンク制御」を「入」に設定しておいてください。くわしくは **P.163** をご覧ください。

接続機器 …接続機器側の HDMI-CEC 設定を「入」にします。くわしくは各機器の取扱説明書をご覧ください。

お知らせ

- 「接続機器設定」の「テレビリモコンの操作対象」を「HDMI 機器優先」に設定した場合は、本機のリモコンの ▲・▼・◀・▶、
、、、、、、、、 で HDMI-CEC 対応機器を操作できます。
- 接続する機器によっては、一部の操作ができない場合があります。

ご注意


- HDMI-CEC 機能を中止するために「リンク制御」**P.163** を「切」にした場合は、本機の電源を入れ直してください。
- 接続機器によってはお客様の意図しない動作をする場合があります。このようなときは「リンク制御」を「切」にしてください。

HDMI-CEC対応アンプの音量を調節する


▷「ホーム」⇒「設定／お知らせ」⇒「機能設定」⇒「音声設定」⇒「スピーカー出力」を「外部音声機器」にした状態で、アンプの音量を調整できます。

で音量を調節する


音量

- アンプを消音にする場合は、 を押してください。
- アンプの種類によって調節できる音量が異なります。

お知らせ

- 「スピーカー出力」を「外部音声機器」にすると、以降、本機の電源と連動してアンプの電源が立ち上がります。アンプに電源が入ると本機の音声は消音されます。これらが基本的な動作ですが、接続される製品により動作は異なります。
-  を押し続けて音量調整すると画面表示が変わらないまま音量が変わる場合があります。ボタンを放すと表示が変わりそのときの音量が表示されます。
- 本機でヘッドホンをご使用中は、外部アンプからは本機の音は出ません。「ヘッドホン出力設定」が「スピーカー非連動」のときは、本機でヘッドホンをご使用中でも、外部アンプから本機の音が出ます。

接続機器の電源を切る

▷「ホーム」⇒「設定／お知らせ」⇒「機能設定」⇒「接続機器設定」⇒「HDMI機器の自動電源オフ」を「入」にした状態で、本機と接続機器の電源が入っているときに  を押す

- 本機と接続機器の電源が両方とも切れます。

接続機器に連動して本機の電源を入れる

▷「ホーム」⇒「設定／お知らせ」⇒「機能設定」⇒「接続機器設定」⇒「テレビの自動電源オン」を「入」にした状態で、本機の電源が入っていないときにDVDレコーダーなどの接続機器でディスクの再生を開始する

- 本機の電源が自動的に入り、接続機器が接続されている外部入力に本機の入力切換が切り換わります。
- 本機の電源が入っていない状態で、接続機器の電源を入れた場合でも、連動して本機の電源が入ります。

ご注意

- HDMI-CEC機能を中止するために「リンク制御」[P.163](#)を「切」にした場合は、本機の電源を入れ直してください。

カセットHDDを接続・設定する

カセットHDDって どんな機器？

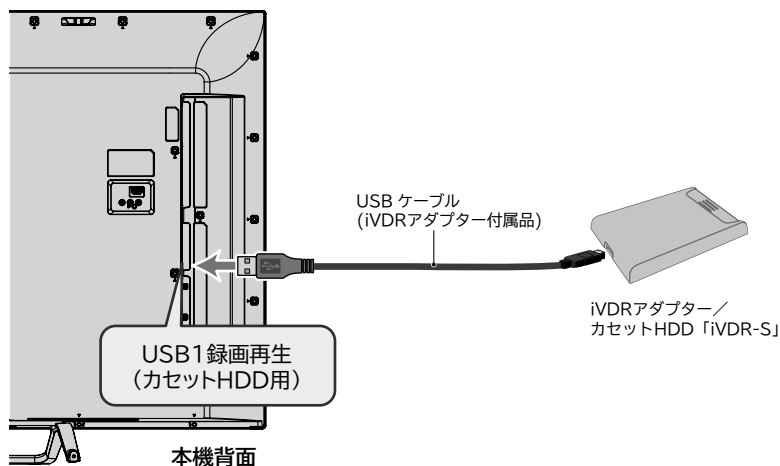
- カセットHDDは、iVDR (Information Versatile Device for Removable usage) 規格に準拠したカセット式のハードディスクです。
- USB対応のiVDRアダプター経由でカセットHDDを接続することにより、HDDの高速／大容量を活かしたりムーバブルメディアとして利用できます。
- カセットHDDには、セキュア対応のカセットHDD「iVDR-S」とセキュア非対応のカセットHDD「iVDR」があります。
- デジタル放送のほとんどの番組はコピー制限付きです。コピー制限付きの番組はセキュア対応のカセットHDD「iVDR-S」にコピーワンスで録画することができます。セキュア非対応のカセットHDD「iVDR」では録画することができません。
- パソコンでカセットHDDのフォーマットやファイル操作を行った場合、正常に使用することができなくなることがあります。

カセットHDDをつなぐ前に

- 本機には、内蔵HDDが搭載されていますが、カセットHDDを本機に接続して使用することもできます。内蔵HDDと共通の録画についての補足説明に関しては、「録画についての補足説明」[P.92](#)をご覧ください。
- USB1 録画再生(カセットHDD用)端子は、カセットHDD専用です。iVDRアダプターやカセットHDD「iVDR-S」以外のものを接続しないでください。
- USBハブ(ひとつのUSB端子を複数のUSB端子に変換する機器)は使用できません。
- 本機と接続確認済みのiVDR-SアダプターやカセットHDDのメーカーや型番については、当社のホームページ (<http://av.hitachi-ls.co.jp/check/>) やメーカーのホームページなどで確認ください。

カセットHDDをつなぐ

- カセットHDDは必ずUSB1録画再生(カセットHDD用)端子に接続してください。



▷ 新品のカセットHDDを初期化するには

- カセットHDDは、購入後初期化をしないと録画することができません。
- 初期化していないカセットHDDを接続すると、初期化するかどうかの確認メッセージが表示されます。初期化する場合は、「はい」を選んで **決定** を押します。メニューの「初期化」**P.195** が表示されるので、カセットHDDを初期化してください。

ご注意

- カセットHDDは精密機器です。無理な力や衝撃を与えたり、落としたりしないでください。
- 次の動作中にカセットHDDを外したり、接続ケーブルを抜いたりしないでください。記録した内容が消えたり、本機およびHDD/カセットHDDが故障したりする原因となります。
 - ・ 録画、再生、編集、ダビング中
 - ・ 初期化中
 - ・ カセットHDD認識中
- カセットHDDのコネクタ部に液体・ほこりなどの異物が付いていないことを確認してください。
- 頻繁にカセットHDDを抜き差ししないでください。コネクタ接触部が磨耗し接触不良などの故障の原因になります。

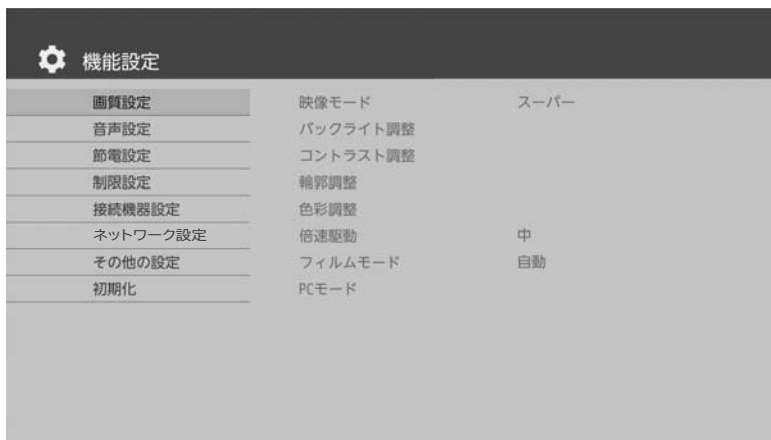
画質設定をする

画質をお好みの設定にしたいときに調整します。

画質設定の表示のしかた

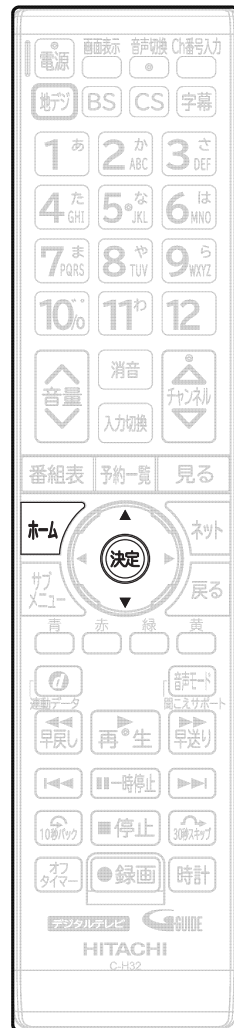
1  を押して、▲・▼で「設定／お知らせ」→「機能設定」を選んで  を押す

2 ▲・▼で「画質設定」を選んで  を押す



▷ 画質設定について

- **映像モード P.149**
映像に合った画質設定を、7つのモードの中から選ぶことができます。
- **バックライト調整 P.149**
画面の明るさを調整します。
- **コントラスト調整 P.150**
画面の明暗を調整します。
- **輪郭調整 P.150**
精細感やノイズ補正を調整します。
- **色彩調整 P.151**
色彩を調整します。
- **倍速駆動 P.151**
動きの速い映像で出る残像感を軽減し、なめらかに表示します。
- **フィルムモード P.152**
映画フィルム素材を自動的に検知して、映画フィルム本来の映像の美しさを忠実に再現します。
- **PCモード P.152**
PC信号に最適な設定を提供します。



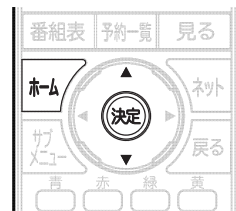
映像モードを切り換える

7つの映像モードから選ぶことができます。

それぞれの設定は、お好みに合わせて調整できます。P.149～P.152

1 「画質設定」を表示中に、▲・▼で「映像モード」を選んで

決定を押す



2 ▲・▼で設定を選んで決定を押す

- 設定が終わったら、を押してください。

▷ 映像モードの種類

- スーパー
色調、画質ともにあざやかで、メリハリの効いた画質です。お部屋が特に明るく、コントラスト感が要求されるときにおすすめします。
- スタンダード
標準的な画質です。一般的な視聴におすすめします。
- ナチュラル
より自然で、落ちついた色合いに補正された画質になります。
- シネマ
お部屋を暗くして映画ソフトを楽しむのに適した画質です。
- ゲーム
テレビゲームを楽しむのに適した画質です。
- 写真
写真を楽しむのに適した画質です。
- ユーザー
お好みに合わせてデジタル放送(地上/BS/CS)および、各入力(ビデオなど)ごとに細かい調整ができます。

お知らせ

- 映像モードは、デジタル放送(地上/BS/CS)および、各入力(ビデオなど)ごとに選ぶことができます。

バックライト調整を設定する

画面全体の明るさを調整します。

1 「画質設定」を表示中に、▲・▼で「バックライト調整」を選んで決定を押す

2 ▲・▼で設定を選んで決定を押す

- 設定が終わったら、を押してください。

▷ バックライト調整の種類

- バックライト
画面全体の明るさを調節します。設定値を下げることで消費電力も下がります。
- バックライト補正
画面全体の明るさを向上させます。映像が不自然になる場合は「切」にしてください。



画質設定をする(つづき)

コントラスト調整を設定する

画面の明暗を調整します。

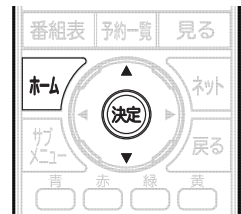
1 「画質設定」を表示中に、▲・▼で「コントラスト調整」を選んで(決定)を押す

2 ▲・▼で設定を選んで(決定)を押す

- 設定が終わったら、を押してください。

▷コントラスト調整の種類

- コントラスト
映像の白い部分の明るさを調整します。明るい部分が白飛びし細部が潰れる場合は、設定値を下げます。
- 黒レベル
映像の暗い部分の明るさを調節します。暗い部分が見えにくい場合は、設定値を上げます。
- コントラスト補正
映像のコントラスト感を上げます。暗いシーンなどを鮮明な映像に調整します。
- 黒補正
中間よりも暗い部分の階調を高めて濃淡を強調する調整をします。
- ガンマ調整
映像の階調調整をします。
- HDR復元
明るさの領域を復元し、鮮明な映像にします。映像が不自然になる場合は「切」にしてください。
- HDRガンマ調整
HDR映像の輝度を調整します。階調を重視する場合は設定値を下げてください。



輪郭調整を設定する

精細感やノイズ補正を調整します。

1 「画質設定」を表示中に、▲・▼で「輪郭調整」を選んで(決定)を押す

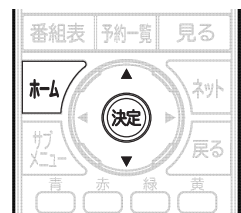
2 ▲・▼で設定を選んで(決定)を押す

- 設定が終わったら、を押してください。

▷輪郭調整の種類

- シャープネス
映像のくっきり感を調節します。設定値を上げるとメリハリのある映像、設定値を下げるとやわらかい映像になります。
- 解像度復元
見た目の解像度を上げ、精細な映像にします。映像が不自然になる場合は「切」にしてください。
- 階調補正
暗い部分から明るい部分へのグラデーションや微細な質感が表現されるように補正します。映像が不自然になる場合は「切」にしてください。
- ノイズリダクション
映像にのった微細なノイズを減らします。「自動」に設定すると、映像に合わせてノイズを軽減します。
- MPEG NR
デジタル放送のブロック状のノイズと輪郭部分に現れるモスキートノイズを軽減します。

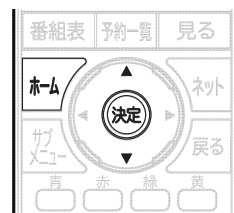
自動	映像にあわせて自動でノイズを軽減します。
強/中/弱	ノイズ軽減の強さを変更します。
切	精細感・ノイズ補正がオフになります。




色彩調整を設定する

色彩を調整します。

- 1 「画質設定」を表示中に、▲・▼で「色彩調整」を選んで
決定を押す



- 2 ▲・▼で設定を選んで決定を押す
 - 設定が終わったら、を押してください。

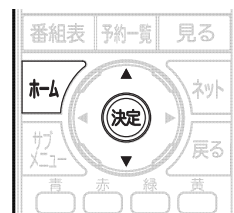
▷ 色彩調整の種類


- 色温度
色調を調節します。室内照明などの視聴環境に合わせてお好みの色調に設定します。
- 白強調
白やグレーの部分を強調します。
- 色の濃さ
色の濃淡を調節します。自然な色にするときは、やや薄めに設定します。
- 色あい
色あいを調節します。肌色をお好みに合わせて設定します。
- 色域マッピング
色の再現範囲を設定します。
- 色再現補正
入力信号に適切な処理を行って色鮮やかにします。映像が不自然になる場合は「切」にしてください。
- 色詳細調整
色あい・鮮やかさ・明るさを、赤・黄・緑・シアン・青・マゼンタの色ごとに調整します。

倍速駆動を設定する

動きの速い映像で出る残像感を軽減し、なめらかに表示します。
映像が不自然になる場合は「切」にしてください。

- 1 「画質設定」を表示中に、▲・▼で「倍速駆動」を選んで
決定を押す




- 2 ▲・▼で設定を選んで決定を押す
 - 設定が終わったら、を押してください。

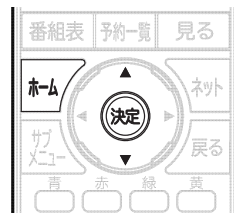
画質設定をする(つづき)

フィルムモードを設定する

映画フィルム素材を自動的に検知して、映画フィルム本来の映像の美しさを忠実に再現します。映像が不自然になる場合は「切」にしてください。

- 1 「画質設定」を表示中に、▲・▼で「フィルムモード」を選んで(決定)を押す


- 2 ▲・▼で設定を選んで(決定)を押す
 - 設定が終わったら、を押してください。

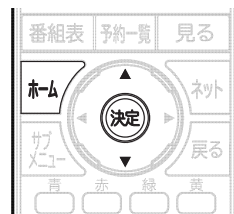


PCモードを設定する

PC信号に最適な設定を提供します。現在の入力がPCと接続している場合は「入」に設定してください。

- 1 「画質設定」を表示中に、▲・▼で「PCモード」を選んで(決定)を押す

- 2 ▲・▼で設定を選んで(決定)を押す
 - 設定が終わったら、を押してください。



入	PC信号に最適な設定を提供します。現在の入力がPCと接続している場合は「入」に設定してください。
切	PCモードがオフになります。

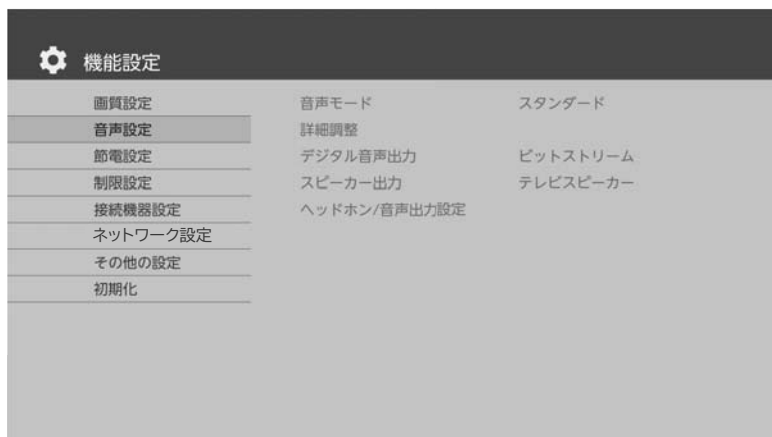
音声設定をする

音声をお好みの設定にしたいときに調整します。

音声設定の表示のしかた

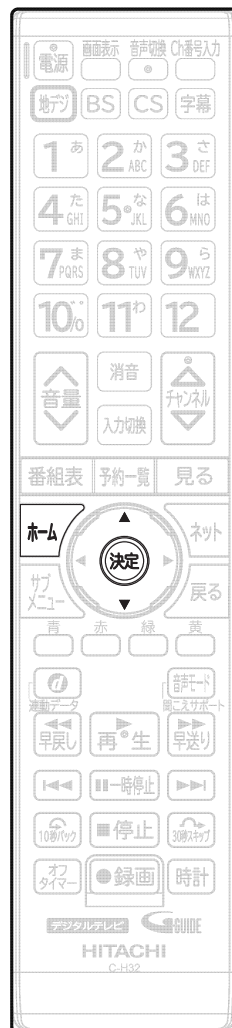
1  を押して、▲・▼で「設定／お知らせ」→
「機能設定」を選んで  を押す

2 ▲・▼で「音声設定」を選んで  を押す



▷ 音声設定について

- **音声モード** * [P.154](#)▶
映像に合った音質設定を、5つのモードの中から選ぶことができます。
- **詳細調整** [P.154](#)▶
音声を詳細に調整します。
(「音声モード」が「聞こえサポート：つよく、聞こえサポート：よわく」の場合は調整できません。)
- **デジタル音声出力** [P.155](#)▶
デジタル音声出力の音声形式の設定をします。
- **スピーカー出力** [P.155](#)▶
スピーカーの出力設定をします。
- **ヘッドホン/音声出力設定** [P.156](#)▶
音声の出力方法や外部スピーカー出力の設定、またヘッドホン使用中にスピーカーから同時に音声を出力するかを切り換えることもできます。
*印のついた設定は、「ヘッドホン出力設定」を「スピーカー非連動」に設定しているとき、ヘッドホンへの音声出力にははたらきません。
(本機のスピーカーから出力される音声にのみ反映されます。)

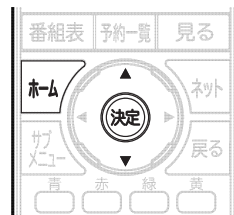


音声設定をする(つづき)

音声モードを切り換える

映像に合った音質の設定を5つのモードの中から選ぶことができます。
それぞれの設定は、お好みに合わせて調整できます

1 「音声設定」を表示中に、▲・▼で「音声モード」を選んで 決定を押す



2 ▲・▼で設定を選んで決定を押す

- 設定が終わったら、を押してください。

▷ 音声モードの種類

- **スタンダード**
標準的な音質です。一般的な視聴におすすめします。
- **ミュージック**
低音、高音を強調した音質です。音楽番組の視聴に適したモードです。
- **シネマ**
効果音などの迫力ある音を強調した音質です。映画番組の視聴に適したモードです。

- **聞こえサポート：つよく**、**聞こえサポート：よわく**
高音を強調し、人の声を聞き取りやすくした音質です。ニュース番組などの視聴に適したモードです。
- **ユーザー**
各入力ごとにお好みに合わせて細かい調整ができます。

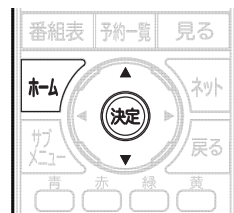
お知らせ

- 音声モードは、デジタル放送(地上/BS/CS)および、各入力(ビデオなど)ごとに選ぶことができます。

詳細調整を設定する

音声を詳細に調整します。音声モードが「聞こえサポート：つよく」、「聞こえサポート：よわく」の場合は調整できません。

1 「音声設定」を表示中に、▲・▼で「詳細調節」を選んで 決定を押す

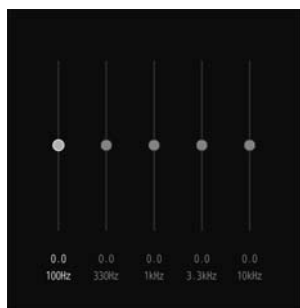


2 ▲・▼で設定を選んで決定を押す

- 設定が終わったら、を押してください。

▷ 詳細調整の種類

- **イコライザー**
周波数帯域ごとの音質を調整します。周波数帯域は◀▶で選択できます。

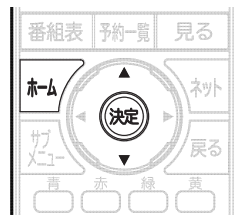


- **左右バランス**
スピーカーの左右のバランス音量を調節します。
- **サラウンド**
サラウンド設定をします。臨場感あふれるサラウンド効果を楽しめます。
- 「入」 - 「切」
- **重低音強調**
重低音を強調します。
- 「入」 - 「切」
- **クリアボイス**
声やセリフの部分をはっきり聞こえるように強調します。
- 「入」 - 「切」
- **自動音量補正**
CMや番組の切り換わりなど、音量が大きく変わるシーンにおいて音量の変化を自動的に調整します。
- 「入」 - 「切」

デジタル音声出力を設定する

光デジタル音声出力端子とARC(オーディオリターンチャンネル)を使用したHDMI端子から出力される音声形式を設定します。光とARCは同じ設定になります。

- 1 「音声設定」を表示中に、▲・▼で「デジタル音声出力」を選んで**決定**を押す



- 2 ▲・▼で設定を選んで**決定**を押す

- 設定が終わったら、**戻る**を押してください。

▷ デジタル音声出力の種類

- PCM

音声形式をリニアPCMに変換して出力します。「ビットストリーム」を選択したときにオーディオ機器が音声を出さない場合に設定してください。

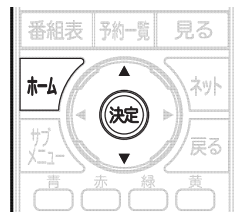
- ビットストリーム

受信した音声形式でそのまま出力します。

スピーカー出力を設定する

スピーカーの出力設定を行います。

- 1 「音声設定」を表示中に、▲・▼で「スピーカー出力」を選んで**決定**を押す



- 2 ▲・▼で設定を選んで**決定**を押す

- 設定が終わったら、**戻る**を押してください。

▷ スピーカー出力の種類

- テレビスピーカー

スピーカーから音声を出します。

- 外部音声機器

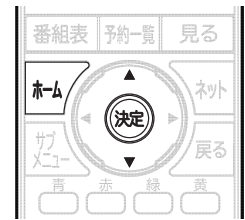
スピーカーから音声を出しません。ヘッドホンからは音声を出し可能です。ARC対応のAVアンプから音声を出しする場合に設定してください。P.32 ▶

音声設定をする(つづき)

ヘッドホン／音声出力設定を設定する

ヘッドホン／音声出力の設定を行います。

1 「音声設定」を表示中に、▲・▼で
「ヘッドホン／音声出力」を選んで **決定** を押す



2 ▲・▼で設定を選んで **決定** を押す
●設定が終わったら、**電源** を押してください。

▷ヘッドホン／音声出力設定の種類

- 出力設定
音声出力端子に接続する機器を設定します。
 - ヘッドホン
 - 外部スピーカー
- ヘッドホン出力設定
ヘッドホンを使用するときのスピーカーからの音声出力を設定します。
 - スピーカー連動
ヘッドホンをご使用になるとき、スピーカーから音声を出力しません。
 - スピーカー非連動
ヘッドホンをご使用になっても、スピーカーから音声を出力します。ヘッドホンの音量は、ヘッドホン音量メニューから調整できます。
- 外部スピーカー出力設定
音声出力端子からの出力レベルを設定します。
 - 固定
出力レベルを固定にします。
 - 可変
本機の音量レベルに連動します。

節電設定をする

いろいろな節電の設定をします。

節電設定の表示のしかた

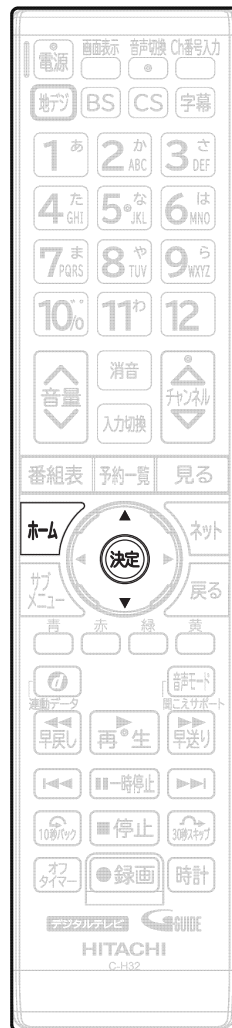
1  を押して、▲・▼で「設定／お知らせ」→
「機能設定」を選んで  を押す

2 ▲・▼で「節電設定」を選んで  を押す



▷ 節電設定 P.158 ▶ について

- 節電モード
画面の明るさを抑え、消費電力を削減します。
- 無操作電源オフ
無操作時に電源を切る設定をします。
- 無信号電源オフ
無信号時に電源を切る設定をします。
- 明るさセンサー
お部屋の明るさに応じて、自動で画面の明るさを抑え、消費電力も節約します。



お知らせ

- 「明るさセンサー」を「入」に設定しているときは、部屋の照明が安定し、明るさセンサー受光部 **P.18** ▶ が遮断されていないことをご確認ください。

節電設定をする(つづき)

節電設定の各項目を設定する


節電に関する設定ができます。

1 「節電設定」を表示する

2 ▲・▼で設定したい項目を選んで を押す

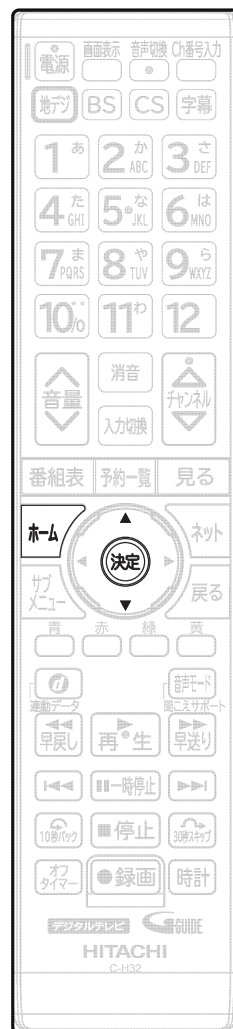
節電モード	「入」で、画面の明るさを抑え、消費電力を削減します。
無操作電源オフ	「入」で、テレビの消し忘れを防ぎます。約3時間テレビを操作しなかった場合は、自動的に電源が切れます。
無信号電源オフ	「入」で、テレビの消し忘れを防ぎます。放送終了後など、映像信号がなくなった状態で約10分経つと、自動的に電源が切れます。
明るさセンサー	「入」で、お部屋の明るさに応じて、自動で画面の明るさを抑え、消費電力も節約します。

3 ▲・▼で設定を選んで を押す

- 設定が終わったら、 を押してください。

お知らせ

- 無操作電源オフ「入」では、電源が切れる1分前から「無操作自動オフ 1分前」と表示されます。引き続き見るときは、音量を変えるなどリモコン操作をしてください。
- 無信号電源オフ「入」では、電源が切れる1分前から「無操作自動オフ 1分前」と表示されます。



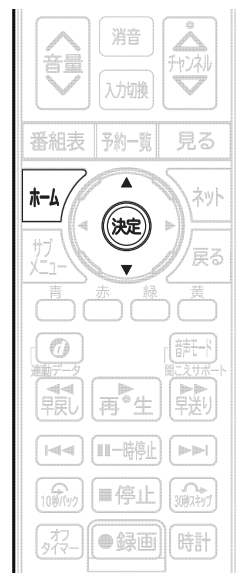
制限設定をする

視聴の許可年齢を超える番組の視聴を制限したり、動画配信サービスを利用したりするときに暗証番号の入力が必要となるように設定できます。

制限設定の表示のしかた

1  を押して、▲・▼で「設定／お知らせ」→「制限設定」を選んで  押す

2 ▲・▼で「制限設定」を選んで  を押す



▷制限設定について


- 視聴年齢制限 [P.159](#)
年齢制限のある視聴番組を制限するための設定をします。
- ネットサービス利用制限 [P.159](#)
動画配信サービスを利用するときに、暗証番号の入力が必要となるように設定できます。
- 暗証番号変更 [P.162](#)
視聴年齢制限設定の暗証番号を変更します。

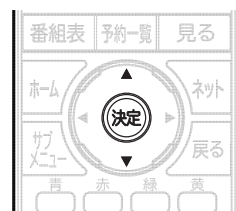
暗証番号を登録して視聴年齢制限を設定する

一定の年齢以上でないと見ることができない番組や動画配信サービスに対して、暗証番号を登録し、視聴を制限することができます。暗証番号は、「視聴年齢制限」と「ネットサービス利用制限」で共通の番号となります。

初めて視聴制限やネットサービス利用制限を設定するとき(暗証番号が未設定のとき)

1 「制限設定」を表示する

2 ▲・▼で「視聴年齢制限」または「ネットサービス利用制限」を選んで  を押す



制限設定をする(つづき)

3 1* ~ 10% で4桁の暗証番号を入力する

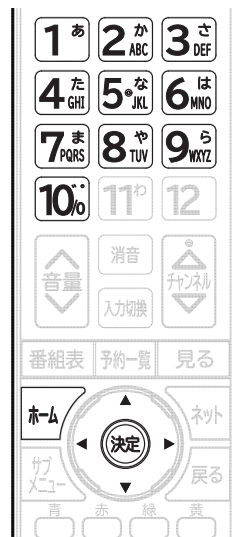
入力した数字は「*」で表示されます。

▷「0」を入力するときは

10% を押す

▷間違えたときは

◀を押すと、1文字消える



4 もう一度、同じ暗証番号を入力する



▷2回目に入力した暗証番号が間違っていたときは

「暗証番号が一致しません。もう一度入力してください。」と表示されます。

画面の説明に従って、もう一度始めから暗証番号を入力してください。

5 ▲・▼で設定を選んで(決定)を押す

▷視聴年齢制限を設定するとき

4才～19才	4才から19才まで1才単位で設定できます。番組の視聴年齢制限が設定した年齢より上の場合は、例えば「15才以上」に設定すると、番組の視聴年齢制限が「18才以上」のときは、暗証番号を入力しないと視聴できなくなります。
制限なし	番組の視聴年齢制限に関係なく視聴できます。

▷ネットサービス利用制限を設定するとき

入	動画配信サービスを利用するときに、暗証番号の入力が必要となります。
切	動画配信サービスを利用するときに、暗証番号の入力が不要となります。

●設定が終わったら、[H]を押してください。

お知らせ

- 万一、暗証番号を忘れた場合には、「機能設定初期化」P.189▶後に、再設定していただく必要があります。ただし、「機能設定初期化」をすると「ネットワーク接続設定」をのぞくすべての設定が、お買い上げ時の状態に戻ります。

視聴制限やネットサービス利用制限の設定を変更するとき(暗証番号が設定済みするとき)

1 「制限設定」を表示する **P.159**

2 ▲・▼で「視聴年齢制限」または「ネットサービス利用制限」を選んで **決定** を押す

3 **1*** ~ **10*** で4桁の暗証番号を入力する



入力した数字は「*」で表示されます。

▷「0」を入力するときは

10* を押す

▷間違えたときは

◀を押すと、1文字消える

4 ▲・▼で設定を選んで **決定** を押す

● 設定が終わったら、**戻る** を押してください。



制限設定をする(つづき)

暗証番号を変更するとき

1 「制限設定」を表示する P.159▶

2 ▲・▼で「暗証番号変更」を選んで(決定)を押す

3 1* ~ 10% で4桁の暗証番号を入力する

入力した数字は「*」で表示されます。

▷「0」を入力するときは

10% を押す

▷間違えたときは

◀を押すと、1文字消える

4 1* ~ 10% で4桁の新しい暗証番号を入力する

入力した数字は「*」で表示されます。

▷「0」を入力するときは

10% を押す

▷間違えたときは

◀を押すと、1文字消える

5 もう一度、同じ暗証番号を入力する

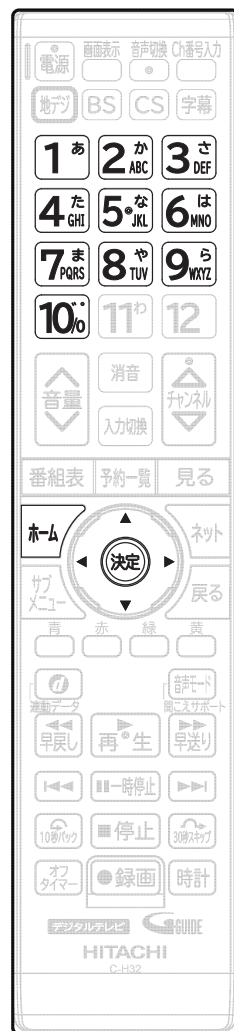


▷2回目に入力した暗証番号が間違っていたときは

「暗証番号が一致しません。もう一度入力してください。」と表示されます。



画面の説明に従って、もう一度始めから暗証番号を入力してください。


- 設定が終わったら、[電源]を押してください。

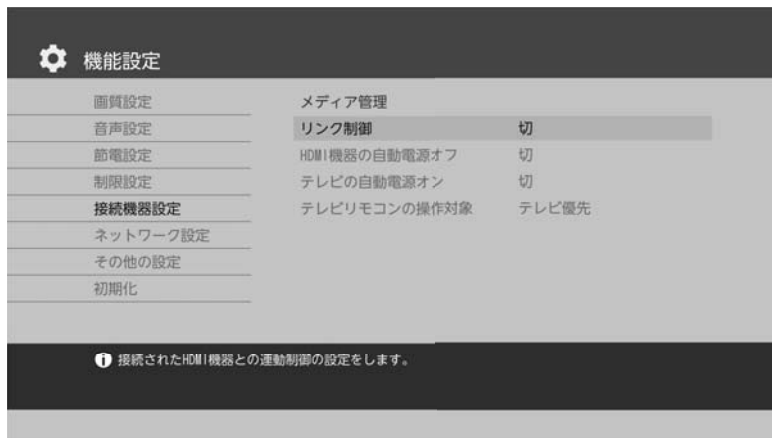



接続機器設定をする

HDMI-CECの設定をする



1  を押して、▲・▼で「設定／お知らせ」→
「機能設定」→「接続機器設定」を選んで  を押す

2 ▲・▼で設定項目を選んで  を押す



3 ▲・▼で設定を選んで  を押す

リンク制御	HDMI-CEC 対応機器を接続したときは「入」を選んでください。
HDMI 機器の自動電源オフ	「入」で、テレビの電源を「切」にすると、HDMI-CEC 対応機器の電源も連動して「切」になります。
テレビの自動電源オン	「入」で、HDMI-CEC 対応機器の電源を「入」にすると、テレビの電源も連動して「入」になります。
テレビリモコンの操作対象	「HDMI 機器優先」で、リモコンで操作したときに HDMI-CEC 対応機器側の操作を優先します。「テレビ優先」で、リモコンで操作したときに HDMI-CEC 対応機器側の操作をしません。

- 設定が終わったら、 を押してください。
- 設定を有効にするために、 を押して、電源を入れ直してください。

お知らせ

- 本機の HDMI-CEC 機能を使用するには、接続された機器が HDMI-CEC に対応している必要があります。機器により仕様異なる場合があります。くわしくは HDMI-CEC 対応機器の取扱説明書をご覧ください。
- ARC 対応の AV アンプから音声を出力する場合は、「リンク制御」を「入」にしてください。P.32 ▶ ARC を使用するために、接続する外部機器の設定が必要な場合があります。外部機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。

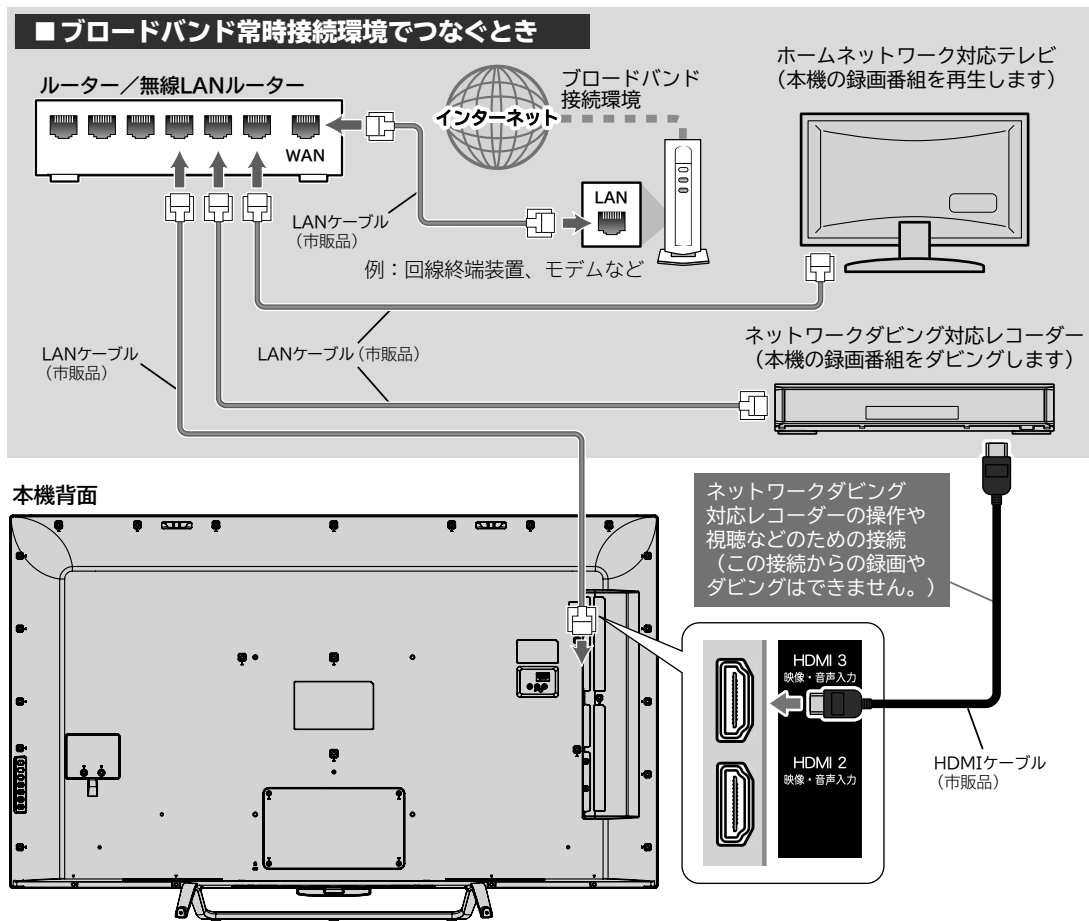
ご注意

- HDMI-CEC 機能を中止するために「リンク制御」を「切」にした場合は、本機の電源を入れ直してください。

ネットワークを接続・設定する

用途やお客様のネットワーク環境によって、接続や設定方法が異なります。下図を確認しながら接続や設定をしてください。

LANケーブルを使って接続する

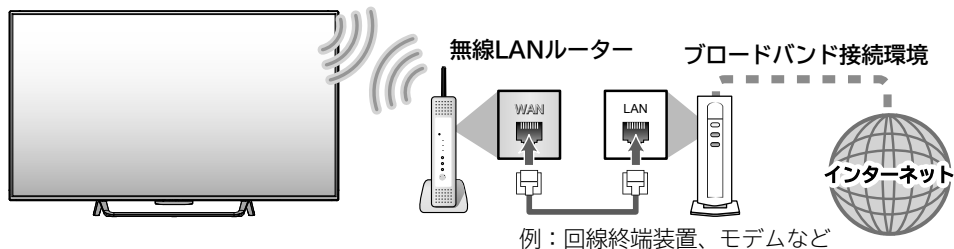


お知らせ

- 複数の他機を同時に接続する場合は、ルーターに他機を接続してから、本機とルーターを接続してください。

無線LANを使って接続する

無線LANを使うと、LANケーブルを使わずにネットワークに接続できます。



- ※ 2.4GHz帯の機器（電子レンジなど）をお使いの場合は、無線LANの通信が途切れることがあります。
- ※ 5GHz帯に対応した無線LANルーター（アクセスポイント）をお使いの場合は、5GHz帯でのご使用をおすすめします。

▷ ネットワーク接続環境

- 動作環境は、予告なく変更される場合があります。また、すべての動作を保証するものではありません。
- 本機に関する最新情報は当社のホームページ <http://av.hitachi-ls.co.jp/check> でご確認ください。
- 本機は、公衆無線LAN接続には対応していません。
- 11acまたは11n方式での接続を推奨します。通信速度が十分でない場合は、動画配信サービスやホームネットワークの映像が途切れることがあります。

▷ 用語と商標について

- 本書に掲載の商品の名称は、それぞれ各社が商標および登録商標として使用している場合があります。

▷ 制限事項

- 動作環境にすべて合致していても正常に動作しない場合や、何らかの不具合が発生することがあります。すべての動作を保証するものではありません。
- 本機の通信機能は、米国電気電子技術協会IEEE802.3に準拠しています。
- 本機の状態やパソコン間の通信状態によっては、表示が遅くなったり、最新の状態ではなかったり、表示や通信にエラーが発生したりすることがあります。すべての動作を保証するものではありません。
- プロバイダー（インターネット接続事業者）側の設定や制限によっては、本機能の一部が使用できない場合があります。
- 電話通信事業者およびプロバイダーとの契約費用および通信に使用される通信費用は、お客様ご自身でご負担ください。
- プロバイダー指定の回線接続機器（ADSLモデムなど）に、1000Base-T/100Base-TX/10Base-TのLANポートがない場合は接続できません。
- プロバイダーによっては、ルーターの使用を禁止あるいは制限している場合があります。くわしくはご契約のプロバイダーにお問い合わせください。
- セキュリティソフトウェア自体やその設定によっては、本機能の一部が使用できない場合があります。
- 利用制限のされていない無線LANネットワークには接続しないでください。接続すると不正アクセスとみなされる恐れがあります。

- 本機とハブやルーターとの接続には別途、市販品のLANケーブル（ストレート）をご用意ください。

▷ 免責事項

- 本機機能によって接続した機器に通信障害などの不具合が生じた場合の結果について、当社は一切の責任を負いません。
- お客様の居住環境が、ブロードバンド常時接続できない場合に関して、当社は一切責任を負いません。
- 火災、地震、雷など自然災害、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意または過失、誤用、その他の異常な条件下での使用によって生じた障害に関して、当社は一切の責任を負いません。
- 本機能の使用または使用不能から生ずる付随的な損害（事業利益の損失、事業の中断、記録内容の変化・消失、インターネット契約料金・通信費用の損失など）に関して、当社は一切責任を負いません。
- 本書の記載内容を守らないことによって生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- 接続した機器、使用されるソフトウェアとの組み合わせによる誤動作や、ハングアップなどから生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- 本機能を使用中、万一何らかの不具合によって、録画・録音・編集されなかった場合の内容の補償および付随的な損害（事業利益の損失、事業の中断など）に対して、当社は一切の責任を負いません。
- インターネットを使用して提供されるサービスは、予告なく一時停止したり、サービス自体が終了されたりする場合がありますので、あらかじめご了承ください。

ネットワークを接続・設定する(つづき)

▷すでにブロードバンド常時接続環境をお持ちの場合は

- 次のことをご確認ください。
 - 回線事業者やプロバイダーとの契約内容と事項
 - 必要な機器の準備
 - ADSLモデムやブロードバンドルーターなどの接続と設定
- 回線の種類や回線事業者、プロバイダーにより、必要な機器と接続方法が異なります。ADSLモデムやブロードバンドルーター、ハブ、スプリッター、ケーブルは、回線事業者やプロバイダーが指定する製品をお使いください。
- お使いのモデムやブロードバンドルーター、ハブに付属の取扱説明書をご覧ください。
- 本機では、ブロードバンドルーターやブロードバンドルーター機能付きADSLモデムなどの設定はできません。
- ADSL回線をご利用の場合は
 - ブリッジ型ADSLモデムをお使いの場合は、ブロードバンドルーター(市販品)が必要です。

- USB接続のADSLモデムなどをお使いの場合は、ADSL事業者にご相談ください。
- プロバイダーや回線事業者、モデム、ブロードバンドルーターなどの組み合わせによっては、本機と接続できない場合や追加契約などが必要になる場合があります。
- ADSLモデムについてご不明な点は、ご利用のADSL事業者やプロバイダーにお問い合わせください。
- ADSLの接続については専門知識が必要なため、ADSL事業者にお問い合わせください。
- FTTH(光ファイバー)回線をご利用の場合は
 - 接続方法などご不明な点については、プロバイダーや回線事業者へお問い合わせください。


▷ブロードバンド常時接続環境をお持ちでない場合は

- プロバイダーおよび回線事業者と別途ご契約(有料)する必要があります。くわしくはプロバイダーまたは回線事業者にお問い合わせください。

ご注意

- LANケーブルは、カテゴリ5e以上対応のストレートケーブルをご使用ください。

お知らせ


- LAN接続後にテレビの映りが悪くなったときは、LANケーブルと同軸ケーブルを離してみてください。
- ブロードバンドルーターなどの設定で本機のMACアドレスが必要な場合は、 → 「設定／お知らせ」 → 「機能設定」 → 「ネットワーク設定」 → 「ネットワーク接続設定」で確認できます。
- 外出先などから、パソコンで遠隔操作はできません。

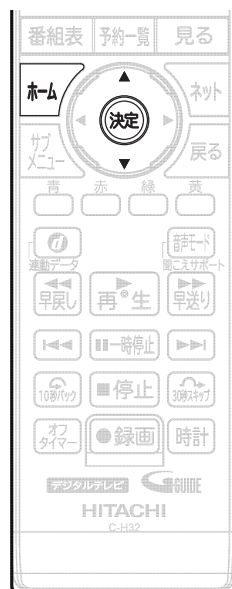
ネットワークの設定をする

ネットサービスを利用したり、データ放送の双方向通信をブロードバンド回線経由で利用したりする場合の設定です。プロバイダとの契約時に提供された資料や接続する機器の取扱説明書を参考に設定してください。

ネットワーク設定の表示のしかた

1  を押して、▲・▼で「設定／お知らせ」→
「機能設定」を選んで  を押す

2 ▲・▼で「ネットワーク設定」を選んで  を押す





▷ ネットワーク設定について

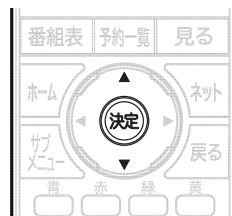
- ネットワーク接続設定 [P.167](#)
ネットワーク接続の設定をします。
- ネットワーク連携設定 [P.174](#)
ネットサービスに関連する設定を行います。

ネットワーク接続方法を設定する

ネットワーク接続の方法を設定します。

1 「ネットワーク設定」を表示中に、▲・▼で
「ネットワーク接続設定」→「ネットワーク接続方法」
を選んで  を押す

2 ▲・▼で「無線LAN」または「有線LAN」を選んで  を押す



ご注意

- 「無線LAN」と「有線LAN」は同時に利用できません。

ネットワークの設定をする(つづき)

無線LANでの接続設定をする

無線LANで接続した場合の設定をします。

- 1 「ネットワーク設定」を表示中に、▲・▼で「ネットワーク接続設定」→「無線LAN接続設定」を選んで(決定)を押す

- 2 ▲・▼で設定方法を選んで(決定)を押す

▷「かんたん接続(押しボタン)」

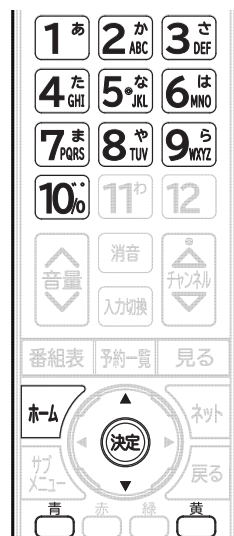
押しボタン方式で無線LANアクセスポイントに接続します。

- ① 画面の指示に従って、無線LANアクセスポイントのWPSボタンを押す
- ② ▲・▼で「接続」を選んで(決定)を押す
 - 自動的に各項目が設定され、無線LANの設定が完了します。「インターネット接続に成功しました。」以外の結果画面が表示された場合は、画面のメッセージに従ってもう一度設定を行ってください。

▷「かんたん接続(PINコード)」

PINコード方式でかんたんに無線LANを設定できます。

- ① 検出された無線LANアクセスポイントから、本機の接続先を▲・▼で選んで(決定)を押す
- ② 表示されたPINコードを無線LANアクセスポイントやパソコンに入力する
- ③ ▲・▼で「接続」を選んで(決定)を押す
 - PINコードの入力のしかたは、お使いの機器に付属の取扱説明書をお読みください。
 - 自動的に各項目が設定され、無線LANの設定が完了します。設定が完了すると、確認画面が表示されます。



無線LAN自動検出

本機が利用可能な無線LANアクセスポイントを検出して、設定します。

- ① 検出された無線LANアクセスポイントから、本機の接続先を▲・▼で選んで(決定)を押す
- ② 暗号化キーを入力する

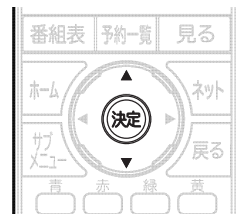


- ① 〇で「半英小(小文字)」「半英大(大文字)」「半数」を選ぶ
- ② 1* ~ 10% で文字(数字/記号)を入力する
 - ①~②を繰り返して入力します。
 - 間違えたときは〇を押して、入力し直してください。
- ③ 入力が終わったら、(決定)を押す
 - 自動的にネットワークの接続テストを開始します。接続テストが終わると確認画面が表示されます。
 - 「インターネット接続に成功しました。」以外の結果画面が表示された場合は、画面のメッセージに従ってもう一度設定を行ってください。

手動設定

各項目を手動で設定します。

- ① SSIDを入力して、**決定**を押す
- ② ▲・▼で暗号化方式を選んで**決定**を押す
- ③ 暗号化キーを入力し、**決定**を押す



お知らせ

- 2.4GHz帯の機器(電子レンジなど)をお使いの場合は、無線LANの通信が途切れることがあります。
- 5GHz帯に対応した無線LANルーター(アクセスポイント)をお使いの場合は、5GHz帯でのご使用をおすすめします。
- 無線LANの通信状態が良くない場合は、無線LANルーター(アクセスポイント)の位置などを変更すると、通信状態が改善されることがあります。
- すべての無線LANルーター(アクセスポイント)での接続を保証するものではありません。

ご注意

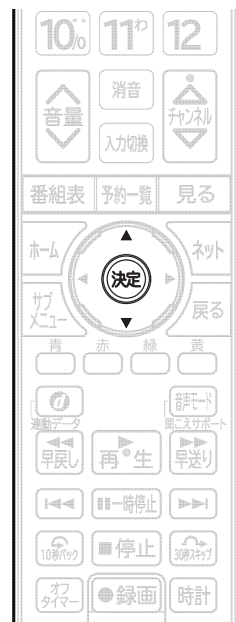
- インターネット環境が必要になります。

IPアドレス／DNS設定をする

データ放送の双方向通信を、ブロードバンド回線経由でご利用になる場合の設定です。プロバイダとの契約時に提供された資料や接続する機器の取扱説明書を参考に設定してください。

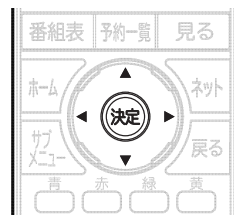
DHCPを使用して必要な情報を自動取得する場合

- 1 「ネットワーク設定」を表示中に、▲・▼で「ネットワーク接続設定」⇒「IPアドレス／DNS設定」を選んで**決定**を押す
- 2 「IPv4」が選ばれているので**決定**を押す
- 3 ▲・▼で「IPアドレス設定」を選んで**決定**を押す
- 4 ▲・▼で「自動(DHCP)」を選んで**決定**を押す
- 5 ▲・▼で「DNS設定」を選んで**決定**を押す



ネットワークの設定をする(つづき)

- 6 ▲・▼で「自動(DHCP)」を選んで(決定)を押す
- 設定が終わったら、▲・▼・◀・▶で「決定」を選んで(決定)を押してください。



お知らせ

- プロバイダよりプロキシサーバーの指定がある場合は、P.172をご覧ください。
- 設定完了後、「ネットワーク接続テスト」P.172を行ってください。

必要な情報を手動で入力する場合

- 1 「ネットワーク設定」を表示中に、▲・▼で「ネットワーク接続設定」→「IP アドレス/DNS 設定」を選んで(決定)を押す

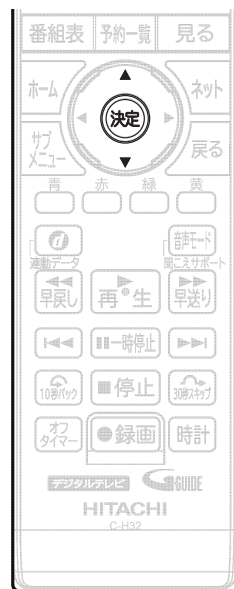
- 2 「IPv4」が選ばれているので(決定)を押す

- 3 ▲・▼で「IP アドレス設定」を選んで(決定)を押す

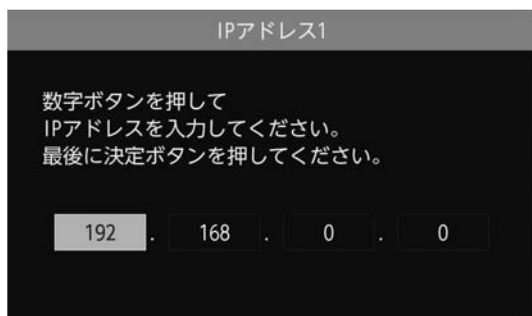
- 4 ▲・▼で「手動」を選んで(決定)を押す

- 5 ▲・▼で「IP アドレス 1」および「IP アドレス 2」を選んで(決定)を押す

- 「IP アドレス 1」はネットサービス用、「IP アドレス 2」はデータ放送、ホームネットワーク(サーバー)用のアドレスとなります。



6 IPアドレスを **1**^あ ~ **10**^ん の数字ボタンで入力する



- ▷ 間違えたときは
◀で戻り、入力し直す

7 同様に「サブネットマスク」と「デフォルトゲートウェイ」にも、必要に応じて入力する

8 ▲・▼で「DNS 設定」を選んで **決定** を押す

9 DNS 設定が必要な場合は、▲・▼で「手動」を選んで **決定** を押す

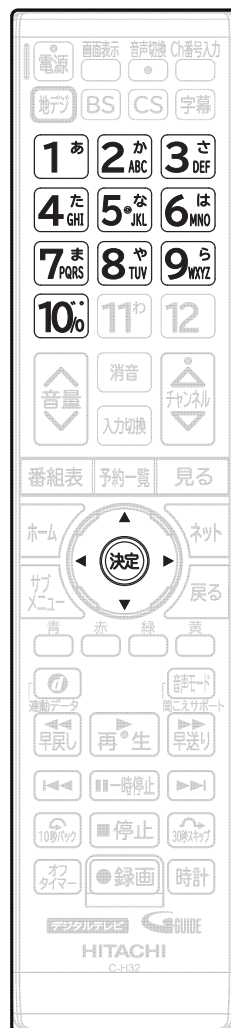
10 ▲・▼で「プライマリ DNS」を選んで **決定** を押す

11 **1**^あ ~ **10**^ん の数字ボタンで入力する

- ▷ 間違えたときは
◀で戻り、入力し直す

12 同様に「セカンダリ DNS」も、必要に応じて入力する

- 設定が終わったら、▲・▼・◀・▶で「決定」を選んで **決定** を押してください。



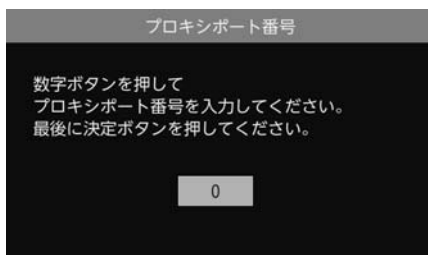
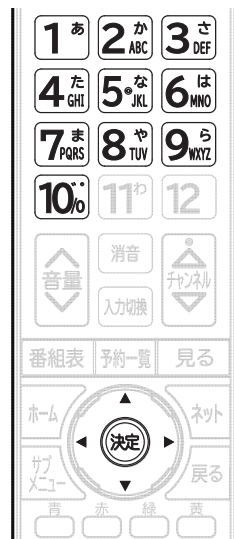
お知らせ

- プロバイダよりプロキシサーバーの指定がある場合は、**P.172** をご覧ください。
- 設定完了後、「ネットワーク接続テスト」**P.172** を行ってください。

ネットワークの設定をする(つづき)

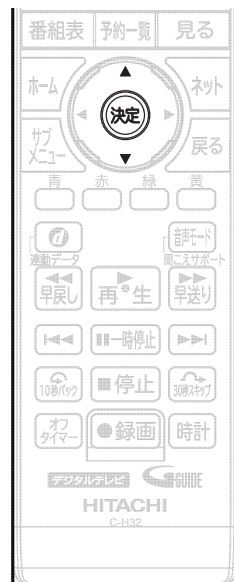
プロバイダよりプロキシサーバーの指定がある場合

- 1 「ネットワーク設定」を表示中に、▲・▼で「ネットワーク接続設定」⇒「プロキシ設定」を選んで(決定)を押す
- 2 ▲・▼で「有効」を選んで(決定)を押す
 - 入力画面が表示されますので、プロキシアドレスとプロキシポート番号を入力してください。
- 3 [1*] ~ [10%] でプロキシアドレスを入力し、(決定)を押す
- 4 [1*] ~ [10%] を押してプロキシポート番号を入力し、(決定)を押す



ネットワーク接続テストを行う

- 1 「ネットワーク設定」を表示中に、▲・▼で「ネットワーク接続設定」を選んで(決定)を押す
- 2 ▲・▼で「ネットワーク接続テスト」を選んで(決定)を押す
 - 接続テストを開始します。接続テストが終わると確認画面が表示されるので(決定)を押してください。

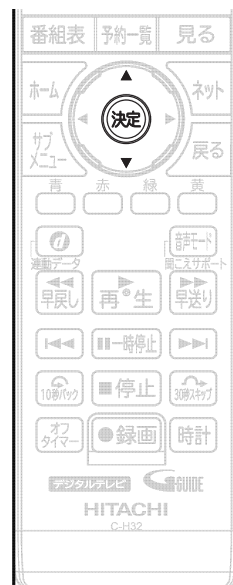


ネットワーク状態を表示する

- 1 「ネットワーク設定」を表示中に、▲・▼で「ネットワーク接続設定」を選んで(決定)を押す
- 2 ▲・▼で「ネットワーク状態表示」を選んでを押す

ネットサービスの利用規約を表示する

- 1 「ネットワーク設定」を表示中に▲・▼で
「ネットワーク接続設定」を選んで(決定)を押す
- 2 ▲・▼で「ネットサービス利用規約」を選んで(決定)を押す



ネットワークの設定をする(つづき)

ネットワーク連携設定をする

他機との連携に関する設定ができます。

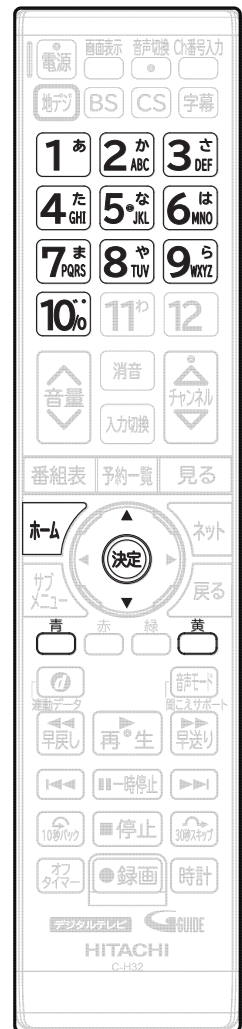
1 「ネットワーク設定」を表示中に、▲・▼で
「ネットワーク連携設定」を選んで(決定)を押す

2 ▲・▼で設定したい項目を選んで(決定)を押す

サーバー機能	「入」で、ネットワークを使った連携機能を使用するための設定をします。
アクセス制限	「入」で、テレビへ接続する機器を制限します。
サーバー名設定	他機から接続する際に、表示される本機の名前を設定します。

▷「サーバー名設定」で本機の名前を変更する場合は

- ① で「半英小」「半英大」「半数」を選ぶ
- ② ~ で文字(数字/記号)を入力する
 - ①~②を繰り返して入力します。
 - 間違えたときは を押して、入力し直してください。
- ③ 入力が終わったら、(決定)を押す
 - 設定が終わったら、 を押してください。




放送受信設定をする

番組を視聴するための初期設定をします。

かんたんセットアップで再設定する


1  を押して、▲・▼で「設定／お知らせ」→
「放送受信設定」を選んで  を押す

2 ▲・▼で「かんたんセットアップ」を選んで  を押す



● 放送受信設定について

- **かんたんセットアップ**
テレビを見るために必要な設定がかんたんにできます。
- **地上デジタル設定 P.176**
地上デジタル放送を見るためのチャンネル設定をします。
- **BS/CSデジタル設定 P.181**
BS・110度CSデジタル放送を見るためのチャンネル設定をします。
- **共通設定 P.182**
地上デジタル放送とBS・110度CSデジタル放送の共通の設定をします。

3 「かんたんセットアップ」を行う  P.35

ご注意

- 地上デジタル放送が受信できない、または受信できないチャンネルがある場合は、「地上デジタル放送のとき」P.211をご覧ください。



放送受信設定をする(つづき)

地上デジタル放送のチャンネル設定をする


転居された場合や、お住まいの地域で放送局の開局・変更があった場合には、チャンネル設定が必要です。地上デジタル放送を見るための、お住まいの地域の情報を取得します。

転居された場合は、「初期スキャン」を行ってください。

「県域設定」で指定した地域の放送局で、開局や周波数変更の可能性があるときは、「放送メール」P.60▶でお知らせします。この場合は、「再スキャン」を行ってください。

転居したときや、お住まいの地域で放送局の開局・変更があったとき

1  を押して、▲・▼で「設定／お知らせ」→
「放送受信設定」を選んで  を押す

2 ▲・▼で「地上デジタル設定」を選んで  を押す


転居したとき

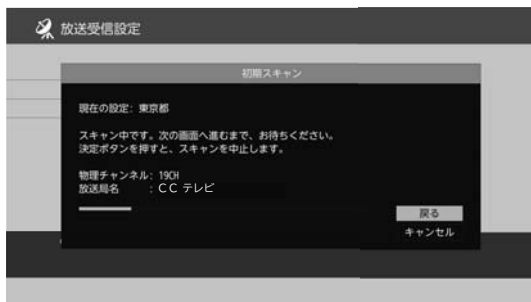
放送局の開局・変更があったときは、手順3～5は必要ありません。
手順6に進んでください。


3 ▲・▼で「初期スキャン」を選んで  を押す



4 ▲・▼で「お住まいの地域」を選んで  を押す

5 ▲・▼で「スキャンしたい放送の種類」を選んで  を押す




● スキャン中に  を押すと、設定を中断できます。

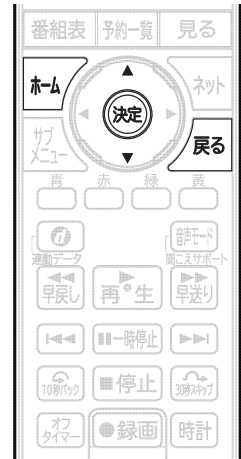



放送局の開局・変更があったとき

手順3～5を行った場合は、手順6は必要ありません。

- 6 ▲・▼で「再スキャン」を選んで〔決定〕を押す**
- スキャン中に  を押すと、設定を中断できます。

- 7 受信した放送局を確認し、〔決定〕を押す**



- 8 「完了」が選ばれていることを確認し、〔決定〕を押す**
- **〔決定〕** を押すと、手順2の画面に戻ります。設定が終わったら、 を押してください。

お知らせ

- 受信できる地上デジタル放送のチャンネルがひとつもない場合は、
 - アンテナが正しく接続されていない
 - お住まいの地域で地上デジタル放送が開始されていない
 - 受信レベルが小さい
 の可能性があります。
アンテナの接続またはお住まいの地域の地上デジタル放送の電波状況をご確認ください。

ご注意

- 地上デジタル放送が受信できない、または受信できないチャンネルがある場合は、「地上デジタル放送のとき」P.211をご覧ください。

放送受信設定をする(つづき)

数字ボタンのチャンネルを追加・変更する

リモコンの **1*** ~ **12** ボタンにチャンネルが設定されていないボタンがあるとき、チャンネルを追加することができます。

また、設定されているチャンネルを、お好みで別のチャンネルに変更できます。

1 **ホーム** を押して、**▲・▼** で「設定／お知らせ」→
「放送受信設定」を選んで **決定** を押す

2 **▲・▼** で「地上デジタル設定」を選んで **決定** を押す

- BS/CS デジタル放送の場合は「BS / CS デジタル設定」を選んで **決定** を押します。

3 **▲・▼** で「チャンネル操作設定」を選んで **決定** を押す

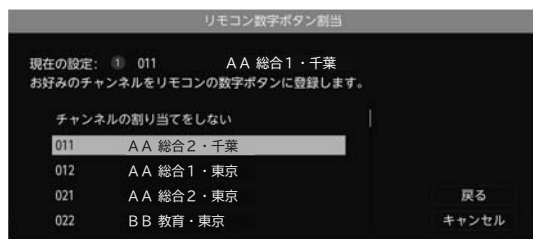
- BS デジタル放送の場合は「BS チャンネル操作設定」を、CS デジタル放送の場合は「CS チャンネル操作設定」を選んで **決定** を押します。

4 **▲・▼** で「リモコン数字ボタン割当」を選んで **決定** を押す

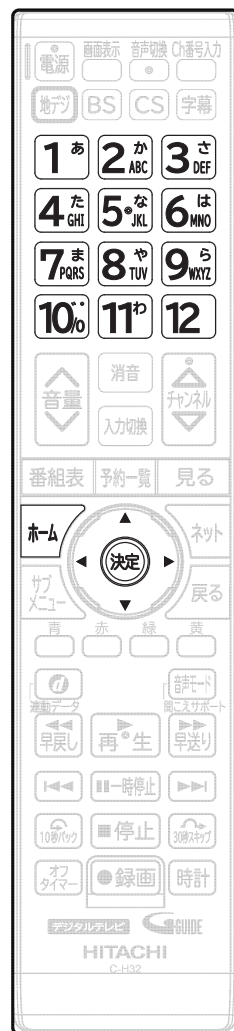
5 **▲・▼・◀・▶** で設定したいリモコン数字ボタンを選んで **決定** を押す

- 「---」のボタンが、チャンネルが設定されていないボタンです。

6 **▲・▼** で追加したいチャンネルを選んで **決定** を押す





- 設定が終わったら、**▲・▼・◀・▶** で「完了」を選んで **決定** を押してください。






チャンネルの飛び越し(スキップ)を設定する


デジタル放送の視聴しないチャンネルや同じ内容のチャンネルをチャンネル▲・▼で選局するときに飛び越し(スキップ)したり、番組表から削除したりすることができます。

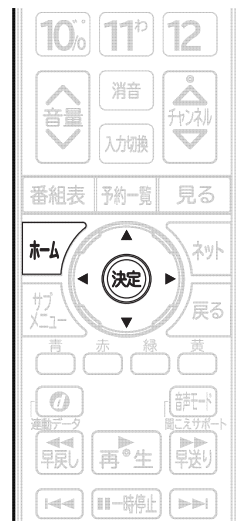
1  を押して、▲・▼で「設定／お知らせ」→
「放送受信設定」を選んで  を押す

2 ▲・▼で「地上デジタル設定」を選んで  を押す
● BS/CS デジタル放送の場合は「BS / CS デジタル設定」を選んで  を押します。


3 ▲・▼で「チャンネル操作設定」を選んで  を押す
● BS デジタル放送の場合は「BS チャンネル操作設定」を、CS デジタル放送の場合は「CS チャンネル操作設定」を選んで  を押します。

4 ▲・▼で「チャンネルスキップ設定」を選んで  を押す

5 ▲・▼でスキップしたいチャンネルを選んでから、 を押して「受信」を「スキップ」に変更する



チャンネルスキップ設定			
決定ボタンで「受信」 / 「スキップ」 の設定を切り換えることができます。			
011	AA	総合1・千葉	受信
012	AA	総合2・千葉	受信
021	BB	総合1・千葉	受信
022	CC	総合1・東京	スキップ
023	CC	総合2・東京	受信
			キャンセル
			完了

- チャンネルをスキップすると、「受信」が「スキップ」に変わります。
- 「スキップ」に設定されているチャンネルは、チャンネル▲・▼で選局するときにスキップされ、番組表から削除されます。
- 設定が終わったら、▲・▼・◀・▶で「完了」を選んで  を押してください。

お知らせ

- 同じチャンネルでは、チャンネル▲・▼のスキップ設定と番組表の表示設定を異なる設定にはできません。
- 放送局によっては、時間帯ごとに複数(2~3程度)のチャンネルで同一の内容を放送したり、それぞれのチャンネルで別の内容を放送したりする場合があります。スキップ設定する場合は、番組表などで放送内容を確認してから行ってください。
- 複数チャンネルで同一の内容を放送している場合は、自動的にスキップされます。

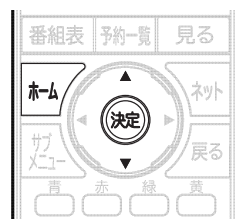
放送受信設定をする(つづき)

デジタル放送の受信状態を確認する

デジタル放送用のアンテナを最初に設置するときや転居したときなどは、受信レベルの数値がアンテナの向きを決める目安になります。また、BS・110度CSアンテナを接続したときは、アンテナ電源の設定が必要です。

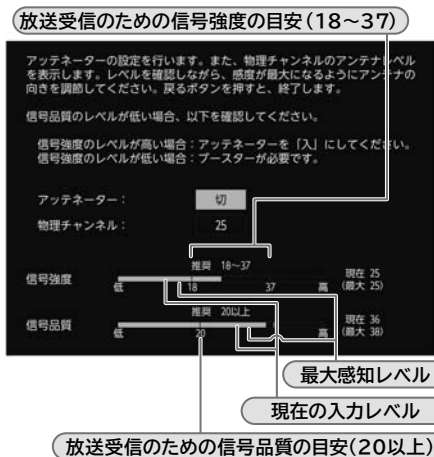
地上デジタル放送用のアンテナを設置したとき

1  を押して、▲・▼で「設定／お知らせ」→「放送受信設定」を選んで(決定)を押す



2 ▲・▼で「地上デジタル設定」→「受信状態の確認」を選んで(決定)を押す

3 ▲・▼でアッテネータ欄を選んで(決定)を押す




・地上デジタル放送はUHF放送の電波を使って送信されています。物理チャンネルとは、地上デジタル放送を実際に受信しているUHF放送のチャンネル(13～62CH)のことです。

▷地上デジタル放送用のアンテナレベルについて
この画面で信号強度と信号品質を確認しながら、UHFアンテナの向きを調整できます。(信号強度は「18～37」、信号品質は「20」以上が目安です。)

・この画面で「物理チャンネル」を選んで(決定)を押すと、受信レベルを表示する物理チャンネルを入力できます。

4 ▲・▼で「入」を選んで(決定)を押す

- 信号強度が変更されます。(「入」に設定すると信号強度が弱くなり、状況が改善されることがあります。)
- CATV(ケーブルテレビ)をご利用の場合は、CATVの13～63CHでも送信されている場合があります。CATV用チャンネルは、手順3で、「物理チャンネル」の先頭に「C」が表示されます。
- 調整が終わったら、 を押して、完了してください。

ご注意

- 地域により、受信状況が異なる場合があります。
- 録画中に「アッテネータ」の設定を変更すると、乱れた映像が録画されることがあります。

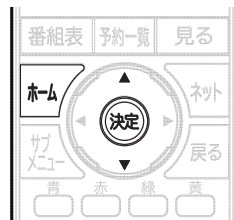
お知らせ


- 信号品質の数値は、アンテナ設置方向の最適値や受信状況を確認するための目安で、チャンネルによって異なります。表示されている数値は、受信している電波の強さではなく質(信号と雑音の比率)を表しています。数値は、天候などの影響を受けて増減することがあります。また、放送局や環境によって大きく変わることがあります。

BS・110度CSアンテナを接続したとき

1  を押して、▲・▼で「設定／お知らせ」→
「放送受信設定」を選んで  を押す


2 ▲・▼で「BS / CS デジタル設定」→
「アンテナ電源」を選んで  を押す



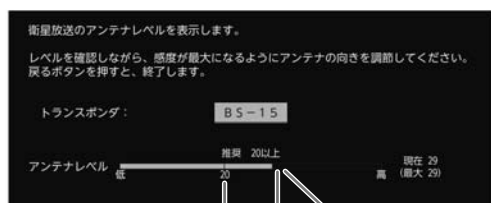
3 ▲・▼で設定を選んで  を押す

- BS・110度CSアンテナの接続先によって、アンテナ電源の設定を選びます。




供給する	本機とアンテナを直接つなぎ、他の機器などから電源を供給していない場合は、こちらを選択してください。おもに、一戸建て住宅などで受信するときに設定します。
供給しない	他の機器から電源を供給している場合や、CATVなどで受信しているとき、また、BS・110度CSデジタル放送用アンテナを接続しない場合もこちらを選択してください。おもに、マンションなどの共聴受信時に設定します。

4 ▲・▼で「受信状態の確認」を選んで  を押す

5 「入力値」の数値が「20」以上になるように、
アンテナの向きを調整する



放送受信のためのアンテナレベルの目安 (20 以上)

- アンテナレベルは「20」以上が目安です。
- 未契約の有料放送のチャンネルが選局されている場合は、放送信号(映像と音声)の確認はできません。
-  を押すと、チャンネルを選ぶことができます。他のチャンネルに切り換えたいときは、▲・▼でチャンネルを選んで  を押してください。
- 調整が終わったら、 を押して、完了してください。

ご注意

- 「BS / CS デジタル設定」の「アンテナ電源」の設定を「供給する」にしたときは、本機の電源プラグを常にコンセントに差し込んで(通電状態にして)おいてください。
- BS・110度CSアンテナのアンテナ線がショートすると、「アンテナ電源」の設定が自動的に「供給しない」に切り換わることがあります。
- アンテナの設置や工事、アンテナやアンテナ線などの修理については、お買い上げの販売店にご相談ください。

お知らせ

- アンテナレベルの数値は、アンテナ設置方向の最適値や受信状況を確認するための目安で、チャンネルによって異なります。表示されている数値は、受信している電波の強さではなく質(信号と雑音の比率)を表しています。数値は、天候などの影響を受けて増減することがあります。また、放送局や環境によって大きく変わることがあります。
- 1台のBS・110度CSアンテナを複数の機器で共用しているときは、アンテナ(ケーブル)を最初に接続している機器からBSアンテナ電源を供給してください。P.37


放送受信設定をする(つづき)


文字スーパーを設定する

ニュース速報など、放送上に文字スーパーの情報が含まれている場合は、表示される文字スーパーの言語を設定します。


1  を押して、▲・▼で「設定／お知らせ」→
「放送受信設定」を選んで  を押す

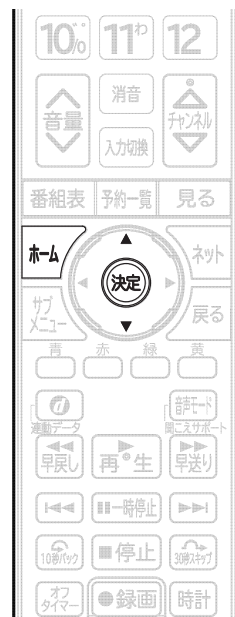
2 ▲・▼で「共通設定」を選んで  を押す

3 ▲・▼で「文字スーパー」を選んで  を押す

4 ▲・▼で設定を選んで  を押す

日本語	日本語で表示します。
英語	英語で表示します。
切	表示しません。

- 設定が終わったら、 を押してください。



お知らせ

- 放送に文字スーパーの情報が含まれていないときや、番組(強制的に文字スーパーが表示されるものなど)によっては、設定通りに表示されないことがあります。
- 「切」に設定していても、自動表示モードの文字スーパーは強制的に表示されます。
- 日本語、英語以外の文字スーパーは表示しません。

居住地域と郵便番号を設定する

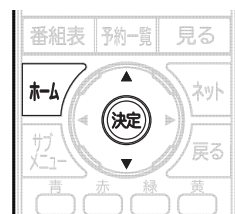
デジタル放送の文字スーパーやデータ放送による臨時放送は、地域によって放送される内容が異なることがあります。

お住まいの地域の情報を受信するために、居住地域と郵便番号を設定してください。

郵便番号は、お買い上げ時の「かんたんセットアップ」で設定済みですが、必要に応じて設定し直してください。

1  を押して、▲・▼で「設定／お知らせ」→
「放送受信設定」を選んで  を押す

2 ▲・▼で「共通設定」を選んで  を押す



県域設定

3 ▲・▼で「県域設定」を選んで(決定)を押す

4 ▲・▼でお住まいの地域を選んで(決定)を押す

郵便番号設定

5 ▲・▼で「郵便番号設定」を選んで(決定)を押す

6 [1*] ~ [10%]でお住まいの地域の郵便番号を入力する

▷「0」を入力するときは

[10%]を押す

▷間違えたときは

◀で戻り、入力し直す

7 「完了」が選ばれていることを確認し、(決定)を押す

- 設定が終わったら、[H]を押してください。



番組表(Gガイド)の設定をする

番組検索やトピックスを表示するために、お住まいの県域設定と受信テストをします。

1 [H]を押して、▲・▼で「設定／お知らせ」→「放送受信設定」を選んで(決定)を押す

2 ▲・▼で「共通設定」を選んで(決定)を押す

3 ▲・▼で「番組表設定」を選んで(決定)を押す

Gガイド地域設定

4 ▲・▼で「Gガイド地域設定」を選んで(決定)を押す

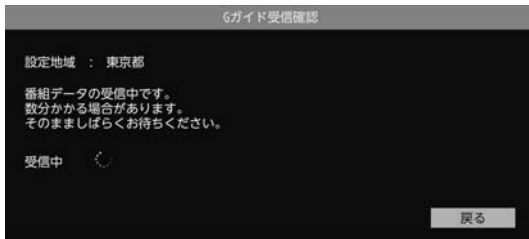
5 ▲・▼でお住まいの地域を選んで(決定)を押す



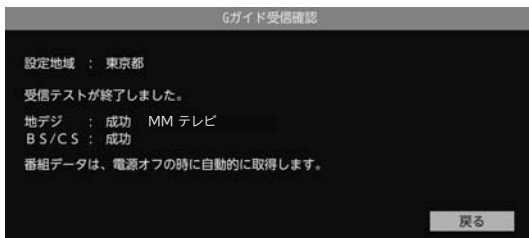
放送受信設定をする(つづき)


Gガイド受信確認

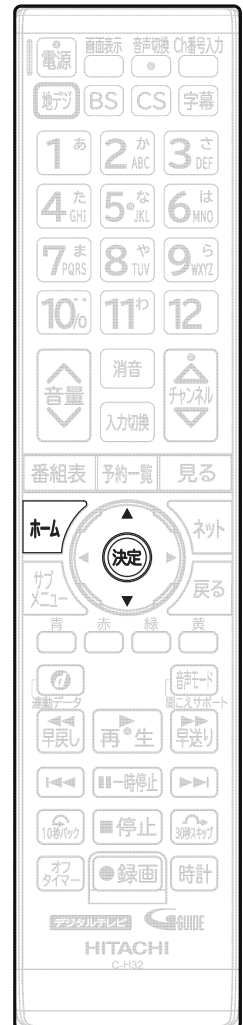
- 6 ▲・▼で「Gガイド受信確認」を選んで**決定**を押す
- Gガイドの受信テストが始まり、下の画面が表示されます。



- 7 受信テストが終わって下の画面が表示されたら、内容を確認する



- 設定が終わったら、を押してください。



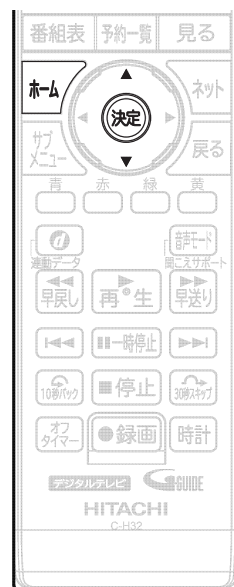
その他の設定をする

いろいろな機能を使うための設定をします。

その他の設定の表示のしかた

1  を押して、▲・▼で「設定／お知らせ」→
「機能設定」を選んで  を押す

2 ▲・▼で「その他設定」を選んで  を押す




▷ その他の設定について

- **HDMI入力信号設定 P.185**
接続されたHDMI機器からの入力信号を正しく読み取るための設定をします。
- **高速起動 P.186**
テレビ電源「入」時に映像をすばやく表示しますが、電源「切」(待機)時の消費電力が増加します。
- **時刻設定 P.186**
デジタル放送を受信しているときは自動で時刻が設定・修正されますが、デジタル放送を受信していない場合は、手動で時刻設定ができます。
- **テレビの設置設定 P.187**
テレビの設置方法に適したスピーカーの出力を行います。
- **画面設定 P.187**
本機の画面に関する設定をします。
- **放送波による自動更新 P.188**
デジタル放送を使って、本機の制御プログラムを自動的に最新の内容に書き換えます。

HDMI入力信号を設定する

接続されたHDMI機器からの入力信号を正しく読み取るための設定をします。

1 「その他設定」を表示中に、▲・▼で「HDMI入力信号設定」を選んで  を押す

2 ▲・▼で「HDMI1」～「HDMI3」から設定を変更したいHDMIを選んで  を押す

その他の設定をする(つづき)

3 ▲・▼で「対応信号モード」または「入力レンジ」を選んで 決定を押す

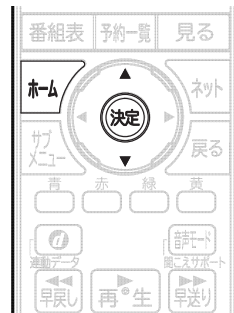
- 設定が終わったら、を押してください。

▷対応信号モードの種類

- HDR高画質モード
HDR対応機器から4K映像を高画質に出力するモードです。
- 高画質モード
4K対応機器から4K映像を高画質に出力するモードです。
- 通常モード
接続機器との互換性を優先します。

▷入力レンジの種類

- 自動/フルレンジ/リミテッドレンジ
HDMI機器から出力する色階調レンジを設定します。通常は「自動」を選択してください。映像が正しく映らない場合は、「フルレンジ」または「リミテッドレンジ」に切り換えてください。



高速起動を設定する

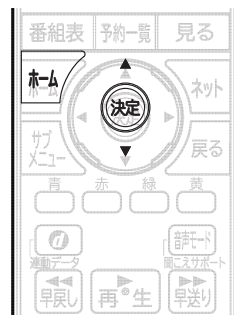
電源を入れてから本機が使用できるまでの時間を短縮できます。

1 「その他の設定」を表示中に、 ▲・▼で「高速起動」を選んで決定を押す

2 ▲・▼で設定を選んで決定を押す

入	高速起動を有効にします。 電源「切」(待機)時の消費電力が増加します。
切	高速起動を無効にします。

- 設定が終わったら、を押してください。



時刻設定をする

デジタル放送を受信できるときは、自動で時刻が設定・修正されますので、この設定は不要です。

1 「その他の設定」を表示中に、▲・▼で「時刻設定」を選んで決定を押す

- 「時刻設定」画面が表示されます。

2 ▲・▼・◀・▶で時刻を合わせる

- 午前は「AM」に、午後は「PM」に合わせます。
- 昼の12時は「PM0:00」に、夜の12時は「AM0:00」に合わせます。

3 ◀・▶で「了解」を選び、決定を押す

- 時刻が確定されます。
- 録画予約の設定があるときに時刻を変更すると、正しく録画できないことがあります。
- 時刻を変更すると、番組が終了したとみなされる録画は削除されます。


テレビの設置を設定する

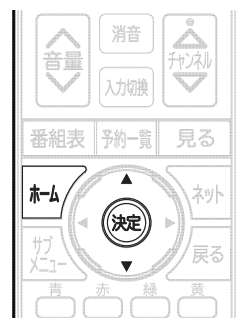
本機の設置方法に適したスピーカーの出力を行います。

- 1 「その他の設定」を表示中に、▲・▼で「テレビの設置設定」を選んで(決定)を押す

- 2 ▲・▼で設定を選んで(決定)を押す

テレビスタンド	本機の設置方法に適したスピーカーの出力を行います。
壁掛け	

- 設定が終わったら、を押してください。




ビデオ画面自動切換の設定をする

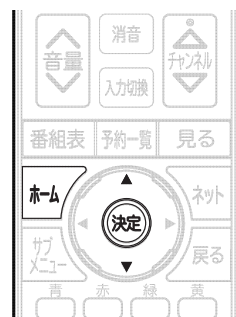
ID-1 信号がある DVD などをビデオ入力の映像入力端子で接続したときに、画面サイズが自動で切り換わります。

- 1 「その他の設定」を表示中に、▲・▼で「画面設定」→「ビデオ画面自動切換」を選んで(決定)を押す

- 2 ▲・▼で設定を選んで(決定)を押す

入	ID-1 信号がある DVD などをビデオ入力の映像入力端子で接続したときに、画面サイズが自動で切り換わります。
切	ビデオ画面自動切換の機能を無効にします。

- 設定が終わったら、を押してください。



お知らせ

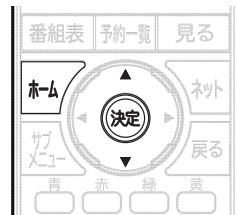
- ビデオ入力の画面が正しく切り換わらない場合は、本設定を「切」に設定してください。


その他の設定をする(つづき)


デジタル放送電波を使って更新する


本機の電源「切」のときにデジタル放送電波を使ってソフトウェアをダウンロードし、自動的に最新のソフトウェアに更新します。

- 1  を押して、▲・▼で「設定／お知らせ」→
「機能設定」を選んで  を押す



- 2 ▲・▼で「その他の設定」→「放送波による自動更新」を
選んで  を押す

- 3 ▲・▼で「入」を選んで  を押す

- ダウンロードが実施されると「お知らせメール」が届きます。 **P.60**
- 設定が終わったら、 を押してください。

ご注意

- 以下の場合、ソフトウェアを自動更新できません。
 - 電源プラグが抜けている
 - 悪天候などにより受信状態が悪い
 - 本機の電源が入っている
 - ダウンロード更新時刻と予約録画が重なっている
- 本機のソフトウェア更新は、本機の電源「切」時に行われます。
- ダウンロード更新中に本機を操作すると、ダウンロードは中止されます。

設定を初期化する

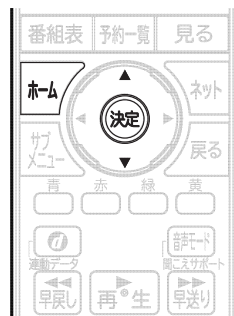
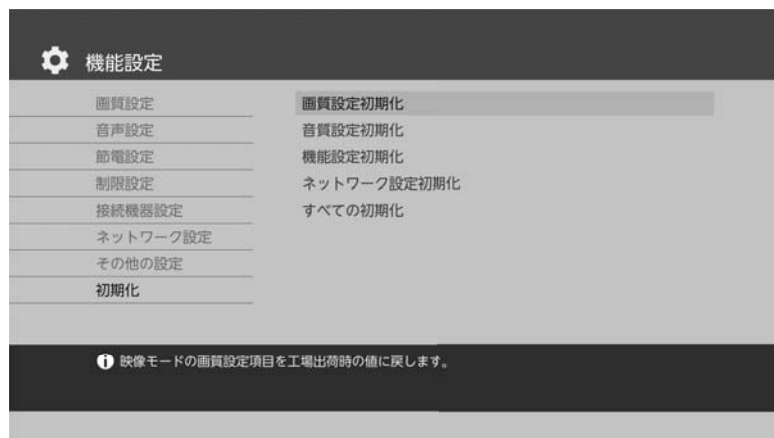
一部の設定またはすべての設定をお買い上げ時の状態に戻します。


一部の設定を初期化する

画質設定、音質設定、機能設定、ネットワーク設定を、別々にお買い上げ時の状態に戻します。


1  を押して、▲・▼で「設定／お知らせ」→
「機能設定」を選んで  を押す


2 ▲・▼で「初期化」を選んで  を押す



3 ▲・▼で初期化したい設定を選んで  を押す

画質設定初期化	「映像モード」の画質設定項目をお買い上げ時の値に戻します。
音質設定初期化	「音声モード」の音質設定項目をお買い上げ時の値に戻します。
機能設定初期化	「機能設定」の設定項目をお買い上げ時の値に戻します。 ただし、「ネットワーク設定」(サーバ機能を除く)および「HDD設定」は初期化されません。
ネットワーク設定初期化	「ネットワーク接続設定」の設定項目をお買い上げ時の値に戻します。


4 ▲・▼で「はい」を選んで  を押す

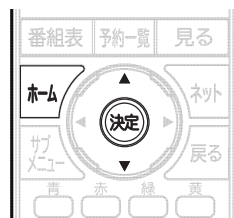
- 設定が終わったら、 を押してください。

すべての情報を初期化する

本機のすべての設定を、お買い上げ時の状態に戻します。

1  を押して、▲・▼で「設定／お知らせ」→
「機能設定」を選んで  を押す

2 ▲・▼で「初期化」を選んで  を押す



設定を初期化する(つづき)

3 ▲・▼で「すべての初期化」を選んで(決定)を押す

4 ▲・▼で「はい」を選んで(決定)を押す

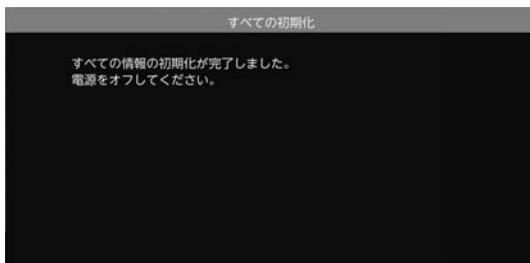
5 ▲・▼で初期化の種類を選んで(決定)を押す

はい	すべての設定を初期化し、お買い上げ時の状態に戻します。 HDDの録画番組はすべて削除されます。
いいえ	HDDの初期化はせずに、お買い上げ時の状態に戻すときに選びます。
戻る	初期化しないときに選びます。

- 本機のすべての初期化が始まり、下の画面が表示されます。



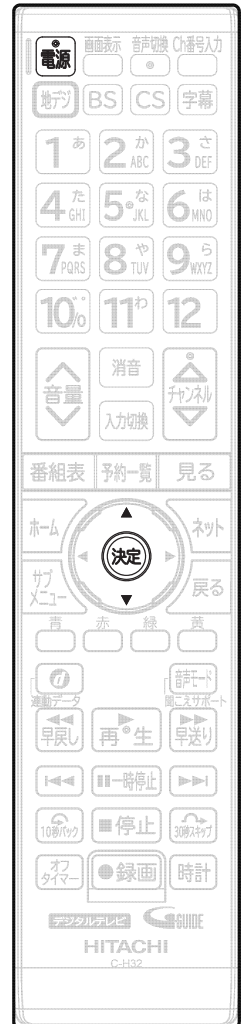
6 下の画面が表示されたら、(電源)を押す



- 約1分で初期化が完了します。







ご注意

- 本機で設定されるデータには、個人情報を含むものがあります。本機を譲渡または廃棄される場合には、「すべての初期化」をすることをおすすめします。
- データ放送の双方向サービスなどで本機に記憶されたお客様の登録情報やポイント情報などの一部、またはすべての情報が変化・消失した場合の損害や不利益について、アフターサービス時も含め、当社は一切の責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。






ネットワークによるソフトウェアの更新を行う

ネットワークを利用して当社サーバーからソフトウェアをダウンロードし、ソフトウェアの更新を行います。

- 1  を押して、▲・▼で「設定／お知らせ」→
「本機の情報と更新」を選んで  を押す
- 2 ▲・▼で「ソフトウェア更新」を選んで  を押す
- 3 ◀▶で「次へ」を選んで  を押す
- 4 新しいバージョンのソフトウェアがある場合はダウンロード確認が表示されるので、▲・▼で「はい」を選んで  を押す
- 5 確認画面が表示されるので、◀▶で「次へ」を選んで  を押す
 - ネットワークを利用して当社サーバーからソフトウェアをダウンロードし、ソフトウェアの更新を行います。
 - 自動的に再起動を行ってソフトウェア更新を終了します。

本機の情報を確認する

ソフトウェアバージョンや本機で使用しているソフトウェアのライセンス情報、デジタル著作権管理に関する権利情報などを表示します。

- 1  を押して、▲・▼で「設定／お知らせ」→
「本機の情報と更新」を選んで  を押す
- 2 ▲・▼で表示させたい情報を選んで  を押す

<p>▷ 本機情報表示の種類</p> <ul style="list-style-type: none"> ● ソフトウェアバージョン ソフトウェアのバージョンを表示します。 	<p>▷ ライセンス情報</p> <p>本機で使用しているソフトウェアのライセンス情報を表示します。</p>
<p>▷ デジタル著作権管理</p> <p>デジタル著作権管理に関する権利情報を表示します。</p>	



文字入力のしかた

- リモコンの を押すたびに、文字種類の切り換えができます。
- を押すと「全角かな」で入力中の文字や、漢字に変換中の文字を確定します。それ以外のおときは、すべての文字を確定させて文字入力を終了します。
- を押すとカーソルが1文字左へ、 を押すとカーソルが1文字右へ移動します。
- 確定状態でカーソルが最後尾にあるときに を押すと、半角スペースが入ります。
- 文字を入力していないときに を押すと入力の先頭へ、 を押すと入力の最後尾へカーソルが移動します。
- ▲・▼ で文字入力部にハイライトを移動した状態で、 を押すとカーソルが1文字左へ、 を押すとカーソルが1文字右へ移動して、 を押すと入力が確定します。
- 文字入力に使うボタンと入力できる文字の種類は以下になります。また、▲・▼・◀・▶ と でも以下の文字を入力することができます。

ボタン	文字の種類				
	全角かな	全角カナ	半角カナ	英字／記号	数字
1 ^あ	あいうえお あいうえお	アイウエオ アイウエオ	アイウエオ	/	1
2 ^か	かきくけこ	カキクケコ	カクコ	abc / ABC	2
3 ^さ	さしすせそ	サシスセソ	サセソ	def / DEF	3
4 ^た	たちつてとつ	タチツテトツ	チツトツ	ghi / GHI	4
5 ^な	なにぬねの	ナニヌネノ	ナネノ	jkl / JKL	5
6 ^は	はひふへほ	ハヒフヘホ	ヒフホ	mno / MNO	6
7 ^ま	まみむめも	マミムメモ	ミムモ	pqrs / PQRS	7
8 ^や	やゆよやゆよ	ヤユヨヤユヨ	ユヨ	tuv / TUV	8
9 ^ら	らりるれろ	ラリルレロ	リルロ	wxyz / WXYZ	9
10 ^{濁音}	濁音／半濁音 ^{※1} 全角記号 ^{※2}	濁音／ 半濁音 ^{※1}	濁音／ 半濁音 ^{※1}	半角記号 ^{※3}	0
11 ^わ	わをんわー。 全角スペース	ワヲンワー。 全角スペース	ワヲンー。 半角スペース	半角 スペース	半角 スペース
12	番組記号 ^{※4}	/	/	小文字／大文字	/
	全角カナに切り換え	半角カナに切り換え	英字／記号に切り換え	数字に切り換え	全角かなに切り換え
	漢字に変換 前候補を表示 (漢字変換中)	/	/	全角／半角	全角／半角
	次候補を表示 (漢字変換中)	/	/	全角／半角	全角／半角
	削除 ^{※5} 変換取り消し (漢字変換中)	削除 ^{※5}	削除 ^{※5}	削除 ^{※5}	削除 ^{※5}
	1文字左へ移動	1文字左へ移動	1文字左へ移動	1文字左へ移動	1文字左へ移動
	1文字右へ移動	1文字右へ移動	1文字右へ移動	1文字右へ移動	1文字右へ移動

- ※1 押すたびに濁音(゜)、半濁音(゛)が切り換わります。
(例)か → が → か → …、は → ば → ぱ → …
- ※2 押すたびに以下の順で切り換わります。(文字を入力していない場合のみ)
・、@、_、/、:、!、"、＃、\$、%、&、'、()、*、+、;、<、=、>、?、¥、^、{、}、~、。」「●○◎■□◆◇▲△▼▽★☆≧≦↑↓⇄⇒⇐⇑♀℃※
- ※3 押すたびに以下の順で切り換わります。
・、@、_、/、:、!、"、＃、\$、%、&、'、()、*、+、;、<、=、>、?、¥、^、{、}、`
- ※4 押すたびに以下の順で切り換わります。
新 網 囲 田 岡 冏 冂 冃 冄 内 円 冇 冈 冉 冊 冋 册 再 冎 冏 冑 冒 冓 冔 冕 冖 冗 冘 写 冚 军 农 冝 冞 冟 冠 冡 冢 冣 冤 冥 冦 冧 冨 冩 冪 冫 冬 冭 冮 冯 冱 冲 决 冴 况 冶 冷 冸 冹 冺 冻 冼 冽 冾 冿 冿
- ※5 を数秒間長押しすると、入力した文字をすべて削除します。



▷リモコンの数字ボタンで入力した文字を、漢字に変換するとき

(例)「もくよう」と入力後に「木曜」と漢字変換するとき

① **7** を5回押す

も

② **2** を3回押す

もく

③ **8** を3回押す

もくよ

④ **1** を3回押す

もくよう

⑤ **↵** を押して漢字に変換する

木曜

▷**▲・▼・◀・▶**と**決定**で入力した文字を、漢字に変換するとき

(例)「もくよう」と入力後に「木曜」と漢字変換するとき

① **▲・▼・◀・▶**で**7**を選んで**決定**を5回押す

も

② **▲・▼・◀・▶**で**2**を選んで**決定**を3回押す

もく

③ **▲・▼・◀・▶**で**8**を選んで**決定**を3回押す

もくよ

④ **▲・▼・◀・▶**で**1**を選んで**決定**を3回押す

もくよう

⑤ **↵** を押して漢字に変換する

木曜

- 入力する漢字が表示されるまで、繰り返してください。
- **↵** を押すと、漢字の変換が確定します。

▷次の文字が同じボタン上にあるときは

▶▶ を押すと、カーソルが1文字右へ移動します。

そのあと、同じボタンを押して入力が続けてください。

お知らせ

- 入力または表示可能な漢字コードは、JIS第1水準、JIS第2水準のみです。
- 全角文字／半角カナで最大40文字(半角は最大80文字)まで入力できます。
- 未確定文字は最大9文字まで入力できます。
- 表示される画面によっては、すべての文字が表示されないことがあります。


メディアを管理する

カセットHDDの名前を変更する

カセットHDD

▶ 準備

- カセットHDDを編集するときは、USB 1 録画再生 (HDD用) 端子にカセットHDDをつないでおく **P.147**

1  を押して、▲・▼で「設定／お知らせ」⇒「機能設定」⇒「接続機器設定」⇒「メディア管理」を選んで **(決定)** を押す

- メディア選択画面が表示されます。

2 ▲・▼で「カセットHDDメニュー」⇒「カセットHDD名称変更」を選んで **(決定)** を押す

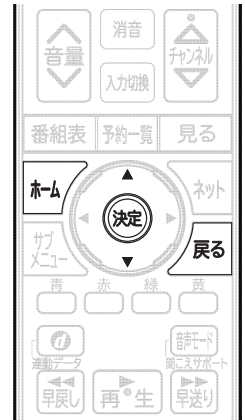
- 編集画面が表示されます。

3 カセットHDDの名称を入力する



文字入力のしかた **P.192**

- 入力が終わったら、**(決定)** を押してください。
- 確認画面が表示されるので、「はい」を選んで **(決定)** を押してください。
- カセットHDDの名称が変更されます。
- 変更が終わったら、**(戻る)** を押してください。



HDD／カセットHDDの記録内容を全部削除する

削除された記録内容は、元に戻せません。記録内容をよく確認してから初期化してください。

HDD

カセットHDD

▶ 準備

- カセットHDDを編集するときは、USB 1 録画再生 (HDD用) 端子にカセットHDDをつないでおく

1 **ホーム** を押して、**▲・▼**で「設定／お知らせ」⇒「機能設定」
⇒「接続機器設定」⇒「メディア管理」を選んで**決定**を押す

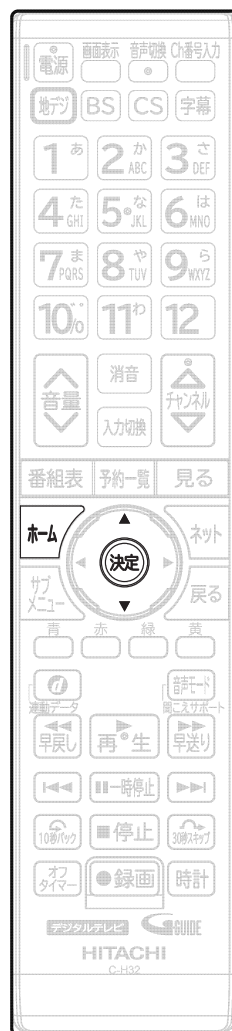
- メディア選択画面が表示されます。

2 **▲・▼**でお好みの項目を選んで**決定**を押す

- HDDの番組を削除したい場合は、「HDDメニュー」を選んでください。
- カセットHDDの番組を削除したい場合は、「カセットHDDメニュー」を選んでください。

3 保護された番組も含めすべて削除したいときは「番組全削除」(HDDの場合)、または「初期化」(カセットHDDの場合)を**▲・▼**で選んで**決定**を押す
保護された番組は残してそれ以外をすべて削除したいときは「番組全削除(保護番組以外)」を**▲・▼**で選んで**決定**を押す

- 確認画面が表示されるので、「はい」を選んで**決定**を押してください。
- 番組の削除が実行されます。
- 番組の削除は、途中で中止できません。
- 番組の削除が始まると放送画面に戻ります。
- 「番組全削除」を選ぶと、「すべて」または「ジャンル」フォルダー以外のフォルダーおよびすべての番組が削除されます。
- 「番組全削除(保護番組以外)」を選ぶと、「すべて」、「ジャンル」または保護された番組が保存されたフォルダー以外のフォルダーおよび保護された番組以外のすべての番組が削除されます。



同時にできること

再生しているときの予約録画について

再生	予約録画	HDD	カセットHDD
HDD	カセットHDD	○	○

○：できる

ダビングしているときの再生と予約録画について

▷ダビングしているときの再生

- 高速ダビング中のみ、再生できます。(等速ダビング中は、再生できません。)

ダビング(高速)	再生	HDD	カセットHDD
HDD ↔ カセットHDD		○	○
HDD → LAN		○	○

○：できる

▷ダビングしているときの予約録画

- 高速ダビング中のみ、予約録画できます。(等速ダビング中は予約録画できません。)

▷予約録画しているときのダビングについて

- 1番組を予約録画中に高速ダビングができます。
- 2番組以上予約録画を実行中は、ホームメニューのダビングや、録画一覧サブメニューのダビングは選べなくなります。
- また、等速ダビングとなる項目も選べなくなります。

ネットワーク機能の同時動作について

	通常配信	お引越し (LAN)
通常配信	○	×
お引越し (LAN)	×	×

○：できる ×：できない

ご注意

3つ以上の同時動作はできません。

同時にできること(つづき)

録画中の再生について

▷1番組のみ録画しているとき

録画メディア		再生するメディア	
録画先	録画モード	HDD	カセットHDD
HDD	TS	○	○
	AF ~ AE	○	○
カセットHDD	TS	○	○
	AF ~ AE	○	○

○：できる

▷2番組同時録画しているとき

録画メディア		再生するメディア	
録画先	録画モード	HDD	カセットHDD
HDD のみ	TS	○	○
	TS AF ~ AE	○	○
	AF ~ AE	○	○
カセットHDD のみ	TS	○	○
	TS AF ~ AE	○	○
	AF ~ AE	○	○
HDD と カセットHDD	TS	○	○
	TS AF ~ AE	○	○
	AF ~ AE	○	○

○：できる

同時録画時の録画モードについて

▷2番組を同時録画の場合

1番組目の録画		2番組目の録画			
録画先	録画モード	HDD			
		TS		AF～AE	
		予約録画	●録画	予約録画	●録画
HDD	TS	○		○	
	AF～AE	○		○	
カセットHDD	TS	○		○	
	AF～AE	○		○	

1番組目の録画		2番組目の録画			
録画先	録画モード	カセットHDD			
		TS		AF～AE	
		予約録画	●録画	予約録画	●録画
HDD	TS	○		○	
	AF～AE	○		○	
カセットHDD	TS	○		○	
	AF～AE	○		○	

○：できる

録画時の配信について

録画モード		1番組目の配信	1番組目の配信
1番組目の録画	2番組目の録画	—	2番組目の配信
TS	—	○	○
AF～AE	—	○	○
TS	TS	○	○
TS	AF～AE	○	○
AF～AE	AF～AE	○	○

○：できる

二カ国語・マルチ番組・字幕について

録画メディア ()はダビング	HDD カセットHDD	
録画モード	TS	AF ~ AE
二重音声	主音声／副音声の両方が記録されます。 再生時に音声切換で音声を選べます。	
マルチ番組の 映像・音声	1つの映像と複数の音声 が記録されます。 (再生時に音声切換で音声 が選べます。)	<ul style="list-style-type: none"> ▷ 現在放送中の番組を録画するとき 1つの映像と複数の音声 が記録されます。 ▷ 番組表から録画するとき、 ダビングするとき 1つの映像と複数の音声 が記録されます。 映像：1つの映像が記録 されます。 音声：音声1と「詳細設定」 画面で選んだ音声の2つが 記録されます。また、音声1 を選んでいるときは、音声1 と音声2が記録されます。 ▷ 日時指定予約するとき 1つの映像と複数の音声 が記録されます。 ▷ ダビングリストからダビング するとき 高速ダビングであれば、 複数の音声で記録された 番組はそのままの音声数 でダビングされます。
サラウンド 音声	放送そのままのサラウンド 音声で記録されます。	
字幕	字幕の情報が記録されま す。*1 (再生時に字幕切 換で字幕表示の入/切が できます。)	字幕の情報が記録されま す。*1、*2

※1 ダビングするときは、録画時に字幕が記録された番組を高速ダビングおよびHD画質等速ダビングしたときだけ、字幕の情報もダビングされます。

※2 録画中は字幕の表示ができません。

各メディアに関するその他のお知らせ

HDDについて

▷ HDD、ハードディスクとは？

大容量データ記録装置の1つで、大量のデータの読み書きを高速で行うことができ、記録されているデータの検索性にすぐれています。本機は、このHDDを内蔵しています。

次のようなことは行わないでください。

- 本機に振動や衝撃を与えないでください。特に本機の電源が入っているときは、お気をつけください。
- 本機の電源が入っている状態で、電源プラグを抜かないでください。
- 本機の電源が入っている状態や電源を切った直後、本機を持ち上げたり動かしたりしないでください。(電源を切ったあと、2分以上経過してから行ってください。)
- 本機が結露した状態で使わないでください。
- HDDは、振動や衝撃、周囲の環境(温度など)の変化に影響されやすい精密な機器です。場合によっては、録画(録音)内容が失われたり、正常に動作しなくなったりする恐れがあります。
- HDDが故障すると、HDDの録画(録音)内容が失われることがあります。

▷ HDDへの録画(録音)について

- HDDは機械的部品なので寿命があり、経年的な変化で早期に劣化することがあります。
- HDDを録画(録音)内容の恒久的な保管場所とせず、一時的な保管場所としてお使いください。

その他

- お客様ご自身で本機のHDDを交換した場合は、保証が無効となります。
- 本機を長時間使用しないときは、電源を切っておいてください。
- HDDは、お買い上げ時には何も録画されていません。あらかじめ番組などを録画して、再生をお楽しみください。

ご注意

- HDDに異常が発生した場合は、再生が不能になったり、録画(録音)内容が消えたりすることがあります。

カセットHDDについて

- USB 1録画再生(カセットHDD用)端子は、カセットHDD専用です。
iVDRアダプターとカセットHDD「iVDR-S」以外のものを接続しないでください。
- 本機とカセットHDDを接続しているときは、カセットHDDに録画したり、カセットHDDの番組をHDDにダビングしたりできます。
- カセットHDDの動作中は、カセットHDDの電源を切ったり、接続ケーブルを抜いたりしないでください。記録した内容が消えたり、カセットHDDおよび本機が故障したりする原因となることがあります。

各メディアに関するその他のお知らせ(つづき)

USB機器について

USB2メディア再生(USBメモリー用)端子は、以下のようなUSBマストレージクラス(大容量データ記憶装置の1つに分類されるUSBのデバイスタイプ)、またはUSB接続したSDカードに対応しています。

- USBメモリー

上記以外のUSB機器は接続しないでください。USB機器や本機の故障、記録されているデータの破損の原因となります。また、本機とUSB機器をUSBハブ経由やUSB延長ケーブルで接続した場合の動作を保証するものではありません。

USB2メディア再生(USBメモリー用)端子に、タブレットなどの本機で利用できない(または対応していない)USB機器を接続しても、接続した機器を利用できない旨のメッセージが表示されない場合があります。

本機のUSB端子を使用して、携帯電話やポータブルオーディオプレーヤーなどの充電は行わないでください。本機の故障の原因となります。

注意

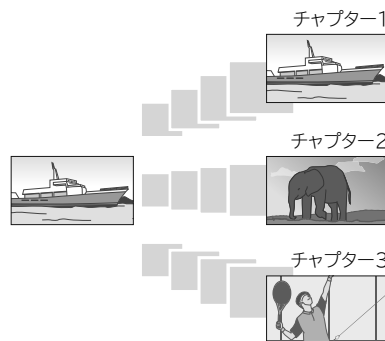
- USB機器は、本機のすべての動作を停止させてから抜いてください。
- USB機器の認識中・読み込み中は、次のことを行わないでください。SDカード、USB機器や本機の故障、記録されているデータの破損の原因となります。
 - 本機の電源を切ったり、電源プラグを抜いたりする
 - USBケーブルを抜く

番組・チャプター・ファイル・フォルダーについて

▷ 番組とチャプター

番組： HDDやカセットHDDなどの内容は、録画された番組ごとに区切られています。短編集の「話」に相当します。

チャプター： 本機で録画した番組では、1つの番組の中で、約10分毎に区切られています。本の「章」に相当します。

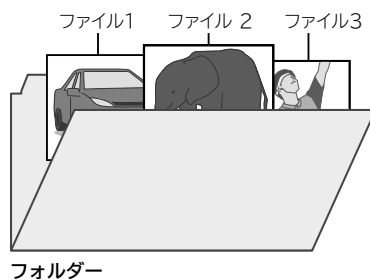


▷ ファイルとフォルダー

JPEGファイルが記録されたメディアは、「フォルダー」という大きな区切りと「ファイル」という小さな区切りで分かれています。デジタルスチルカメラでJPEGファイルが作成されたり、それらファイルをパソコンなどで保存したりする際、ファイルはフォルダーに分けて記録させることができます。

ファイル： ひとつひとつのデータのことです。

フォルダー： ファイルなどの集合を内包する階層のことです。



記録時間一覧表

記録時間はおよその目安です。また、録画する映像によって録画容量が異なるため、実際に録画できる時間は異なります。

- メディアの容量は、「1TB=1,000GB」、「1GB=10億バイト」として計算しています。
- 番組によってビットレートが異なるため、番組により録画可能時間が変わります。
- 本機は、効率よく録画を行うためにVBR(可変ビットレート)方式で録画を行っており、映像によって録画できる時間が変わります。
- 1番組あたりの連続録画可能時間は、最大15時間です。
- 「録画モード」についてくわしくは **P.63** をご覧ください。
- BS・110度CSデジタル放送のSD放送は、録画モードを「TS」または「AF」～「AE」に設定して録画しても標準画質で録画されます。

HDD

- HDDに録画モードを「AF」～「AE」に設定して録画するとき、画面に表示される残量時間分録画できないことがあります。

録画モード	録画先メディア	HDD 1TB
TS	地上デジタル(HD放送)	約129時間
	BSデジタル(HD放送)	約91時間
	BSデジタル(SD放送)	約183時間
HD画質	AF(2倍モード)	約170時間
	AN(3倍モード)	約255時間
	AS(4倍モード)	約365時間
	AL(5.5倍モード)	約502時間
	AE(12倍モード)	約1,086時間

カセットHDD

- カセットHDDの容量によって記録できる時間が異なります。

録画モード	録画先メディア	カセットHDD 320GB	カセットHDD 500GB	カセットHDD 1TB
TS	地上デジタル(HD放送)	約41時間	約65時間	約130時間
	BSデジタル(HD放送)	約29時間	約46時間	約92時間
	BSデジタル(SD放送)	約59時間	約92時間	約184時間
HD画質	AF(2倍モード)	約54時間	約85時間	約171時間
	AN(3倍モード)	約82時間	約128時間	約257時間
	AS(4倍モード)	約115時間	約183時間	約367時間
	AL(5.5倍モード)	約155時間	約251時間	約504時間
	AE(12倍モード)	約345時間	約543時間	約1,089時間

記録時間一覧表(つづき)

最大記録可能数／登録数／文字数について

上限を超える場合は、メッセージが表示されます。

最大記録可能数／登録数は、使用状況や、記録する内容などにより、下記の数値より少なくなることがあります。

項目	メディア	HDD	カセットHDD
番組数		2,000	999
チャプター数 (1つの番組内)		999	255
作成できるフォルダー数		99	99
チャプター数 (メディア内)		上限なし	上限なし
メディア名の文字数		—	全角40文字
番組名の文字数		全角40文字	全角40文字

- 録画予約数 200
- ダビングリストの番組登録数 36
- 1番組あたりの連続録画可能時間 15時間(HDD／カセットHDD)

お知らせ

- 文字数は、全角文字／半角カナで計算しています。

miniB-CASカードについて

地上・BS・110度CSデジタル放送を視聴するためには、miniB-CASカードを必ず本機に挿入しておく必要があります。

- 2004年4月から、番組の著作権保護のためにB-CASカードを利用することになりました。miniB-CASカードを挿入しないと、すべてのデジタル放送を受信できません。
- 2004年4月から、デジタル放送には、「コピーワンス(1回だけ録画可能)」のコピー制御信号が付いています。
2008年7月から「ダビング10」**P.223**の運用が開始されましたが、運用開始後もすべての番組が「ダビング10」になるものではありません。

●限定受信システム(CAS : Conditional Access Systems)とは

限定受信システム(CAS)とは、有料放送の契約をした視聴者だけにスクランブル(放送内容をわからなくする技術)を解除して視聴できるようにする技術システムのことです。デジタル放送ではスクランブルの解除以外に、データ放送の双方向サービスや放送局からのメッセージ送付にも利用されます。

●(株)B-CASとは

デジタル放送の限定受信システム(CAS)を管理するため設立された(株)ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズの略称です。B-CASカードの発行・管理をしています。

miniB-CASカードに個人情報が書き込まれることはありません。

付属のminiB-CASカード台紙に記載の内容をよくお読みください。

■miniB-CASカードについてのお問い合わせは(2017年4月現在)

(株)ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズ カスタマーセンター

TEL : 0570-000-250 (IP電話からの場合は045-680-2868)

受付時間 10:00 ~ 20:00 (年中無休)

<http://www.b-cas.co.jp/>

デジタル放送について

本機は、地上・BS・110度CSデジタルチューナーを搭載しています。

UHF アンテナ (地上デジタル対応) や衛星アンテナ (BS・110度CS対応) を本機に接続すると、無料チャンネルと契約済みの各デジタル放送を受信することができます。

地上デジタル放送

- デジタル放送全般については、一般社団法人 放送サービス高度化推進協会 (A-PAB) のホームページ <http://www.apab.or.jp/> をご覧ください。
- 地上デジタル放送を受信するには、UHF アンテナが必要です。現在お使いのUHF アンテナでも地上デジタル放送を受信できます。くわしくはお買い上げ店にお問い合わせください。
- 地上デジタル放送は、CATV (ケーブルテレビ) でも受信できます。お住まいの地域のCATVで地上デジタル放送が開始されているかは、CATV放送会社にお問い合わせください。CATV放送会社によっては、放送方式が異なります。
本機はすべての周波数 (VHF 帯、MID 帯、SHB 帯、UHF 帯) に対応する「CATVパススルー対応」の受信機です。
- 携帯端末向けのワンセグ放送は、本機では受信できません

BS デジタル放送

- 放送衛星 (Broadcasting Satellite) を使って放送されるハイビジョン放送やデータ放送が特長です。BS日テレ、BS朝日、BS-TBS、BSジャパン、BSフジなどは無料放送を行っています。有料放送は、加入申し込みと契約が必要です。

■「WOWOW」カスタマーセンター

TEL : フリーダイヤル 0120-580-807
受付時間 9 : 00 ~ 20 : 00 (年中無休)
<http://www.wowow.co.jp/>

■「スター・チャンネル」総合案内窓口

TEL : 0570-013-111 または 044-540-0809
受付時間 10 : 00 ~ 18 : 00 (年中無休)
<http://www.star-ch.jp/>

110度CSデジタル放送

- BSデジタル放送と同じ東経110度の方角にある通信衛星 (Communication Satellite) を使って放送されるニュースや映画、スポーツ、音楽などの専門チャンネルがあるのが特長です。ほとんどの放送が有料です。
- 110度CSデジタル放送を視聴するには、「スカパー！」への加入申し込みと契約が必要です。110度CSデジタル放送には、CS1とCS2の2つの放送サービスがあり、その中に多くの放送局があります。本機ではCS1とCS2がCSにまとめられています。

■「スカパー！」カスタマーセンター (総合窓口)

TEL : フリーダイヤル 0120-039-888
受付時間 10 : 00 ~ 20 : 00 (年中無休)
<http://www.skyperfectv.co.jp>

●双方向サービスとは

データ放送で行われるサービスの1つで、インターネットを使い番組に連動して、放送局と視聴者で双方向のやり取りができます。たとえばテレビ画面を見ながら、クイズの解答やショッピングなどいろいろなサービスが考えられています。本機で双方向サービスを利用するには、インターネット回線を接続してください。P.164▶

困ったときは

よくあるご質問

	質問	回答	参照ページ
番組表	番組表を使った予約には、どのような特徴がありますか？	<ul style="list-style-type: none"> 番組表からかんたんに録画予約をしたり、番組の詳細情報を表示したりすることができます。また、ジャンルから関連番組を探すこともできます。 自動追跡録画に対応しています。 録画一覧に番組名が自動的に入ります。 	<p>P.70</p> <p>P.94</p>
	番組表は、何日分まで表示できますか？	<ul style="list-style-type: none"> 最大8日分まで表示できます。 	P.66
	番組表の利用料金はかかりますか？	<ul style="list-style-type: none"> 利用料金はかかりません。 	P.65
	番組表は日本全国で利用できますか？	<ul style="list-style-type: none"> 番組データの内容は地域ごとに異なるため、利用するためにはそれぞれの地域で番組データを取得する必要があります。 	P.183
	番組表をCATV(ケーブルテレビ)で利用できますか？	<ul style="list-style-type: none"> できる場合とできない場合があります。くわしくはご利用のCATV会社にご相談ください。 	P.66
録画	字幕の録画はできますか？	<ul style="list-style-type: none"> できます。 	P.200
	デジタル放送は録画できますか？	<ul style="list-style-type: none"> HDD/カセットHDDに直接録画できます。 	P.63
	デジタル放送をハイビジョン画質(HD放送)で録画できますか？	<ul style="list-style-type: none"> HDD/カセットHDDに直接録画できます。 	P.63
	デジタル放送のラジオ放送やデータ放送は録画できますか？	<ul style="list-style-type: none"> 本機では録画できません。 	P.63
	同時録画はできますか？	<ul style="list-style-type: none"> できます。 	P.63
	ダビング10(コピー9回+移動1回)番組の録画はできますか？	<ul style="list-style-type: none"> できます。 	P.63
予約	予約が重なった場合は、どちらが優先されるのですか？	<ul style="list-style-type: none"> 「予約が重なったときは」をご覧ください。 	P.93
	電源を入れたまま予約時間になった場合は？	<ul style="list-style-type: none"> 電源の入/切にかかわらず、予約録画は始まります。 	P.92
編集	どんな編集ができますか？	<ul style="list-style-type: none"> メディアによって、編集できる機能が異なります。「本機でできる削除と編集について」をご覧ください。 	P.114
ダビング	本機でダビング中に録画や再生はできますか？	<ul style="list-style-type: none"> 高速ダビング時は以下の操作はできません。 <ul style="list-style-type: none"> 移動中に移動対象の番組の再生 ●録画による録画(予約録画はできません。) 等速ダビング時は、録画や再生はできません。写真の再生はできます。 	P.196
	お引越し(LAN)ができない。	<ul style="list-style-type: none"> ダビング先の機器によっては、一部のドライブにダビングできない場合があります。 	—

困ったときは(つづき)

	質問	回答	参照ページ
ネットワーク 連携接続	ホームネットワーク対応機器と接続できない。	<ul style="list-style-type: none"> ホームネットワーク対応機器と本機が、同じネットワーク環境で接続されていますか。 ➡ ホームネットワーク対応機器と本機それぞれの接続やネットワーク接続設定を確認してください。 	P.164➡
	ネットワーク再生や配信時に映像が止まることがある。	<ul style="list-style-type: none"> 無線LAN接続の場合、2.4GHz帯の設定では、他の2.4GHz帯の機器との干渉により、無線LANの通信が途切れることがあります。5GHz帯に対応した無線LANルーター(アクセスポイント)をお使いの場合は、5GHz帯でのご使用をおすすめします。 	—
その他	日本全国どこでも使えますか？ 海外でも使えますか？	<ul style="list-style-type: none"> 本機は日本国内専用で、東日本、西日本に関係なく使えます。海外では使用できません。 	P.226➡
	VTRとの違いは？	<ul style="list-style-type: none"> HDDに録画すれば長時間番組も録画できます。 HDDに録画する場合は、ビデオテープのように上書き録画されるのではなく、未記録部分に録画されます。不要になったら、削除することも可能です。 見たいところまでとばすのに時間がかかりません。(ビデオテープのように早送り/巻戻しをする必要はありません。) パソコンのように、電源を入れてから使用可能になるまでしばらく時間がかかります。 	— — — —

おかしいな?と思ったときの調べかた

	このようなときは…	ここをお調べください	参照ページ
電源	電源が入らない。	<ul style="list-style-type: none"> 電源プラグが抜けていませんか。 指定(表示)以外の電源電圧(交流200V)に電源プラグを挿していませんか。 <ul style="list-style-type: none"> 安全のための保護回路が働くため、電源が入らなくなります。 一旦電源プラグを今のコンセントから抜いて、約10分ほど時間を置いてから、指定(表示)の電源電圧(交流100V)につなぎ直し、正常動作するかご確認ください。正常動作しない場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。 「高速起動」が「切」で以下の場合、約20秒間は電源ボタンを押しても電源が入りません。 <ul style="list-style-type: none"> 「高速起動」を「入」にすると、いつでも電源を入れることができます。 「高速起動」が「切」のときに電源ボタンを押して電源を「切」にしたとき(スタンバイ/受像ランプが緑・赤交互点灯) 無操作電源オフ機能や無信号電源オフ機能、オフタイマー機能が動作したとき(スタンバイ/受像ランプが緑・赤交互点灯) 待機状態(スタンバイ)で予約録画やデジタル放送の番組データやメンテナンス情報の受信などを終了した直後(スタンバイ/受像ランプは赤点灯のまま) 	P.34 P.232 P.186
	電源が入らない。 スタンバイ/受像ランプが点灯しない。	<ul style="list-style-type: none"> 電源ボタンを押しても電源が入らない場合は、電源プラグをコンセントから抜いて、電源を入れ直してください。それでも電源が入らない場合は、安全のための保護回路がはたしている可能性があります。 電源プラグを抜いて、販売店にご相談ください。 	-
	電源が入らない。 本機の電源ボタンで電源が入るが、リモコンでは電源が入らない。	<ul style="list-style-type: none"> リモコンの乾電池が消耗していませんか。 リモコンの乾電池の⊕⊖が逆に入っていませんか。 テレビのリモコン受光部に正しく向けていますか。 テレビのリモコン受光部に強い照明などが当たっていませんか。 	P.17 P.23 - -
	急に電源が切れた。	<ul style="list-style-type: none"> 「無操作電源オフ」、「無信号電源オフ」が「入」になっていませんか。 オフタイマーの設定がされていた可能性があります。 <ul style="list-style-type: none"> 再度電源を入れた際、オフタイマーの設定をしていないことを確認し、同じ症状が起こらないか確認してください。 	P.157 P.46
	電源を入れるとき、起動に時間がかかる。	<ul style="list-style-type: none"> 「高速起動」が「切」のときに電源を入れた際、起動に時間がかかる場合があります。 内部システムによる仕様のため、故障ではありません。 	P.186
	テレビの電源を切ると、HDMIケーブルでつないだレコーダーの電源が切れる。	<ul style="list-style-type: none"> 「リンク制御」が「入」、「HDMI機器の自動電源オフ」が「入」になっていませんか。 「HDMI機器の自動電源オフ」が「入」になっている場合は、本機の電源を切るとHDMI-CEC対応機器の電源も連動して「切」になります。 	P.31
	電源を入れると、「かんたんセットアップ」開始画面が表示される	<ul style="list-style-type: none"> 「かんたんセットアップ」をしていないときは、電源を入れると「かんたんセットアップ」開始画面が表示されます。 	P.35
	リモコンで電源を切ったあと、しばらくして動作音が出た。	<ul style="list-style-type: none"> 電源を切ったあとデジタル放送のデータ取得の動作をしており、取得動作を終了する際に動作音が出ますが、故障ではありません。電源を切ってから取得動作を終了するまでの時間は、送られてくるデータの量に応じて変化します。 	-
	電源を切っているときに動作音が出た。	<ul style="list-style-type: none"> デジタル放送のデータ取得のための動作音です。故障ではありません。 	-
	リモコン	リモコンで操作できない。	<ul style="list-style-type: none"> リモコンの乾電池が消耗していませんか。 リモコンの乾電池の⊕⊖が逆に入っていませんか。 テレビのリモコン受光部に正しく向けていますか。 テレビのリモコン受光部に強い照明などが当たっていませんか。 デジタル放送の番組連動データがあるときやデータ番組を視聴しているときは、数字ボタン(1~12)がデータ操作に使われるため、チャンネルを切り換えられないことがあります。 <ul style="list-style-type: none"> チャンネル▲▼や番組表でチャンネル切換をしてください。 リモコンのリモコンコードの設定が「リモコンコード1」になっていますか。次の操作を行って、リモコンコードの設定を「リモコンコード1」に切り換えてください。 <ul style="list-style-type: none"> リモコンコード1・・・リモコンの(1)を押しながら1を3秒以上押す リモコンコード2・・・リモコンの(2)を押しながら2を3秒以上押す
チャンネル▲▼で、特定のチャンネルだけ選べない。		<ul style="list-style-type: none"> スキップされていませんか。 選みたいチャンネルのスキップを解除してください。 	P.179

困ったときは(つづき)

このようなときは…	ここをお調べください	参照ページ
リモコンや本機ボタンで操作ができない。	<ul style="list-style-type: none"> 電源プラグを抜き、しばらくしてから再度電源プラグを挿し直してください。 ➔ 本機は、パソコンのような複雑なプログラムにより動作しています。まれに動作が不安定になったとき、動作を止めることがあります。電源プラグを挿し直すことで、不安定要素が解消され正常動作に戻ります。 	—
映像も音も出ない。	<ul style="list-style-type: none"> アンテナ線がはずれていませんか。 入力端子の接続と入力切換ボタンの操作が合っていますか。 外部機器の接続コードがはずれていませんか。 	P.28 P.45 P.30 ~ P.33
映像は出るが、音が出ない。	<ul style="list-style-type: none"> 消音になっていませんか。または音量が0になっていませんか。 ビデオなどの入力端子がはずれていませんか。 「スピーカー出力」の設定を確認してください。 ヘッドホン端子にヘッドホンが挿し込まれていませんか。 ➔ 「ヘッドホン出力設定」を「スピーカー非運動」にすると、ヘッドホンとスピーカーの両方から音を出すことができますようになります。 	P.20 P.30 ~ P.33 P.155 P.156
DVDを見ているときに、片側のスピーカーから音が出ない。	<ul style="list-style-type: none"> ビデオ入力端子の接続コードがはずれていないか調べてください。 	P.30
音がつまったような感じがする。	<ul style="list-style-type: none"> 「自動音量補正」が「入」になっていると音量をおさえる効果によりつまったように感じる場合があります。 	P.154
音の大きさが変化する。人の声に変化する。	<ul style="list-style-type: none"> 「自動音量補正」が「入」になっていると音量を補正する効果により変動することがあります。 	P.154
音声に異音が入ったり映像にノイズが出たりする。	<ul style="list-style-type: none"> テレビや接続機器の近くで携帯電話や無線機などを使用していませんか。 ➔ 携帯電話などを離して使用してください。 	—
映りが悪い。	<ul style="list-style-type: none"> アンテナ接続コネクターへのつなぎかたを確認してください。 アンテナ線が切れたり、はずれたりしていませんか。 アンテナが風でこわれたり、まがったりしていませんか。 アンテナは正しい方向に向いていますか。 自動車、オートバイ、電車、ヘアドライヤーなどからの妨害電波が入っています。 ➔ アンテナを原因となるものから離してください。 コントラストの調節を確認してください。 チャンネルの設定をやり直してください。 カセットHDDをご使用になっている場合は、カセットHDDによる受信妨害が引き起こされることがあります。カセットHDDをはずすことで改善される場合は、本機とカセットHDDの位置や向き、距離を変えてみてください。 	P.28 — — — — P.150 P.176 —
色がつかない。色がおかしい。	<ul style="list-style-type: none"> 色の濃さの調節をしてください。 色あいの調節をしてください。 チャンネルの設定をやり直してください。 	P.151 P.151 P.176
画面の横幅が圧縮されて、左右に黒い帯が出る。	<ul style="list-style-type: none"> ワイド切換が「ノーマル」になっていませんか。 ➔ 「ホーム」➔「テレビ操作」➔「ワイド切換」で、映像に合った画面サイズを選んでください。 	P.52
「ズーム」を選んでいるのに、左右に黒い帯が出る。	<ul style="list-style-type: none"> ビデオやゲーム画面などでは、左右の黒い帯が残る場合があります。 	P.52
字幕が切れる。	<ul style="list-style-type: none"> ワイド切換によっては切れる場合があります。 ➔ 「ホーム」➔「テレビ操作」➔「ワイド切換」で、映像に合った画面サイズを選んでください。 	P.52

	このようなときは…	ここをお調べください	参照ページ
テレビを見ているとき	画面が暗い。	<ul style="list-style-type: none"> 映像モードが変更されていませんか。 コントラストの調節を確認してください。 	<p>P.149▶</p> <p>P.150▶</p>
	外部入力映らない。	<ul style="list-style-type: none"> ビデオ、HDMIの接続ケーブルがはずれていませんか。 	<p>P.30▶</p> <p>～</p> <p>P.33▶</p>
	HDMI入力正しく映らない。	<ul style="list-style-type: none"> [HDMI入力信号設定]を正しく設定していますか。 ▶「ホーム」▶「設定／お知らせ」▶「機能設定」▶「その他の設定」▶「HDMI入力信号設定」で接続しているHDMIを選んで、映像に合った設定にしてください。 	P.185▶
	テレビの上部や液晶パネル面の温度が高い。	<ul style="list-style-type: none"> 本機上面や液晶パネル面の温度が高くなりますが、性能品質には問題ありません。(本機の通風孔をふさがないように、お使いください。) 	—
	テレビから時々「ピシッ」と音がする。	<ul style="list-style-type: none"> 室温の変化により、キャビネットがわずかに伸縮するときに発生する音です。画面や音声に異常がなければ心配ありません。 	—
デジタル放送のとき(共通)	デジタル放送映らない。	<ul style="list-style-type: none"> miniB-CASカードは、正しく挿入されていますか。 miniB-CASカードの抜き挿しは必ず電源プラグを抜いてから行ってください。 	P.27▶
	リモコンで操作できない。	<ul style="list-style-type: none"> デジタル放送の番組連動データがあるときやデータ番組を視聴しているときは、1～12 ボタンがデータ操作に使われる場合があり、チャンネルを切り換えられないことがあります。 ▶チャンネル △・▽ や番組表でチャンネル切り換えをしてください。 	—
	字幕や文字スーパーが出ない。	<ul style="list-style-type: none"> 「字幕切替」が「切」に設定されていませんか。 ▶「日本語」または「英語」に設定してください。 「文字スーパー」が「切」に設定されていませんか。 ▶「日本語」または「英語」に設定してください。 字幕や文字スーパーのある番組を選局していますか。 	<p>P.51▶</p> <p>—</p> <p>—</p>
	番組表に表示されないチャンネルがある。	<ul style="list-style-type: none"> 飛び越し(スキップ)設定になっていませんか。 	P.179▶
	地上デジタル放送映らない。映像が乱れる。	<ul style="list-style-type: none"> UHFアンテナは、地上デジタル放送の送信局に向けられていますか。 ▶地上アナログ放送の送信局と方向が違う地域があります。 地上デジタル放送を受信できるUHFアンテナをご使用ですか。 ▶従来のアナログ放送用のUHFアンテナは、視聴地域の特定チャンネルに対応している場合があり、地上デジタル放送用のUHFアンテナやデジタル対応のブースター、混合器などが必要な場合があります。 	<p>P.28▶</p> <p>P.28▶</p>
地上アンテナ放送のとき	映像や音が出ない、または時々出なくなる。映像が静止する、または時々静止する。	<ul style="list-style-type: none"> UHFアンテナの向きが、風や振動により変わっていませんか。または、アンテナ線の劣化などありませんか。 ▶「受信状態の確認」で受信レベルを確認することができます。何らかの要因で受信レベルが低くなっている可能性があります。お買い上げの販売店にご相談ください。 受信レベルが低い状態でご覧になっていませんか。 ▶受信レベルが低いと、天候や近隣の環境(建物の建築、緑地の伐採、中継アンテナの増設など)の影響を受けやすく、受信状態が悪化し映像が乱れたり映らなくなったりすることがあります。 	<p>P.180▶</p> <p>—</p>
	番組表が表示されない。番組表に表示されない番組がある。	<ul style="list-style-type: none"> お買い上げ時には、番組表は表示されません。チャンネル設定後に、番組表の番組データを受信するまでは表示されません。 電源を「入」にして最初に番組表を表示するときは、番組データ受信に時間がかかります。 	<p>P.65▶</p> <p>—</p>
	地上デジタルの放送局のロゴマークが表示されない。	<ul style="list-style-type: none"> 地上デジタル放送の各放送局を一定時間、選局していると、放送局のロゴマークが表示されるしくみになっています。 放送時間と受信のタイミングで日数がかかることもあります。 	—

困ったときは(つづき)



	このようなときは…	ここをお調べください	参照ページ
BS・110度CSデジタル放送のとき	BS・110度CSデジタル放送が映らない。映像が乱れる。	<ul style="list-style-type: none"> BS・110度CSアンテナとの接続状態を確かめてください。 BS・110度CSアンテナケーブルを分配器で増設されているときは、「電流通過型」のご利用をおすすめします。 分配器を使用している場合は、110度CSデジタル対応のものを正しく使用していますか。 アンテナ接続コネクタがプラスチックのものをお使いの場合は、正しく加工されていますか。 →「受信状態の確認」で受信レベルが「20以上」になっているか、ご確認ください。 	<p>—</p> <p>—</p> <p>—</p> <p>P.180</p>
	BS・110度CSデジタル放送の映りが悪い。	<ul style="list-style-type: none"> アンテナの方向が強風や衝撃で正しい方向からはずれていませんか。 アンテナへの積雪や雨、雷雲などによる電波の減衰が原因となることがあります。 →「受信状態の確認」で受信レベルが「20以上」になっているか、ご確認ください。 	<p>—</p> <p>P.180</p>
	データ番組の操作をしているら、チャンネルが切り換わった。	<ul style="list-style-type: none"> データ番組のユーザー登録画面などで数字入力する場合がありますが、画面上の番号を選んで入力するときに間違っリモコンの数字ボタン(1* ~ 12)を押すと、チャンネルが切り換わってしまうことがあります。 	<p>—</p>
	特定のチャンネルの映像や音声時々出なくなる。	<ul style="list-style-type: none"> 本機とアンテナを接続するとき、衛星デジタル放送に対応していないアンテナケーブルや分配器、分波器などを使用していないか。 → BS・110度CSデジタル放送に対応していないアンテナケーブルや機器でアンテナを接続している場合は、PHSデジタルコードレス電話機など本機の受信周波数帯域に相当する周波数を用いた機器の影響を受け、映像や音声が出なくなる場合があります。アンテナを接続する場合は、シールド性のよいBS・110度CSデジタル放送対応のアンテナケーブルや機器をご使用ください。 	<p>—</p>
	有料放送の視聴ができない。	<ul style="list-style-type: none"> miniB-CASカードは、正しく挿入されていますか。 miniB-CASカードの抜き挿しは必ず電源プラグを抜いてから行ってください。 有料放送を視聴するための手続きをされていますか。 → 視聴契約の手続きをしてください。 	<p>P.27</p> <p>P.206</p>
	BSデジタル放送は映るのに、110度CSデジタル放送が映らない。	<ul style="list-style-type: none"> 110度CSデジタル対応のアンテナを使用していますか。 ブースターや分配器を使用している場合は、110度CSデジタル対応の2.1GHz以上まで対応しているものを使用していますか。 契約が必要なチャンネルは、契約しないと見られません。 110度CSデジタル放送は、周波数が高いので従来のBSの配線設備では見られないことがあります。 	<p>—</p> <p>—</p> <p>—</p> <p>—</p>
	急に画像や音質が少し悪くなった。	<ul style="list-style-type: none"> 降雨対応放送になっていませんか。 → 雨の影響により、衛星からの電波が弱くなっている場合は、本機では電波が弱くても受信可能な降雨対応放送に切り換える場合があります。降雨対応放送では、画質、音質が少し悪くなります。天候が回復すれば、元の画質、音質に戻ります。 	<p>P.223</p>


BS・110度CSアンテナへの積雪や豪雨などによる一時的な受信障害

- BS放送は雷雨や豪雨のような強い雨が降ったり、アンテナに雪が付着したりすると電波が弱くなり、一時的に画面にモザイク状のノイズが入ったり、映像が停止したり、音声がとぎれたり、ひどい場合にはまったく受信できなくなったりすることがあります。

	このようなときは…	ここをお調べください	参照ページ
録画	録画できない。	<ul style="list-style-type: none"> 違法複製防止のためのコピー制限やコピーガードがかかっていますか。 「録画禁止」番組を録画していませんか。 HDDやカセットHDDの残量時間が不足していませんか。 <ul style="list-style-type: none"> ➔ 不要な番組を削除するか、別のカセットHDDに録画してください。 番組数がいっぱいになっていませんか。 <ul style="list-style-type: none"> ➔ 不要な番組を削除するか、別のカセットHDDに録画してください。 アンテナを本機に接続していますか。 	<p>—</p> <p>P.63</p> <p>P.49</p> <p>P.115</p> <p>P.28</p>
	予約録画できない。 録画予約した番組が録画されない。	<ul style="list-style-type: none"> 予約スキップをしていると、録画されません。 停電があったときは、正しく録画されません。 初期化(フォーマット)、ダウンロード更新など、中断できない動作中は、予約録画できません。 録画予約した番組が、番組変更などにより放送されなかった可能性があります。 	<p>P.89</p> <p>P.94</p> <p>—</p> <p>—</p>
	番組の最後まで録画できていない。 予約で録画した最後の部分が録画できていない。	<ul style="list-style-type: none"> 予約が重なっていませんか。 前の予約の終了日時とあとの予約の開始日時が同じ場合は、前の予約の最後の部分が録画されません。 	<p>P.94</p> <p>P.93</p>
	HDDまたはカセットHDDに録画できない。	<ul style="list-style-type: none"> 録画可能なカセットHDDを接続していますか。 HDDまたはカセットHDDに十分な空き容量がありますか。 <ul style="list-style-type: none"> ➔ 空き容量が少ない場合は、削除して空き容量を増やしてください。 	<p>—</p> <p>—</p>
再生	番組の最初から再生が始まらない。	<ul style="list-style-type: none"> つづき再生(レジューム停止)になっていませんか。 	P.96
	再生中の映像が乱れる 再生中の色がおかしくなる。	<ul style="list-style-type: none"> 早送り/早戻しなどをすると、映像が多少乱れることがあります。 携帯電話など、電波を発する機器を近くで使用していませんか。 	<p>—</p> <p>—</p>
	音声がでない。 字幕が出ない。	<ul style="list-style-type: none"> AVアンプなど、つないでいる機器について次のことを確認してください。 <ul style="list-style-type: none"> - つないだ機器の電源が入っていますか。 - つないだ機器の入力切替が合っていますか。 - ケーブルやコードを正しく(入力/出力も含む)つないでいますか。 「音声出力設定」が、接続しているアンプやデコーダーなどに合わせて、正しく設定されていますか。 字幕情報がない番組については、字幕を切り換えできません。 	<p>—</p> <p>P.155</p> <p>P.200</p>
	カセットHDDに録画した番組が見つからない。	<ul style="list-style-type: none"> HDDに代理録画されていませんか。 	P.92
	カメラアングル(映像)が切り換わらない。	<ul style="list-style-type: none"> カメラアングル(映像)が切り換え可能な場面以外では、切り換えできません。 	—
	本機に録画した番組が、ホームネットワーク対応機器の録画一覧に表示されない。	<ul style="list-style-type: none"> ダビング中や録画中の場合は、番組数が多いと、録画一覧への更新に時間がかかり、番組が録画一覧に表示されないことがあります。 <ul style="list-style-type: none"> ➔ ダビング中や録画中の場合は、動作終了すると、内部処理が行われたあとに録画一覧への更新が早くなります。 	—

困ったときは(つづき)

	このようなときは…	ここをお調べください	参照ページ
本機 の 操 作 全 般 ・ U S B	本機が動かない。 本機の操作ができない。	<ul style="list-style-type: none"> その操作が禁止されているときは、「」またはメッセージが表示されます。 リモコンの乾電池が消耗していませんか。 ご購入後に初めて電源を入れたときは、「かんたんセットアップ」開始画面が表示されます。 「かんたんセットアップ」実行中は、録画・再生などの操作はできません。 HDDに記録されている番組数が多いと、その分、本機の電源プラグを挿し直した際の起動に時間がかかります。 	<p>—</p> <p>P.17</p> <p>P.35</p> <p>—</p> <p>—</p>
	本機の設定画面やサブメニューが選べない。	<ul style="list-style-type: none"> 現在操作ができない項目はグレー表示されます。 	P.56
	USB機器の操作ができない。 USB機器の内容が読めない。	<ul style="list-style-type: none"> 本機で対応しているUSB機器を接続していますか。 USBケーブルがしっかり挿し込まれていますか。 録画中、再生中、ダビング中などにUSB機器を接続したときは、認識されないことがあります。 	<p>P.202</p> <p>P.139</p> <p>—</p>
	USB機器をつないでいて、途中から本機の操作ができなくなった。	<ul style="list-style-type: none"> USB機器から写真の再生中に、USB機器接続に異常が発生し、本機の操作ができなくなっています。 ➡ USBケーブルの接続をはずして、つなぎ直してください。 	P.139
視 聴 、 チ ャ ン ネ ル 切 換	地上デジタル放送が映らない、映りが悪い。	<ul style="list-style-type: none"> アンテナ線を地上デジタル放送用の端子につないでいますか。また、UHFアンテナ、同軸ケーブルなどは、デジタル放送対応のものを使っていますか。 地上デジタル放送のチャンネル設定の再スキャンを行ってください。 地上デジタル放送の受信電波が弱い場合でも強すぎる場合でも受信レベルが下がり、「放送受信設定」の「信号品質」の数値が低くなります。信号品質の数値は、「20」以上を目安にしてください。 地上デジタル放送の受信電波が強すぎて映りが悪くなる場合は、「放送受信設定」の「受信状態の確認」内で、「アッテネーター」を「入」に設定すると、映りが改善されることがあります。 miniB-CASカードを正しい向きで「カチッ」と音がするまで奥へ(止まるまで)押し込んでいますか。 分配器を使っていませんか。市販品のブースターなどを使うと改善されることがあります。効果がないときは、お買い上げの販売店にご相談ください。 	<p>P.28</p> <p>P.176</p> <p>P.180</p> <p>P.180</p> <p>P.27</p> <p>—</p>
	BS・110度CSデジタル放送が映らない、映りが悪い、音声にノイズが出る。	<ul style="list-style-type: none"> アンテナ線をBS・110度CSデジタル放送用の端子につないでいますか。また、BS・110度CSアンテナ、同軸ケーブル、分波器などは、BS・110度CSデジタル放送対応のものを使っていますか。  ➡ 「設定／お知らせ」➡ 「放送受信設定」➡ 「BS／CSデジタル設定」の「アンテナ電源」の設定は正しいですか。  ➡ 「設定／お知らせ」➡ 「放送受信設定」➡ 「BS／CSデジタル設定」の「アンテナ電源」の設定を「供給する」にしているときは、本機の電源プラグを常にコンセントに押し込んで(通電状態にして)おいてください。 BS・110度CSアンテナの方向や角度が強風などで少しでもずれると、放送を受信できません。 以下の場合は、電波障害により一時的に映像・音声乱れることがあります。 <ul style="list-style-type: none"> 雨雲があるときや、強い降雨のとき、障害物があるときなど。 雪がBS・110度CSアンテナに付着しているとき。 miniB-CASカードを正しい向きで「カチッ」と音がするまで奥へ(止まるまで)押し込んでいますか。 	<p>P.28</p> <p>P.37</p> <p>P.34</p> <p>—</p> <p>—</p> <p>P.27</p>
	放送の切り換えができない、チャンネルが切り換えられない。	<ul style="list-style-type: none"> 再生中は、放送やチャンネルの切り換えはできません。 	—
	チャンネルを切り換えられない。	<ul style="list-style-type: none"> 「かんたんセットアップ」(「チャンネル設定」)をしましたか。 	<p>P.35、</p> <p>P.36</p>

	このようなときは…	ここをお調べください	参照ページ
視聴、チャンネル切換	デジタル放送の字幕や文字スーパーが出ない。	<ul style="list-style-type: none"> 「字幕切換」が「切」に設定されていませんか。 「文字スーパー」が「切」に設定されていませんか。 	<p>P.51</p> <p>P.182</p>
	WOWOWやスターチャンネルなどの有料放送が視聴できない。	<ul style="list-style-type: none"> 有料放送の視聴には、放送局ごとに受信契約が必要です。 受信契約したID番号のminiB-CASカードを挿入口に入れてください。 本機以外にご使用いただいている機器で、BS・110度CSデジタルの有料放送を契約済みの場合は、有料放送の契約を本機に付属のminiB-CASカード裏面に記載のID番号に変更してください。 	—
	NHK BSデジタル放送を視聴中に、受信確認メッセージが表示される。	<ul style="list-style-type: none"> NHK BSデジタル放送のメッセージ消去の申し込みが完了していない場合があります。 なお、メッセージ消去の申し込みには、お使いのminiB-CASカードのID番号を使用してください。	—
番組表	番組表が表示されない。番組表が8日分表示されない。	<ul style="list-style-type: none"> お買い上げ時には、番組表は表示されません。チャンネル設定後に、番組表の番組データを受信するまでは表示されません。 スキップ設定したチャンネルは表示されません。 番組表で「CH毎表示」に設定すると、1つのチャンネルのみ表示されます。 番組表で「代表チャンネル表示」に設定されている放送局は、1つのチャンネルしか表示されません。 	<p>P.65</p> <p>P.179</p> <p>P.67</p> <p>P.67</p>
	番組データを受信できない。	<ul style="list-style-type: none"> 番組データは、本機の電源が「切」(通電状態)のときに受信します。 なお、電源が「入」であっても、視聴中のチャンネルの番組データは取得されます。	P.65
	番組表に表示されない放送局や番組がある。NHKが違う地域の番組表で表示される。	<ul style="list-style-type: none"> 県域設定やチャンネルが正しく設定されていない場合は、表示されません。 ➡  ➡ 「設定／お知らせ」➡ 「放送受信設定」➡ 「地上デジタル放送」の「初期スキャン」で県域設定とチャンネルを再度設定してください。 <ul style="list-style-type: none"> 深夜時間帯などで番組が表示されていない場合は、放送が予定されていない場合があります。 	<p>P.176</p> <p>—</p>
予約した番組と録画された番組が合っていない。	<ul style="list-style-type: none"> 番組表が正しく表示されていても、放送局側の都合により番組の内容が変更されることがあります。 	P.66	
削除・編集・ダビング	番組の編集・削除ができない。チャプターの編集ができない。	<ul style="list-style-type: none"> 録画モード変換予定の番組は、番組の保護／分割／結合はできません。 	—
	チャプターを分割できない。	<ul style="list-style-type: none"> チャプター数がいっぱいになっていませんか。チャプター数は使用するメディアによって上限があります。 ➡ チャプターを結合するか、不要なチャプターを削除してください。	P.119
	削除した番組を元に戻せない。	<ul style="list-style-type: none"> 削除された内容は、元に戻すことはできません。録画内容をよく確認してから、削除してください。 	P.115
	初期化した内容を元に戻せない。	<ul style="list-style-type: none"> 初期化して削除された内容は、元に戻すことはできません。内容をよく確認してから、初期化してください。 	P.195
	ダビングすると、元の番組が消える。	<ul style="list-style-type: none"> コピーワンス番組(1回だけ録画可能番組)のダビングや、ダビング10(コピー9回+移動1回)番組の10回目のダビングは、「移動」になり、ダビング元の番組は削除されます。 	P.138
	ダビングしても字幕がダビングされない。	<ul style="list-style-type: none"> 録画モードを「TS」、「AF」～「AE」にして録画された番組を高速ダビングしたとき、または「画質選択」で「AF」～「AE」を選んで、等速ダビングした場合は、字幕の情報もダビングされます。(字幕がある場合のみ) 	P.200
	ダビングできない。	<ul style="list-style-type: none"> 保護されたダビング10番組の10回目またはコピーワンス番組のダビング(移動)はできません。ダビング(移動)するには保護を解除してください。 	P.124

困ったときは(つづき)

	このようなときは…	ここをお調べください	参照ページ
カセットHDD	カセットHDDを使用できない。	<ul style="list-style-type: none"> カセットHDDが正しく接続されていますか。 ➡ 正しく接続してください。 	P.147➡
	カセットHDDの番組が消えてしまった。	<ul style="list-style-type: none"> カセットHDDを使用中に、雷などの瞬間的な停電、ブレーカーを落とすなどで電源が切れませんでしたか。 ➡ このようとき、記録されていた番組が消える場合があります。番組がすべて消えた場合や、カセットHDDが動作しない場合は、カセットHDDを初期化してください。 	P.195➡
	カセットHDDに予約録画した番組が、HDDに録画されていた。	<ul style="list-style-type: none"> カセットHDDが正しく接続されていますか。 ➡ カセットHDDを正しく接続しているかご確認ください。 カセットHDDへ予約録画中に停電があったとき、停電復帰後の予約録画の続きはHDDへ代理録画します。 	P.92➡
リンク制御機能	「リンク制御」機能がはたらかない。	<ul style="list-style-type: none"> 「リンク制御」機能は、本機とHDMI-CECに対応したAVアンプやレコーダーなどを組み合わせて、必要な接続(HDMI接続)と設定を行っている場合のみ使えます。 「リンク制御」機能が有効な状態で、AVアンプやレコーダーの電源プラグやHDMIケーブルを抜いた場合は、「リンク制御」機能が無効となります。 ➡ 電源プラグやHDMIケーブルを接続後、AVアンプやレコーダーの入力切替を本機の入力に切り換える、または「接続機器設定」から「リンク制御」の設定を一度「切」変更して決定したあともう一度設定を「入」に変更して決定すると、再び「リンク制御」機能が有効になります。 	P.163➡ —
その他	何も操作していないのに、本機の内部で音がする。本機の動作音が大きくなる。	<ul style="list-style-type: none"> 番組データの受信中やダウンロード更新中は、動作音がすることがあります。 	—




テレビ画面に表示されるメッセージ

本機では、お知らせで送られてくる情報とは別に、状況に合わせて画面中央に「メッセージ」が表示されます。代表的なメッセージと意味については下記の通りです。

メッセージの内容は、実際に画面に表示される文言とは一部異なる場合があります。

	表示されるメッセージ (例)	メッセージの意味と対応のしかた	ページ
—	miniB-CASカードを正しく挿入してください。	・miniB-CASカードが挿入されていません。miniB-CASカードを正しく挿入してください。miniB-CASカードの抜き挿しは必ず電源プラグを抜いてから行ってください。	P.27▶
E204	このチャンネルは存在しません。	・チャンネル3桁入力選局で、放送されていないチャンネルが入力されています。	P.42▶
—	地上デジタル放送を受信するためには「ホーム」▶「設定／お知らせ」▶「放送受信設定」▶「かんたんセットアップ」でチャンネルスキャンを行ってください。	・地上デジタル放送を受信するために、「放送受信設定」で、「かんたんセットアップ」を行ってください。	P.175▶
E202	放送を受信できません。	・地上デジタル放送の「地上デジタル設定」で、「再スキャン」を行ってください。 ・受信レベルが低くて受信できません。アンテナの向きや接続を確認してください。また、放送されていないチャンネルを選局しているため受信できません。	P.176▶ P.180▶
—	悪天候などにより、降雨対応放送に切り換えました。	・雨の影響により、衛星からの電波が弱くなったため、引き続き放送を受信できる降雨対応放送に切り換えました。画質、音質が少し悪くなります。また、番組表示ができない場合もあります。	P.223▶
—	この番組をご覧いただくには、契約・登録などを済ませていただく必要があります。ご案内チャンネルに切り換えますか？	・未契約の有料番組を選んでいるか、未契約の映像・音声の信号を選んでいます。	P.206▶
—	このデータ放送は対象地域外のため、ご覧になれません。	・データ放送が地域制限などによって視聴できない場合があります。	—
—	このminiB-CASカードは使用できません。カスタマーセンターへご連絡ください。	・使用できないカードが挿入されています。miniB-CASカードの抜き挿しは必ず電源プラグを抜いてから行ってください。	P.27▶
—	このminiB-CASカードは使用できません。正しいminiB-CASカードを挿入してください。	・カードが故障しているか、間違ったカードを挿入しています。miniB-CASカードの抜き挿しは必ず電源プラグを抜いてから行ってください。	P.27▶
E200	放送チャンネルではないため、視聴できません。	・選局したチャンネルが非放送番組です。	—
—	このチャンネルは現在放送されていません。	・選局したチャンネルが放送休止中です。	—
E210	この受信機では、このチャンネルは選局できません。	・本機では選局できないチャンネルです。	—
—	データ放送を受信できません。別のチャンネルを選局した後に再度ご覧のチャンネルを選局してください。	・データ放送のデータが受信できません。一旦、現在ご覧のチャンネルとは異なるチャンネルを選局後、しばらくたつてからエラーが起こったチャンネルに戻りデータ放送を再表示してください。	—
—	データの表示ができませんでした。別のチャンネルを選局した後に再度ご覧のチャンネルを選局してください。	・データ放送のデータが受信できません。一旦、現在ご覧のチャンネルとは異なるチャンネルを選局後、しばらくたつてからエラーが起こったチャンネルに戻りデータ放送を再表示してください。	—

テレビ画面に表示されるメッセージ(つづき)

	表示されるメッセージ (例)	メッセージの意味と対応のしかた	ページ
操作全般		・現在、その操作を行うことは禁止されています。	-
	ダビング中にこの操作はできません。	・現在ダビング中のため、その操作を行うことは禁止されています。	P.196▶
	まもなく、カセットHDDへの予約録画を開始します。 カセットHDDへ録画できない場合は、録画先をHDDに変更します。	・録画可能なカセットHDDが接続されていません。	P.147▶
メール	ホームメニューの「設定/お知らせ」からメールを確認してください。	・新着のお知らせメールがあります。 ▶  ▶ 「設定/お知らせ」▶ 「お知らせメール」からメールの内容を確認してください。	P.60▶
録画	録画、またはダビングが禁止された番組です。	・「録画禁止」番組を録画しようとしています。(「録画禁止」番組は録画できません。)	P.63▶
	録画容量不足により、録画を中止しました。	・HDDやカセットHDDの残量がなくなったため、録画を中断しました。	-
	録画時間が15時間を超えたため、録画を停止しました。	・HDD/カセットHDDへの連続録画時間が15時間になったため、録画を停止しました。	-
		・HDD/カセットHDDへの1番組あたりの連続録画可能時間は最大15時間です。	-
予約	HDDの録画容量が不足しています。 録画開始時に容量が確保されていない場合は、最後まで録画できません。	・HDD/カセットHDDの残量が不足しています。 ▶  を押してメッセージを消したあと、録画するメディアの残量を確認してください。	P.49▶
	カセットHDDの録画容量が不足しています。 録画開始時に容量が確保されていない場合は、HDDに空き容量があればそちらに代理録画されます。		
	予約登録数がいっぱいなので予約登録できません。	・予約登録数が上限の200に達したので、不要な予約を削除してください。	P.90▶
	番組情報が変更されました。	・予約済み番組の情報が更新されたため、予約内容を更新しました。	-

	表示されるメッセージ（例）	メッセージの意味と対応のしかた	ページ
削除・編集・ダビング	この番組は保護されているため、ダビングできません。	<ul style="list-style-type: none"> 「移動」になる番組が保護されているときは、ダビングができません。 ➡ 番組の保護を解除してください。 	P.124➡
	この番組はすでに登録しているため、選択できません。	<ul style="list-style-type: none"> 「移動」になる番組、またはダビング10番組は、ダビングリストに一度しか登録できません。 	—
	最大登録数を超えるため、選択できません。	<ul style="list-style-type: none"> ダビングリストの登録番組数がいっぱいになっています。 	P.132➡
		<ul style="list-style-type: none"> ダビングリストに登録できる番組数は最大36番組です。 	—
	15時間を超える番組はダビングできません。	<ul style="list-style-type: none"> ダビング先がHDD／カセットHDDのときに、15時間を超える番組は、ダビングできません。 	—
	番組数が上限を超えています。ダビングする番組を減らしてください。	<ul style="list-style-type: none"> ダビング先の番組総数が、限界を超えます。 ➡ 現在のダビング先にダビングする場合は、ダビングする番組を減らしてください。 	P.132➡

お手入れのしかた

お手入れの前に、必ず電源プラグを抜いてください。

液晶パネル

液晶画面には、映り込みを抑えたり、映像を見やすくしたりするために特殊な表面処理を施しています。誤ったお手入れをした場合は、画面を損傷する原因にもなりますので次のことを必ずお守りください。

- 表面は、脱脂綿か柔らかい布で軽く拭きとってください。また、きれいな布を使用されるとともに、同じ布の繰り返し使用は避けください。ホコリのついた布・化学ぞうきんで表面をこすると液晶パネルの表面が剥がれることがあります。
- 画面の清掃には、水、イソプロピルアルコール、ヘキサンをご使用ください。研磨剤が入った洗剤は、表面を傷つけるので使用しないでください。アセトンなどのケトン系、エチルアルコール、トルエン、エチル酸、塩化メチルは、画面に永久的な損傷を起こす可能性がありますので、クリーナーの成分には十分ご注意ください。酸やアルカリもお避けください。
- 水滴や溶剤などがかかった場合はすぐに拭きとってください。そのままにすると液晶パネルの変質、変色の原因になります。
- 清掃目的以外（静電気防止など）でも画面に溶剤などを使用されますと画面の光沢ムラなどになることがあります。ムラなどになった場合は、水ですぐに拭き取ってください。
*表面は傷つきやすいので硬いもので押したり、こすったり、叩いたりしないように、取り扱いは十分ご注意ください。画面についたキズは修理できません。
*手指で触れる、などにより表面が汚れることのないように十分ご注意ください。

キャビネット

キャビネットの表面はプラスチックが多く使われています。ベンジンやシンナーなどでふくと変質する原因になります。（化学ぞうきんご使用の際はその注意書に従ってください）



- 柔らかい布で軽くふきとってください。特にパネルのまわりは傷つきやすいので、メガネふきなどの柔らかい布でふきとってください。
- 汚れがひどいときは水で薄めた中性洗剤に浸した布をよく絞りふいてください。
- 水滴などが液晶パネルの表面を伝ってテレビ内部に入ると故障の原因になります。

電源プラグ

- ほこりなどは定期的にとってください。電源プラグにほこりがついていたり、コンセントの挿し込みが不完全になっていたりする場合は、火災の原因になります。

内部



掃除は、販売店に依頼してください。

- 1年に一度くらいを目安にしてください。内部にほこりがたまったまま使うと、火災や故障の原因になります。とくに梅雨期の前に行うのが効果的です。





アイコン一覧

画面に表示されるアイコンについて


▷メディアの種類

	HDD
	カセットHDD

▷その他

	読み込み中	メディアの読み込み中
	TT	番組
	CHP	チャプター
		再生時間(タイム)

ご注意

- 画面に  が表示されるときは、現在その操作を行うことができません。

▷主な動作

●	録画
しばらくお待ちください ○	番組の編集処理中など
□	停止
レジューム	つづき再生の停止 (レジューム停止)
▷	再生
▢▢	再生一時停止
▷ × 1.3	早見早聞再生 (音声付き約 1.3 倍速再生)
▷ × 0.8	ゆっくり再生 (音声付き約 0.8 倍速再生)
▷▷、◀◀	早送り、早戻し
▷▷、◀◀	スロー、逆スロー再生
▷▷、◀◀	正方向、逆方向のスキップ
↺、↻	30秒スキップ、 10秒バック
⇒ 1/10、⇄ 1/10	1/10スキップ、 リピレイ
カセットHDD ⇒ HDD	ダビング 例：カセットHDDから HDDへダビングするとき

数字・アルファベット順

ARC(オーディオリターンチャンネル)

テレビとAVアンプをHDMIケーブル1本で接続して、映像と音声のテレビへの入力とデジタル音声のテレビからの出力が可能です。光デジタルケーブルが不要になります。テレビもAVアンプもARCに対応している必要があります。

CATVパススルー対応

CATV(ケーブルテレビ)で地上デジタル放送を伝送する方式のうちには、UHF以外の周波数帯域に変換して伝送する方式があります。これを周波数変換パススルー方式と呼びます。この方式での地上デジタル放送を受信するためには「CATVパススルー対応」の受信機が必要です。

DHCP機能

Dynamic Host Configuration Protocolの略で、ネットワークに接続する際に、機器にIPアドレスなどの必要な情報を自動的に割り当てる仕組みのことです。

DNS

Domain Name Systemの略で、インターネットで通信を行うコンピュータにアクセスしやすくするため、ネットワークやコンピュータにドメインネーム(ドメイン名)と呼ばれる名前を付けて管理するシステムです。

GB(ギガバイト)

HDD/カセットHDDの容量を表す単位で、数値が大きいほど最大録画時間が長くなります。

HDD(ハードディスクドライブ)

パソコンや家庭用ディスクレコーダーなどで使われている大容量データ記録装置の1つです。大量のデータの読み書きを高速で行うことができ、記録されているデータの検索性にすぐれています。本機は、このHDDを内蔵しています。(お客様ご自身でHDDを交換できません。)

HD放送(ハイビジョン画質)

高精細度テレビジョン放送のことで、走査線数(画面を構成する絵素の輝度または色の数)を増やし、かつワイドアスペクト比(16:9)を採用することにより、鮮明な映像を実現したテレビジョン放送です。

HDMI

High Definition Multimedia Interfaceの略で、ブルーレイディスクレコーダーやDVDレコーダーなどのデジタル機器と接続できるデジタルAVインターフェースです。

映像信号と音声信号を1本のケーブルで接続でき、非圧縮のデジタル音声・映像信号を伝送できます。

HDMI-CEC

HDMI-CEC(Consumer Electronics Control)は、HDMIケーブルで接続することにより、対応機器間の相互連動動作を可能にした業界標準規格です。

IPアドレス

ネットワーク上の機器を識別するために指定する番号のことです。

JPEG(ジエイペグ)

Joint Photographic Experts Groupの略で、静止画像データの圧縮方式の1つです。

ファイル容量を小さくでき、画質の低下が少ないため、デジタルカメラの保存方式などで広く使われています。

LAN(ラン)

ローカルエリアネットワークのことで、ケーブルや無線などを使って、同じ建物の中にあるネットワーク機器同士を接続し、データをやり取りするネットワークのことです。

MPEG(エムペグ)

MPEGはMoving Picture Experts Groupの略で、動画音声圧縮方式の国際標準です。MPEG-2は、DVDの記録などに使われる方式です。MPEG-4 AVC/H.264は、ハイビジョン画質の映像の記録などに使われる方式です。

PINコード(ピンコード)

Personal Identification Numberの略で、個人の識別や認証に用いられる番号のことです。

SSID

Service Set Identifierの略で、無線LANルーターと接続するためのアクセスポイントを識別するためのIDのことです。

USB機器

主に本機のUSB端子に接続されたUSBメモリーを指します。動画の再生や、JPEGファイルの再生も可能です。

USBハブ

USB機器を複数接続するためのハブのことでUSBハブを使うとUSBポートを増やすことができます。

あ

アッテネータ

信号を弱くする装置(減衰器)のことです。設定を「入」にすると強すぎる信号レベルが適正なレベルになり、信号品質が良くなる場合があります。

アンテナレベル

地上/BS・110度CSデジタル放送の放送電波の受信強度をあらわしたもので、一定レベル以上の電波が受信できれば視聴が可能になります。

お知らせメール


本機や放送局から送られてくるメールや、110度CSデジタル放送に関する情報や案内が記載されたボード(掲示板)のことです。

か

画面表示

視聴中や再生中の番組情報や、再生中や録画中などの本機が動作している状態が表示されます。

かんたんセットアップ

 ⇒「設定/お知らせ」⇒「放送受信設定」⇒「かんたんセットアップ」で、以下の設定をやり直すことができます。
チャンネル設定/ネットワーク設定/その他設定

機能設定

映像や音声、接続および本機を活用するためのいろいろな各種設定・変更ができます。

高速起動

電源「入」時に本機が使用できるまでの時間を短縮します。

降雨対応放送

衛星放送では、雨の影響で電波が弱くなったとき急激に画質が劣化することがあります。BSデジタル放送では、最低限必要な情報は電波が弱くなくても受信できるようなデータを送ることができます。降雨対応放送が行われている場合は、電波が弱くなると引き続き受信できるように降雨対応放送へ自動的に切り換わります。降雨対応放送では少し画質、音質が悪くなり、番組情報などのデータも表示されない場合もあります。

コピーワンス番組(1回だけ録画可能番組)

地上/BS・110度CSデジタル放送の番組は、何度コピーしても画質が落ちないため、著作権保護・違法コピー防止のため、放送局側が録画回数を制限して放送できるようになっており、1回だけ録画することが許可されている番組のことをコピーワンス番組といいます。

さ

サブネットマスク

IPアドレスのうちネットワークアドレスとホストアドレスを識別するための数値のことで、同じLAN(同じネットワーク)にいる相手なのかどうかを判断するために利用されます。

視聴制限

デジタル放送で設定された視聴を制限するための機能です。レベルの強弱によって、暴力シーンなどを子供に見せないように設定できます。

スライドショー

選択した一連の画像(写真)を順次表示する動作のことです。

双方向通信サービス、通信

視聴者が自宅にいながら、クイズ番組への参加、アンケートの回答、買い物などをすることができます。利用するためにはネットワークの接続と設定が必要です。

た

ダウンロード

ソフトウェアなどを、サーバーからネットワークなどを使って機器に転送することです。

ダビング10番組(コピー9回+移動1回番組)

2008年7月から運用が開始された、著作権保護・違法コピー防止のため、10回までダビングすることが許可されているデジタル放送の番組のことです。

チューナー

放送電波を受信する装置のことです。

本機には地上デジタル用と衛星放送用の2種類が搭載されています。

データ放送

お客様が見たい情報を選んで画面に表示させることなどができます。例えば、お客様がお住まいの地域の天気予報をいつでも好きなときに表示させることができます。また、テレビ放送や、ラジオ放送に連動したデータ放送もあります。

その他に、ネットワークを使用して視聴者参加番組、ショッピング、チケット購入などの双方向(インタラクティブ)サービスなどがあります。

デジタルハイビジョン

デジタル放送のハイビジョン画質のテレビ放送です。
有効走査線数1080本です。

デフォルトゲートウェイ

LANなどの内部のネットワークから、外部にあるネットワークに通信を行うときに、出入り口の役割を果たすためのネットワーク設定のことです。

同軸ケーブル

電気信号を転送するための電線の一種です。テレビのアンテナ用ケーブルによく用いられます。

独立データ放送

番組の内容と関係なく、ニュースや天気予報、株価といった情報を視聴することができる放送サービスののことです。

は

ハイビジョン画質、HD(エイチディー)放送

HDはHigh Definitionの略で、ハイビジョン画質のデジタルテレビ放送です。有効走査線数は720本または1080本です。

SD放送(Standard Definition)と呼ばれる標準画質よりも、高画質・高音質な映像・音声を楽しめます。

番組表

放送を予定している番組を、各放送局と放送時間に分けて表形式でまとめている一覧です。個々の番組を選ぶと、詳細情報を見たり、録画を予約したりすることができます。

ファイル

お持ちのビデオカメラで撮影した動画やデジタルスチルカメラで撮影したJPEGファイルなどの総称です。

ブロードバンド

高速通信ができるインターネット接続サービスのことをいいます。

プロキシ

プロキシとは「代理」という意味があり、プロバイダーから指示があるときは、プロキシを設定する必要があります。

分波器

アンテナ線からの信号を地上デジタルとBS・110度CSデジタル信号に分ける機器のことです。

放送受信設定

地上デジタル放送のチャンネルやアンテナなど、お住まいの地域に合わせて設定する機能を指します。

放送の種類

地上デジタル放送は、地上にあるデジタル方式の無線局から放送信号を受信するテレビ放送のことです。BS放送のBSとは、Broadcast Satelliteの略で、放送衛星を用いたテレビ放送のことです。また、110度CSデジタル放送のCSとは、Communication Satelliteの略で、通信衛星を用いたテレビ放送のことです。BS、CSいずれの放送信号も、東経110度にある衛星のアンテナから受信しています。

ホームメニュー

本機の主たる機能を一覧で表示させるメニュー画面のことです。

ホームネットワーク

家庭内にある家電・モバイル・パソコンなどを相互につないだネットワークのことです。

ま

マルチ番組(マルチビュー)

1チャンネルで主番組、副番組の複数映像が送られる放送です。例えば、野球放送の場合は、主番組は通常の野球放送、副番組でそれぞれのチームをメインにした野球放送が行われます。

無操作電源オフ

電源「入」状態で本機を使わないとき、節電のために自動的に電源を切るかどうかの設定が行えます。

メッセージ

本機で処理された結果や注意を促したい場合に、それらの情報を画面に表示します。また、システムにエラーが発生した場合は、エラーメッセージが画面に表示されます。

文字スーパー

設定された言語(日本語または英語)で表示される文字情報のことです。ニュース速報や気象警報発令時などでは強制的に表示される場合もあります。

文字入力

番組名の変更や番組検索、通信設定などに使用します。

や

有料放送事業者

別途料金がかかる放送事業者のことです。WOWOWやスカパー！などがあります。

ら

ラジオ放送

BSデジタル放送および110度CSデジタル放送で行われているラジオ放送のことです。番組によって音楽用CD並みの高音質なラジオ放送を楽しむことができます。

リモコン

本機と離れた場所から、遠隔で操作・制御できる小型の操作盤(ユニット)を指します。

録画

放送中の番組を記録することを指します。

無線LANを使う際のお願い

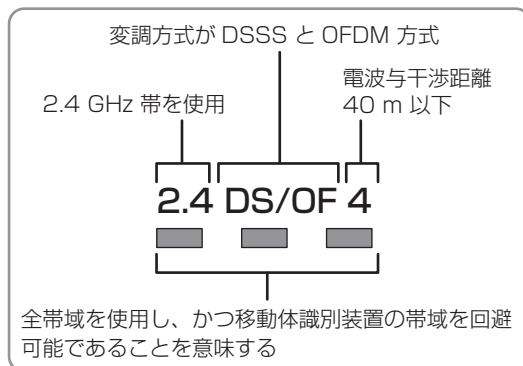
- 本機は、日本の電波法に基づく無線設備（無線LAN）を内蔵しています。
- 本機に搭載されている無線LAN設備は、日本国内専用です。海外で使用することはできません。
- 本機の無線LANが使用する周波数帯は2.4GHz帯と5GHz帯ですが、他の無線機器も同じ周波数を使用している場合があります。本機の内蔵無線LANをお使いになる際は、他の無線機器との間で電波干渉が発生しないように、以下の注意事項に留意してご使用ください。

本機の無線LANが使用する周波数帯では、電子レンジなどの産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）並びにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。

無線LANを使用する場合は、以下をお読みください。

1. 本機を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局並びにアマチュア無線局が運用されていないことをご確認ください。
 2. 万一、本機から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合は、すみやかに無線LANの使用を停止し、下記連絡先にご連絡いただき、混信回避のための処置など（例えば、パーティションの設置など）についてご相談ください。
 3. その他、本機から移動体識別用の特定小電力無線局あるいは、アマチュア無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、「商品情報やお取り扱いについての相談窓口」へお問い合わせください。P.230
- 5GHz帯の電波を使用して、屋外で通信しないでください。5GHz帯の無線設備を屋外で使用することは、法令により禁止されています。屋外で本機の無線LANを使用する場合は、5GHz帯を使用せずに2.4GHz帯をご使用ください。

- 本機背面の定格銘板に記載されている周波数表示は、以下の内容を示しています。



- 本機の無線LANは、以下の規格にも対応しています。ご使用になる無線LANアクセスポイントも、この規格に対応した製品をお使いください。

IEEE802.11b/g/n

IEEE802.11a/n/ac

~~J52~~ **W52 W53 W56**

規格	チャンネル	周波数帯 (中心周波数帯)
IEEE802.11 b/g/n	1 ~ 13	2.412 ~ 2.472GHz
IEEE802.11 a/n/ac	W52	5.18 ~ 5.24GHz
	W53	5.26 ~ 5.32GHz
	W56	100,104,108,112,116,120,124,128,132,136,140 5.50 ~ 5.70GHz

※ 本機は従来の無線規格であるJ52には対応していません。

- 無線LANの性能や環境条件による影響など。
 - 無線LANのデータ転送速度は、通信距離・障害物などの環境条件、電子レンジなどの電波環境要素、ネットワークの使用状況などに影響されます。
 - 本機はIEEE802.11a/b/g/n/acの規格に準拠していますが、すべての無線LAN機器との接続や通信を保証するものではありません。
 - 2.4GHz帯の機器（電子レンジなど）をお使いの場合は、無線LANの通信が途切れることがあります。
 - 5GHz帯に対応した無線LANルーター（アクセスポイント）をお使いの場合は、5GHz帯でのご使用をおすすめします。

無線LAN製品ご使用におけるセキュリティに関するご注意

- 無線LANでは、LANケーブルを使用する代わりに、電波を利用してパソコンなどと無線LANアクセスポイント間で情報のやり取りを行うため、電波の届く範囲であれば自由にLAN接続が可能であるという利点があります。その反面、電波はある範囲内であれば障害物(壁など)を超えてすべての場所に届くため、セキュリティに関する設定を行っていない場合は、以下のような問題が発生する可能性があります。

通信内容を盗み見られる

- 悪意ある第三者が、電波を故意に傍受し、メールなどの通信内容からIDや暗証番号またはクレジットカード番号などの個人情報を盗み見る可能性があります。

不正に侵入される

- 悪意ある第三者が、無断で個人や会社内のネットワークへアクセスし、個人情報や機密情報を取り出す(情報漏えい)、特定の人物になりすまして通信し、不正な情報を流す(なりすまし)、傍受した通信内容を書き換えて発信する(改ざん)、コンピュータウイルスなどを流しデータやシステムを破壊する(破壊)などの行為をされてしまう可能性があります。

- 本来、無線LAN製品はセキュリティに関する仕組みを持っていますので、その設定を行って製品を使用することで上記問題が発生する可能性は少なくなります。セキュリティの設定を行わないで使用した場合の問題を十分理解したうえで、お客様自身が判断と責任においてセキュリティに関する設定を行い、製品を使用することをおすすめします。

▷ 本機は日本国内専用です

- 本機を使用できるのは日本国内だけです。
This TV is designed for use in Japan only.

▷ 取扱いに関すること

- 引っ越しなど、遠くへ運ぶときは、傷がつかないように毛布などでくるんでください。また、衝撃や振動を与えないでください。
- 殺虫剤や揮発性のものをかけないでください。また、ゴムやビニール製品などを長時間接触させないでください。変色したり、塗装がはがれたりする原因となります。
- たばこの煙や煙を出すタイプの殺虫剤、ほこりなどが機器内部に入ると故障の原因となります。
- 長時間ご使用になっていると上面や背面が多少熱くなりますが、故障ではありません。
- 本機は精密電子機器です。長くご愛用いただくためにできるだけ丁寧に取り扱いください。

▷ 使用しないときは






- ふだん使用しないとき電源を切ってください。
- 長期間使用しないとき電源プラグを抜いてください。

▷ 置き場所に関すること

- 本機は水平で安定した場所に設置してください。ぐらぐらする机や傾いているところなど不安定な場所で使わないでください。本機を設置する場所は、本機の重さが十分に耐えられることを確認してください。また本機が転倒や落下した場合に、けがの原因となるため、高い場所への設置はしないでください。
- 本機を他のテレビやラジオなどの近くに置く場合は、本機を使用中、組み合わせによっては画像や音声に悪い影響を与えることがあります。万一、このような症状が発生した場合は、他のテレビやラジオなどからできるだけ離してください。
- 直射日光のあたる場所、熱器具の近くなど温度が高くなる場所や、熱源になるような機器の上には置かないでください。故障の原因となります。

著作権などについて

▷商標・登録商標について

- TiVo、Gガイド、G-GUIDE、およびGガイドロゴは、米国TiVo Corporationおよび／またはその関連会社の日本国内における商標または登録商標です。Gガイドは、米国TiVo Corporationおよび／またはその関連会社のライセンスに基づいて生産しております。米国TiVo Corporationおよびその関連会社は、Gガイドが供給する放送番組内容および番組スケジュール情報の精度に関しては、いかなる責任も負いません。また、Gガイドに関連する情報・機器・サービスの提供または使用に関わるいかなる損害、損失に対しても責任を負いません。
- HDMI、High-Definition Multimedia Interface、およびHDMIロゴは、米国およびその他の国におけるHDMI Licensing Administrator, Inc.の商標または登録商標です。
- マーク、および「acTVila」、「アクトビラ」は(株)アクトビラの商標です。
- 「TSUTAYA TV」「」は、カルチュア・コンビニエンス・クラブ株式会社の登録商標です。
- 本製品に搭載されている「UD新ゴR」、「UD新丸ゴR」は、株式会社モリサワより提供を受けており、フォントデータの著作権は同社に帰属します。
- ACCESS、ACCESS 、NetFront、NetFront は日本国、米国及びその他の国における株式会社ACCESSの登録商標または商標です。© 2017 ACCESS CO., LTD. All rights reserved.

ACCESS™ NetFront®

- ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。Dolby、ドルビー、Dolby Audio およびダブルD 記号は、ドルビーラボラトリーズの商標です。

 **DOLBY AUDIO™**

- Sonic Emotion and  **sonic emotion** are registered trademarks of sonic emotion ag.

dTV

- 「dTV」は、株式会社NTTドコモの商標です。

U-NEXT

- 「U-NEXT」とU-NEXTロゴは株式会社U-NEXTの商標または登録商標です。

なお、各社の商標および製品商標に対しては特に注記のない場合でも、これを十分尊重いたします。

著作権などについて(つづき)

▷ソフトウェアについて

本製品に組み込まれたソフトウェアは、複数のソフトウェアコンポーネントで構成されています。それぞれ当社または第三者の著作権が存在します。

- 本製品は、FreeType を使用しています。

Portions of this software are copyright (C) 1996-2000 The FreeType Project (www.freetype.org). All rights reserved.

- 本製品は、OpenSSL を使用しています。

OpenSSL License

This product includes software developed by the OpenSSL Project for use in the OpenSSL Toolkit. (<http://www.openssl.org/>)

Original SSLeay License

This product includes cryptographic software written by Eric Young (eay@cryptsoft.com)

- 本製品は、ntpddate を使用しています。

Copyright (C) University of Delaware 1992-2009

Permission to use, copy, modify, and distribute this software and its documentation for any purpose with or without fee is hereby granted, provided that the above copyright notice appears in all copies and that both the copyright notice and this permission notice appear in supporting documentation, and that the name University of Delaware not be used in advertising or publicity pertaining to distribution of the software without specific, written prior permission. The University of Delaware makes no representations about the suitability this software for any purpose. It is provided "as is" without express or implied warranty.

- 本製品は、libxml2 を使用しています。

libxml2 is free software available under the MIT License.

The MIT License

Copyright (C) 1998-2003 Daniel Veillard. All Right Reserved.


Permission is hereby granted, free of charge, to any person obtaining a copy of this software and associated documentation files (the "Software"), to deal in the Software without restriction, including without limitation the rights to use, copy, modify, merge, publish, distribute, sublicense, and/or sell copies of the Software, and to permit persons to whom the Software is furnished to do so, subject to the following conditions: The above copyright notice and this permission notice shall be included in all copies or substantial portions of the Software.

THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS", WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO THE WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT. IN NO EVENT SHALL THE AUTHORS OR COPYRIGHT HOLDERS BE LIABLE FOR ANY CLAIM, DAMAGES OR OTHER LIABILITY, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, TORT OR OTHERWISE, ARISING FROM, OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE SOFTWARE OR THE USE OR OTHER DEALINGS IN THE SOFTWARE.

- 本製品は、株式会社ACCESS のNetFront Browser NX、NetFront Browser DTV Profile BML Edition、NetFront DRM Client Marlin IPTV-ES Edition、NetFront Media Player を搭載しています。
- 本製品の一部分に、Independent JPEG Group が開発したモジュールが含まれています。

本製品には、以下のオープンソースのソフトウェアが搭載されています。

- 第三者の著作権が存在し、フリーソフトウェアとして配布されるソフトウェア
- GNU General Public License (以下、GPL) に基づき利用許諾されるソフトウェア
- GNU Lesser General Public License (以下、LGPL) に基づき利用許諾されるソフトウェア

本製品に組み込まれたGPLソフトウェアおよびLGPLソフトウェアについて、お客様にこれらのソフトウェアのソースコードの入手、改変、再配布の権利があることをお知らせいたします。当該ソースコードは現状有姿で提供され、当社は、当該ソースコードに関し、第三者の権利を侵害していないという保証、特定目的への適合性についての保証など、いかなる保証責任または担保責任も負いません。また、当該ソースコードに関して発生するいかなる問題も、お客様の責任と費用負担で解決されるものとします。詳細については、 **「設定／お知らせ」** **▶** **「本機の情報と更新」** **▶** **「ライセンス情報」** でご確認ください。

組み込まれたGPLおよびLGPLのオープンソースのソフトウェア・リストおよびソースコードの入手方法については、下記ホームページをご覧ください。

<http://www.hitachi-ls.co.jp/support/reference.html>

なお、オープンソースのソースコードの内容に関するお問い合わせはご遠慮ください。

当社または第三者が著作権を持つソフトウェアについては、ソースコードの配布対象ではありません。

保証とアフターサービス (必ずご覧ください)

修理を依頼される時は (出張修理)

P.207~209 ページに従って調べていただき、なお異常のあるときは、必ず電源プラグを抜いてから、お買い上げの販売店にご連絡ください。

保証書 (別添)

保証書は必ず「お買い上げ日・販売店名」などの記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みのあと、大切に保管してください。

尚、保証期間内でも次の場合には原則として有料修理にさせていただきます。

- (イ) 使用上の誤り、または改造や不当な修理による故障及び損傷。
- (ロ) お買い上げ後の取付場所の移動、落下、輸送等による故障及び損傷。
- (ハ) 火災、地震、風水害、落雷、その他天災地変、塩害、公害、ガス害(硫化ガスなど)や異常電圧、指定外の使用電源(電圧、周波数)による故障及び損傷。
- (ニ) 一般家庭用以外(例えば業務用等への長時間使用及び車両(車載用を除く)、船舶への搭載)に使用された場合の故障及び損傷。
- (ホ) 受信不能あるいは故障の原因が本機以外にある場合で改善を要するとき。

保証期間…お買い上げ日から1年です。

補修用 性能部品の 保有期間

テレビの補修用性能部品の保有期間は製造打切後8年です。ただし、部品保有期間内においても故障の状況その他の事情により部品の交換修理以外の対応とさせていただきます場合がございます。補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

ご不明な点や 修理に関する ご相談は

修理に関するご相談ならびにご不明な点は、お買い上げの販売店または最寄りの「ご相談窓口」にお問い合わせください。

部品について

修理の際、弊社の品質基準に適合した再利用部品を使用することがあります。

ご連絡していただきたい内容

品名	日立液晶テレビ
型式	本体 : L49-ZP5 L55-ZP5
	リモコン : C-H32
お買い上げ日	年 月 日
故障の状況	できるだけ具体的に
ご住所	付近の目印なども 合わせてお知らせください。
お名前	
電話番号	
訪問ご希望日	

保証期間中は

修理に際しましては保証書をご提示ください。保証書の規定に従って、修理させていただきます。

保証期間が過ぎているときは

修理して使用できる場合には、ご希望により有料で修理させていただきます。

修理料金のしくみ

修理料金=技術料+部品代+出張料などで構成されています。

技術料	診断、部品交換、調整、修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。技術者の人件費、技術教育費、測定機器などの設備費、一般管理費などが含まれます。
部品代	修理に使用した部品代金です。その他修理に付帯する部材などを含む場合もあります。
出張料	製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。別途、駐車料金をいただく場合があります。

ご購入店名、ご購入日を記入しておいでください。サービスを依頼されることに便利です。

ご購入店名	ご購入年月日
電話 ()	年 月 日

長年ご使用のテレビの点検をぜひ!

熱、湿気、ほこりなどの影響や、使用度合いにより部品が劣化し、故障したり、時には安全を損なって事故につながることもあります。

愛情点検



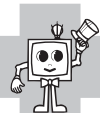
このような症状はありませんか

- 電源スイッチを入れても映像や音が出ない。
- 上下、または左右の映像が欠けて映る。
- 映像が時々、消えることがある。
- 変なにおいがしたり、煙が出たりする。
- 電源スイッチを切っても、映像や音が消えない。
- 内部に水や異物が入った。

ご使用中止

故障や事故防止のため、スイッチを切り、コンセントから電源プラグをはずし必ず販売店にご相談ください。

ちょっとした心づかいでテレビの安全



お客様ご相談窓口

日立家電品についてのご相談や修理はお買上げの販売店へ

なお、転居されたり、贈物でいただいたものの修理などで、ご不明な点は下記窓口にご相談ください。

ホームページに「よくあるご質問」について掲載しておりますので、ご活用ください。

<http://av.hitachi-ls.co.jp/qa/>

修理などアフターサービスに関するご相談の前に、「困ったときは」[P.207~216](#)をご覧ください。

商品情報やお取り扱いについての相談窓口	修理に関するご相談窓口
TEL 0120-3121-11 携帯電話・PHSから 050-3155-1111(有料) FAX 0120-3121-34 (受付時間) 9:00~17:30(月~土)、9:00~17:00(日・祝日) 年末年始は休ませていただきます。	TEL 0120-3121-68 携帯電話・PHSから 0570-0031-68(有料) FAX 0120-3121-87 (受付時間) 9:00~19:00(月~土)、9:00~17:30(日・祝日)

出張修理のご用命はインターネットからお申し込みいただけます。

URL <http://kadenfan.hitachi.co.jp/afterservice/repair.html>

または

「修理相談／受け付け」ページの ボタンより入力画面にお進みください。

(注) 対象製品をご確認のうえお申し込みください。

<対象製品>

テレビ、ビデオ / レコーダー、冷蔵庫、ルームエアコン、洗濯機、衣類乾燥機

食器洗い乾燥機、ポンプ、電子レンジ、クッキングヒーター

保証期間中は	修理に際しましては保証書をご提示ください。 保証書の規定に従って、修理させていただきます。
保証期間が過ぎているときは	修理して使用できる場合には、ご希望により有料で修理させていただきます。
保証期間	お買い上げ日から1年です。

- 「持込修理」および「部品購入」については、上記相談窓口にて、各地区のサービスセンターをご紹介させていただきます。
- 本窓口等で取得しましたお客様の個人情報、お客様のご相談及びサポート等への対応を目的として利用し、適切に管理します。
- ご相談、ご依頼いただいた内容によっては、弊社のグループ会社や協力会社にお客様の個人情報を提供し対応させていただくことがあります。
- 修理をご依頼いただいたお客様へ、アフターサービスに関するアンケートハガキを送付させていただきます。
- 上記窓口の内容は、予告なく変更させていただく場合がございます。
- 次のページに「お問い合わせ診断シート」があります。
お問い合わせの前にご確認ください。

仕様

仕様、および外観は改良のため予告なく変更することがあります。

型式		L49-ZP5	L55-ZP5
種類		液晶テレビ	
内蔵HDD		1TB	
電源		AC100 V 50 / 60 Hz	
消費電力		142 W	179 W
		待機時：0.4 W 「高速起動」を「入」に設定時：約32W ^{※1}	
年間消費電力量 ^{※2}		136 kWh / 年 【映像モード：スタンダード時 ^{※3} 】	147 kWh / 年 【映像モード：スタンダード時 ^{※3} 】
区分名 ^{※4}		DG2	DG2
受信機型サイズ		49V	55V
音声	実用最大出力 JEITA	10 W + 10 W (同時出力)	
	スピーカー	(9.8 cm × 3.0 cm + 2.5 cm) × 2	
アンテナ入力		UHF 1軸 75 Ω不平衡形	
BS・110度CS アンテナ入力		75 Ω不平衡形 (C15形) 兼コンバーター用電源 (DC15 V) 出力	
受信チャンネル		地上デジタル：000 ~ 999ch BSデジタル：000 ~ 999ch 110度CSデジタル：000 ~ 999ch	
表示画素数		3840 ドット × 2160 ライン	
有効表示領域		幅107.4 × 高さ60.4 / 対角123.2 cm	幅121.0 × 高さ68.0 / 対角138.8 cm
ヘッドホン出力端子		φ 3.5 ステレオミニジャック	
ビデオ入力端子		(映像) 1.0 V (p-p) 75 Ω (同期負極性) (音声) 150 mV (rms) ハイインピーダンス	
HDMI入力端子		3系統 3端子 ARC対応 (HDMI 1入力のみ)	
LAN端子		RJ-45 10BASE-T / 100BASE-TX / 1000BASE-T	
USB端子		USB2.0準拠 Type A DC 5 V (録画再生用) USB2.0準拠 Type A DC 5 V (USBメモリー用)	
デジタル音声 (光) 出力端子		1系統 1端子	
外形寸法	スタンドあり	幅110.3 × 高さ69.7 × 奥行25.2 cm	幅124.0 × 高さ77.5 × 奥行25.2 cm
	スタンドなし	幅110.3 × 高さ65.2 × 奥行9.7 cm	幅124.0 × 高さ73.0 × 奥行9.7 cm
質量	スタンドあり	17.5 kg	20.5 kg
	スタンドなし	16.5 kg	19.5 kg
キャビネット材質		前：アルミ、鉄 後：PS	
使用周囲温度		5℃ ~ 40℃	

リモコン	型式	C-H32
	電源	DC 3 V 単4形乾電池2本

- テレビのV型(55V型など)は、有効画面の対角寸法を基準とした大きさの目安です。
- このテレビは日本国内用です。電源電圧・放送規格の異なる外国ではお使いになれません。
また、アフターサービスもできません。
This television set is designed for use in Japan only and cannot be used in any other countries.
No servicing is available outside of Japan.
- 製品は、ご使用終了時に再資源化の一助として主なプラスチック部品に材質名を表示しています。

※1: 「高速起動」を「入」に設定した場合のみの消費電力となりますので、以下の動作をしているときは更に消費電力が増加します。

- ・ 本機で受信したデジタル放送をHDDやカセットHDDで録画しているとき
- ・ BS・110度CSアンテナへの電源供給を本機から行うために、「アンテナ電源」を「供給する」に設定しているとき

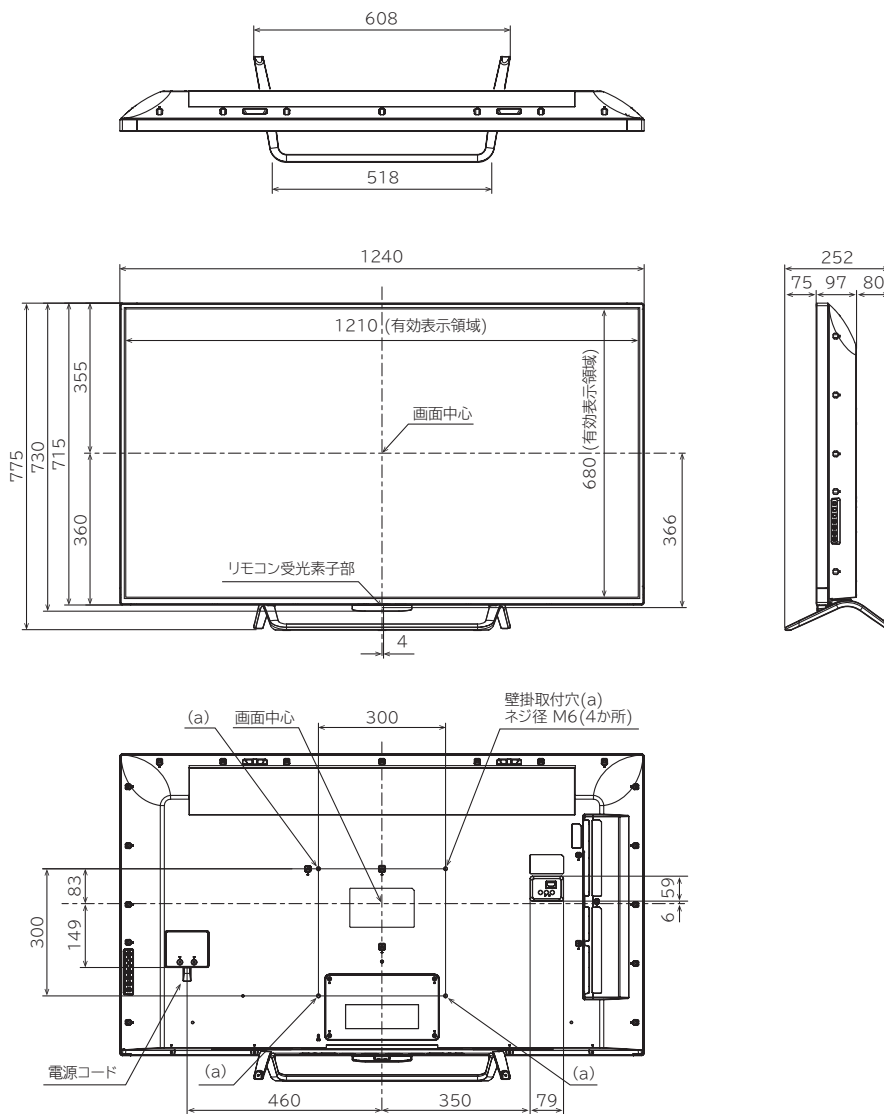
※2: 省エネ法に基づいて、型サイズや受信機の種類別の算定式により、一般家庭での平均視聴時間を基準に算出した、一年間に使用する電力量です。

※3: 一般的にご家庭でご使用される際のメーカー推奨の画質設定の一つです。

※4: 「エネルギーの使用の合理化に関する法律(省エネ法)」では、テレビに使用される表示素子、アスペクト比、画素数、受信可能な放送形態および付加機能の有無などに基づいた区分を行っています。「区分名」とは、その区分名称をいいます。

外形寸法について (L55-ZP5)

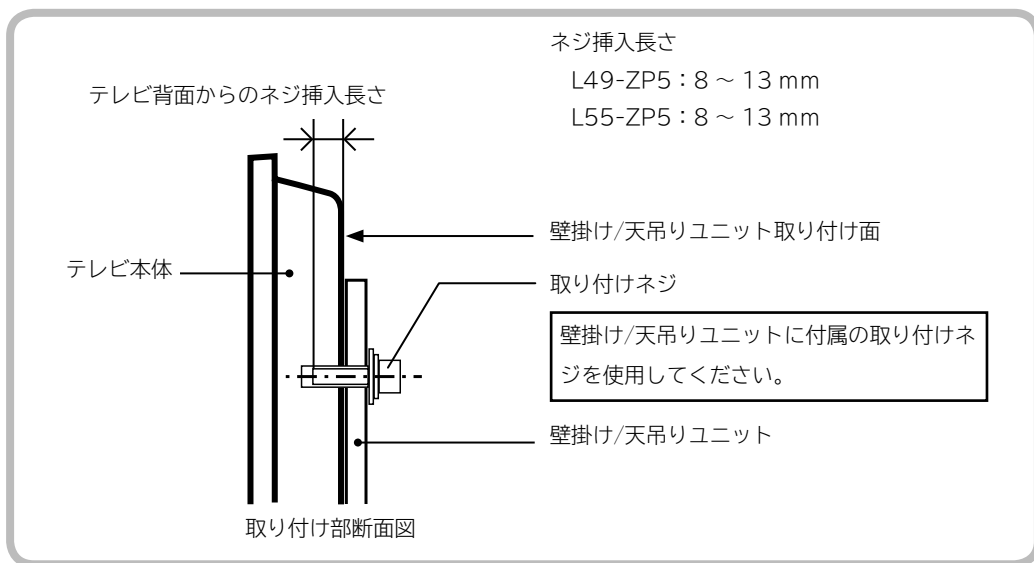
(単位：mm)



壁掛け／天吊りユニット取り付け時について

壁掛け/天吊りユニット取り付け時の注意

- 壁掛け/天吊りユニットを取り付ける際は、壁掛け/天吊りユニットに付属の取り付けネジを使用し、付属の取り付けネジ以外は使用しないでください。
- 壁掛け/天吊りユニット取り付け面からのネジ挿入長さは下図のように設定されています。
- 必ず設定範囲内の長さのネジを使用して取り付けてください。
- 天吊りユニットの場合は、寸法図を参考に天井強度が十分確保されている設置場所を決めてください。また、天吊りユニットの高さ調節位置や画面の前傾角度、左右角度も事前に設定してください。
- 壁掛け/天吊りユニットの取扱説明書をよくお読みになり、正しくご使用ください。



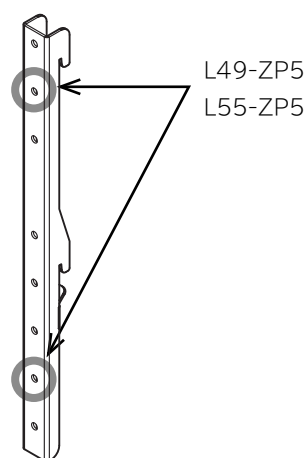
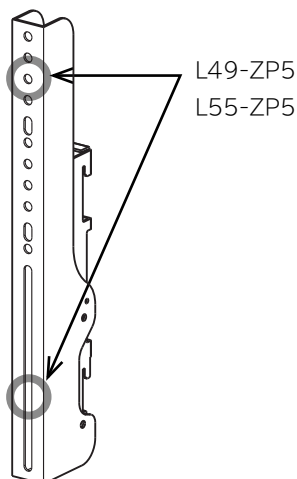
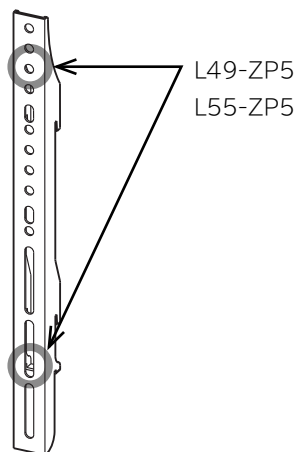
別売の壁掛け/天吊りユニットのテレビ取付金具のネジ取付穴位置と取り付けネジについて

- テレビ取付金具は下記の取付穴を使用してください。
- テレビ取付金具のネジはユニットに付属の M6 × 16mm ネジ (4本) を使用してください。
- 締め付けトルクは約 98N・cm (10kgf・cm) としてください。
- 壁掛け/天吊りユニットの取扱説明書をよくお読みになり、正しくご使用ください。

YH-MF3255 (固定型) (別売)

YH-MV3255 (角度可変型) (別売)

YH-MTB2 (天吊り型) (別売)



⚠ 注意

ネジの長さが短すぎるとテレビ本体の重さを維持することができず、落下してけがの原因となることがあります。また、長すぎるとネジを完全に締めることができません。

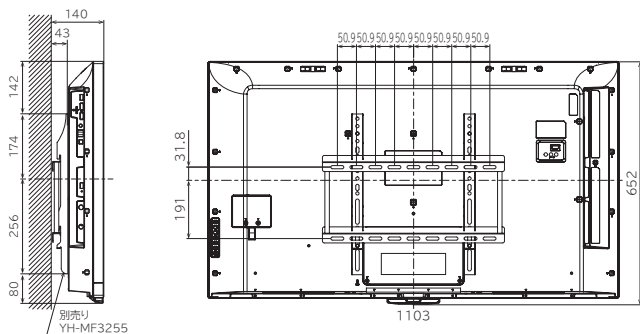
壁掛け / 天吊りユニット取り付け面からのネジの長さは非常に重要です。

壁掛け／天吊りユニット取り付け図 (L49-ZP5)

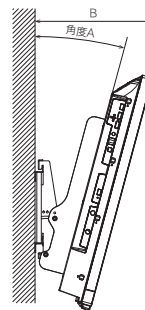
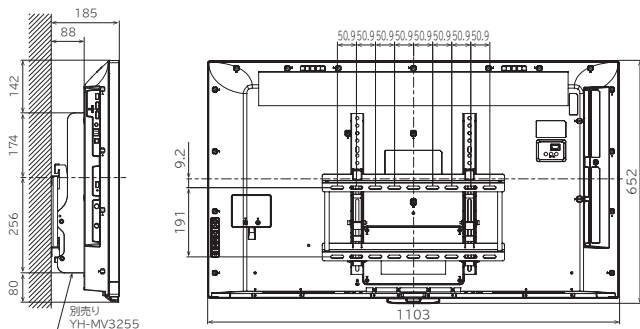
壁掛け/天吊りユニット(別売)取り付け時の寸法

(単位:mm)

YH-MF3255 (固定型)

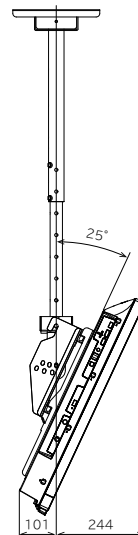
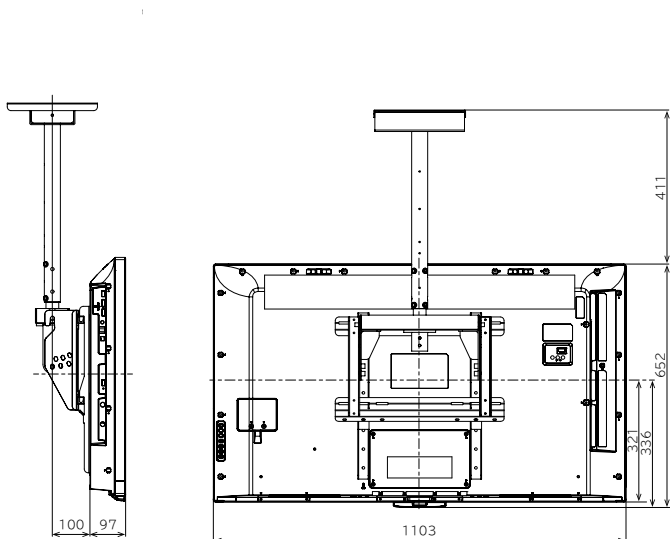


YH-MV3255 (角度可変型)



角度A(度)	寸法B(mm)
5	207
10	282
15	316

YH-MTB2(天吊り型)

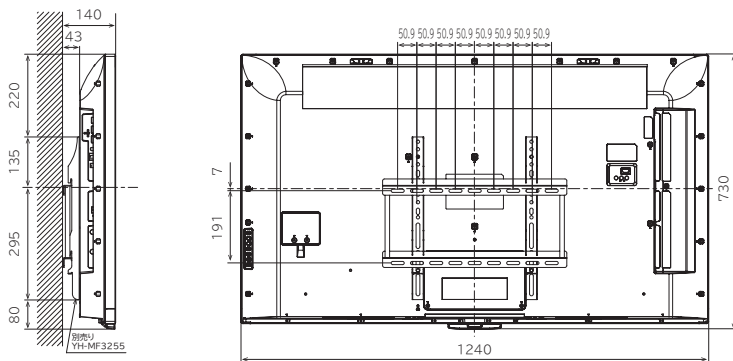


壁掛け／天吊りユニット取り付け図 (L55-ZP5)

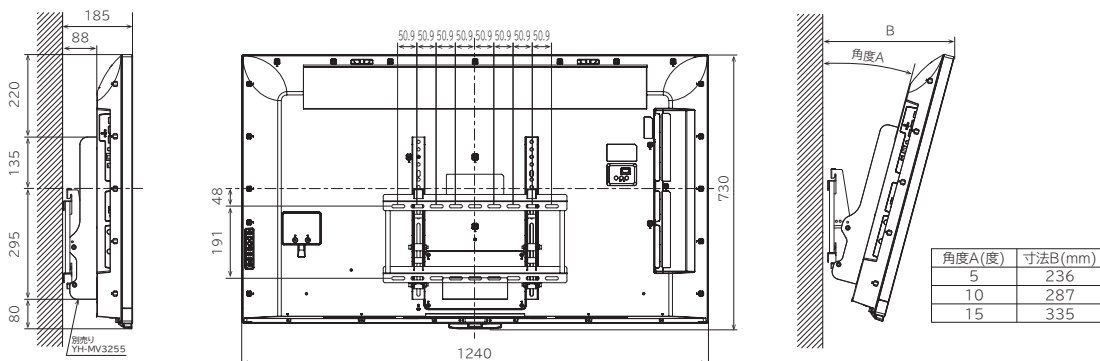
壁掛け/天吊りユニット(別売)取り付け時の寸法

(単位:mm)

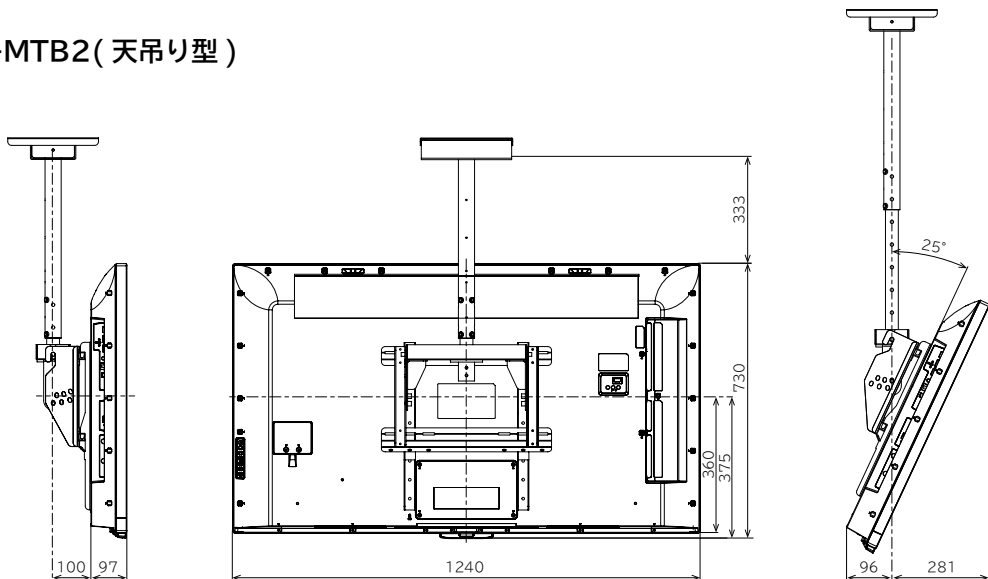
YH-MF3255 (固定型)



YH-MV3255 (角度可変型)



YH-MTB2(天吊り型)



索引

あ

アイコン 68, 221
 明るさセンサー 158
 明るさセンサー受光部 18
 アクセスポイント 165, 168 ~ 169
 暗証番号 43, 54, 99, 159 ~ 162
 アンテナ電源 181
 アンテナの接続 28 ~ 30
 アンテナレベル 180 ~ 181
 イコライザー 154
 一時停止 (録画の) 64, 91
 一時停止 (再生の) 96
 一時停止ボタン 20
 一発予約 70
 移動について 137
 イベントリレー録画 94
 色あい 151
 いろいろな速度の再生 107
 色温度 151
 色諧調レンジ 186
 色再現補正 151
 色詳細調整 151
 色の濃さ 151
 色ボタン 20
 映画、映画字幕 50
 映像切換 58
 映像モード 149
 閲覧制限 55
 追いかけて再生 110
 おかしいな?と思ったとき 209 ~ 216
 お知らせメール (メニュー) 61
 お好み再生 100 ~ 106
 お好み録画 79 ~ 85
 お問い合わせ診断シート 231
 お引越し (LAN) ダビング 133
 オフタイマー (ボタン) 21, 46
 音質設定の初期化 189
 音声 (言語) の切り換え (再生中の) 111
 音声切換 (ボタン) 20, 46
 音声出力設定 138
 音声出力端子 156
 音声設定 155, 156
 音声付きで早く (早見早聞) 107
 音声の録画について 200
 音声モード (ボタン) 20, 54
 オンタイマー 47, 48
 音量 (ボタン) 18, 20, 42

か

解像度 50, 52, 53, 150
 解像度復元 150
 外部アンプ連動 145
 外部音声機器 155
 外部スピーカー出力設定 156
 外部入力視聴時 57
 画質設定 148 ~ 152
 画質レート 63
 カセットHDD 146
 カセットHDD名称変更 194
 カテゴリー (検索) 71
 カメラアングル切り換え 112
 画面表示 (ボタン) 21, 49
 画面モード 52, 53
 かんたんセットアップ (開始) 35
 かんたんセットアップ (再設定) 175
 ガンマ調整 150
 聞こえサポート 154
 機能設定 57
 共通設定 57, 182 ~ 184
 クリアボイス 154
 黒補正 150
 黒レベル 150
 ケーブルテレビの番組表 66
 掲示板 61
 決定ボタン 20, 56
 検索設定 (無効) 84
 県域設定 183
 現在時刻 21, 51
 高速起動 186
 高速ダビング 137
 コピー (ダビング) 114
 コマ送り / コマ戻し 99
 困ったときは 207 ~ 216
 コントラスト調整 150
 コントラスト補正 150

さ

サービス切換 44, 57
 再生 (本体で記録) 95 ~ 99
 再生 (動画ファイル) 139, 142
 再生 (JPEG) 139 ~ 142
 再生一時停止 96
 再生ボタン 21, 95
 サブメニュー (番組表) 66
 サブメニュー (ボタン) 21
 左右バランス 154
 サラウンド 154

索引(つづき)

サラウンド音声の録画 200
 色域マッピング 151
 色彩調整 151
 視聴制限一時解除 99
 視聴年齢制限(視聴時) 43
 視聴年齢制限(ネットサービス) ... 159 ~ 162
 自動音量補正 154
 自動削除 81
 自動削除(条件) 85
 自動追跡(デジタル放送の予約) 94
 自動的に電源を入れる 47, 48
 自動的に電源を切る 46
 字幕(ボタン) 20, 51
 字幕切換 51
 字幕(言語)を切り換え(再生中) 112
 字幕の録画 200
 字幕設定 75
 シャープネス 150
 ジャンル色分け 68
 ジャンル検索(番組表) 71
 ジャンルフォルダー 125
 出演者 71
 重低音強調 154
 受信状態の確認 180, 181
 受信設定 175 ~ 184
 消音(ボタン) 20
 初期化 57, 189
 初期化(HDD/カセットHDDの録画番組) ... 189 ~ 190
 初期化(カセットHDD) 147
 白強調 151
 新番組自動録画 79
 数字ボタン 20, 42
 ズーム 52
 スキップ(チャンネル) 179
 スキップ(再生中) 109
 スキップ(予約の) 89
 スクイーズ 50
 スタンダード 50
 スタンドを取り付ける 24, 25
 スタンバイ/受像ランプ 18
 すべての初期化 189, 190
 スピーカー出力 155
 スピーカー非連動 156
 スライドショー 142
 スロー再生 108
 制限設定 57, 159 ~ 162
 接続機器設定 57, 163
 設置設定 187
 設定初期化 189
 節電設定 57, 157, 158

節電モード 157, 158
 その他の設定 57, 185
 ソフトウェア更新 188, 191

た

対応信号モード 186
 タイムバー(再生位置の目安) 50
 代理録画 92
 ダビング10(コピー9回+移動1回)番組 ... 135
 ダビング(複数の番組をまとめて) ... 130 ~ 132
 ダビング制限 135
 ダビングリストの見かた 132
 地域設定(Gガイド) 183, 184
 地上デジタルアンテナ入力 ... 19, 28 ~ 30
 地上デジタル放送 42, 206
 地上ボタン 20, 42
 チャプター 119, 202
 チャプターの分割/結合/削除 119, 120
 チャンネル設定 176, 177
 チャンネル△▽ボタン 18, 20, 42
 注目番組一覧 73
 つづき再生(レジュームポイント) 96
 データ放送 44
 停止ボタン 21
 停電したりしたとき(ダビング中) 138
 停電したとき(予約録画の) 94
 デジタル音声(光)出力 19, 32, 33, 155
 デジタル著作権管理 191
 デジタル放送について 206
 電源(ボタン) 18, 20, 34, 42
 テレビ操作 57
 テレビスピーカー 155
 転倒防止について 15
 等速ダビング 92
 動作が不安定 210
 同時にできること 196 ~ 199
 独立データ放送 44
 時計(ボタン) 21, 51

な

二重音声の録画 200
 日時指定予約 77
 入力切換(ボタン) 18, 20, 45
 ネット(ボタン) 21
 ネットサービス利用制限 160
 ネットワーク 54
 ネットワーク環境 164
 ネットワーク設定 167

ノーマル	52
ノイズリダクション	150

は

ハードディスク (HDD)	16, 201
倍速駆動	151
ハイビジョン画質	63
バックライト	149
バックライト補正	149
早送り / 早戻し	107
早送り (ボタン)	21
早戻し (ボタン)	21
早見早聞 (音声付き再生)	107
番組検索	71
番組詳細 (番組表)	67
番組説明	57, 96
番組説明の表示 (番組表)	68
番組データ取得 (番組表)	65
番組データの受信	65
番組を削除 (録画した番組)	115
番組名の変更	123
番組結合	122
番組分割	121
番組の保護、保護解除	124
番組表 (一発予約)	70
番組表 (視聴)	65, 66
番組表 (お好み設定予約)	74, 75
番組表の見かた	65
光 (デジタル) 音声出力設定	155
ビットストリーム	33, 155
ビットレート	203
日付選択	66, 69
ビデオ入力端子	19, 30
表示間隔	142
表示時間数切換	67
表示チャンネル数切換	66
表示文字サイズ切換	66
フィルムモード	152
付属品	23
フリーワード	71
フル / リアル	50
ブロードバンド環境	54
ヘッドホン音量	59
ヘッドホン出力設定	156
ヘッドホン端子	19
ホーム (ボタン)	18, 20, 56
ボード (CS1/CS2)	61
放送画質	63
放送局からのお知らせ	60
放送受信設定 (メニュー)	57

放送メール	60
フォルダー設定	75, 78, 81, 87, 132
フォルダーを作る	125
本機で使える USB メモリー	139
本体情報表示	191

ま

毎週 / 毎日録画 (日時指定予約)	77, 78
毎週 / 毎日録画 (お好み設定)	74 ~ 76
マルチチャンネル表示	67
マルチ番組の録画	200
マルチビュー放送	58, 224
見るボタン	21
無信号電源オフ	158
無線 LAN	165, 168, 169, 225, 226
無操作電源オフ	158
メディア (マーク)	16
メディア管理 (全削除)	195
文字サイズ切換	66
文字スーパー	182, 224
文字の入力	192, 193
戻るボタン	20

や

有線 LAN	167
郵便番号	182, 183
予約 (録画)	70 ~ 78
予約一覧の見かた	86
予約一覧ボタン	20
予約が重なったときは	93
予約スキップ	89
予約の確認	86
予約の取り消し	90
予約の変更	86 ~ 89

ら

ライセンス情報	191
ラジオ放送	44
リモコンコード切換	20, 209
リモコン受光部	17
リモコンの取扱い	17
リモコンの準備	23
輪郭調整	150
リンク	144
リンク制御	163
レジュームポイント	96
連動データ放送	44
録画 (放送中番組)	64
録画 (ボタン)	21

索引(つづき)

録画一覧の見かた 98
 録画時間の目安(録画モード別) 203
 録画中の予約録画の停止 91
 録画先 75, 77, 81, 87, 94
 録画制限、ダビング制限 63
 録画モード 63, 64
 録画モード(番組表) 69
 録画モード変換 63, 117, 118
 録画予約 70 ~ 72
 録画ランプ 18

わ

ワイド切換 52, 53
 ワンタッチタイマー録画 64

A,B,C

AF,AN,AS,AL,AE(録画モード) 63
 ARC(オーディオリターンチャンネル) 32,222
 B-CASカード 19, 26, 205
 B-CASカード情報の確認 62
 B-CASの入れかた 27
 BSデジタル放送 42, 206
 BSボタン 20, 42
 BSラジオ放送 44
 BS 110度CSアンテナ入力 19,28,29
 CATV(ケーブルテレビ)放送 30
 CATVパススルー 222
 Ch番号入力 42
 CS1ボード 61
 CS2ボード 61
 CSボタン 20, 42
 DHCP 169, 222
 dデータボタン 20, 44
 GB, TB 203
 Gガイド 65
 Gガイド設定 183, 184
 HD画質 63
 HDD/カセットHDD切換 64
 HDD(ハードディスク) 201
 HDMI 19, 45, 222
 HDMI入力端子 19, 31, 32
 HDMI-CEC対応 31, 32, 144, 145
 HDR復元、ガンマ調整 150
 ID-1信号 187
 JPEG 139
 LAN端子 164
 LAN(ダビング) 133, 134
 miniB-CASカード 19, 26, 205
 MPEG,MPEG-2,MPEG-4 AVC/H.264 222

MPEG NR 150
 PCM 33, 155
 PCモード 152
 SDカード 139
 TS(録画モード) 63
 USB 222
 USBメモリー 139
 USB端子 19, 147
 Woonet(メニュー) 57

1,2,3

「1回だけ録画可能」番組 135
 110度CSデジタル放送 42, 206
 10秒バック(ボタン) 21, 109
 2番組同時録画 198, 199
 3桁入力 42
 30秒スキップ(ボタン) 21, 109

記号

▲▼◀▶ボタン 18, 20
 スキップ(ボタン) 21, 109

廃棄時にご注意ください。

家電リサイクル法では、お客様がご使用済みのテレビ（ブラウン管式、液晶式、プラズマ式）を廃棄される場合は、収集・運搬料金、再商品化等料金（リサイクル料金）をお支払いいただき、対象品を販売店や市町村に適正に引き渡すことが求められています。

 日立コンシューマ・マーケティング株式会社 リビングサプライ社

〒105-8413 東京都港区西新橋 2-15-12



A6HRAJH-55UL
A6H1AJH-49UL
2EMN00755 ★★★★★
Printed in China